

木更津市
こども計画策定に関する
アンケート調査報告書

令和8年3月
木更津市

目次

1	調査の概要.....	1
(1)	調査の目的.....	1
(2)	調査対象.....	1
(3)	調査方法・期間.....	1
(4)	回収状況.....	1
(5)	生活困難度の分類.....	2
(6)	調査結果の見方.....	2
2	調査結果の概要.....	1
(1)	小学5年生・中学2年生調査結果（概要）.....	1
(2)	小学5年生・中学2年生の保護者調査結果（概要）.....	8
(3)	ひとり親家庭調査結果（概要）.....	11
(4)	若者調査結果（概要）.....	13
3	調査結果.....	17
(1)	小学5年生・中学2年生調査結果.....	17
1	あなた自身のことを教えてください.....	17
2	あなたの普段の生活や健康について教えてください.....	23
3	あなたが普段考えていることについておたずねします.....	40
4	あなたが普段過ごす場所について教えてください.....	43
5	あなたが困っているときの相談先について教えてください.....	47
6	あなたの意見を教えてください.....	52
7	木更津市についてあなたの意見を教えてください.....	56
8	あなたの将来について教えてください.....	59
(2)	小学5年生・中学2年生の保護者調査結果.....	74
1	お子さんと調査に回答いただく方のことについておたずねします.....	74
2	世帯の状況についておたずねします.....	75
3	お子さんの母親と父親についておたずねします.....	78
4	あなたの世帯の暮らしの状況についておたずねします.....	80
5	お子さんとあなたの健康状態についておたずねします.....	89
6	お子さんのことについておたずねします.....	89
7	あなたが普段考えていることについておたずねします.....	95
8	お子さんが普段過ごす場所についておたずねします.....	96
9	学校のことや勉強のことについておたずねします.....	97
10	あなたが困っているときの相談先についておたずねします.....	101
11	若い世代が安心して結婚・妊娠・出産・子育ての希望を実現できるような環境を整備するためにおたずねします.....	103
12	木更津市についてのあなたの意見をおたずねします.....	106

(3) ひとり親家庭調査結果.....	116
1 あなたの世帯などについてうかがいます.....	116
2 お子さんやお子さんとの生活について.....	129
3 生活の中での悩みや不安について.....	133
(4) 若者調査結果.....	144
1 あなたのことについてうかがいます.....	144
2 あなたの学歴、就業経験についてうかがいます.....	147
3 あなたの普段の生活についてうかがいます.....	149
4 地域との関わりについてうかがいます.....	153
5 結婚への意識と子育てについてうかがいます.....	157
6 あなた自身の考えについてうかがいます.....	167

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、令和8年度から令和11年度まで4か年を計画期間とした「木更津市こども計画」の策定にあたり、木更津市の子ども・若者を取り巻く実態やニーズを把握し、聴取したご意見を計画に反映するためにアンケート調査を実施しました。

(2) 調査対象

項 目	調査対象者
小学5年生・中学2年生調査	市内在住の小学5年生と中学2年生の児童生徒
小学5年生・中学2年生の保護者調査	市内在住の小学5年生と中学2年生の保護者
ひとり親家庭調査	市内在住のお子さんがあるひとり親世帯の保護者
若者調査	市内在住の15歳～39歳の方

(3) 調査方法・期間

項 目	配付方法	調査期間
小学5年生・中学2年生調査	【配布】学校配布	令和7年5月29日～6月25日
小学5年生・中学2年生の保護者調査	【回収】WE B	令和7年5月29日～7月9日
ひとり親家庭調査	【配布】郵送配布	令和7年5月13日～6月6日
若者調査	【回収】WE B	令和7年7月18日～8月11日

(4) 回収状況

項 目	配布数	回収数	回収率
小学5年生・中学2年生調査	2,354件	1,856件	78.8%
小学5年生	1,169件	927件	79.3%
中学2年生	1,185件	989件	78.4%
小学5年生・中学2年生の保護者調査	2,354件	663件	28.2%
ひとり親家庭調査	871件	115件	13.2%
若者調査	3,000件	664件	22.1%

（５）生活困難度の分類

貧困の代表的な定義には、所得額が、人間が生きるために必要な最低限の生活水準を維持するのに満たない状態を示す「絶対的貧困」と、所得額が一定の国や地域における平均的な生活水準に満たない状態を示す「相対的貧困」という２つの種類があります。

子どもの貧困の状況を把握するために、本調査では相対的貧困率を用います。

OECD（経済協力開発機構）では、「世帯の所得を世帯人数で調整して算出した等価可処分所得（１人当たりの所得）が、貧困線（等価可処分所得の中央値の２分の１）に満たない」割合を、相対的貧困率としています。

本調査においては、世帯年収についての質問の回答より等価可処分所得を算出し、その所得が厚生労働省「国民生活基礎調査」から算出される基準（世帯所得の中央値を平均世帯人数の平方根で除した値の５０％未満＝１２７万円）に満たない世帯を「生活困窮世帯」とし、１２７万円～２５４万円未満の世帯を「周辺層」、２５４万円以上の世帯を「一般層」とし、３段階に分類しました。

等価可処分所得の算出について

- ・年間収入に関する回答（保護者票問１６）の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする。（例えば、「５０万円未満」であれば２５万円、「５０～１００万円未満」であれば７５万円とする。なお、「１,０００万円以上」は１,０５０万円とする）。
- ・上記の値を、保護者問３で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除す。

生活困窮世帯	周辺層	一般層
１２７万円未満	１２７万円～２５４万円未満	２５４万円以上

（６）調査結果の見方

- 本文、表、グラフは、表記の都合上、選択肢の文言を一部簡略化している場合がある。
- 回答の比率（％）は、小数点以下第２位を四捨五入して小数点以下第１位まで記載している。
従って、合計が１００％にならない場合がある。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常１００％を超える。
- 年齢等ごとのクロス集計のグラフにおいては、項目、年齢等に関する無回答者がいる関係で、各クロス項目、年齢等ごとの回答数を足し上げた結果と全体回答者数は一致しない。
- クロス集計のグラフにおいて、回答者数が少ない項目については、表側に記載していない場合がある。

2 調査結果の概要

(1) 小学5年生・中学2年生調査結果（概要）

(1) 世帯の状況について

○家族の人数についてみると、小学5年生では、「5人以上」が4割台半ば（43.1%）で最も多く、次いで「4人」も4割台半ば（42.6%）、「3人」が1割超え（11.8%）となっています。

中学2年生では、「4人」が4割台半ば（42.6%）で最も多く、次いで「5人以上」が4割超え（41.0%）、「3人」が1割台半ば（13.2%）となっています。【問3】

○一緒に住んでいる人をみると、小学5年生では、「お母さん」が10割近く（97.7%）、次いで「お父さん」が9割近く（89.6%）、「きょうだい」が8割台半ば（84.4%）となっています。

中学2年生では、「お母さん」が9割台半ば（96.9%）、次いで「お父さん」が8割台半ば（86.7%）、「きょうだい」が8割超え（81.3%）となっています。【問4】

(2) 経済状態について

○暮らし向きについてみると、小学5年生では、「なんでもそろっていて、とても豊かだと思う」が3割台半ば（35.1%）で最も多く、次いで「必要なものはそろっていて、どちらかというと豊かだと思う」が3割台半ば（34.5%）、「普通だと思う」が2割台半ば（25.4%）となっています。

中学2年生では、「必要なものはそろっていて、どちらかというと豊かだと思う」が4割近く（38.4%）で最も多く、次いで「普通だと思う」が3割台半ば（33.2%）、「なんでもそろっていて、とても豊かだと思う」が2割台半ば（23.7%）となっています。【問5】

○自分で使うことができるものについてみると、小学5年生の「ある」では、「おやつ」が9割超え（90.6%）で最も多く、次いで「自宅で宿題をすることができる場所」が9割近く（89.6%）、「2足以上のサイズの合った靴」も9割近く（88.5%）となっています。

「欲しい」では、「携帯電話、スマートフォン」が3割台半ば（32.8%）で最も多く、次いで「こども部屋」が2割台半ば（25.2%）、「自分専用の勉強机」が2割超え（21.9%）となっています。

中学2年生の「ある」では、「（自宅で）インターネットにつながる環境」が9割台半ば（96.3%）で最も多く、次いで「自宅で宿題をすることができる場所」も9割台半ば（93.4%）、「携帯電話、スマートフォン」も9割台半ば（92.6%）となっています。

「欲しい」では、「お小遣い」が2割近く（19.1%）で最も多く、次いで「こども部屋」が1割台半ば（14.5%）、「自分専用の勉強机」が1割超え（11.9%）となっています。【問6】

(3) 普段の健康状態について

○週の食事についてみると、小学5年生の「毎日またはほぼ毎日」では、「夕食」が9割台半ば（95.0%）で最も多く、次いで「夏休み・冬休み期間中の昼食」が9割超え（92.2%）、「朝食」が9割近く（88.7%）となっています。

「週に4～5日」では、「朝食」が1割未満（6.1%）で最も多く、次いで「夏休み・冬休み期間中の昼食」も1割未満（4.1%）、「夕食」も1割未満（1.1%）となっています。

中学2年生の「毎日またはほぼ毎日」では、「夕食」が9割台半ば（96.9%）で最も多く、次いで「夏休み・冬休み期間中の昼食」が8割台半ば（86.2%）、「朝食」が8割超え（82.2%）となっています。

「週に4～5日」では、「夏休み・冬休み期間中の昼食」が1割近く（8.5%）で最も多く、次いで「朝食」も1割近く（8.4%）、「夕食」が1割未満（1.4%）となっています。【問7】

○食事をしない理由についてみると、小学5年生の「時間がない」では、「朝食」が2割台半ば（27.2%）で最も多く、次いで「夕食」が2割超え（22.2%）、「夏休み・冬休み期間中の昼食」が1割台半ば（17.4%）となっています。

「おなかがすいていない」では、「夏休み・冬休み期間中の昼食」が4割台半ば（43.5%）で最も多く、次いで「朝食」が4割近く（39.1%）、「夕食」が3割台半ば（33.3%）となっています。

中学2年生の「時間がない」では、「朝食」が3割台半ば（35.7%）で最も多く、次いで「夏休み・冬休み期間中の昼食」が1割台半ば（14.0%）となっています。

「おなかがすいていない」では、「夕食」が8割超え（81.8%）で最も多く、次いで「夏休み・冬休み期間中の昼食」が5割台半ば（54.4%）、「朝食」が3割台半ば（34.4%）となっています。【問7-2】

○健康状態をみると、小学5年生では、「よい」が5割台半ば（55.7%）で最も多く、次いで「まあよい」が2割台半ば（23.3%）、「普通」が1割台半ば（16.3%）となっています。

中学2年生では、「よい」が4割台半ば（44.1%）で最も多く、次いで「まあよい」が2割台半ば（25.9%）、「普通」が2割超え（21.9%）となっています。【問10】

(4) 普段の生活について

○おうちのおとなの人としていることについてみると、小学5年生の「ほぼ毎日」では、「一緒に夕食を食べる」が8割超え（82.2%）で最も多く、次いで、「学校生活の話をする」が6割近く（58.9%）、「一緒に朝食を食べる」が5割台半ば（56.6%）となっています。

「週に3～4回」では、「一緒に外出する（散歩、買い物、外食など）」が2割台半ば（25.2%）で最も多く、次いで「ニュースなどのできごとについて話す」が2割超え（20.5%）、「学校生活の話をする」が2割近く（19.0%）となっています。

中学2年生の「ほぼ毎日」では、「一緒に夕食を食べる」が7割超え（70.5%）で最も多く、次いで「学校生活の話をする」が5割近く（49.9%）、「一緒に朝食を食べる」が4割近く（37.7%）となっています。

「週に3～4回」では、「学校生活の話をする」が2割台半ば（22.8%）で最も多く、次いで「ニュースなどのできごとについて話す」が2割超え（21.7%）、「一緒に外出する（散歩、買い物、外食など）」が2割近く（19.9%）となっています。【問8】

○まわりの人との関係についてみると、小学5年生の「うまくいっている」では、「親との関係」が8割近く（79.4%）で最も多く、次いで「友だちとの関係」が7割近く（68.2%）、「学校の先生との関係」が6割超え（60.4%）となっています。

「まあうまくいっている」では、「学校の先生との関係」が3割台半ば（32.5%）で最も多く、次いで「友だちとの関係」が2割台半ば（25.5%）、「親との関係」が1割台半ば（17.4%）となっています。

中学2年生の「うまくいっている」では、「親との関係」が7割近く（67.5%）で最も多く、次いで「友だちとの関係」が6割近く（59.7%）、「学校の先生との関係」が5割台半ば（53.1%）となっています。

「まあうまくいっている」では、「学校の先生との関係」が4割超え（40.3%）で最も多く、次いで「友だちとの関係」が3割台半ば（32.6%）、「親との関係」が2割台半ば（24.7%）となっています。【問16】

(5) 家事等のお手伝いについて

- お子さんが中心となって、お世話をしている家族についてみると、小学5年生では、「いる」が3割超え（30.7%）、「いない」が7割近く（68.0%）となっています。
- 中学2年生では、「いる」が1割超え（10.1%）、「いない」が9割近く（88.9%）となっています。【問 14】
- お子さんがお世話をしている人についてみると、小学5年生では、「お母さん」が5割超え（51.6%）で最も多く、次いで「きょうだい」が5割近く（48.4%）、「お父さん」が3割台半ば（34.7%）となっています。
- 中学2年生では、「きょうだい」が5割を占めて（50.0%）最も多く、次いで「その他」が3割台半ば（34.0%）、「お母さん」が3割近く（29.8%）となっています。【問 14-2】
- 家族のお世話をすることについてみると、小学5年生では、「家族の役に立ててうれしい」が5割台半ば（54.4%）で最も多く、次いで「ほめられてうれしい」が3割台半ば（36.1%）、「できることが増えてうれしい」が3割超え（34.4%）となっています。
- 中学2年生では、「家族の役に立ててうれしい」が4割超え（40.4%）で最も多く、次いで「できることが増えてうれしい」が3割超え（33.0%）、「ほめられてうれしい」が2割台半ば（25.5%）となっています。【問 14-5】

(6) 普段考えていることについて

- 普段考えていることについてみると、小学5年生の「あてはまる」では、「自分は家族に大事にされている」が8割近く（79.1%）で最も多く、次いで「ものごとを最後までやり終えて、うれしかったことがある」が7割台半ば（73.1%）、「将来の夢や目標を持っている」が6割台半ば（66.1%）となっています。
- 「どちらかといえばあてはまる」では、「自分には、よいところがあると思う」が4割近く（39.3%）で最も多く、次いで「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」も4割近く（38.1%）、「がんばれば、報われる」が3割台半ば（35.5%）となっています。
- 中学2年生の「あてはまる」では、「ものごとを最後までやり終えて、うれしかったことがある」が6割台半ば（66.3%）で最も多く、次いで「自分は家族に大事にされている」も6割台半ば（65.0%）、「積極的にいろいろな人と話したい」が4割台半ば（46.4%）となっています。
- 「どちらかといえばあてはまる」では、「自分には、よいところがあると思う」が4割超え（40.6%）で最も多く、次いで「自分のことが好きだ」が4割近く（39.5%）、「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」も4割近く（38.0%）となっています。【問 15】

(7) 居場所について

○普段過ごしている場所や、過ごしたいと思う場所についてみると、小学5年生の「ふだん過ごしている」では、「自分の家」が9割超え（90.3%）で最も多く、次いで「塾や習い事」が3割近く（27.9%）、「公園や広場など、自然の中で遊べる場所」も3割近く（27.8%）となっています。

「過ごしたいと思う」では、「友だちの家」が5割近く（47.5%）で最も多く、次いで「おじいさん・おばあさん・親せきなどの家」が4割台半ば（46.7%）、「公園や広場など、自然の中で遊べる場所」が3割台半ば（36.7%）となっています。

中学2年生の「ふだん過ごしている」では、「自分の家」が9割近く（87.8%）で最も多く、次いで「学校（部活動、クラブ活動、など）」が4割台半ば（43.4%）、「塾や習い事」が2割近く（19.6%）となっています。

「過ごしたいと思う」では、「友だちの家」が4割台半ば（45.3%）で最も多く、次いで「おじいさん・おばあさん・親せきなどの家」が4割超え（40.4%）、「公園や広場など、自然の中で遊べる場所」が3割台半ば（34.4%）となっています。【問17】

○1番ほっとできるところについてみると、小学5年生では、「自分の家」が8割超え（80.8%）で最も多く、次いで「おじいさん・おばあさん・親せきなどの家」が1割未満（6.1%）、「SNS、YouTube、オンラインゲームなど」も1割未満（3.5%）となっています。

中学2年生では、「自分の家」が7割台半ば（75.8%）で最も多く、次いで「SNS、YouTube、オンラインゲームなど」が1割未満（6.5%）、「おじいさん・おばあさん・親せきなどの家」も1割未満（4.3%）となっています。【問18】

(8) 困っているときの相談先について

○相談先についてみると、小学5年生では、「家族」が8割台半ば（83.5%）で最も多く、次いで「学校の友だち」が6割超え（60.1%）、「クラス担当の先生」が4割台半ば（43.7%）となっています。

中学2年生では、「家族」が7割超え（72.2%）で最も多く、次いで「学校の友だち」も7割超え（71.7%）、「クラス担当の先生」が3割台半ば（33.4%）となっています。【問19】

○相談しやすい方法についてみると、小学5年生では、「直接、お互いの顔を見て相談できる方法」が6割台半ば（63.1%）で最も多く、次いで「電話で相談できる方法」が2割近く（18.6%）、「わからない、相談したくない」が1割台半ば（16.5%）となっています。

中学2年生では、「直接、お互いの顔を見て相談できる方法」が5割台半ば（55.4%）で最も多く、次いで「インターネットやSNSで相談できる方法」が2割台半ば（27.1%）、「電話で相談できる方法」が2割超え（20.7%）となっています。【問20】

(9) 子どもの権利擁護等について

○家で何かを決めるとき、おとなに意見を聞いてもらえるかについてみると、小学5年生では、「聞いてもらえる」が7割台半ば（75.4%）で最も多く、次いで「ときどき聞いてもらえる」が2割近く（18.8%）、「あまり聞いてもらえない」が1割未満（3.9%）となっています。

中学2年生では、「聞いてもらえる」が6割台半ば（65.8%）で最も多く、次いで「ときどき聞いてもらえる」が2割台半ば（26.0%）、「あまり聞いてもらえない」が1割未満（6.1%）となっています。【問9】

○「子どもの権利条約の4つの原則」の認知度についてみると、小学5年生では、「聞いたことがない」が6割超え（60.1%）で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、どのようなことかまではわからない」が3割近く（29.8%）、「聞いたことがあり、どのようなことかも知っている」が1割近く（8.8%）となっています。

中学2年生では、「聞いたことはあるが、どのようなことかまではわからない」が4割近く（38.5%）で最も多く、次いで「聞いたことがない」が3割超え（32.1%）、「聞いたことがあり、どのようなことかも知っている」が3割近く（28.5%）となっています。【問21】

○こどもの権利が守られるための仕組みについてみると、小学5年生では、「学校などで学べる機会をふやす」が4割台半ば（46.3%）で最も多く、次いで「おとなにもっと知ってもらおう」が4割超え（42.1%）、「困ったときに相談できる場所がある」も4割超え（41.2%）となっています。

中学2年生では、「おとなにもっと知ってもらおう」が4割台半ば（46.9%）で最も多く、次いで「学校などで学べる機会をふやす」も4割台半ば（46.3%）、「困ったときに相談できる場所がある」が4割近く（38.2%）となっています。【問23】

(10) 木更津市に対する要望等について

○木更津市の取り組みに関する情報の入手先についてみると、小学5年生では、「家族や親戚から聞いた」が3割台半ば（33.9%）で最も多く、次いで「木更津市ホームページ」が3割近く（29.8%）、「知らない・見たことも聞いたこともない」が2割台半ば（26.3%）となっています。

中学2年生では、「家族や親戚から聞いた」が3割近く（27.7%）で最も多く、次いで「知らない・見たことも聞いたこともない」が2割台半ば（27.1%）、「先生から聞いた」も2割台半ば（26.8%）となっています。【問24】

○木更津市について思ったことを伝える方法や手段についてみると、小学5年生では、「直接会って話す」が4割台半ば（45.5%）で最も多く、次いで「アンケート（紙）」が3割台半ば（35.5%）、「手紙」が3割超え（31.2%）となっています。

中学2年生では、「オンライン（メール、インターネットのフォームなど）」が4割台半ば（45.1%）で最も多く、次いで「直接会って話す」が3割台半ば（36.0%）、「アンケート（Web、オンライン）」も3割台半ば（35.4%）となっています。【問25】

(11) 将来について

○将来の進学段階についてみると、小学5年生では、「大学またはそれ以上」が3割台半ば（33.4%）で最も多く、次いで「まだわからない」が3割近く（28.4%）、「高校まで」が2割台半ば（22.5%）となっています。

中学2年生では、「大学またはそれ以上」が4割超え（41.3%）で最も多く、次いで「短大・高専・専門学校まで」が2割近く（19.9%）、「高校まで」も2割近く（19.7%）となっています。【問26】

○将来についてみると、小学5年生では、「好きなことをしてすごしている」が7割近く（68.6%）で最も多く、次いで「心も体も健康にすごしている」が6割超え（60.4%）、「まわりに頼れる人がいる」が5割近く（47.5%）となっています。

中学2年生では、「好きなことをしてすごしている」が7割台半ば（72.7%）で最も多く、次いで「心も体も健康にすごしている」が5割近く（49.4%）、「お金や住むところなどに困っていない」も5割近く（49.1%）となっています。【問27】

○将来安心して、自分らしく暮らすために必要なことについてみると、小学5年生では、「おいしい食事がとれる」が7割台半ば（74.5%）で最も多く、次いで「家や学校で安心してすごせる」が7割超え（72.2%）、「家族との時間を大切にできる」が7割近く（68.7%）となっています。

中学2年生では、「お金や住むところに困らない」が8割近く（78.4%）で最も多く、次いで「家や学校で安心してすごせる」も7割台半ば（77.4%）、「おいしい食事がとれる」が7割台半ば（75.3%）となっています。【問28】

(2) 小学5年生・中学2年生の保護者調査結果（概要）

(1) 保護者の就労状況について

○年齢についてみると、母親では、「40歳～44歳」が3割台半ば（37.3%）で最も多く、次いで「45歳～49歳」が2割台半ば（26.7%）、「35歳～39歳」が1割台半ば（17.3%）となっています。

父親では、「40歳～44歳」が3割近く（29.4%）で最も多く、次いで「45歳～49歳」が3割近く（28.8%）、「50歳～59歳」が2割近く（19.0%）となっています。【問7】

○就業形態についてみると、母親では、「パート・アルバイト」が5割台半ば（53.3%）で最も多く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が3割台半ば（35.6%）、「嘱託・契約社員・準社員・臨時職員」は1割未満（4.4%）となっています。

父親では、「正社員・正規職員・会社役員」が9割超え（91.2%）で最も多く、次いで「自営業（商店主・農業など）」が1割未満（7.0%）、「嘱託・契約社員・準社員・臨時職員」が1割未満（0.8%）となっています。【問10/問11】

(2) 世帯の経済状態について

○昨年1年間の可処分所得についてみると、「600～700万円未満」が1割台半ば（16.1%）で最も多く、次いで「700～800万円未満」が1割超え（12.4%）、「500～600万円未満」も1割超え（11.6%）となっています。【問16】

○暮らしの状況についてみると、「普通」が4割台半ば（47.4%）で最も多く、次いで「やや苦しい」が3割（30.0%）、「大変苦しい」が1割（10.0%）となっています。【問17】

○お金が足りなくて、必要とする食料や衣料が買えないことについてみると、「まったくなかった」が6割近く（58.1%）で最も多く、次いで「ほとんどなかった」が3割近く（28.5%）、「ときどきあった」が1割近く（9.8%）となっています。【問19】

(3) お子さんとの生活について

○生活・学習習慣についてみると、「ほぼ毎日」では、「B. 一緒に夕食をたべる」が8割近く（78.4%）で最も多く、次いで「E. 学校生活の話をする」が7割近く（67.6%）、「A. 一緒に朝食をたべる」が4割台半ば（43.6%）となっています。

「週に3～4回」では、「F. ニュースなどのできごとについて話す」が2割台半ば

（25.3%）で最も多く、次いで「E. 学校生活の話をする」が2割超え（20.7%）、「G. 一緒に外出する（散歩、買い物、外食など）」が2割近く（19.5%）となっています。【問24】

○まわりの人との関係についてみると、「うまくいっている」では、「A. お子さんとの関係」が5割超え（51.1%）で最も多く、次いで「B. 家族との関係」が5割超え（50.1%）、「C. その他の人との関係」が3割台半ば（34.8%）となっています。

「まあうまくいっている」では、「C. その他の人との関係」が6割超え（60.3%）で最も多く、次いで「A. お子さんとの関係」が4割台半ば（44.8%）、「B. 家族との関係」も4割台半ば（44.3%）となっています。【問28】

(4) 子どもの権利擁護等について

- 家で何かを決めるとき、お子さんの意見を聞いているかについてみると、「聞いている」が6割超え（60.9%）で最も多く、次いで「ときどき聞いている」が3割台半ば（35.3%）、「あまり聞いていない」が1割未満（2.7%）となっています。【問 25】
- 「子どもの権利条約の4つの原則」の認知度についてみると、「聞いたことはあるが、内容まではわからない」が4割台半ば（42.5%）で最も多く、次いで「聞いたことがない」が4割超え（41.8%）、「聞いたことがあり、内容も知っている」が1割台半ば（13.6%）となっています。【問 40】
- 「子どもの権利条約の4つの原則」を知ったきっかけについてみると、「その他」が3割近く（28.9%）で最も多く、次いで「学校の先生の話」が2割超え（22.2%）、「パンフレット」が2割超え（21.1%）となっています。【問 40-2】

(5) お子さんと家事等のお手伝いについて

- 普段していることについてみると、「毎日2時間以上」では、「B. 家族の代わりにきょうだいのお世話をする」が1割未満（0.6%）で最も多く、次いで「A. 家族の代わりに家事をする」「C. きょうだい以外の家族のお世話をする」が1割未満（各0.2%）となっています。「毎日1～2時間」では、「B. 家族の代わりにきょうだいのお世話をする」が1割未満（2.0%）で最も多く、次いで「A. 家族の代わりに家事をする」が1割未満（1.2%）、「C. きょうだい以外の家族のお世話をする」が1割未満（0.3%）となっています。【問 27】
- 家事や家族のお世話をするについてみると、「よくあった」では、「D. 家事や家族のお世話をする中で、友だちと遊ぶことができていない」「E. 家事や家族のお世話をするために、クラブ活動などのやりたいことをあきらめた」が1割未満（各0.3%）で最も多くなっています。「時々あった」では、「B. 家事や家族のお世話をする中で、宿題や勉強をする時間がとれない」「D. 家事や家族のお世話をする中で、友だちと遊ぶことができていない」が1割未満（各0.8%）で最も多く、次いで「A. 家事や家族のお世話をするために、遅刻したり、学校を休まなければいけない時がある」が1割未満（0.5%）となっています。【問 27-2】

(6) お子さんの進路について

- お子さんの進学段階についてみると、「高校まで」では、「A. 希望」が1割台半ば（13.7%）、「B. 現実」が2割近く（17.9%）となっています。「大学・大学院まで」では、「A. 希望」が5割超え（51.1%）、「B. 現実」が4割近く（39.5%）となっています。【問 30】
- 進学段階の「希望」と「現実」が異なる理由をみると、「まだどうなるかわからないから」が5割台半ば（52.6%）で最も多く、次いで「お子さんの学力から考えて」が1割台半ば（15.8%）、「家庭の経済的な状況から考えて」が1割台半ば（15.0%）となっています。【問 31】

(7) 困っているときの相談先について
○相談先についてみると、「家族」が8割台半ば（86.6%）で最も多く、次いで「職場の人や友人・知人」が5割台半ば（55.1%）、「学校の先生」が1割台半ば（15.1%）となっています。【問 33】 ○相談しやすい方法についてみると、「直接、お互いの顔を見て相談できる方法」が6割近く（59.6%）で最も多く、次いで「インターネットやSNSで相談できる方法」が3割近く（29.9%）、「電話で相談できる方法」が2割台半ば（23.1%）となっています。【問 34】
(8) 結婚・妊娠・出産・子育ての希望を実現できるような環境の整備について
○理想とする子どもの人数についてみると、「2人」が4割台半ば（45.2%）で最も多く、次いで「3人」が4割（40.0%）、「4人」が1割未満（4.5%）となっています。【問 35】 ○子どもの人数についてみると、「理想と現実には差はない」が5割台半ば（56.3%）で最も多く、次いで「理想の方が多い」が3割台半ば（33.0%）、「現実の方が多い」が1割近く（8.6%）となっています。【問 36】 ○理想のほうが多いと回答した理由をみると、「金銭的な不安や問題によるため」が5割台半ば（53.4%）で最も多く、次いで「自身または配偶者（パートナー）の年齢的な問題によるため」が4割近く（37.9%）、「子育てや家事への負担が大きい」が3割台半ば（37.4%）となっています。【問 36-2】
(9) 木更津市に対する要望等について
○子育てなどに関する公的な支援制度の情報の入手先についてみると、「木更津市ホームページ」が5割超え（51.1%）で最も多く、次いで「広報きさらづ」が4割近く（37.9%）、「友人・知人から聴く」が3割台半ば（36.5%）となっています。【問 37】 ○公的な支援制度の利用についてみると、「利用している（したことがある）」では、「A. 児童手当」が8割台半ば（85.4%）で最も多く、次いで「L. 学童クラブ（放課後児童クラブ）」が3割台半ば（35.3%）、「B. 児童扶養手当」が2割超え（22.3%）となっています。 「利用する必要がない」では、「F. 生活保護」が8割台半ば（83.6%）で最も多く、次いで「N. 母子家庭等就学自立支援センターへの就業相談」が7割台半ば（74.8%）、「K. ひとり親家庭等医療費助成」が7割超え（72.4%）となっています。【問 38】 ○必要な支援をもらえなく受けられるようにするために必要なことについてみると、「支援制度や申請手続きなどをわかりやすくまとめた情報の発信」が4割台半ば（44.5%）で最も多く、次いで「支援制度の申請手続きの簡素化」が3割近く（29.9%）、「メールマガジンやSNS等で定期的に支援制度等の情報を発信」が1割超え（10.3%）となっています。【問 39】

(3) ひとり親家庭調査結果（概要）

(1) 家庭事情について

○ひとり親になってからの期間についてみると、「7年以上」が4割台半ば（46.1%）で最も多く、次いで「1年以上3年未満」が2割超え（21.7%）、「3年以上5年未満」「5年以上7年未満」が1割台半ば（各14.8%）となっています。【問7】

○ひとり親になった事情について、「離婚（協議）」が7割近く（67.8%）で最も多く、次いで「離婚（調停）」が2割近く（18.3%）、「未婚」が1割未満（6.1%）となっています。【問8】

(2) 保護者の就労状況について

○ひとり親になる前後での、仕事上の変化についてみると、「新たな仕事に就いた」が5割近く（47.8%）で最も多く、次いで「就労時間を増やした」が2割台半ば（23.5%）、「転職をした」が2割超え（21.7%）となっています。【問12】

○現在の就労状況についてみると、「フルタイム（正社員）」が4割超え（41.7%）で最も多く、次いで「パート・アルバイト」が2割台半ば（22.6%）、「フルタイム（正社員以外）」が2割（20.0%）となっています。【問13】

○仕事と子育てを両立するうえで、困っていることについてみると、「子どもの急な病気等などの対応」が5割近く（49.5%）で最も多く、次いで「子どもとのコミュニケーション不足」が4割超え（40.2%）、「子どもの学校行事等への参加」が3割台半ば（32.7%）となっています。【問15】

(3) 子育てに関する悩みについて

○子どもと一緒に居られる時間についてみると、「3時間以上～4時間未満」が2割台半ば（26.1%）で最も多く、次いで「2時間以上～3時間未満」が2割超え（21.7%）、「4時間以上～5時間未満」が1割台半ば（14.8%）となっています。【問20】

○子育てをしている中での不安や悩みについてみると、「子どものしつけ・教育」が4割台半ば（42.6%）で最も多く、次いで「子どもにきつくあたってしまうことがある」が4割近く（39.1%）、「子どもと遊ぶ（過ごす）時間が十分にとれない」が3割台半ば（35.7%）となっています。【問28】

(4) 子どもや暮らしの将来について

- 子どもの進学段階についてみると、「高校まで」が3割超え（32.2%）で最も多く、次いで「4年制大学またはそれ以上」が3割近く（28.7%）、「まだわからない」が2割台半ば（22.6%）となっています。【問 21】
- 進学段階を選んだ理由についてみると、「子どもの希望」が3割台半ば（35.2%）で最も多く、次いで「経済的な状況から考えて」が3割台半ば（33.0%）、「親の希望」が1割台半ば（13.6%）となっています。【問 22】
- 将来についての不安や悩みについてみると、「生活費について」が8割超え（80.9%）で最も多く、次いで「子どもの将来」が7割台半ば（76.5%）、「自分の老後のこと」が6割超え（60.9%）となっています。【問 27】

(5) 経済的な状況や不安について

- 暮らしの状況についてみると、「苦しい」が5割台半ば（54.8%）で最も多く、次いで「大変苦しい」が3割台半ば（36.5%）、「ふつう」が1割近く（8.7%）となっています。【問 11】
- お金に関する悩みや不安についてみると、「子どもを遊びに連れて行けない」が6割近く（58.3%）で最も多く、次いで「水道・光熱費代の負担」が5割台半ば（56.5%）、「洋服や趣味などにお金を使えない」が5割台半ば（53.9%）となっています。【問 26】

(6) 市の支援について

- ひとり親になる時に知りたかったことについてみると、「児童扶養手当などの経済的な支援」が6割超え（60.9%）で最も多く、次いで「子育てに関する支援」が5割超え（51.3%）、「住居に関する支援」が4割台半ば（46.1%）となっています。【問 31】
- 利用したいと思う支援やサービスについてみると、「経済面での支援」が8割台半ば（85.2%）で最も多く、次いで「住宅面での支援」が5割超え（52.2%）、「自分が仕事や職業に活かせる資格を取るための支援」が4割台半ば（42.6%）となっています。【問 32】

（４）若者調査結果（概要）

（１）性別、年齢について
○性別についてみると、「女性」が５割台半ば（55.3％）で最も多く、次いで「男性」が４割台半ば（42.9％）、「その他（どちらともいえない・わからない・答えたくない）」が１割未満（1.4％）となっています。【問２】 ○年齢についてみると、「35～39歳」が２割台半ば（25.0％）で最も多く、次いで「30～34歳」が２割超え（22.0％）、「25～29歳」が２割近く（17.6％）となっています。【問３】
（２）学歴、就業経験について
○最後に卒業した学校についてみると、「高等学校（全日制・定時制・通信制すべて）」が４割近く（38.0％）で最も多く、次いで「大学・大学院」が３割台半ば（34.2％）、「専修学校・専門学校」が２割台半ば（14.5％）となっています。【問６】 ○現在の職業についてみると、「正規の社員・職員・従業員」が５割超え（51.5％）で最も多く、次いで「学生・生徒（予備校生などを含む）」が２割超え（22.1％）、「パート・アルバイト」が１割近く（9.5％）となっています。【問７】
（３）普段の生活について
○スマートフォン等の主な利用目的についてみると、「SNS（LINE、Instagram、TikTok、X（旧Twitter）等）」が８割台半ば（85.4％）で最も多く、次いで「YouTube等の動画サイト」が７割台半ば（75.8％）、「音楽を聴く」が５割台半ば（56.3％）となっています。【問１０】 ○普段の外出についてみると、「仕事や学校で平日は毎日外出する」が７割超え（71.7％）で最も多く、次いで「仕事や学校で週に３～４日外出する」が１割超え（10.1％）、「遊び等で頻繁に外出する」「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」が１割未満（各５.0％）となっています。【問１１】
（４）地域との関わりについて
○地域活動の参加状況についてみると、「参加していない」が９割超え（90.4％）である一方、「参加している」が１割近く（8.4％）となっています。【問１２】 ○地域活動に参加していない理由をみると、「地域でどのような活動が行われているか知らない」が６割近く（57.7％）で最も多く、次いで「参加する時間的余裕がない」が３割台半ば（32.7％）、「一緒に参加する友だち・知人がいない」が２割台半ば（25.0％）となっています。【問１２-２】 ○地域活動に多くの人が参加するために必要なことについてみると、「活動に気軽に参加できるようにすること」が５割超え（50.8％）で最も多く、次いで「活動内容を魅力的なものにすること」が４割台半ば（44.6％）、「活動内容を市内外に積極的にPRすること」が４割超え（41.6％）となっています。【問１３】

(5) 結婚への意識と子育てについて

- 結婚への意識についてみると、「すでに結婚（事実婚・パートナーシップ関係を含む）をしている」が4割台半ば（45.3%）で最も多く、次いで「いずれは結婚したい」が3割近く（27.9%）、「結婚するつもりはない」が1割超え（11.4%）となっています。【問 14】
- 結婚していない理由をみると、「まだ若すぎる」が3割台半ば（33.3%）で最も多く、次いで「相手がいらないから」が3割超え（31.2%）、「仕事（学業）に打ち込みたい」「経済的に余裕がない」が2割台半ば（各 24.1%）となっています。【問 14-1】
- 将来、子どもをもちたいかについてみると、「すでに子どもがいる」が3割台半ば（34.8%）で最も多く、次いで「もちたい」が3割近く（27.6%）、「どちらかといえばもちたい」が2割超え（22.1%）となっています。【問 15】
- 子どもを安心して産み育てることができるための施策についてみると、「出産・子育てにかかる費用の補助・手当等により安定した家計を営めるよう支援すること」が7割台半ば（72.9%）で最も多く、次いで「保育所など子どもの預け先を充実させること」が3割台半ば（36.6%）、「安定した雇用機会を提供すること」が3割超え（32.1%）となっています。【問 16】

(6) 幸せと不安について

- 幸せだと感じているかについてみると、「そう思う」が5割近く（49.8%）で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が4割超え（40.7%）、「どちらかといえばそう思わない」が1割未満（6.3%）となっています。【問 17】
- 将来に不安を感じるかについてみると、「少し感じている」が3割台半ば（35.7%）で最も多く、次いで「感じている」が3割超え（32.2%）、「あまり感じていない」が2割超え（21.2%）となっています。【問 20】
- 将来への不安を感じる点についてみると、「収入・生活費」が7割台半ば（77.2%）で最も多く、次いで「仕事」が4割台半ば（43.9%）、「家族の生活」が4割超え（41.0%）となっています。【問 20-1】

(7) 孤独や居場所について

- 孤独であると感じることについてみると、「ほとんどない」が4割超え（40.4%）で最も多く、次いで「まったくない」が3割台半ば（36.6%）、「しばしばある」が2割近く（19.3%）となっています。【問 18】
- 居心地が良いと感じる場所についてみると、「家庭（実家や親族の家を含む）」が7割近く（68.1%）で最も多く、次いで「自分の部屋」が5割台半ば（55.7%）、「インターネット空間（SNS、YouTubeやオンラインゲームなど）」が1割台半ば（14.9%）となっています。【問 19】
- 悩み事や不安の相談先についてみると、「親」が5割近く（47.7%）で最も多く、次いで「友だち・知人」が4割台半ば（45.3%）、「配偶者・パートナー」が3割台半ば（36.0%）となっています。【問 21】

(8) 木更津市に対する要望等について

○子どもや若者のために、木更津市が特に取り組むべきことについてみると、「安心して出産・子育てができる体制の充実」が6割台半ば（65.4%）で最も多く、次いで「経済的な心配をすることなく、学習や学びなおしができる環境・機会の充実」が5割台半ば（57.1%）、「若者たちが自由に過ごせる居場所（フリースペース等）の確保」が2割台半ば（26.5%）となっています。【問 22】

○木更津市に住み続けたいと思うかについてみると、「どちらかというに住み続けたいと思う」が4割超え（41.1%）で最も多く、次いで「住み続けたいと思う」が4割近く（37.5%）、「わからない」が1割超え（11.0%）となっています。【問 23】

3 調査結果

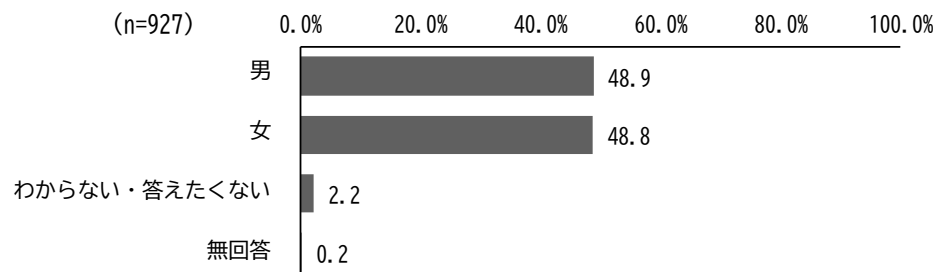
(1) 小学5年生・中学2年生調査結果

1 あなた自身のことを教えてください

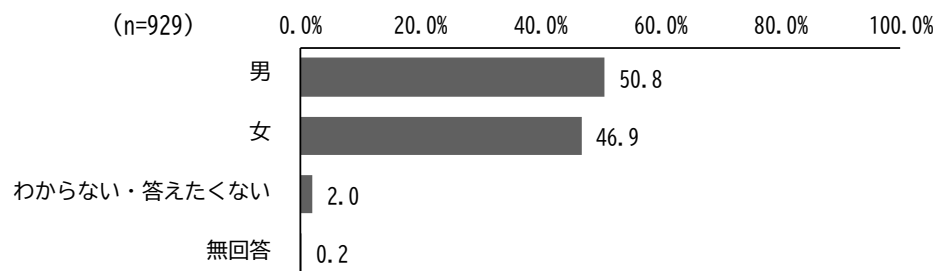
問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるものを1つ選択)

「性別」について、小学5年生では、「男」が48.9%、「女」が48.8%となっています。
中学2年生では、「男」が50.8%、「女」が46.9%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>

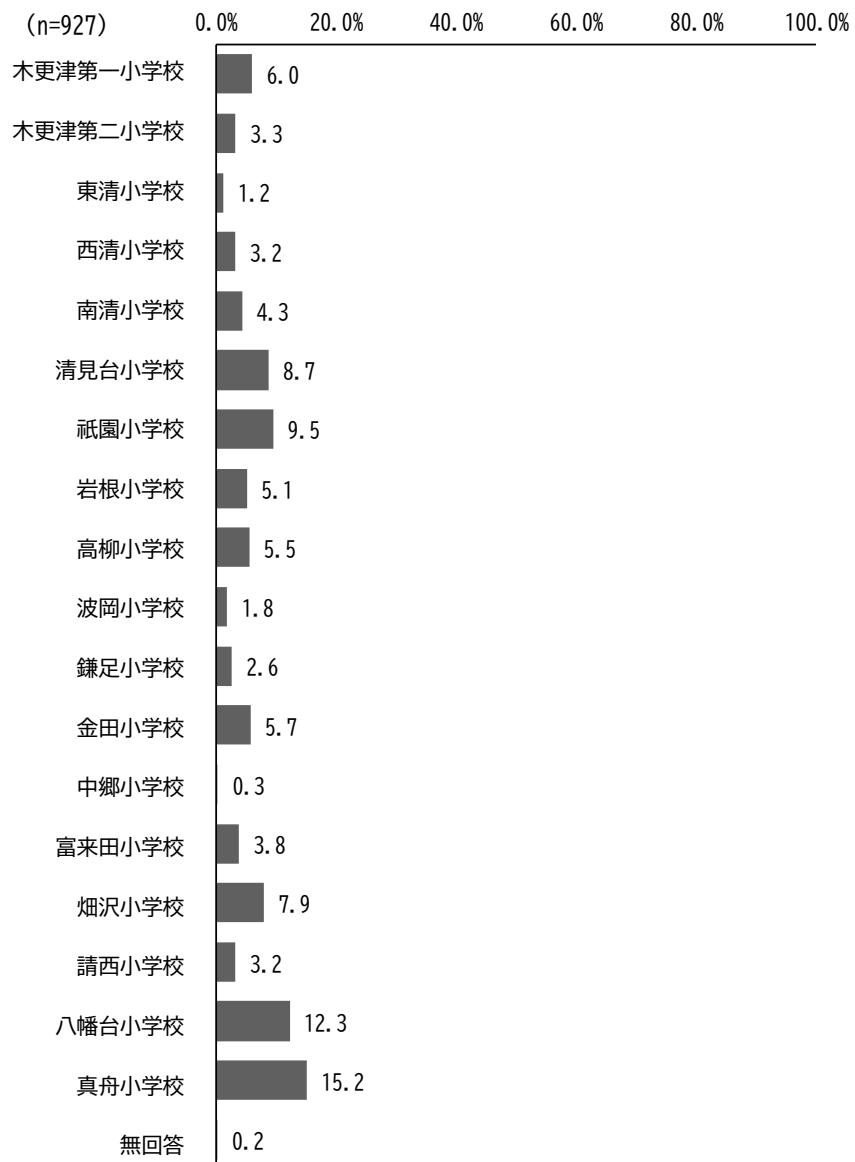


問2 あなたが現在通っている学校を選んでください。(あてはまるものを1つ選択)

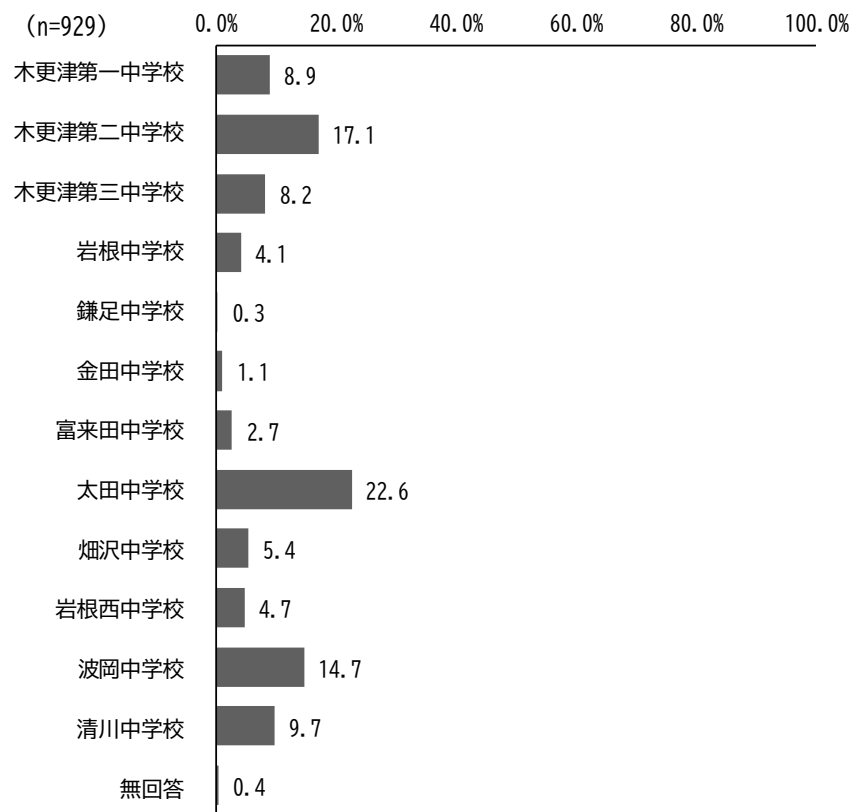
「現在通っている学校」について、小学5年生では、「真舟小学校」が15.2%で最も多く、次いで「八幡台小学校」が12.3%、「祇園小学校」が9.5%となっています。

中学2年生では、「太田中学校」が22.6%で最も多く、次いで「木更津第二中学校」が17.1%、「波岡中学校」が14.7%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>



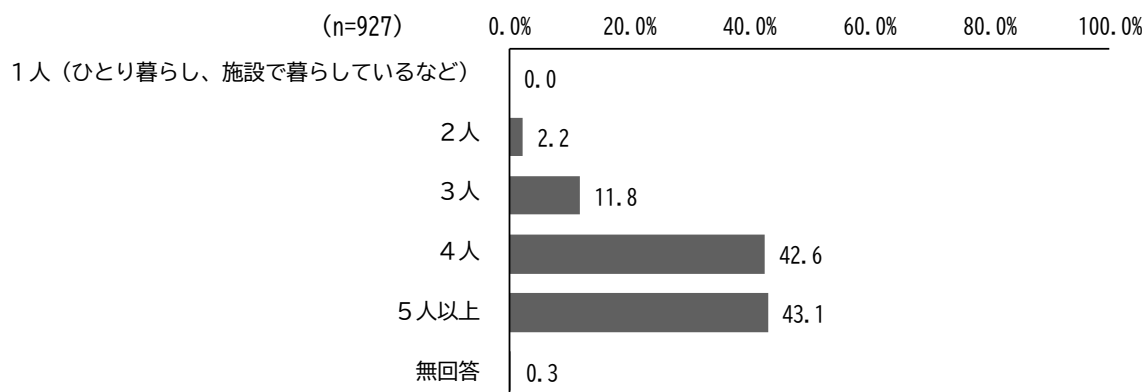
【小学5年生・中学2年生調査結果】

問3 あなたは何人家族ですか。(あなたを含めた人数を選んでください。)
(あてはまるものを1つ選択)

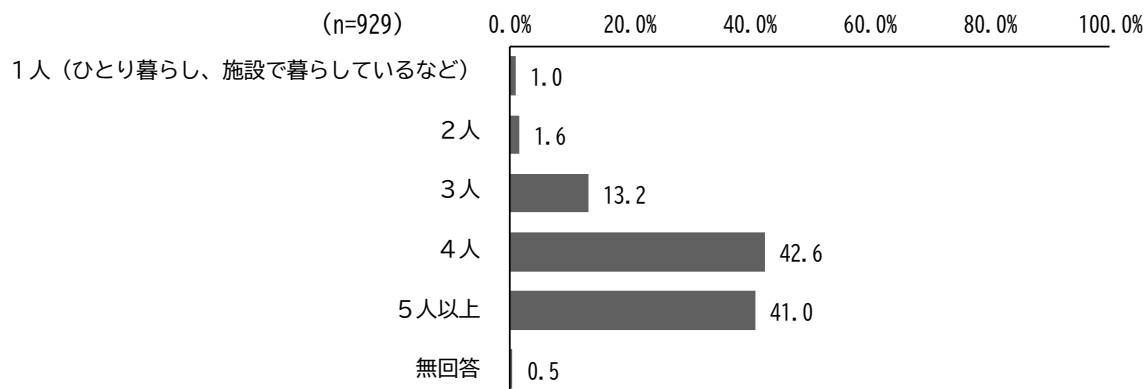
「家族の人数」について、小学5年生では、「5人以上」が43.1%で最も多く、次いで「4人」が42.6%、「3人」が11.8%となっています。

中学2年生では、「4人」が42.6%で最も多く、次いで「5人以上」が41.0%、「3人」が13.2%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>

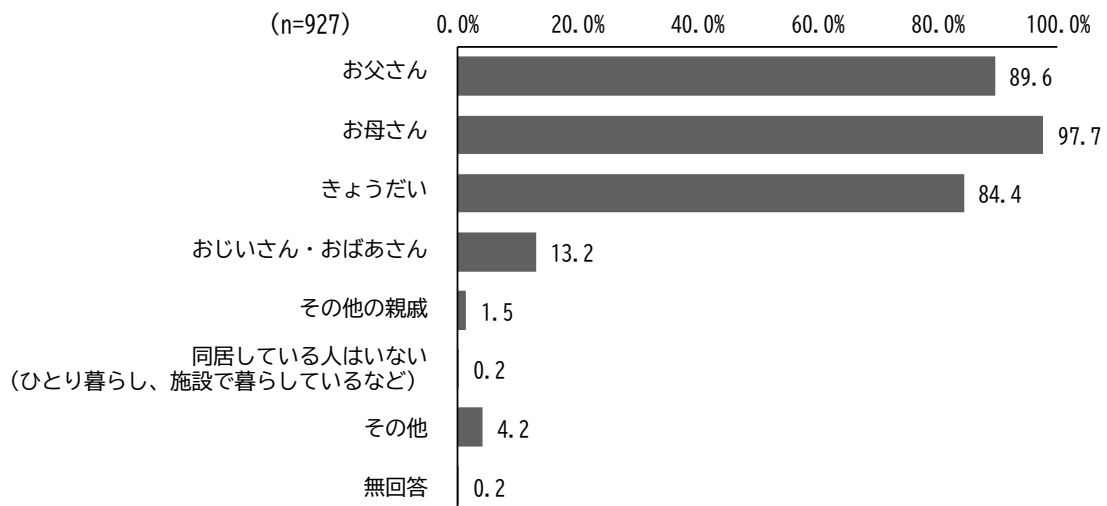


問4 あなたは誰と一緒に住んでいますか。(あてはまるものをすべて選択)

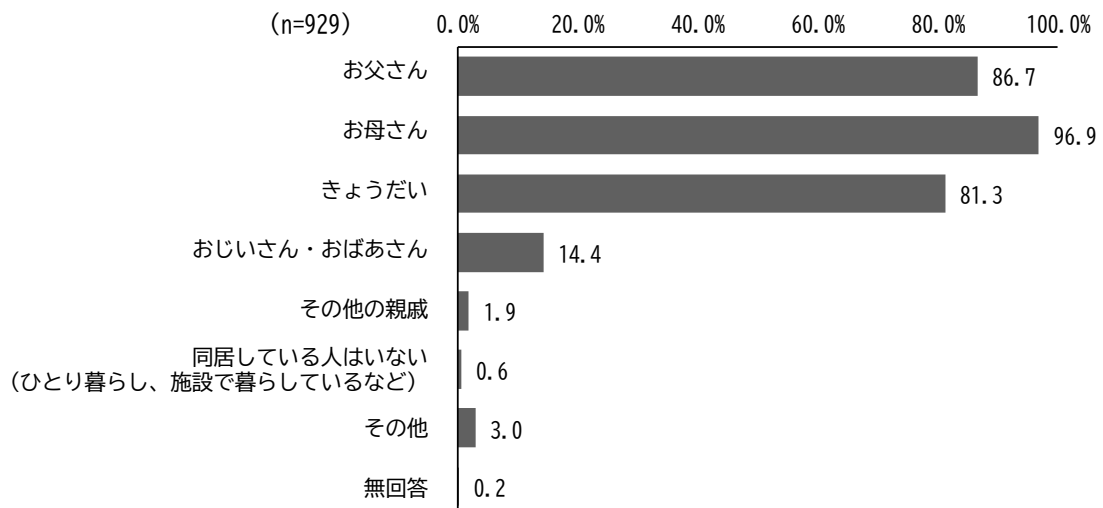
「一緒に住んでいる人」について、小学5年生では、「お母さん」が97.7%で最も多く、次いで「お父さん」が89.6%、「きょうだい」が84.4%となっています。

中学2年生では、「お母さん」が96.9%で最も多く、次いで「お父さん」が86.7%、「きょうだい」が81.3%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>

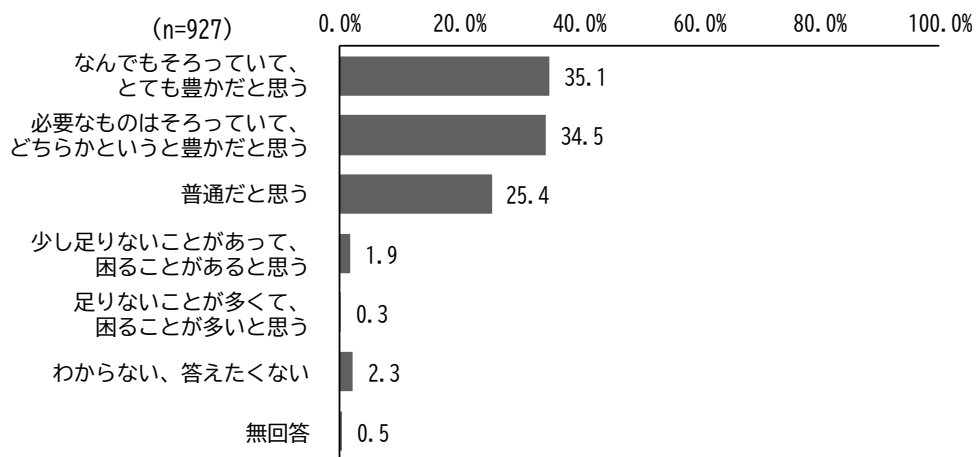


問5 あなたの暮らし（着ている服や家での食事など）は、まわりと比べてどれにあたると思いますか。あなたが思うものを選んでください。
（あてはまるものを1つ選択）

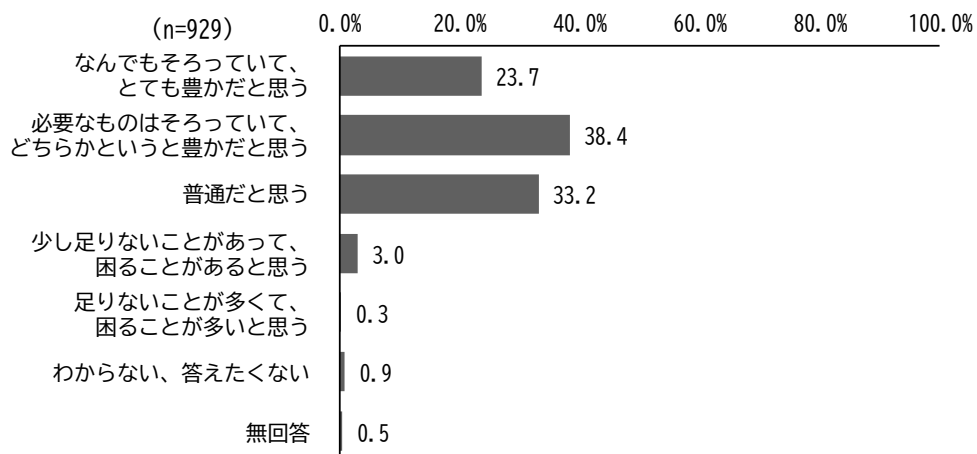
「暮らし」について、小学5年生では、「なんでもそろっていて、とても豊かだと思う」が35.1%で最も多く、次いで「必要なものはそろっていて、どちらかという豊かだと思う」が34.5%、「普通だと思う」が25.4%となっています。

中学2年生では、「必要なものはそろっていて、どちらかという豊かだと思う」が38.4%で最も多く、次いで「普通だと思う」が33.2%、「なんでもそろっていて、とても豊かだと思う」が23.7%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>



2 あなたの普段の生活や健康について教えてください

問6 あなたには、自分で使うことができる、次のものがありますか。ある場合は「ある」を選んでください。ない場合は、それが欲しいものであれば「欲しい」、いやなと思うものであれば、「欲しくない」を選んでください。
(それぞれ、あてはまるものを1つずつ選択)

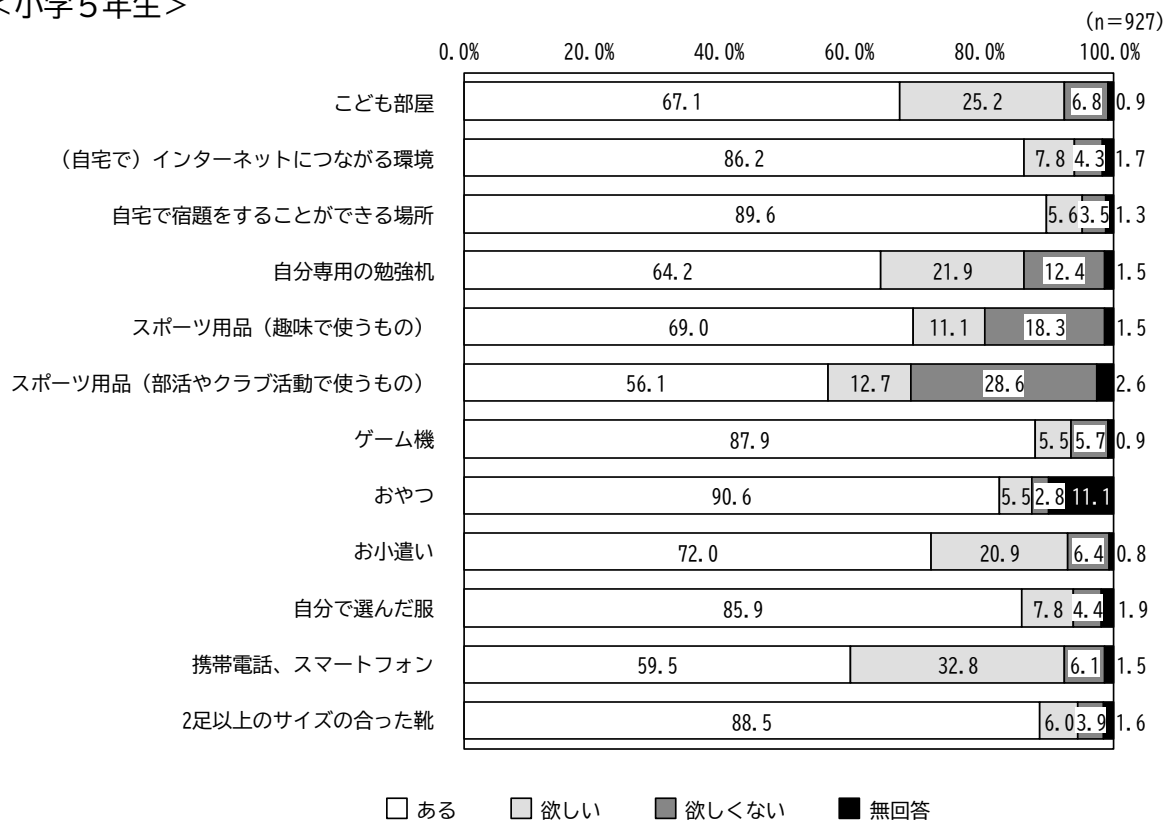
「自分で使うことができるもの」について、小学5年生の「ある」では、「おやつ」が90.6%で最も多く、次いで「自宅で宿題をすることができる場所」が89.6%、「2足以上のサイズの合った靴」が88.5%となっています。

「欲しい」では、「携帯電話、スマートフォン」が32.8%で最も多く、次いで「こども部屋」が25.2%、「自分専用の勉強机」が21.9%となっています。

中学2年生の「ある」では、「(自宅で) インターネットにつながる環境」が96.3%で最も多く、次いで「自宅で宿題をすることができる場所」が93.4%、「携帯電話、スマートフォン」が92.6%となっています。

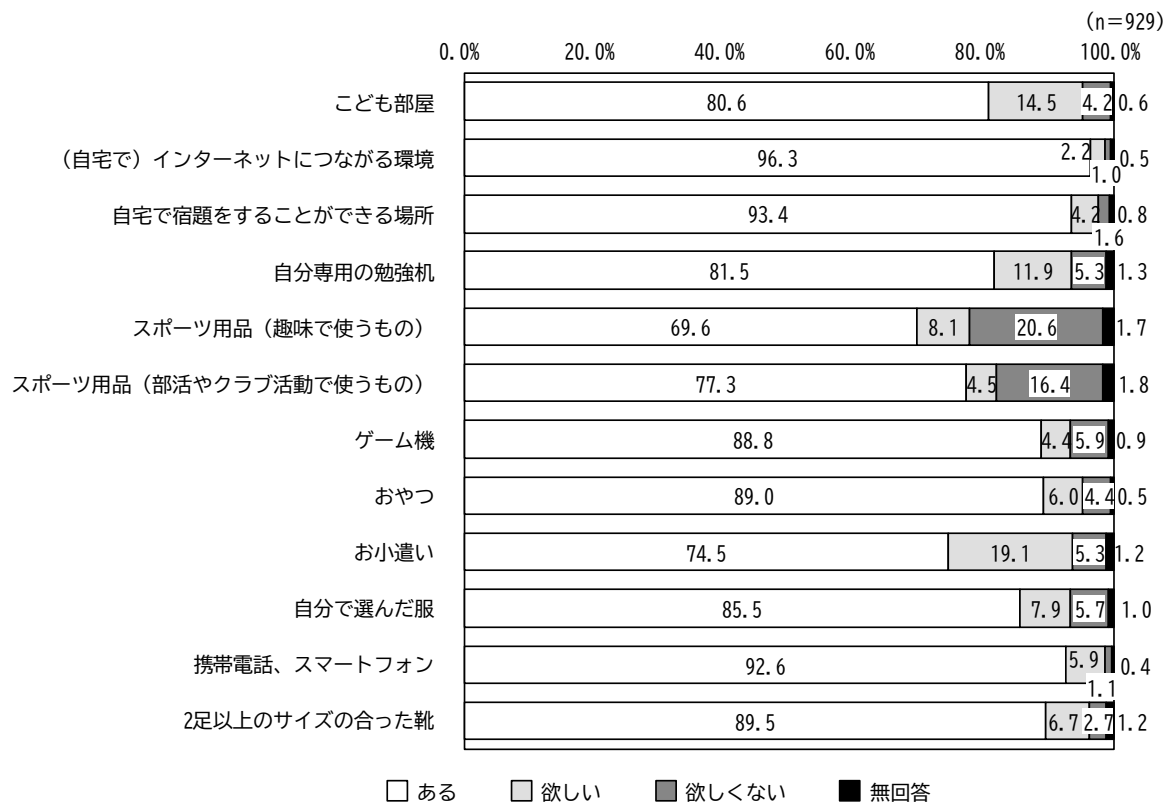
「欲しい」では、「お小遣い」が19.1%で最も多く、次いで「こども部屋」が14.5%、「自分専用の勉強机」が11.9%となっています。

<小学5年生>



【小学5年生・中学2年生調査結果】

<中学2年生>



問7 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。
(それぞれ、あてはまるものを1つずつ選択)

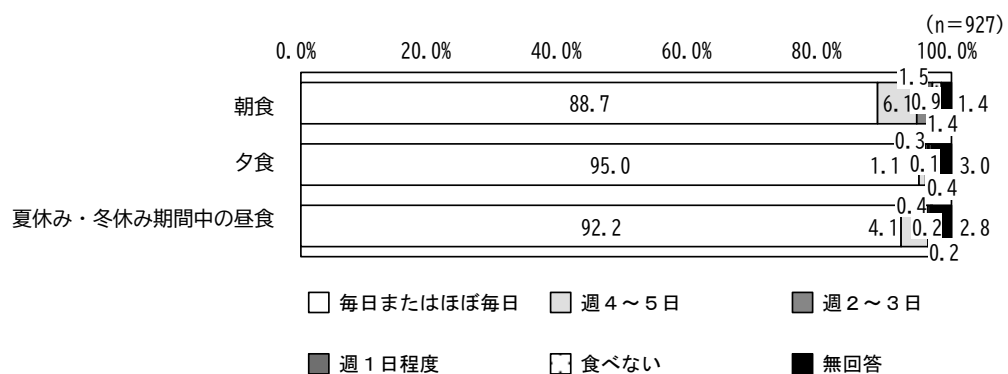
「週の食事」について、小学5年生の「毎日またはほぼ毎日」では、「夕食」が95.0%で最も多く、次いで「夏休み・冬休み期間中の昼食」が92.2%、「朝食」が88.7%となっています。

「週に4～5日」では、「朝食」が6.1%で最も多く、次いで「夏休み・冬休み期間中の昼食」が4.1%、「夕食」が1.1%となっています。

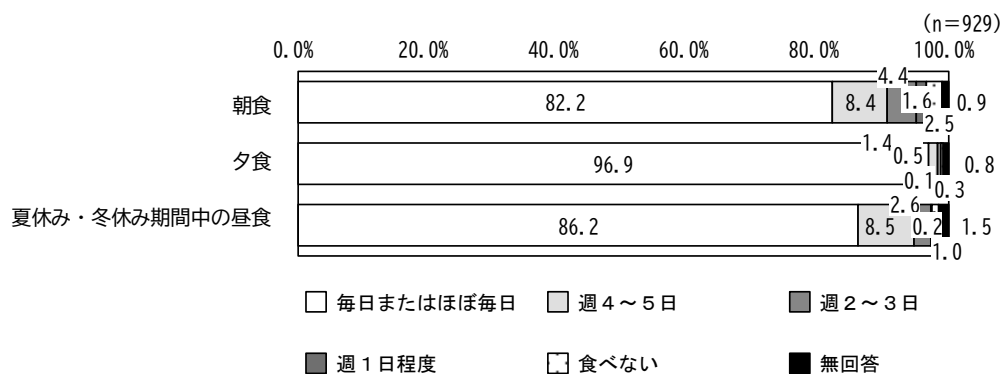
中学2年生の「毎日またはほぼ毎日」では、「夕食」が96.9%で最も多く、次いで「夏休み・冬休み期間中の昼食」が86.2%、「朝食」が82.2%となっています。

「週に4～5日」では、「夏休み・冬休み期間中の昼食」が8.5%で最も多く、次いで「朝食」が8.4%、「夕食」が1.4%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>



【問7で「毎日またはほぼ毎日」以外を選んだ人に質問です。】

問7-2 あなたが食事をしない理由を教えてください。(あてはまるものを1つ選択)

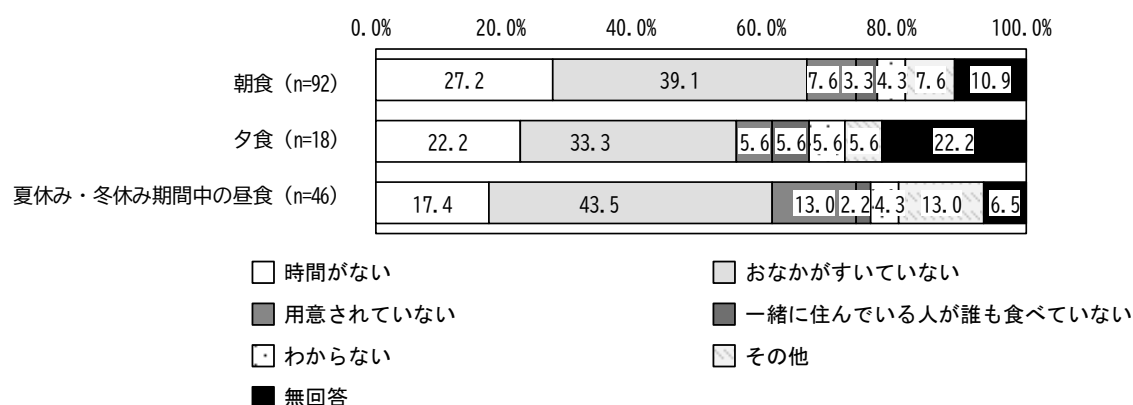
「食事をしない理由」について、小学5年生の「時間がない」では、「朝食」が27.2%で最も多く、次いで「夕食」が22.2%、「夏休み・冬休み期間中の昼食」が17.4%となっています。

「おなかがすいていない」では、「夏休み・冬休み期間中の昼食」が43.5%で最も多く、次いで「朝食」が39.1%、「夕食」が33.3%となっています。

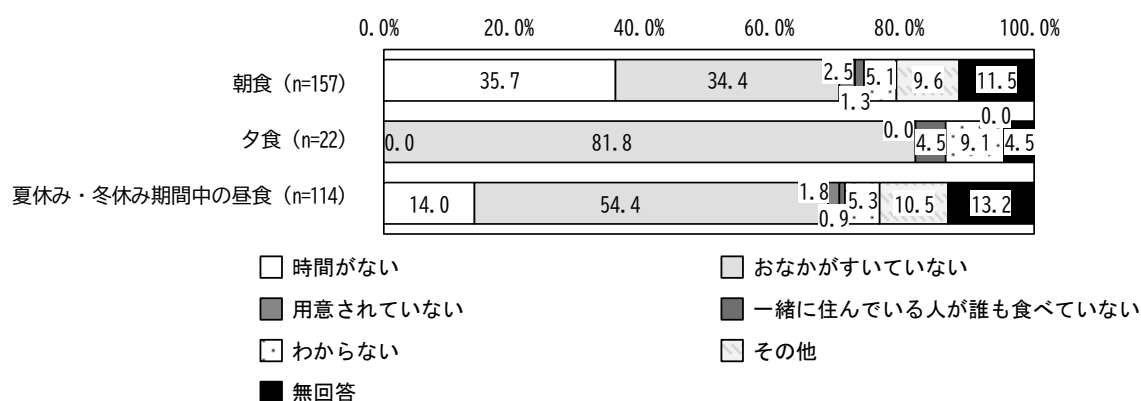
中学2年生の「時間がない」では、「朝食」が35.7%で最も多く、次いで「夏休み・冬休み期間中の昼食」が14.0%、「夕食」が0.0%となっています。

「おなかがすいていない」では、「夕食」が81.8%で最も多く、次いで「夏休み・冬休み期間中の昼食」が54.4%、「朝食」34.4%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>



問8 あなたは、おうちのおとなの人と次のようなことをどのくらいしていますか。
(それぞれ、あてはまるものを1つずつ選択)

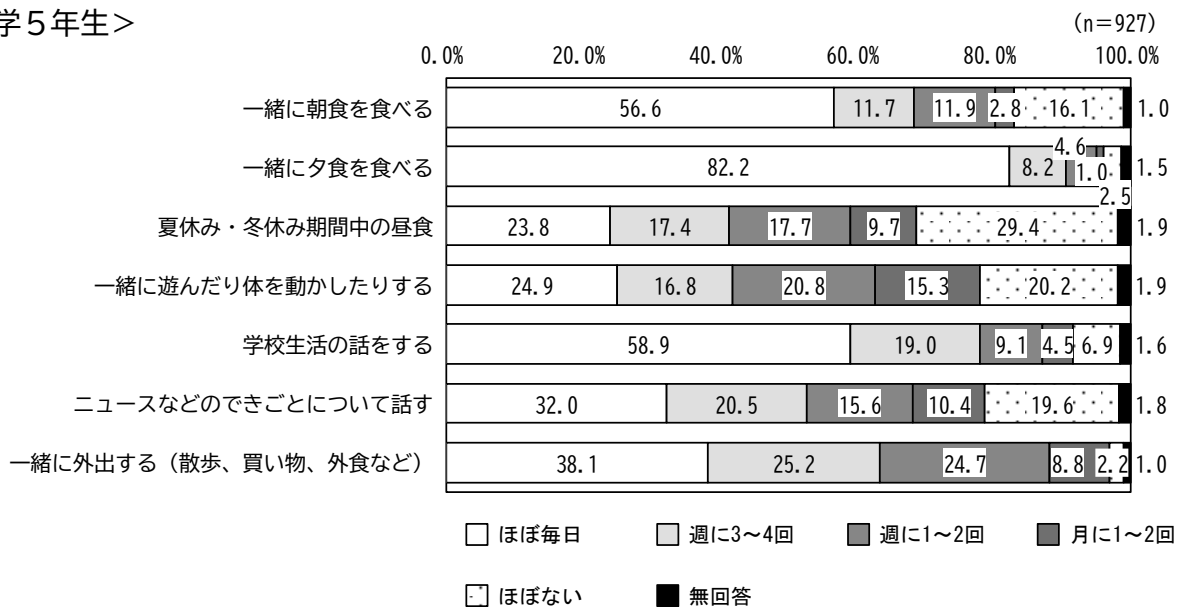
「おうちのおとなの人としてしていること」について、小学5年生の「ほぼ毎日」では、「一緒に夕食を食べる」が82.2%で最も多く、次いで、「学校生活の話をする」が58.9%、「一緒に朝食を食べる」が56.6%となっています。

「週に3～4回」では、「一緒に外出する（散歩、買い物、外食など）」が25.2%で最も多く、次いで「ニュースなどのできごとについて話す」が20.5%、「学校生活の話をする」が19.0%となっています。

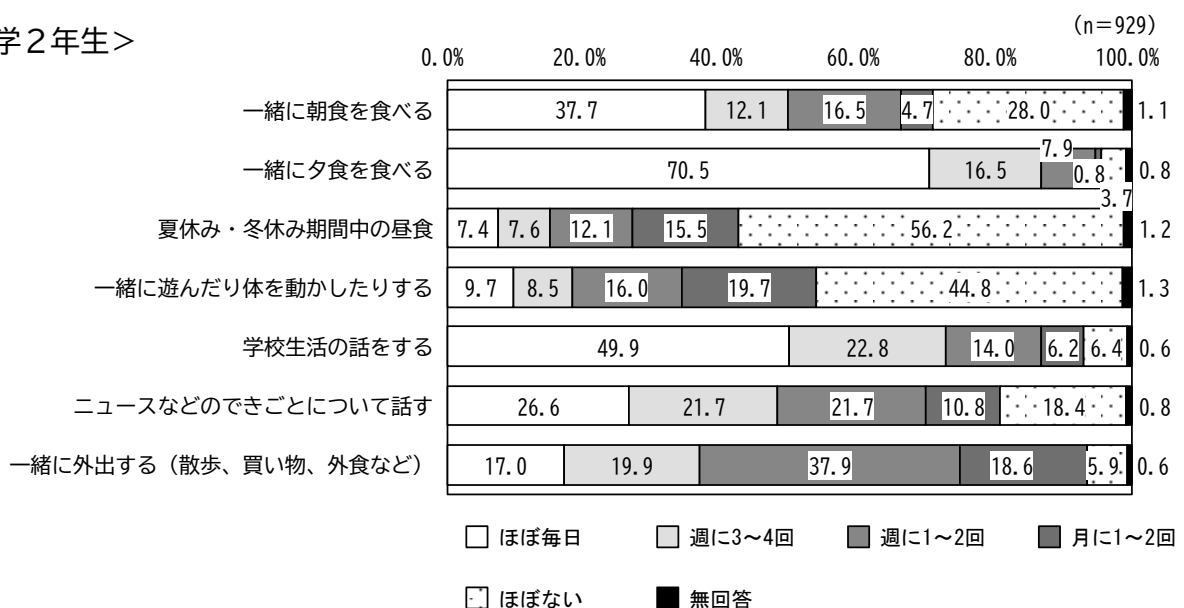
中学2年生の「ほぼ毎日」では、「一緒に夕食を食べる」が70.5%で最も多く、次いで「学校生活の話をする」が49.9%、「一緒に朝食を食べる」が37.7%となっています。

「週に3～4回」では、「学校生活の話をする」が22.8%で最も多く、次いで「ニュースなどのできごとについて話す」が21.7%、「一緒に外出する（散歩、買い物、外食など）」が19.9%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>

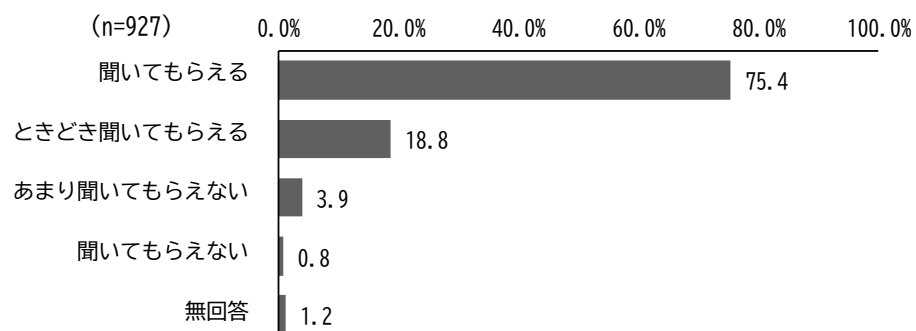


問9 家で何かを決めるとき、おとなにあなたの意見を聞いてもらえますか。
(あてはまるものを1つ選択)

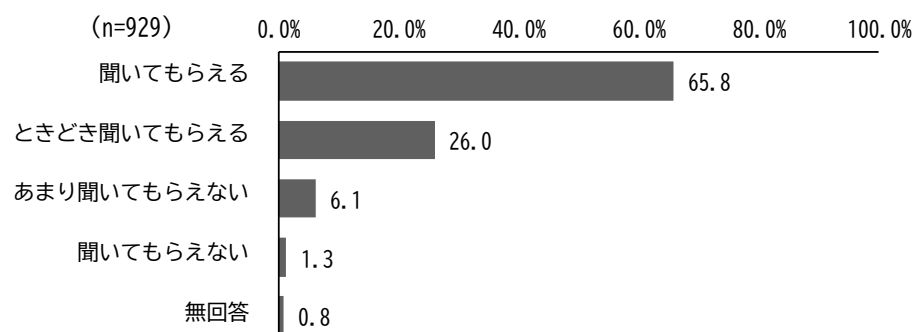
「家で何かを決めるとき、おとなに意見を聞いてもらえるか」について、小学5年生では、「聞いてもらえる」が75.4%で最も多く、次いで「ときどき聞いてもらえる」が18.8%、「あまり聞いてもらえない」が3.9%となっています。

中学2年生では、「聞いてもらえる」が65.8%で最も多く、次いで「ときどき聞いてもらえる」が26.0%、「あまり聞いてもらえない」が6.1%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>

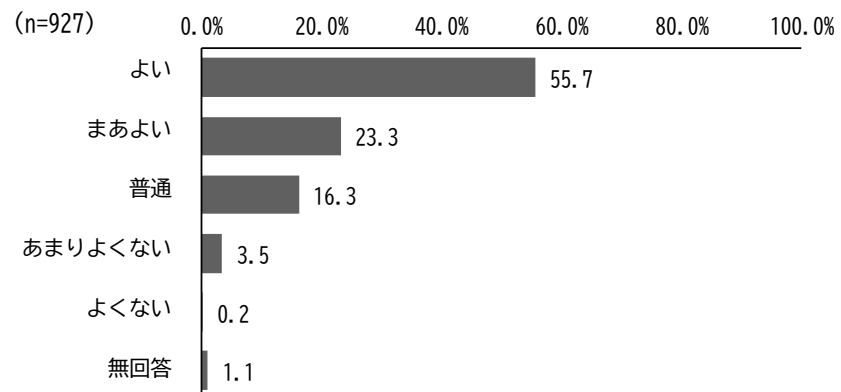


問 10 あなたは、自分の健康状態についてどう感じていますか。
(あてはまるものを1つ選択)

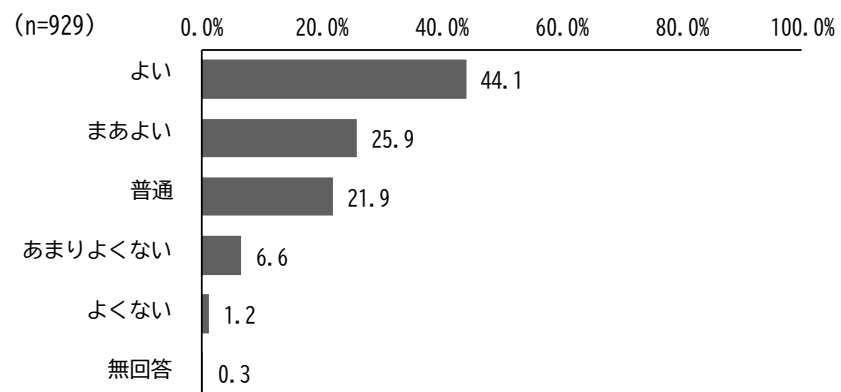
「自分の健康状態」について、小学5年生では、「よい」が55.7%で最も多く、次いで「まあよい」が23.3%、「普通」が16.3%となっています。

中学2年生では、「よい」が44.1%で最も多く、次いで「まあよい」が25.9%、「普通」が21.9%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>



【小学5年生・中学2年生調査結果】

【クロス集計：暮らし向き別】

「自分の健康状態」について、暮らし向き別でみると、生活の状態にかかわらず、小学5年生と中学2年生ともに「よい」の回答割合が高い傾向にあります。

いずれの学年も生活の状態が苦しい方の「よい」の回答割合は、生活の状態にゆとりがある方に比べ低い割合となっています。

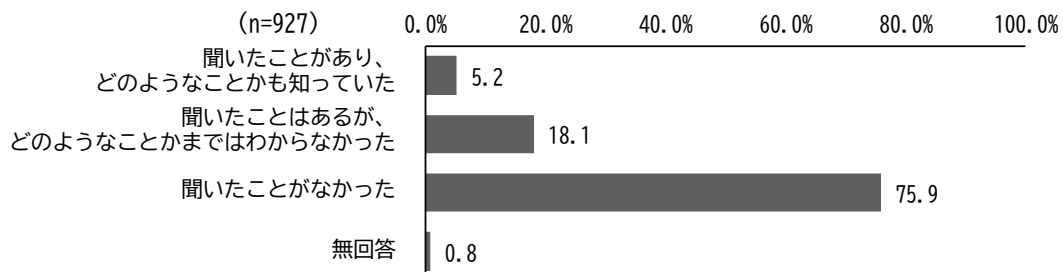
			上段：件数 下段：構成比（％）						
			全体	よい	まあよい	普通	あまりよくない	よくない	無回答
小学5年生	全体		927 100.0	516 55.7	216 23.3	151 16.3	32 3.5	2 0.2	10 1.1
	暮らし向き	ゆとりがある	645 100.0	394 61.1	150 23.3	75 11.6	17 2.6	2 0.3	7 1.1
		普通	235 100.0	106 45.1	52 22.1	68 28.9	8 3.4	－ －	1 0.4
		苦しい	21 100.0	7 33.3	6 28.6	4 19.0	3 14.3	－ －	1 4.8
		わからない、 答えたくない	21 100.0	7 33.3	6 28.6	4 19.0	4 19.0	－ －	－ －
	全体		929 100.0	410 44.1	241 25.9	203 21.9	61 6.6	11 1.2	3 0.3
暮らし向き	ゆとりがある	577 100.0	309 53.6	163 28.2	79 13.7	20 3.5	6 1.0	－ －	
	普通	308 100.0	95 30.8	72 23.4	106 34.4	32 10.4	3 1.0	－ －	
	苦しい	31 100.0	5 16.1	3 9.7	15 48.4	8 25.8	－ －	－ －	
	わからない、 答えたくない	8 100.0	1 12.5	1 12.5	3 37.5	1 12.5	2 25.0	－ －	

問 11 あなたは「ヤングケアラー」について聞いたことがありますか。
(あてはまるものを1つ選択)

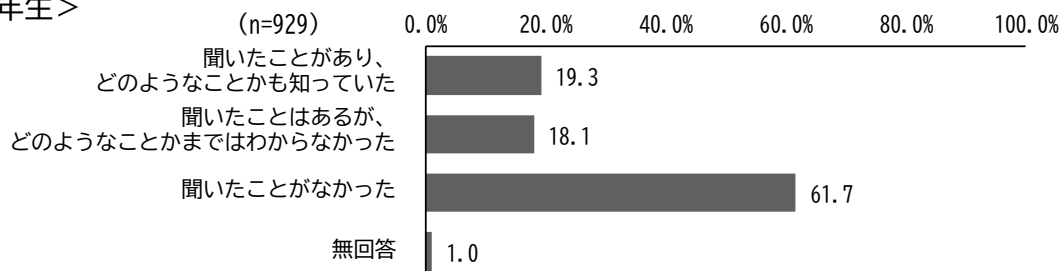
「「ヤングケアラー」の認知度」について、小学5年生では、「聞いたことがなかった」が75.9%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、どのようなことかまではわからなかった」が18.1%、「聞いたことがあり、どのようなことかも知っていた」が5.2%となっています。

中学2年生では、「聞いたことがなかった」が61.7%で最も多く、次いで「聞いたことがあり、どのようなことかも知っていた」が19.3%、「聞いたことはあるが、どのようなことかまではわからなかった」が18.1%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>



問 12 あなたは次のことを普段どれくらいしますか。
(それぞれ、あてはまるものを1つずつ選択)

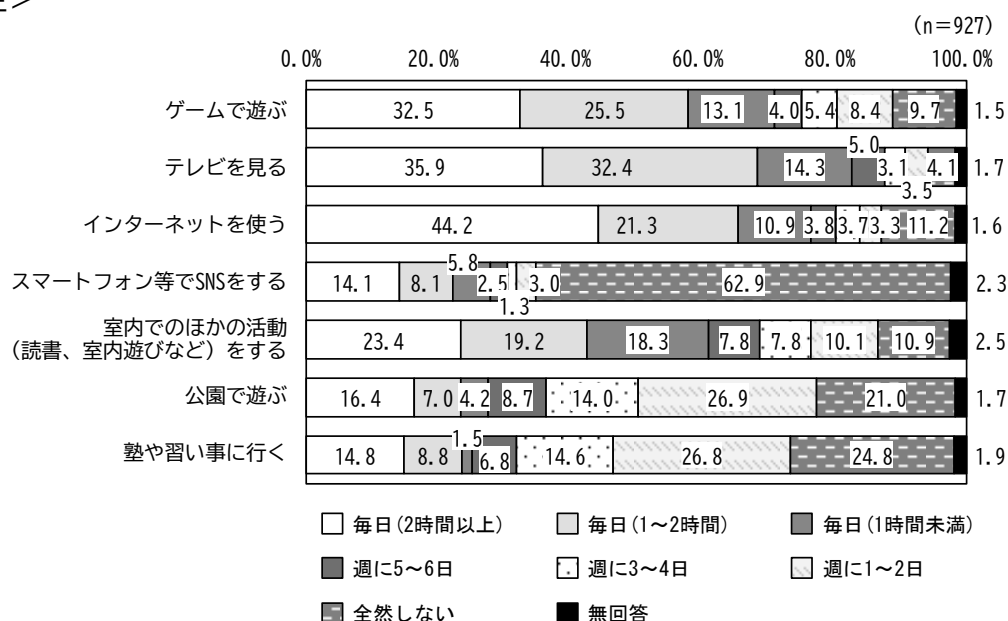
「普段していること」について、小学5年生の「毎日（2時間以上）」では、「インターネットを使う」が44.2%で最も多く、次いで「テレビを見る」が35.9%、「ゲームで遊ぶ」が32.5%となっています。

「毎日（1～2時間）」では、「テレビを見る」が32.4%で最も多く、次いで「ゲームで遊ぶ」が25.5%、「インターネットを使う」が21.3%となっています。

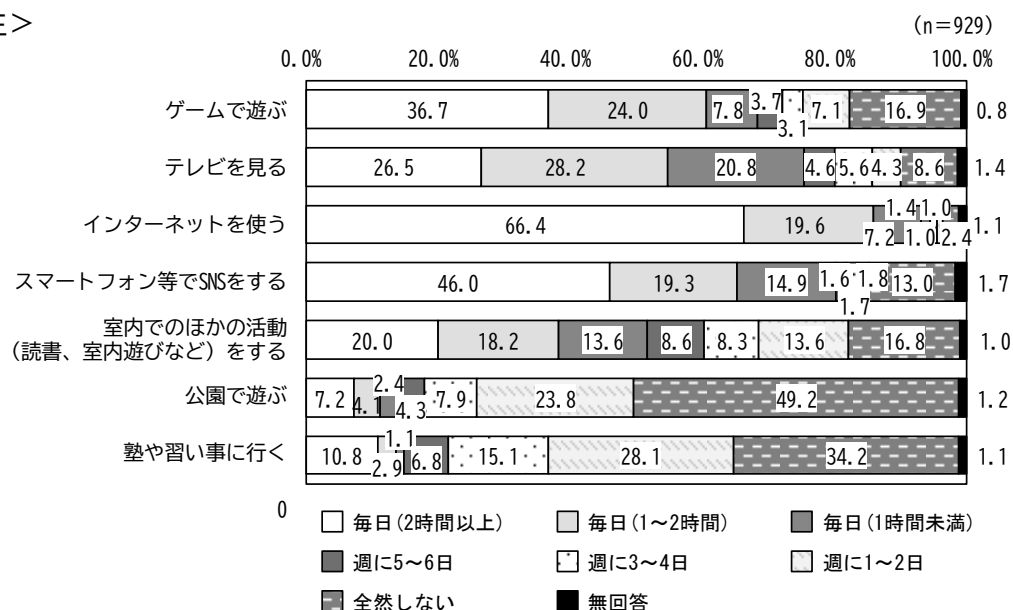
中学2年生の「毎日（2時間以上）」では、「インターネットを使う」が66.4%で最も多く、次いで「スマートフォン等でSNSをする」が46.0%、「ゲームで遊ぶ」が36.7%となっています。

「毎日（1～2時間）」では、「テレビを見る」が28.2%で最も多く、次いで「ゲームで遊ぶ」が24.0%、「インターネットを使う」が19.6%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>

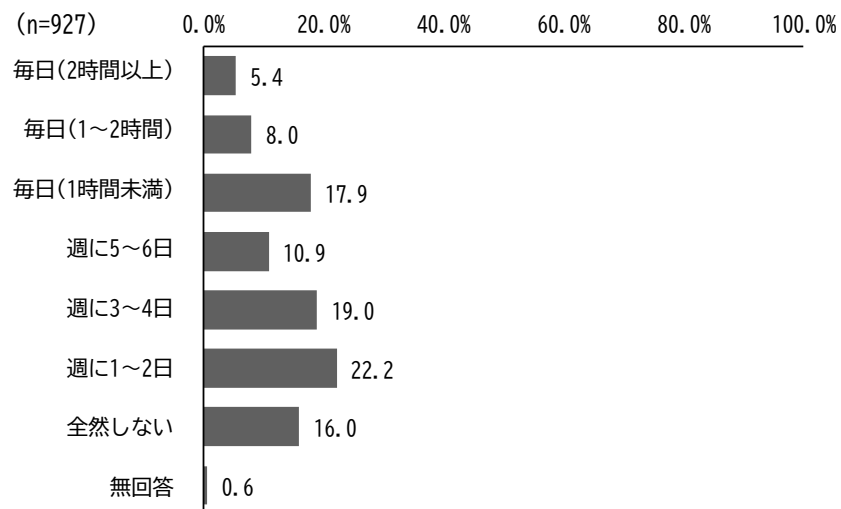


問 13 あなたは家事（料理や掃除、洗濯など）を普段どのくらいしますか。
（あてはまるものを1つ選択）

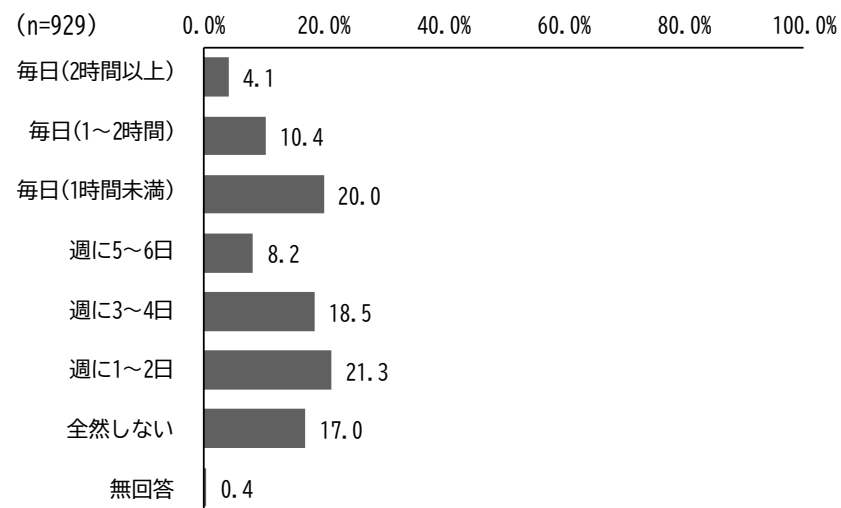
「家事を普段どのくらいするか」について、小学5年生では、「週に1～2日」が22.2%で最も多く、次いで「週に3～4日」が19.0%、「毎日（1時間未満）」が17.9%となっています。

中学2年生では、「週に1～2日」が21.3%で最も多く、次いで「毎日（1時間未満）」が20.0%、「週に3～4日」が18.5%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>



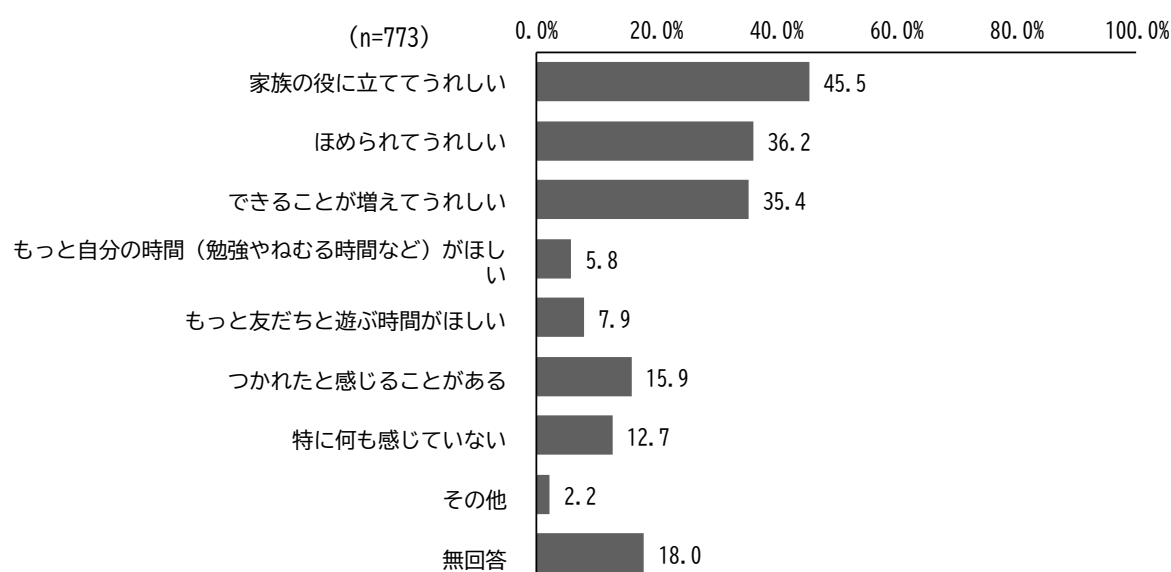
【問13で「全然しない」以外を選んだ人に質問です。】

問13-2 あなたは、家事をすることをどう思っていますか。
(あてはまるものをすべて選択)

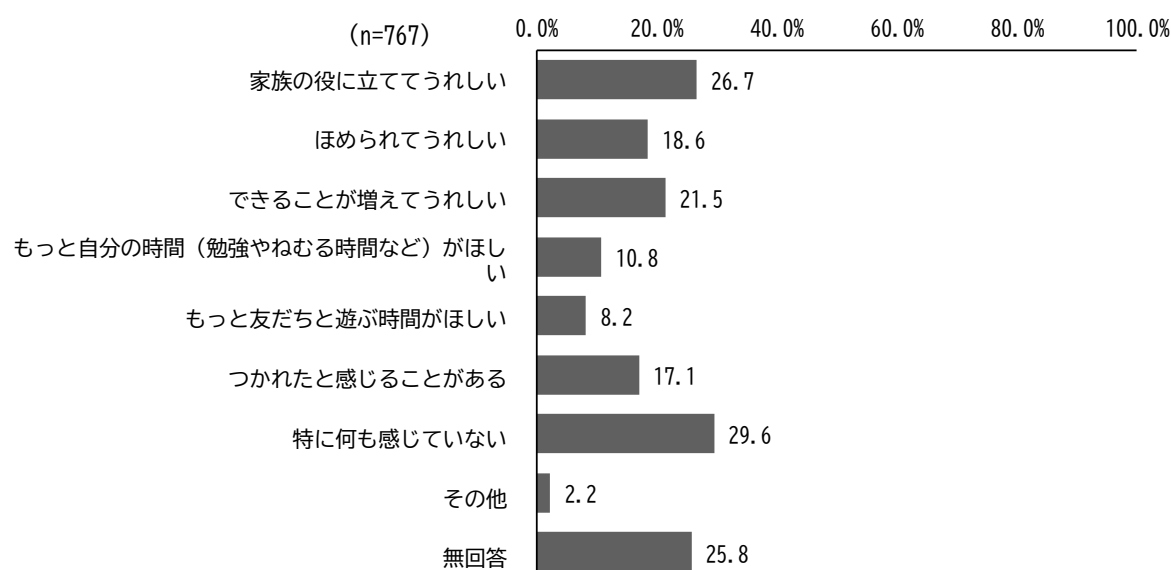
「家事をすること」について、小学5年生では、「家族の役に立ててうれしい」が45.5%で最も多く、次いで「ほめられてうれしい」が36.2%、「できることが増えてうれしい」が35.4%となっています。

中学2年生では、「特に何も感じていない」が29.6%で最も多く、次いで「家族の役に立ててうれしい」が26.7%、「できることが増えてうれしい」が21.5%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>

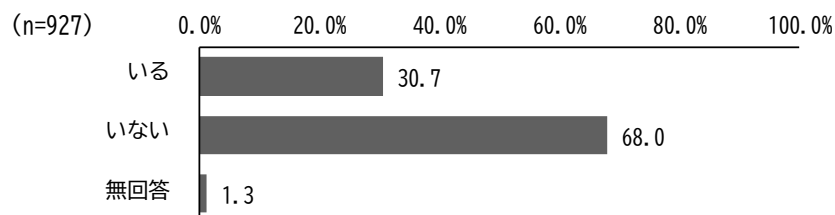


問 14 あなたが中心となって、お世話をしている家族はいますか。
(あてはまるものを1つ選択)

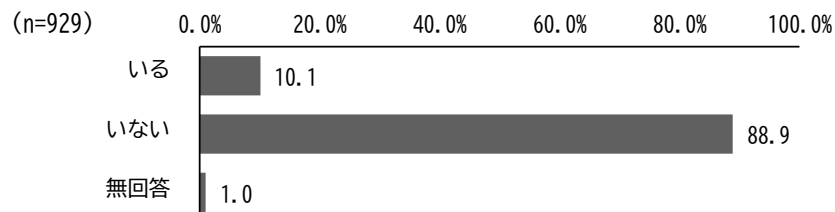
「中心となって、お世話をしている家族」について、小学5年生では、「いる」が30.7%、「いない」が68.0%となっています。

中学2年生では、「いる」が10.1%、「いない」が88.9%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>



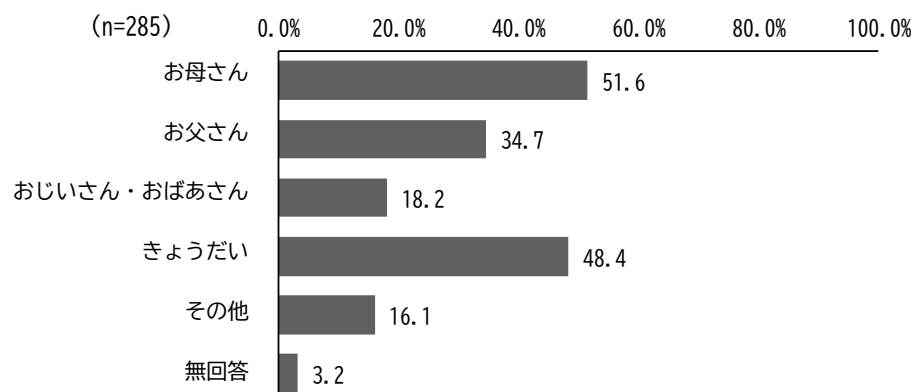
【問 14 で「いる」を選んだ人に質問です。】

問 14－2 あなたがお世話をしている人はだれですか。（あてはまるものをすべて選択）

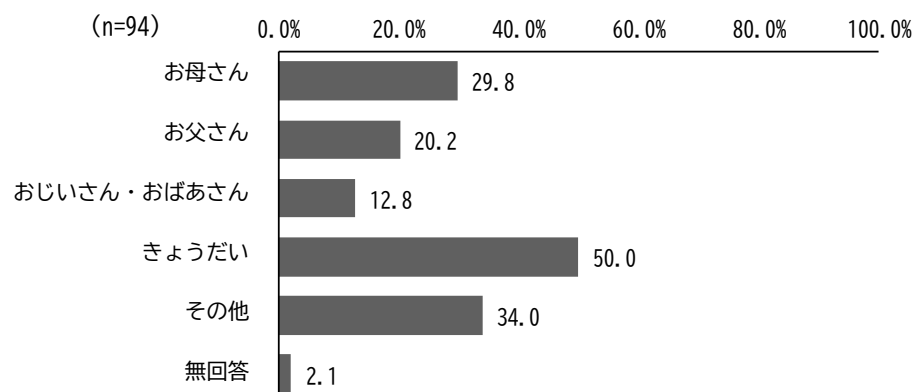
「お世話をしている人」について、小学5年生では、「お母さん」が51.6%で最も多く、次いで「きょうだい」が48.4%、「お父さん」が34.7%となっています。

中学2年生では、「きょうだい」が50.0%で最も多く、次いで「その他」が34.0%、「お母さん」が29.8%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>



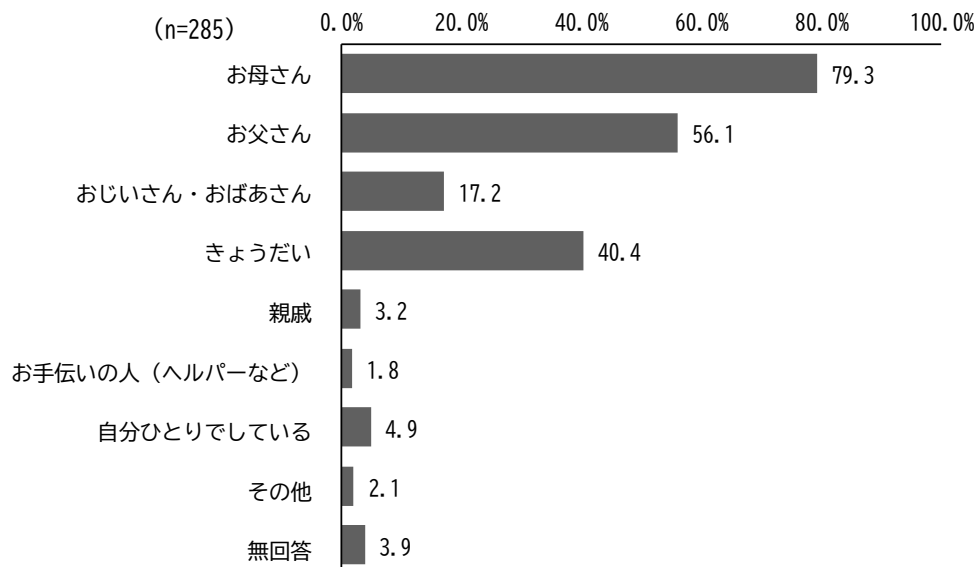
【問 14 で「いる」を選んだ人に質問です。】

問 14－3 あなたはお世話をだれと一緒にしていますか。
(あてはまるものをすべて選択)

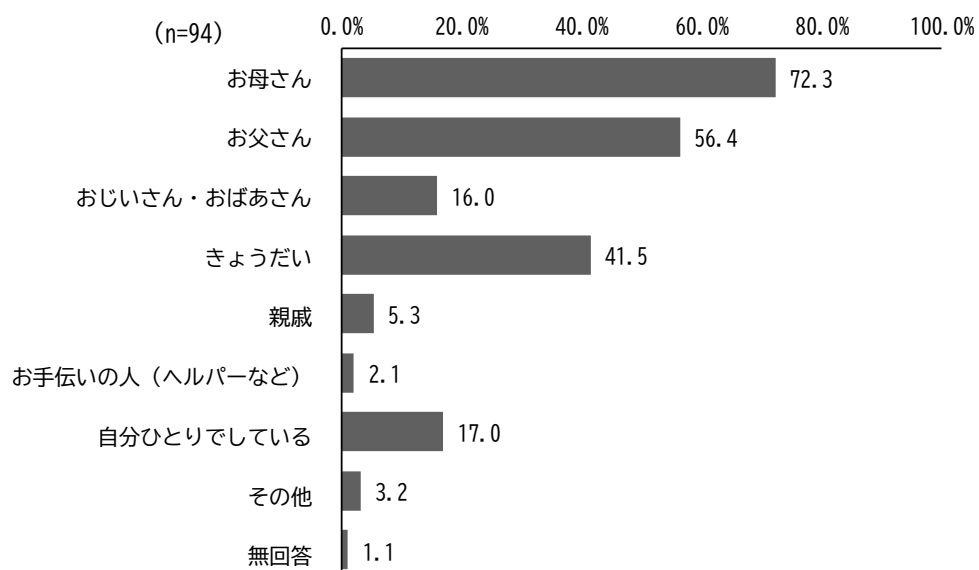
「一緒にお世話をしている人」について、小学5年生では、「お母さん」が79.3%で最も多く、次いで「お父さん」が56.1%、「きょうだい」が40.4%となっています。

中学2年生では、「お母さん」が72.3%で最も多く、次いで「お父さん」が56.4%、「きょうだい」が41.5%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>



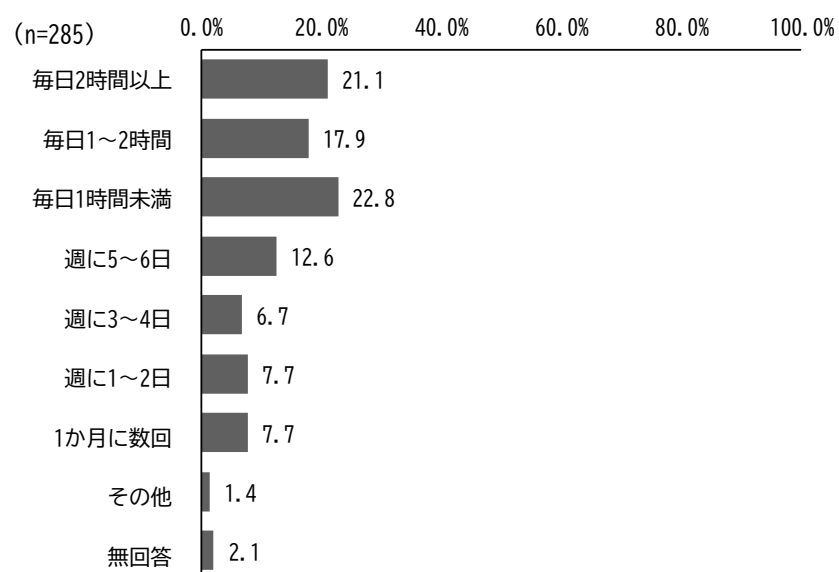
【小学5年生・中学2年生調査結果】

【問 14 で「いる」を選んだ人に質問です。】

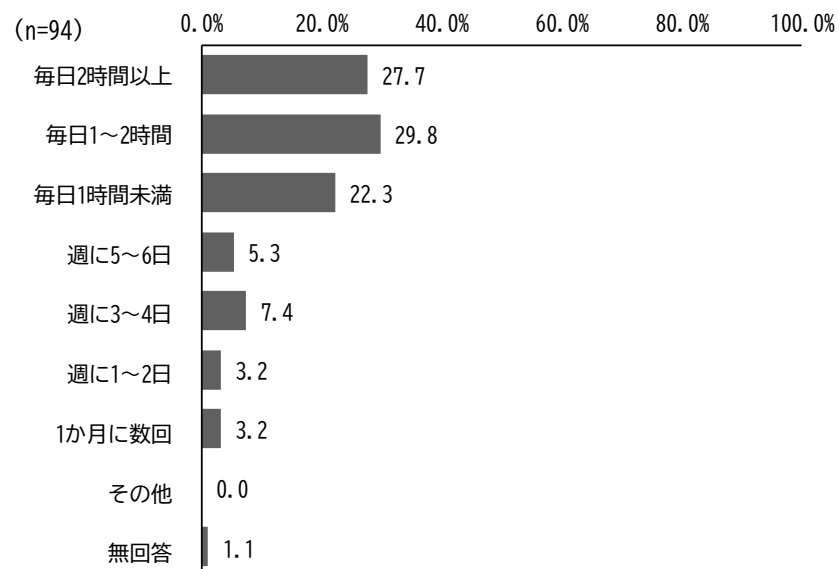
問 14－4 あなたはどのくらいお世話をしていますか。
(あてはまるものを1つ選択)

「どのくらいお世話をしているか」について、小学5年生では、「毎日1時間未満」が22.8%で最も多く、次いで「毎日2時間以上」が21.1%、「毎日1～2時間」が17.9%となっています。
中学2年生では、「毎日1～2時間」が29.8%で最も多く、次いで「毎日2時間以上」が27.7%、「毎日1時間未満」が22.3%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>



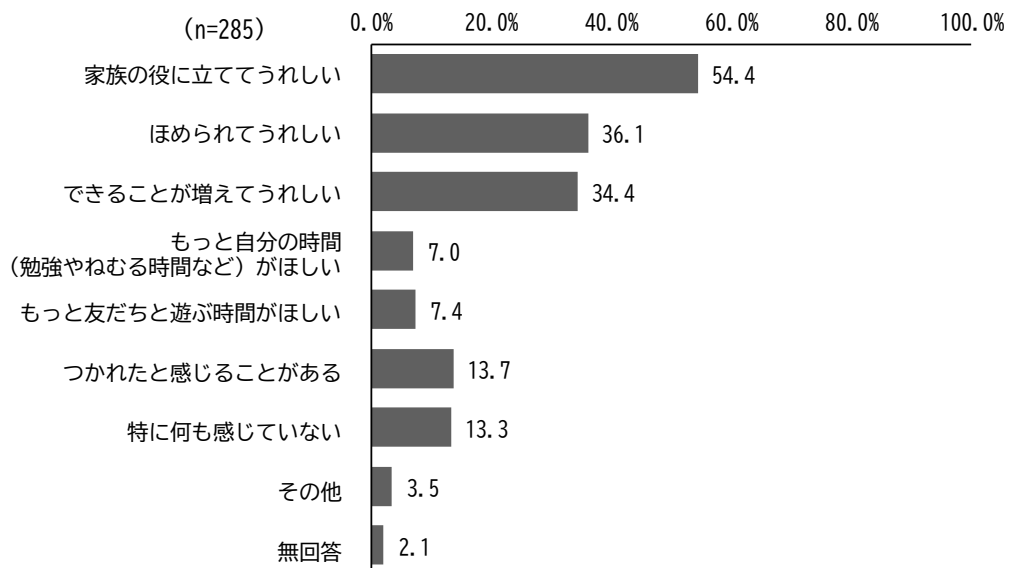
【問 14 で「いる」を選んだ人に質問です。】

問 14－5 あなたは、家族のお世話をすることをどう思っていますか。
(あてはまるものをすべて選択)

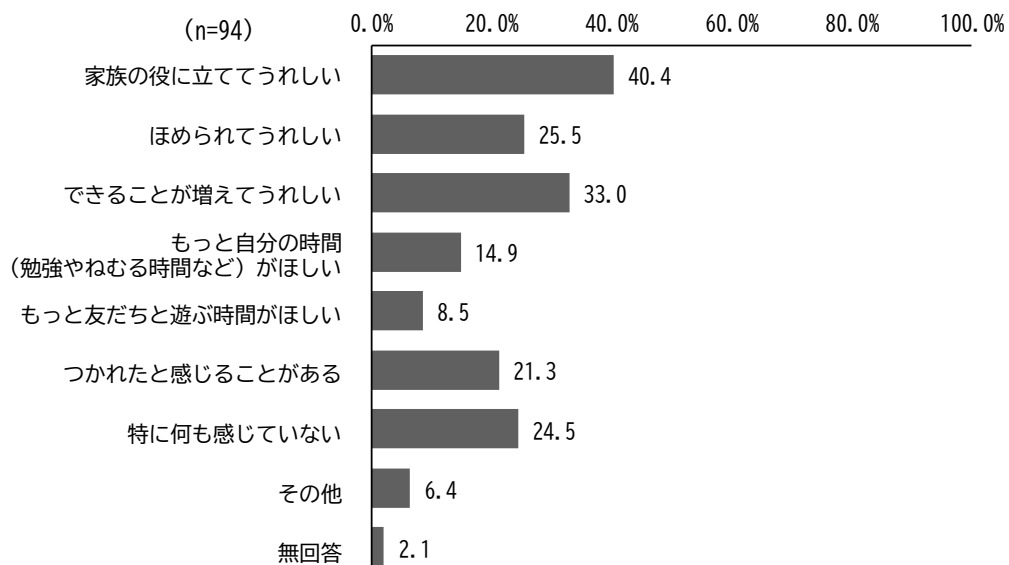
「家族のお世話をすること」について、小学5年生では、「家族の役に立ててうれしい」が54.4%で最も多く、次いで「ほめられてうれしい」が36.1%、「できることが増えてうれしい」が34.4%となっています。

中学2年生では、「家族の役に立ててうれしい」が40.4%で最も多く、次いで「できることが増えてうれしい」が33.0%、「ほめられてうれしい」が25.5%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>



3 あなたが普段考えていることについておたずねします

問15 あなたはどれくらいあてはまりますか。
(それぞれ、あてはまるものを1つずつ選択)

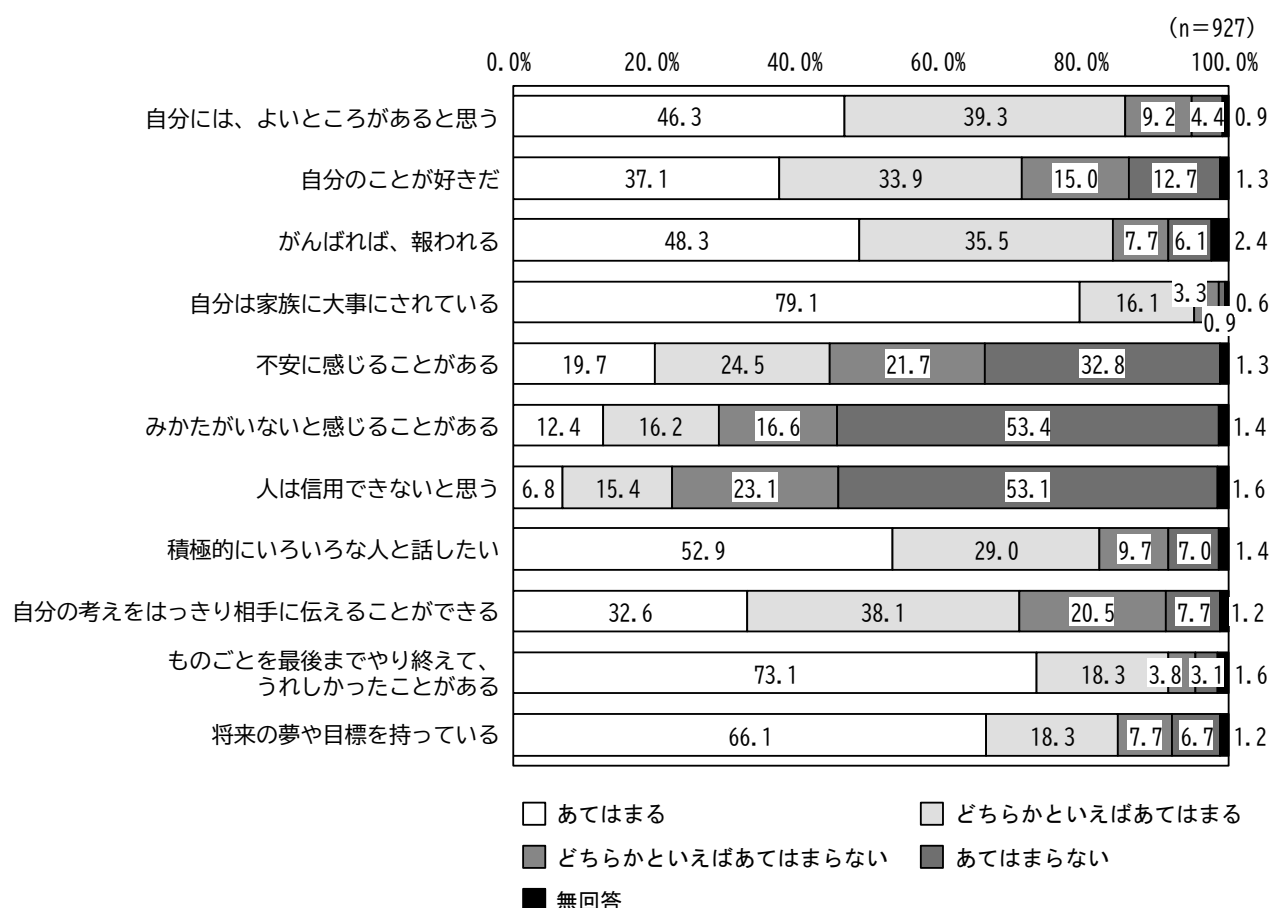
「あなた自身」について、小学5年生の「あてはまる」では、「自分は家族に大事にされている」が79.1%で最も多く、次いで「ものごとを最後までやり終えて、うれしかったことがある」が73.1%、「将来の夢や目標を持っている」が66.1%となっています。

「どちらかといえばあてはまる」では、「自分には、よいところがあると思う」が39.3%で最も多く、次いで「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」が38.1%、「がんばれば、報われる」が35.5%となっています。

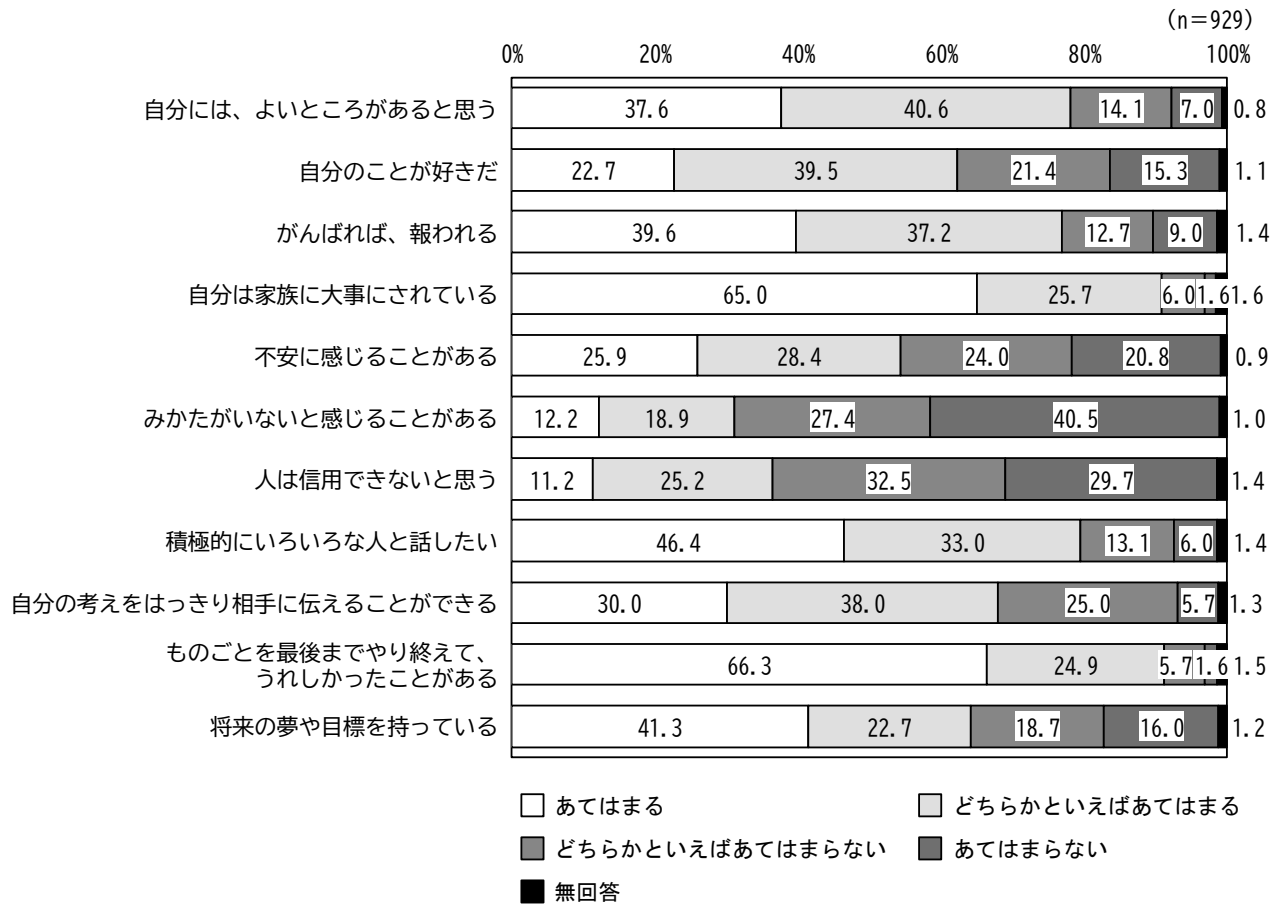
中学2年生の「あてはまる」では、「ものごとを最後までやり終えて、うれしかったことがある」が66.3%で最も多く、次いで「自分は家族に大事にされている」が65.0%、「積極的にいろいろな人と話したい」が46.4%となっています。

「どちらかといえばあてはまる」では、「自分には、よいところがあると思う」が40.6%で最も多く、次いで「自分のことが好きだ」が39.5%、「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」が38.0%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>



問 16 あなたの、まわりの人との関係について、教えてください。
(それぞれ、あてはまるものを1つずつ選択)

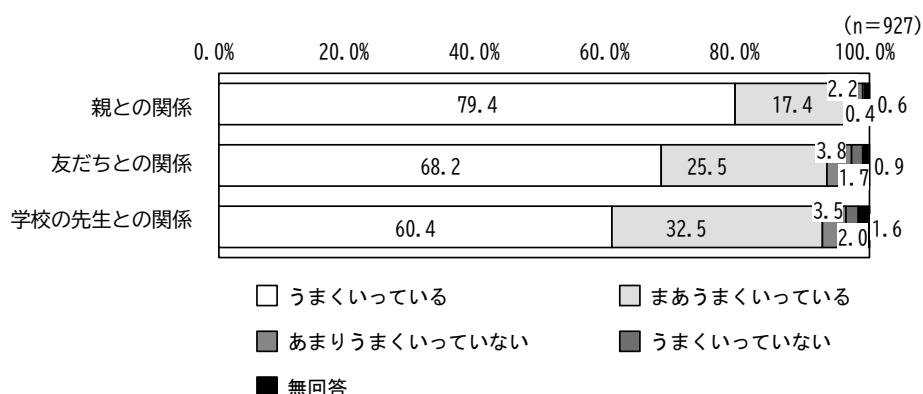
「まわりの人との関係」について、小学5年生の「うまくいっている」では、「親との関係」が79.4%で最も多く、次いで「友だちとの関係」が68.2%、「学校の先生との関係」が60.4%となっています。

「まあうまくいっている」では、「学校の先生との関係」が32.5%で最も多く、次いで「友だちとの関係」が25.5%、「親との関係」が17.4%となっています。

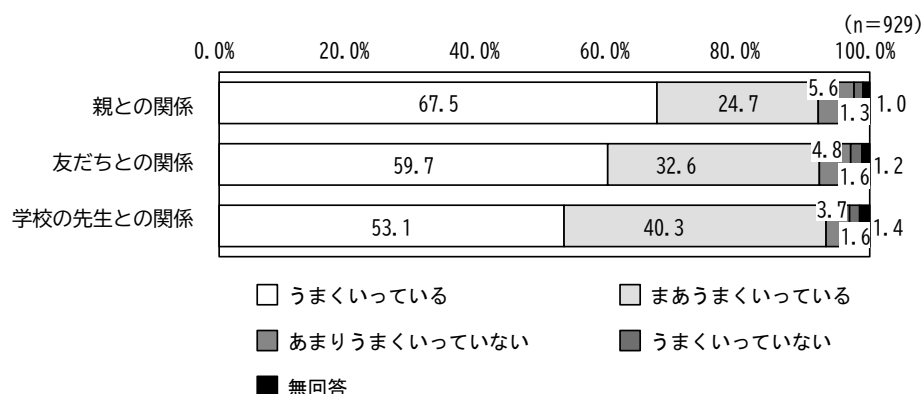
中学2年生の「うまくいっている」では、「親との関係」が67.5%で最も多く、次いで「友だちとの関係」が59.7%、「学校の先生との関係」が53.1%となっています。

「まあうまくいっている」では、「学校の先生との関係」が40.3%で最も多く、次いで「友だちとの関係」が32.6%、「親との関係」が24.7%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>



4 あなたが普段過ごす場所について教えてください

問 17 あなたが、学校のある日の放課後（夕方6時くらいまで）過ごしている場所や、過ごしたいと思う場所はどこですか。
（それぞれ、あてはまるものを1つずつ選択）

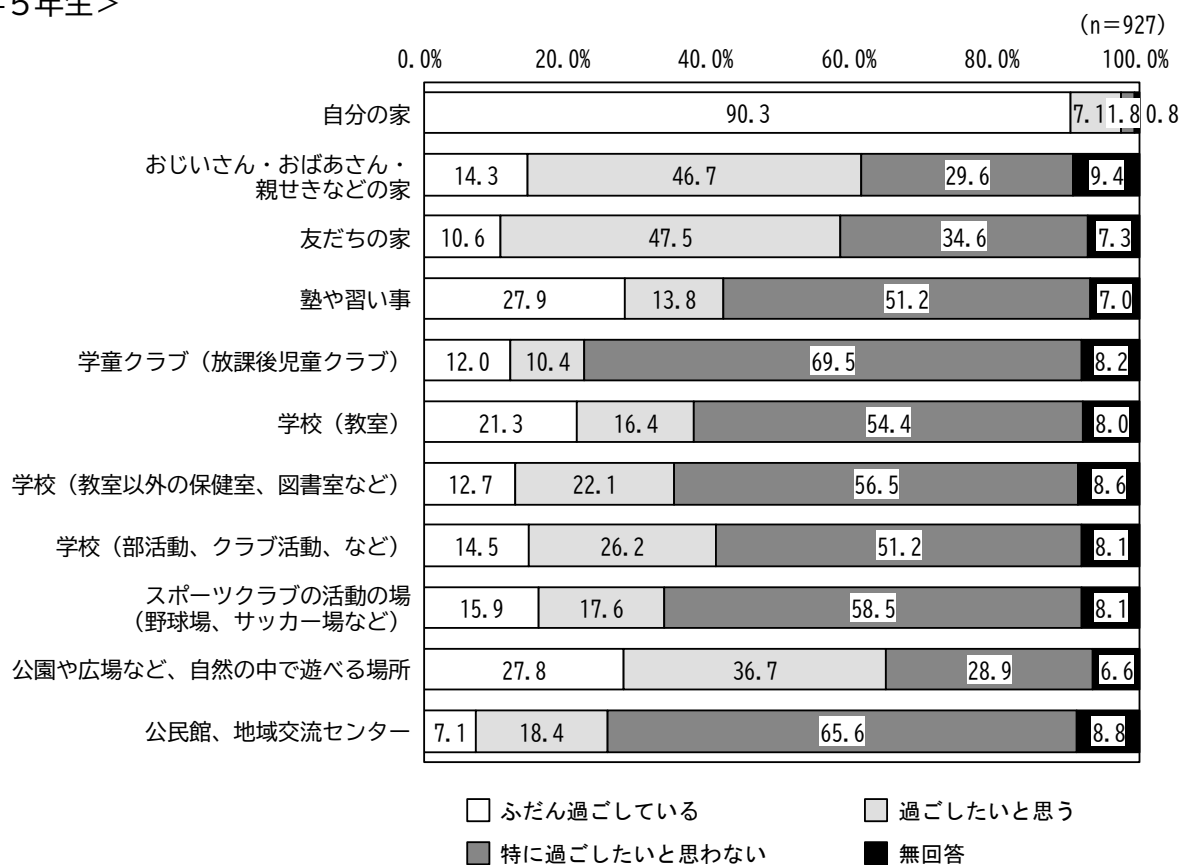
「普段過ごしている場所や、過ごしたいと思う場所」について、小学5年生の「ふだん過ごしている」では、「自分の家」が90.3%で最も多く、次いで「塾や習い事」が27.9%、「公園や広場など、自然の中で遊べる場所」が27.8%となっています。

「過ごしたいと思う」では、「友だちの家」が47.5%で最も多く、次いで「おじいさん・おばあさん・親せきなどの家」が46.7%、「公園や広場など、自然の中で遊べる場所」が36.7%となっています。

中学2年生の「ふだん過ごしている」では、「自分の家」が87.8%で最も多く、次いで「学校（部活動、クラブ活動、など）」が43.4%、「塾や習い事」が19.6%となっています。

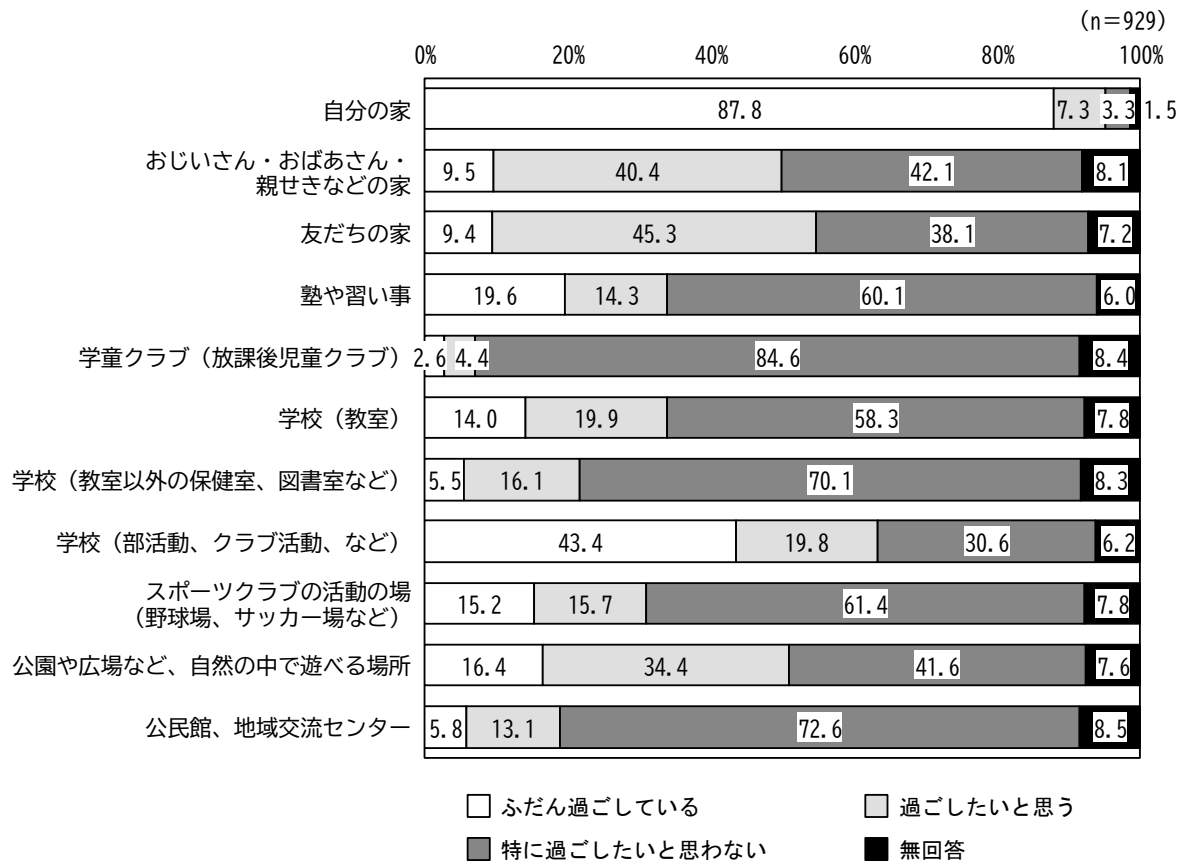
「過ごしたいと思う」では、「友だちの家」が45.3%で最も多く、次いで「おじいさん・おばあさん・親せきなどの家」が40.4%、「公園や広場など、自然の中で遊べる場所」が34.4%となっています。

<小学5年生>



【小学5年生・中学2年生調査結果】

<中学2年生>

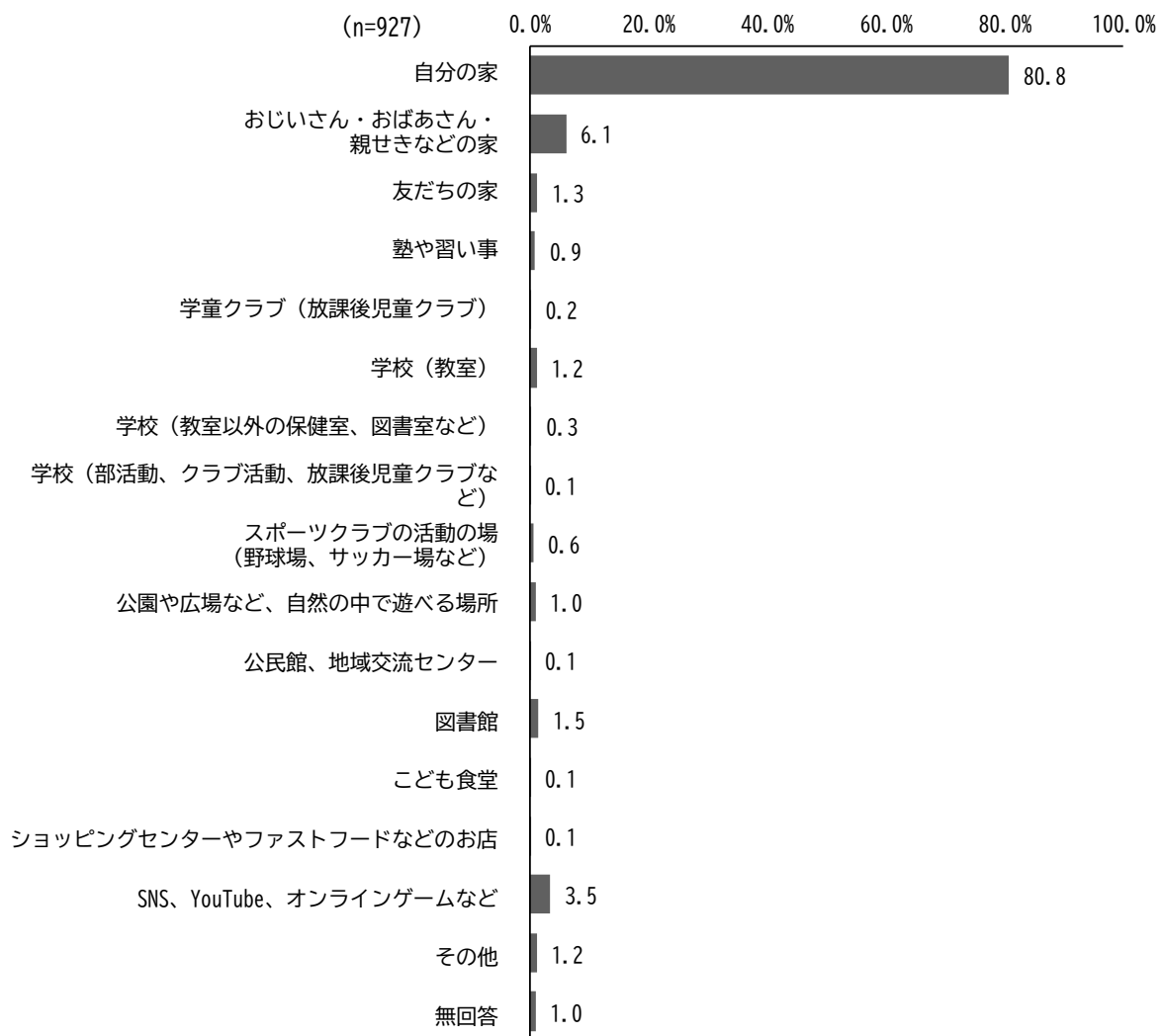


問 18 問 17 の居場所の中で、あなたが1番ほっとできるところ（居場所）はどこですか。（あてはまるものを1つ選択）

「1番ほっとできるところ」について、小学5年生では、「自分の家」が80.8%で最も多く、次いで「おじいさん・おばあさん・親せきなどの家」が6.1%、「SNS、YouTube、オンラインゲームなど」が3.5%となっています。

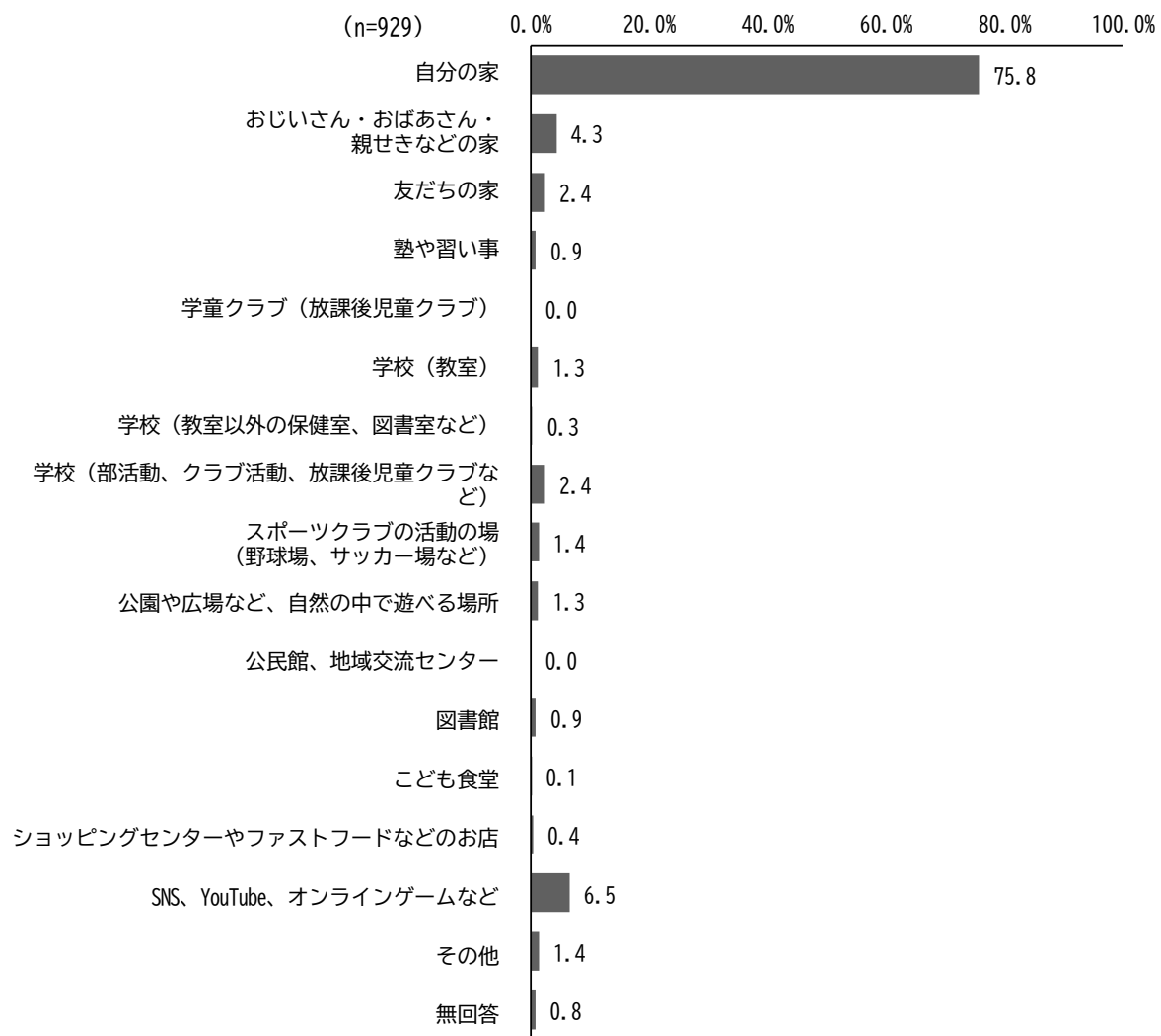
中学2年生では、「自分の家」が75.8%で最も多く、次いで「SNS、YouTube、オンラインゲームなど」が6.5%、「おじいさん・おばあさん・親せきなどの家」が4.3%となっています。

<小学5年生>



【小学5年生・中学2年生調査結果】

<中学2年生>



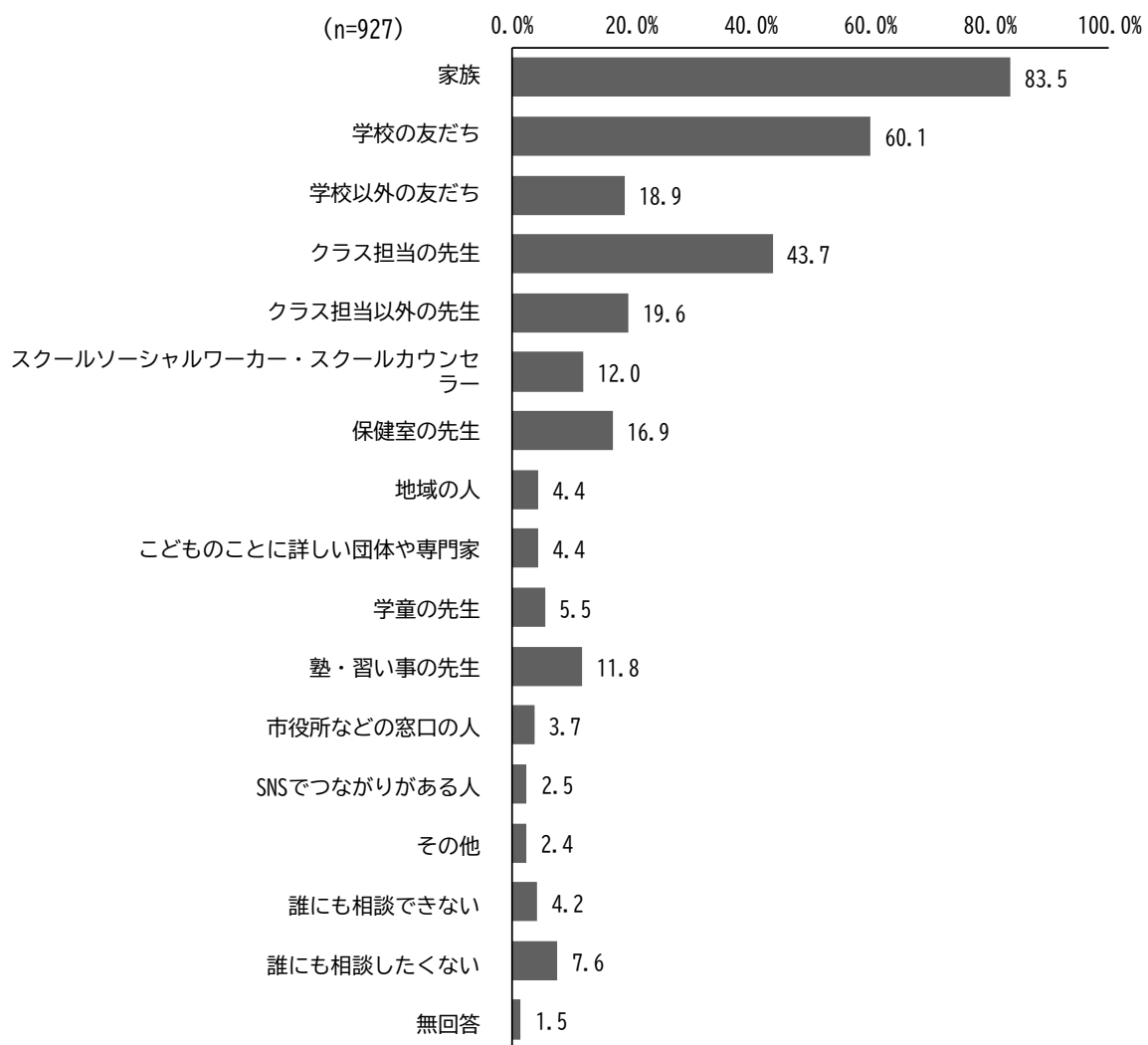
5 あなたが困っているときの相談先について教えてください

問 19 あなたに困っていることや悩み事があるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(あてはまるものをすべて選択)

「困りごとや悩みごとの相談先」について、小学5年生では、「家族」が83.5%で最も多く、次いで「学校の友だち」が60.1%、「クラス担当の先生」が43.7%となっています。

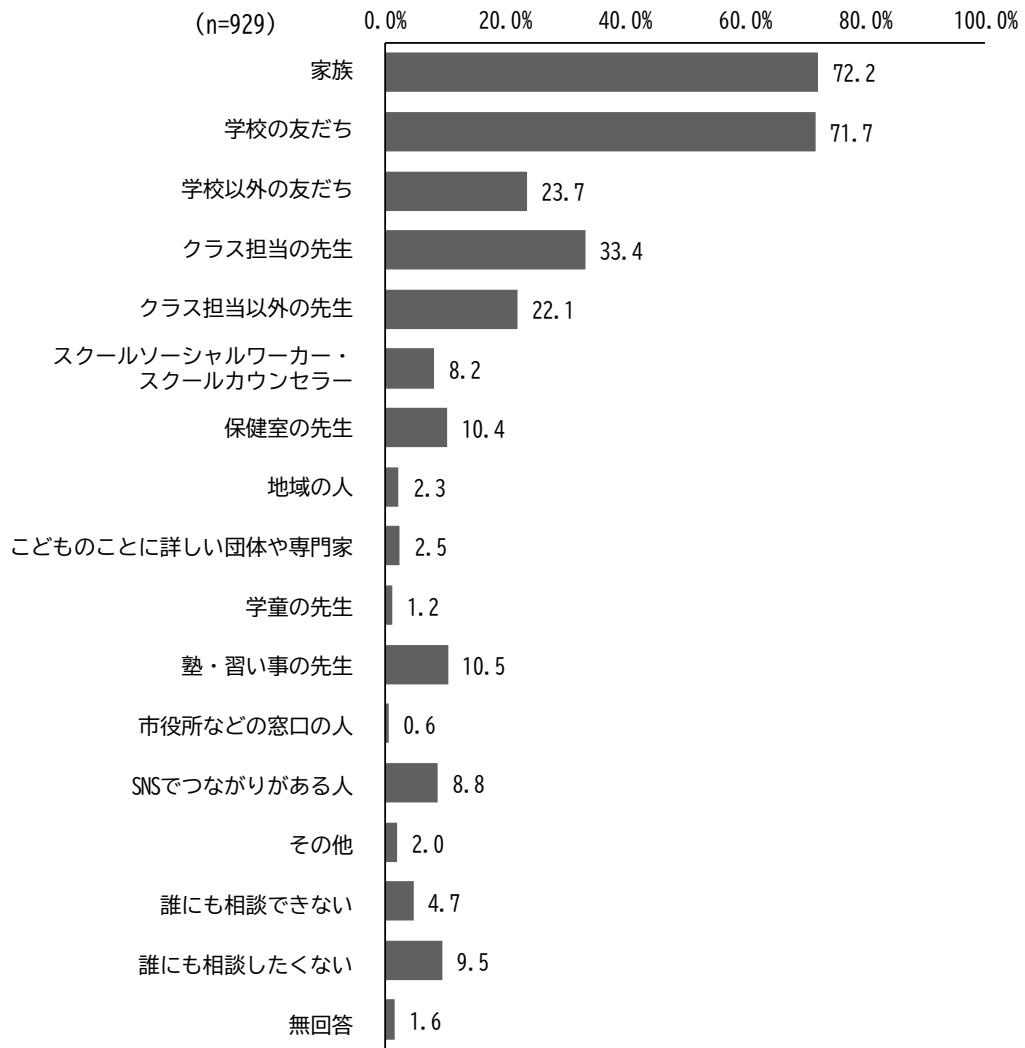
中学2年生では、「家族」が72.2%で最も多く、次いで「学校の友だち」が71.7%、「クラス担当の先生」が33.4%となっています。

<小学5年生>



【小学5年生・中学2年生調査結果】

<中学2年生>



【クロス集計：性別】

「困りごとや悩みごとの相談先」について、性別でみると、小学5年生の男女ともに「家族」の回答割合が高い傾向にあります。

一方、中学2年生の男性は「家族」の回答割合が高い傾向にありますが、女性は「学校の友だち」の回答割合が高い傾向にあります。

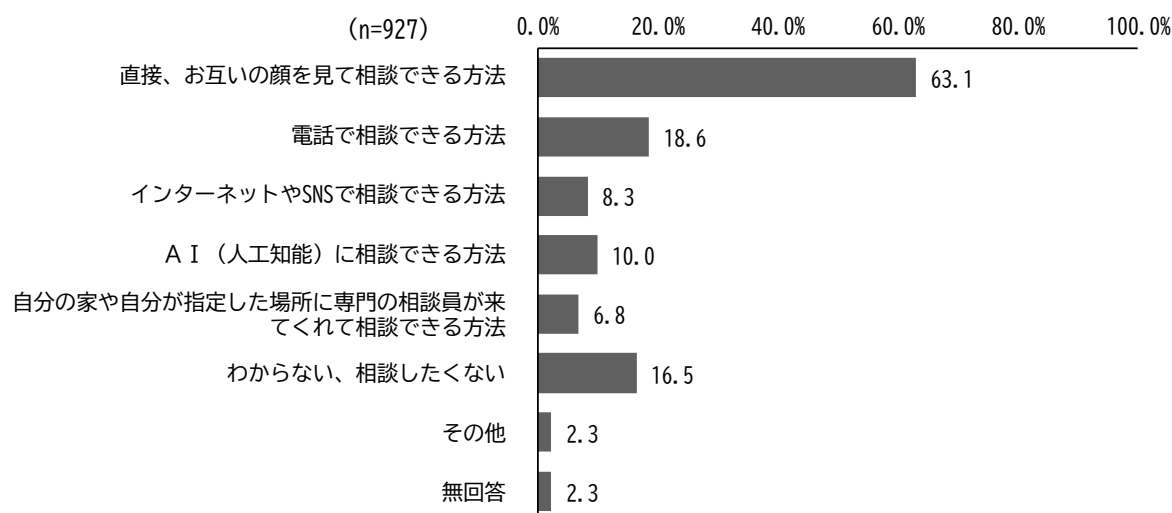
		上段：件数 下段：構成比（％）																		
		全体	家族	学校の友だち	学校以外の友だち	クラス担当の先生	クラス担当以外の先生	スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラー	保健室の先生	地域の人	専門家	こどものことに詳しい団体や	学童の先生	塾・習い事の先生	市役所などの窓口の人	SNSでつながりがある人	その他	誰にも相談できない	誰にも相談したくない	無回答
小学5年生	全体	927 100.0	774 83.5	557 60.1	175 18.9	405 43.7	182 19.6	111 12.0	157 16.9	41 4.4	41 4.4	51 5.5	109 11.8	34 3.7	23 2.5	22 2.4	39 4.2	70 7.6	14 1.5	
	性別	男	453 100.0	390 86.1	255 56.3	85 18.8	213 47.0	95 21.0	50 11.0	57 12.6	20 4.4	22 4.9	30 6.6	50 11.0	25 5.5	4 0.9	10 2.2	11 2.4	28 6.2	10 2.2
		女	452 100.0	371 82.1	292 64.6	85 18.8	184 40.7	82 18.1	59 13.1	96 21.2	20 4.4	18 4.0	19 4.2	55 12.2	9 2.0	18 4.0	9 2.0	26 5.8	40 8.8	3 0.7
		わからない・ 答えたくない	20 100.0	12 60.0	10 50.0	4 20.0	7 35.0	4 20.0	2 10.0	4 20.0	1 5.0	1 5.0	2 10.0	4 20.0	-	1 5.0	3 15.0	2 10.0	2 10.0	1 5.0
		中学2年生	全体	929 100.0	671 72.2	666 71.7	220 23.7	310 33.4	205 22.1	76 8.2	97 10.4	21 2.3	23 2.5	11 1.2	98 10.5	6 0.6	82 8.8	19 2.0	44 4.7	88 9.5
性別	男	472 100.0	367 77.8	351 74.4	107 22.7	188 39.8	125 26.5	45 9.5	50 10.6	17 3.6	14 3.0	6 1.3	44 9.3	6 1.3	35 7.4	8 1.7	11 2.3	24 5.1	10 2.1	
	女	436 100.0	295 67.7	304 69.7	111 25.5	117 26.8	75 17.2	29 6.7	45 10.3	4 0.9	8 1.8	5 1.1	53 12.2	-	43 9.9	10 2.3	30 6.9	60 13.8	3 0.7	
	わからない・ 答えたくない	19 100.0	9 47.4	11 57.9	2 10.5	5 26.3	5 26.3	2 10.5	2 10.5	-	1 5.3	-	1 5.3	-	4 21.1	1 5.3	3 15.8	4 21.1	-	

問 20 あなた自身に困っていることや悩みごとがあるとき、どんな方法であれば相談しやすいですか。（あてはまるものをすべて選択）

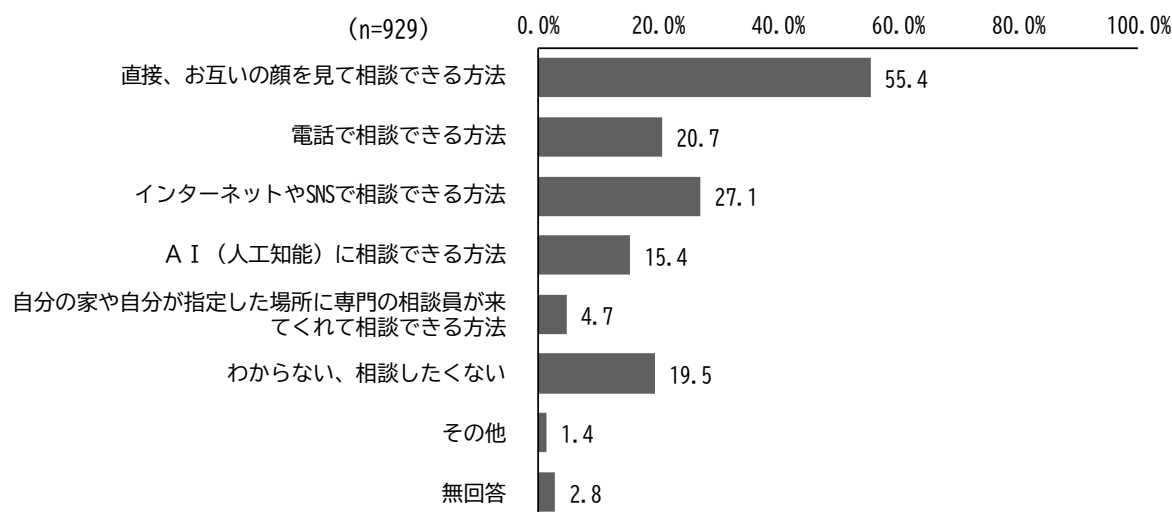
「困りごとや悩みごとの相談しやすい方法」について、小学5年生では、「直接、お互いの顔を見て相談できる方法」が63.1%で最も多く、次いで「電話で相談できる方法」が18.6%、「わからない、相談したくない」が16.5%となっています。

中学2年生では、「直接、お互いの顔を見て相談できる方法」が55.4%で最も多く、次いで「インターネットやSNSで相談できる方法」が27.1%、「電話で相談できる方法」が20.7%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>



【クロス集計：性別】

「困りごとや悩みごとの相談しやすい方法」について、性別でみると、小学5年生と中学2年生の男女ともに「直接、お互いの顔を見て相談できる方法」の回答割合が高い傾向にあります。

一方、男女ともに小学5年生と比較して中学2年生は「インターネットやSNSで相談できる方法」、「AI（人工知能）に相談できる方法」の回答割合が高い傾向にあります。

		上段：件数 下段：構成比（％）								
		全体	直接、 お互いの 顔を見て 相談 できる 方法	電話で 相談で きる方 法	イン ター ネッ トや SNS で相 談で きる 方法	AI（ 人工 知能 ）に 相談 でき る方 法	自分 の家 や自 分が 指 定し た場 所に 専門 家の 相談 員が 来て くれ ば相 談で きる 方法	わか らな い、 相談 した く ない	そ の 他	無 回 答
小学5年生	全体	927 100.0	585 63.1	172 18.6	77 8.3	93 10.0	63 6.8	153 16.5	21 2.3	21 2.3
	性別									
	男	453 100.0	305 67.3	88 19.4	32 7.1	43 9.5	29 6.4	67 14.8	11 2.4	9 2.0
	女	452 100.0	267 59.1	81 17.9	40 8.8	49 10.8	33 7.3	84 18.6	9 2.0	11 2.4
中学2年生	わからない・ 答えたくない	20 100.0	12 60.0	2 10.0	4 20.0	1 5.0	1 5.0	2 10.0	1 5.0	1 5.0
	全体	929 100.0	515 55.4	192 20.7	252 27.1	143 15.4	44 4.7	181 19.5	13 1.4	26 2.8
	性別									
	男	472 100.0	286 60.6	113 23.9	111 23.5	62 13.1	27 5.7	70 14.8	7 1.5	17 3.6
	女	436 100.0	223 51.1	75 17.2	135 31.0	77 17.7	17 3.9	102 23.4	5 1.1	7 1.6
	わからない・ 答えたくない	19 100.0	6 31.6	4 21.1	6 31.6	4 21.1	- -	9 47.4	1 5.3	- -

6 あなたの意見を教えてください

問 21 あなたは「子どもの権利条約の4つの原則」について聞いたことがありますか。
(あてはまるものを1つ選択)

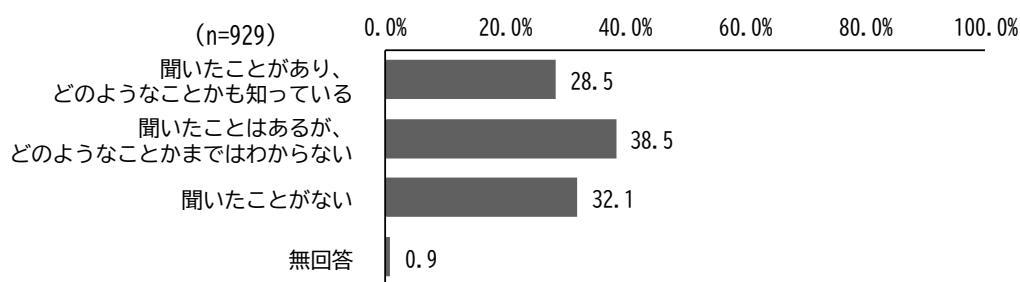
「「子どもの権利条約の4つの原則」の認知度」について、小学5年生では、「聞いたことがない」が60.1%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、どのようなことかまではわからない」が29.8%、「聞いたことがあり、どのようなことかも知っている」が8.8%となっています。

中学2年生では、「聞いたことはあるが、どのようなことかまではわからない」が38.5%で最も多く、次いで「聞いたことがない」が32.1%、「聞いたことがあり、どのようなことかも知っている」が28.5%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>



問 22 あなたは4つの原則が守られていると感じていますか。
(それぞれ、あてはまるものを1つずつ選択)

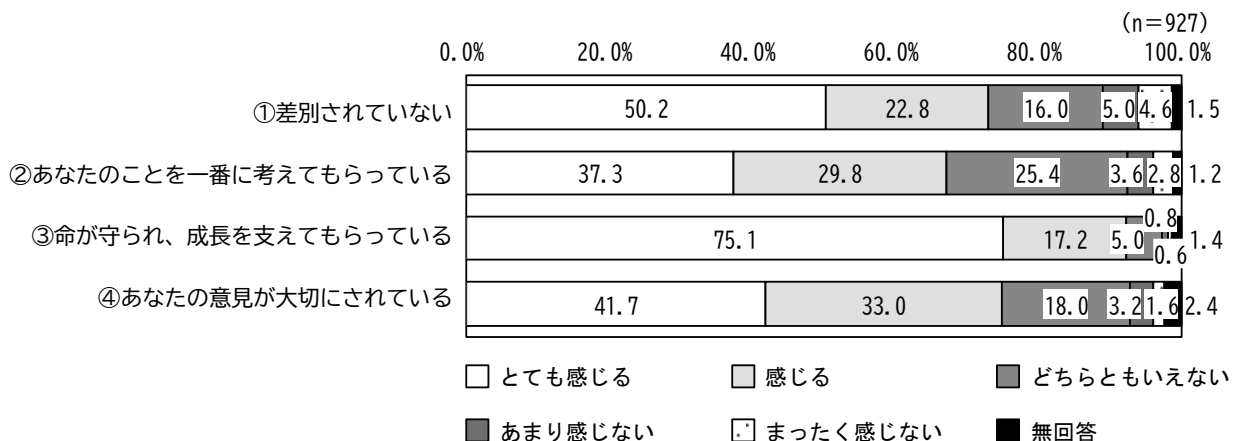
「4つの原則が守られていると感じているか」について、小学5年生の「とても感じる」では、「命が守られ、成長を支えてもらっている」が75.1%で最も多く、次いで「差別されていない」が50.2%、「あなたの意見が大切にされている」が41.7%となっています。

「感じる」では、「あなたの意見が大切にされている」が33.0%で最も多く、次いで「あなたのことを一番に考えてもらっている」が29.8%、「差別されていない」が22.8%となっています。

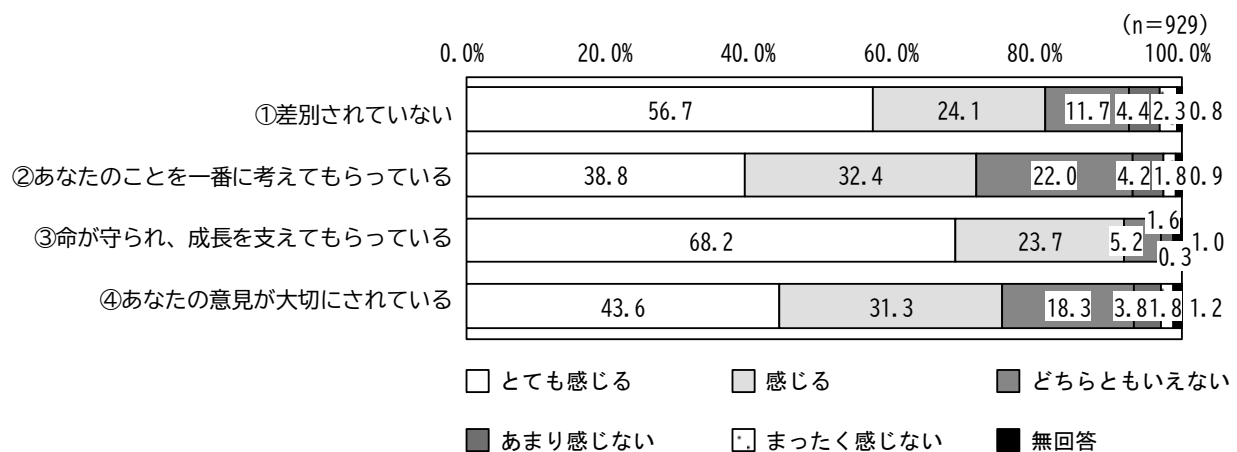
中学2年生の「とても感じる」では、「命が守られ、成長を支えてもらっている」が68.2%で最も多く、次いで「差別されていない」が56.7%、「あなたの意見が大切にされている」が43.6%となっています。

「感じる」では、「あなたのことを一番に考えてもらっている」が32.4%で最も多く、次いで「あなたの意見が大切にされている」が31.3%、「差別されていない」が24.1%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>



【問22の①～④のいずれかで「あまり感じない」か「まったく感じない」を選んだ人に質問です。】

問22-2 あなたはどんなときに、4つの原則が守られていないと感じますか。
(あてはまるものをすべて選択)

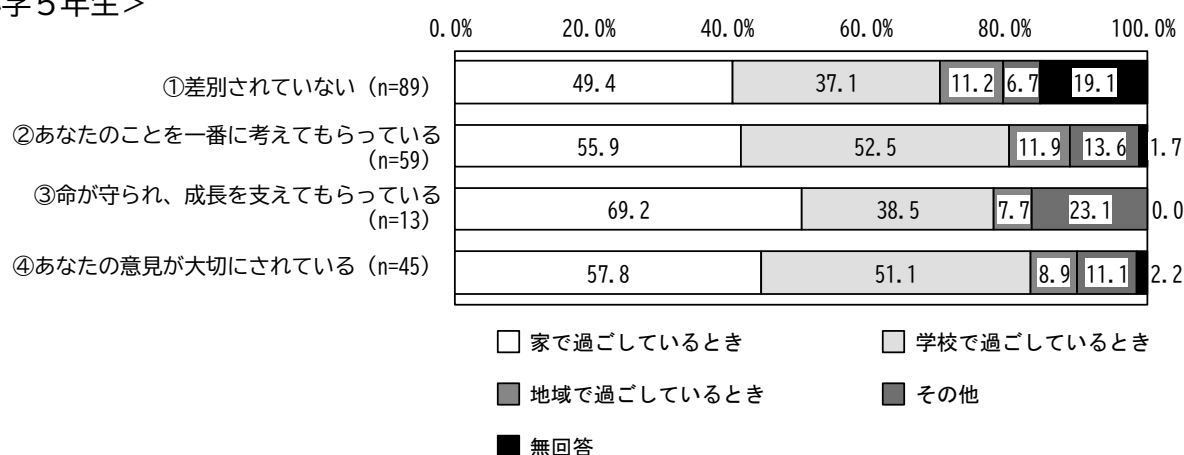
「4つの原則が守られていないと感じるとき」について、小学5年生の「家で過ごしているとき」では、「命が守られ、成長を支えてもらっている」が69.2%で最も多く、次いで「あなたの意見が大切にされている」が57.8%、「あなたのことを一番に考えてもらっている」が55.9%となっています。

「学校で過ごしているとき」では、「あなたのことを一番に考えてもらっている」が52.5%で最も多く、次いで「あなたの意見が大切にされている」が51.1%、「命が守られ、成長を支えてもらっている」が38.5%となっています。

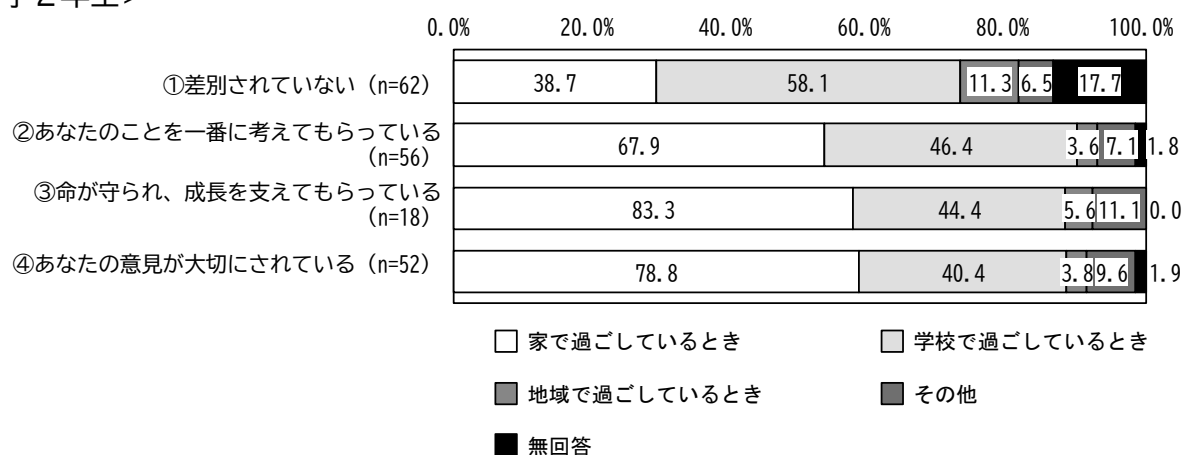
中学2年生の「家で過ごしているとき」では、「命が守られ、成長を支えてもらっている」が83.3%で最も多く、次いで「あなたの意見が大切にされている」が78.8%、「あなたのことを一番に考えてもらっている」が67.9%となっています。

「学校で過ごしているとき」では、「差別されていない」が58.1%で最も多く、次いで「あなたのことを一番に考えてもらっている」が46.4%、「命が守られ、成長を支えてもらっている」が44.4%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>

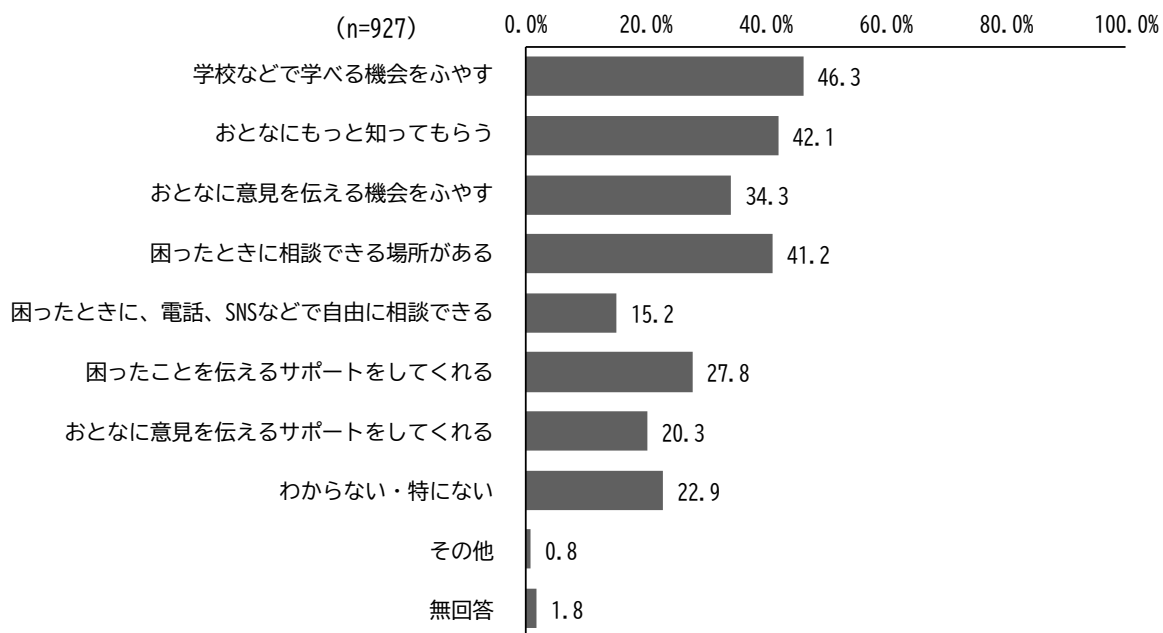


問 23 こどもの権利が守られるために、あると良いと思う仕組みはありますか。
(あてはまるものをすべて選択)

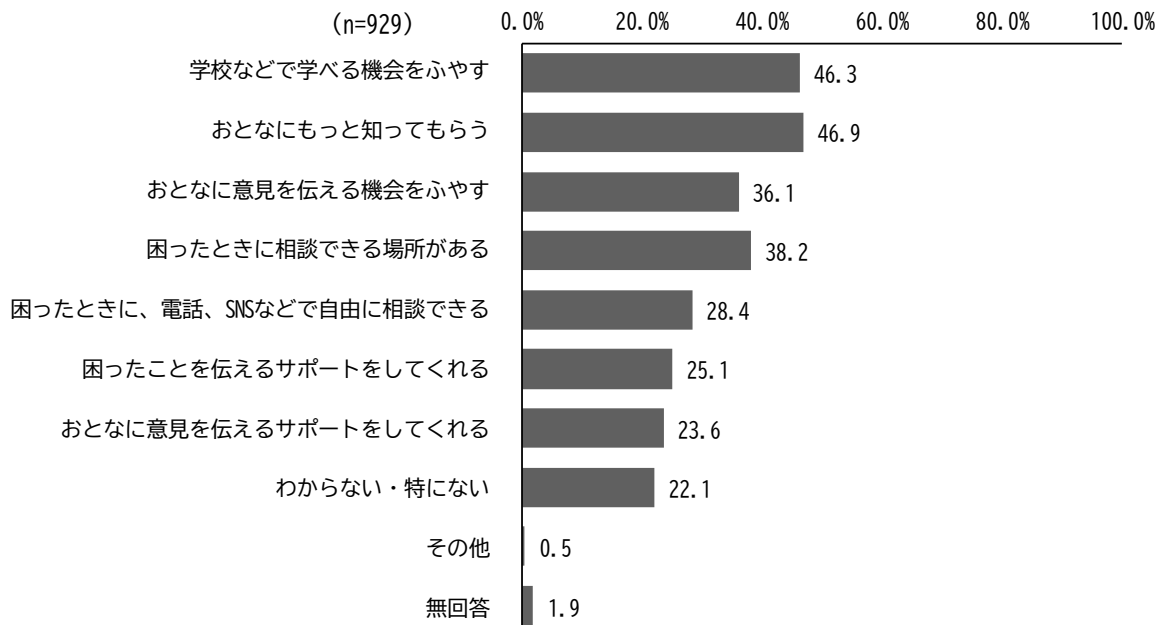
「こどもの権利が守られるための仕組み」について、小学5年生では、「学校などで学べる機会をふやす」が46.3%で最も多く、次いで「おとなにもっと知ってもらう」が42.1%、「困ったときに相談できる場所がある」が41.2%となっています。

中学2年生では、「おとなにもっと知ってもらう」が46.9%で最も多く、次いで「学校などで学べる機会をふやす」が46.3%、「困ったときに相談できる場所がある」が38.2%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>



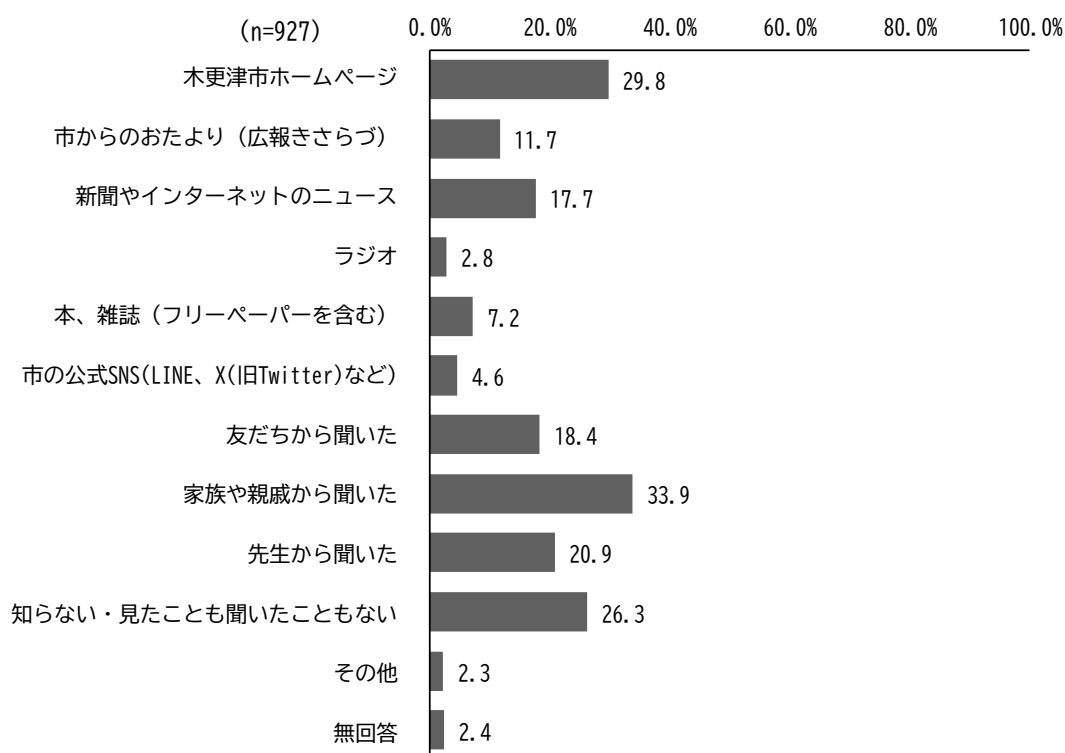
7 木更津市についてあなたの意見を教えてください

問 24 木更津市では、みなさんが楽しく安心して暮らせるよう、いろいろな取り組みをしています。たとえば、化学農薬・化学肥料をまったく使わないで育てた、木更津産のお米を使った給食を作ることなどです。あなたは、木更津市の取り組みに関する情報を主にどこから（または、だれから）入手していますか。
（あてはまるものを3つまで選択）

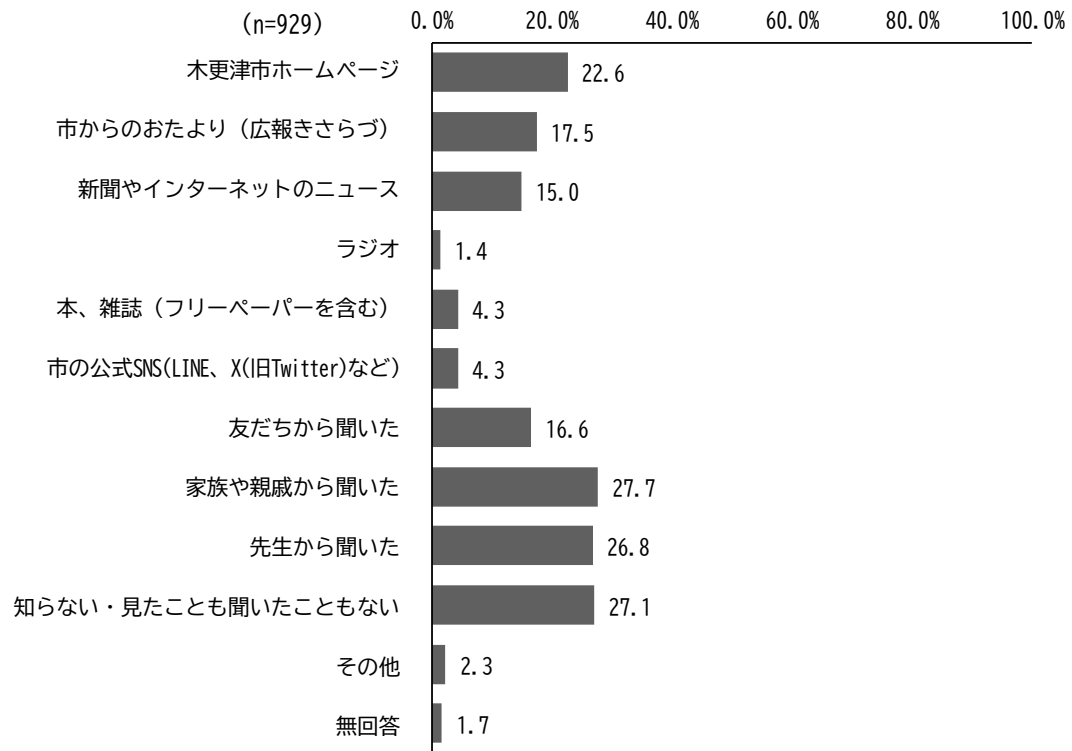
「木更津市の取り組みに関する情報の入手先」について、小学5年生では、「家族や親戚から聞いた」が33.9%で最も多く、次いで「木更津市ホームページ」が29.8%、「知らない・見たことも聞いたこともない」が26.3%となっています。

中学2年生では、「家族や親戚から聞いた」が27.7%で最も多く、次いで「知らない・見たことも聞いたこともない」が27.1%、「先生から聞いた」が26.8%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>



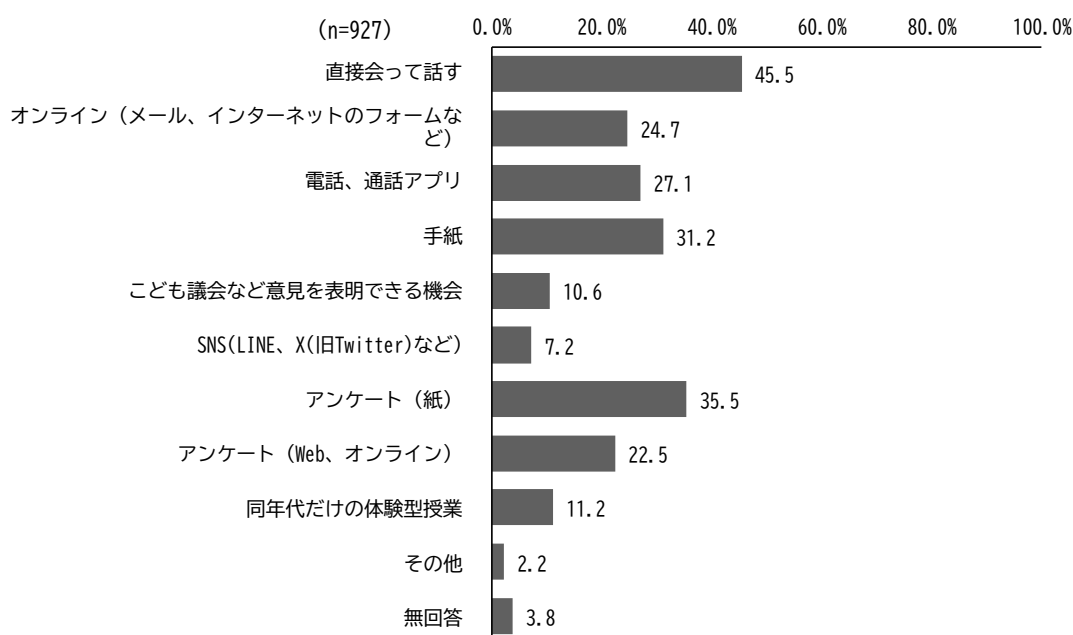
【小学5年生・中学2年生調査結果】

問 25 あなたには、「あなたの周りのことについて自由に意見を表すことができる権利」があります。木更津市について思ったことや意見を、どのような方法や手段があれば伝えやすいですか。（あてはまるものをすべて選択）

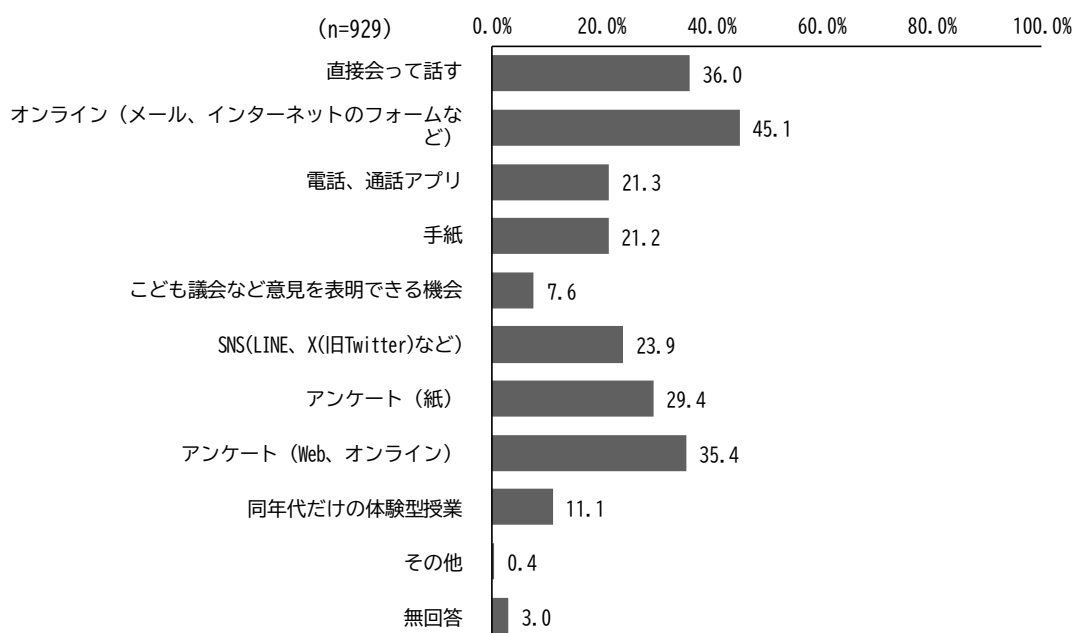
「木更津市について思ったことを伝える方法や手段」について、小学5年生では、「直接会って話す」が45.5%で最も多く、次いで「アンケート（紙）」が35.5%、「手紙」が31.2%となっています。

中学2年生では、「オンライン（メール、インターネットのフォームなど）」が45.1%で最も多く、次いで「直接会って話す」が36.0%、「アンケート（Web、オンライン）」が35.4%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>



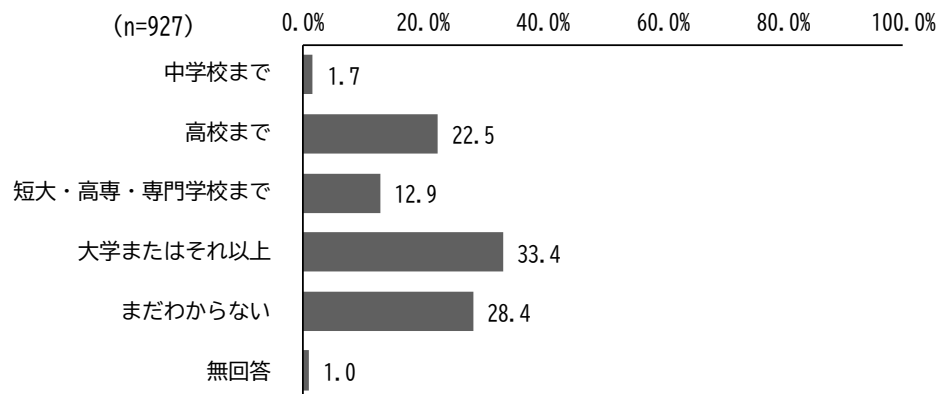
8 あなたの将来について教えてください

問 26 あなたは将来、どの段階まで進学したいですか。（あてはまるものを1つ選択）

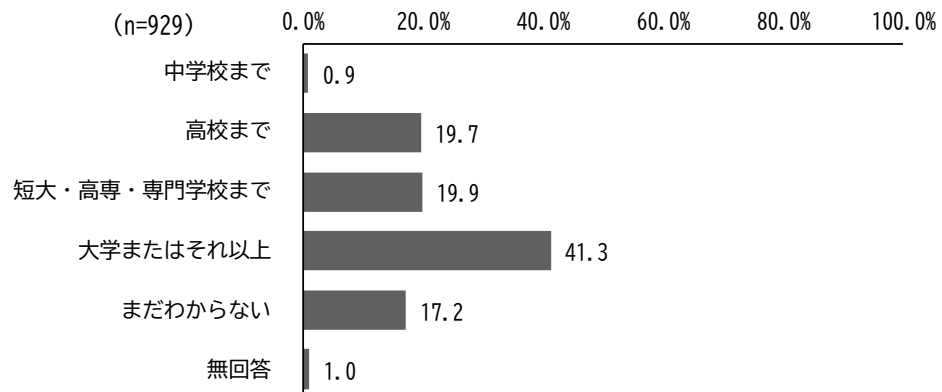
「将来の進学段階」について、小学5年生では、「大学またはそれ以上」が33.4%で最も多く、次いで「まだわからない」が28.4%、「高校まで」が22.5%となっています。

中学2年生では、「大学またはそれ以上」が41.3%で最も多く、次いで「短大・高専・専門学校まで」が19.9%、「高校まで」が19.7%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>



【小学5年生・中学2年生調査結果】

【クロス集計：性別】

「将来の進学段階」について、性別でみると、小学5年生と中学2年生の男女ともに「大学またはそれ以上」の回答割合が高い傾向にあります。

一方、小学5年生の男女ともに「まだわからない」の回答割合は、中学2年生に比べ高い割合となっています。

			上段：件数 下段：構成比（％）						
			全体	中学校まで	高校まで	短大・高専・専門学校まで	大学またはそれ以上	まだわからない	無回答
小学5年生	全体		927 100.0	16 1.7	209 22.5	120 12.9	310 33.4	263 28.4	9 1.0
	性別	男	453 100.0	11 2.4	104 23.0	50 11.0	140 30.9	143 31.6	5 1.1
		女	452 100.0	5 1.1	101 22.3	68 15.0	160 35.4	115 25.4	3 0.7
		わからない・ 答えたくない	20 100.0	－ －	4 20.0	1 5.0	9 45.0	5 25.0	1 5.0
	中学2年生	全体		929 100.0	8 0.9	183 19.7	185 19.9	384 41.3	160 17.2
性別		男	472 100.0	5 1.1	102 21.6	62 13.1	223 47.2	73 15.5	7 1.5
		女	436 100.0	3 0.7	79 18.1	118 27.1	154 35.3	82 18.8	－ －
		わからない・ 答えたくない	19 100.0	－ －	2 10.5	5 26.3	7 36.8	5 26.3	－ －

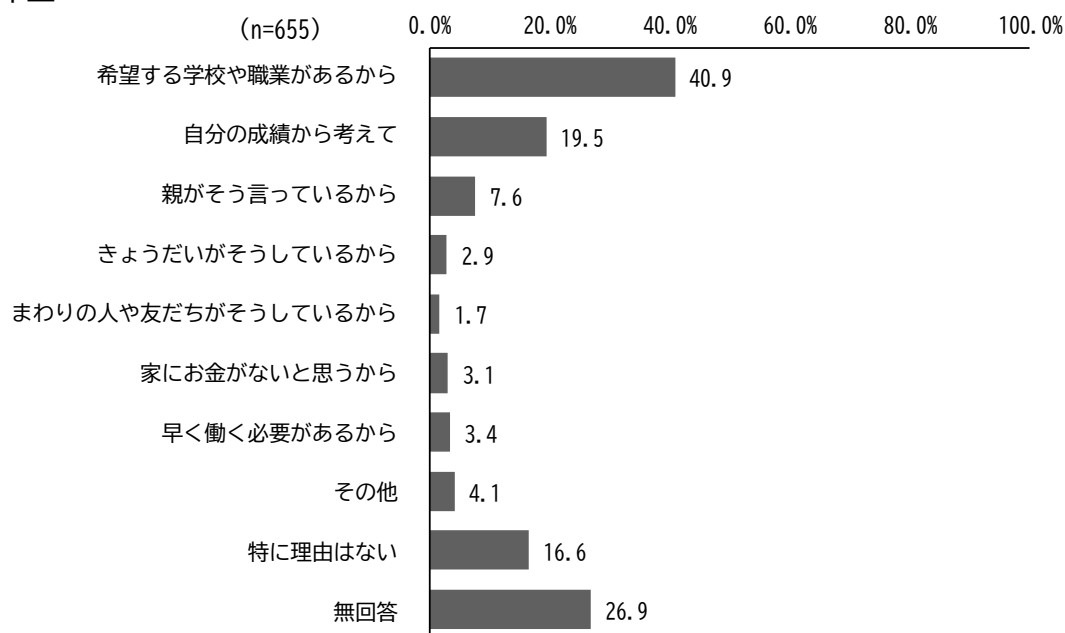
【問 26 で「まだわからない」以外を選んだ人に質問です。】

問 26－2 選んだ理由を教えてください。（あてはまるものをすべて選択）

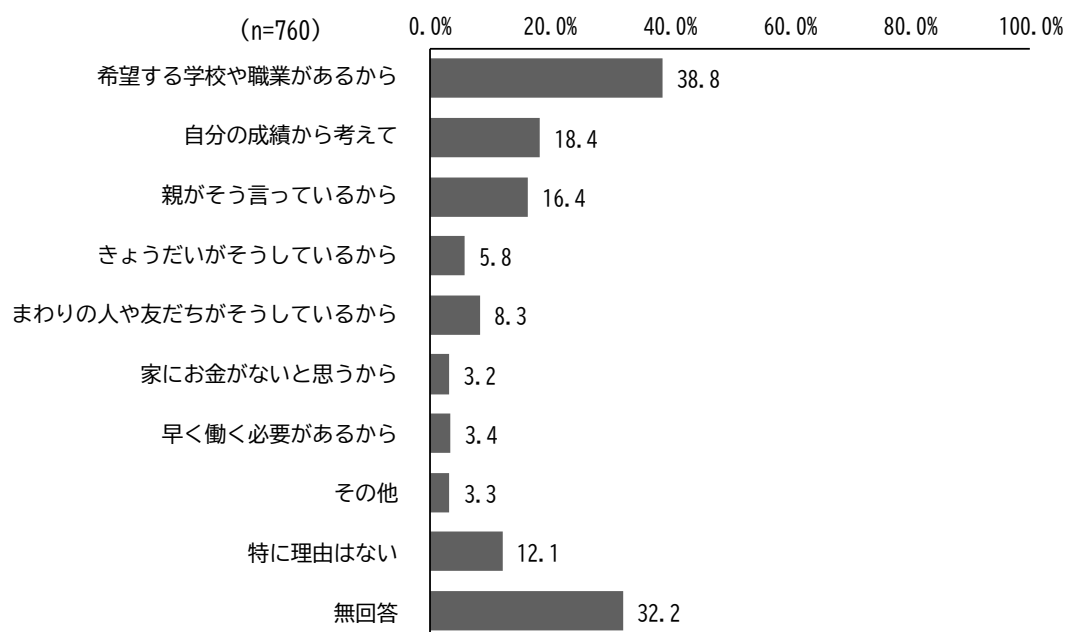
「進学段階を選んだ理由」について、小学5年生では、「希望する学校や職業があるから」が40.9%で最も多く、次いで「自分の成績から考えて」が19.5%、「親がそう言っているから」が7.6%となっています。

中学2年生では、「希望する学校や職業があるから」が38.8%で最も多く、次いで「自分の成績から考えて」が18.4%、「親がそう言っているから」が16.4%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>

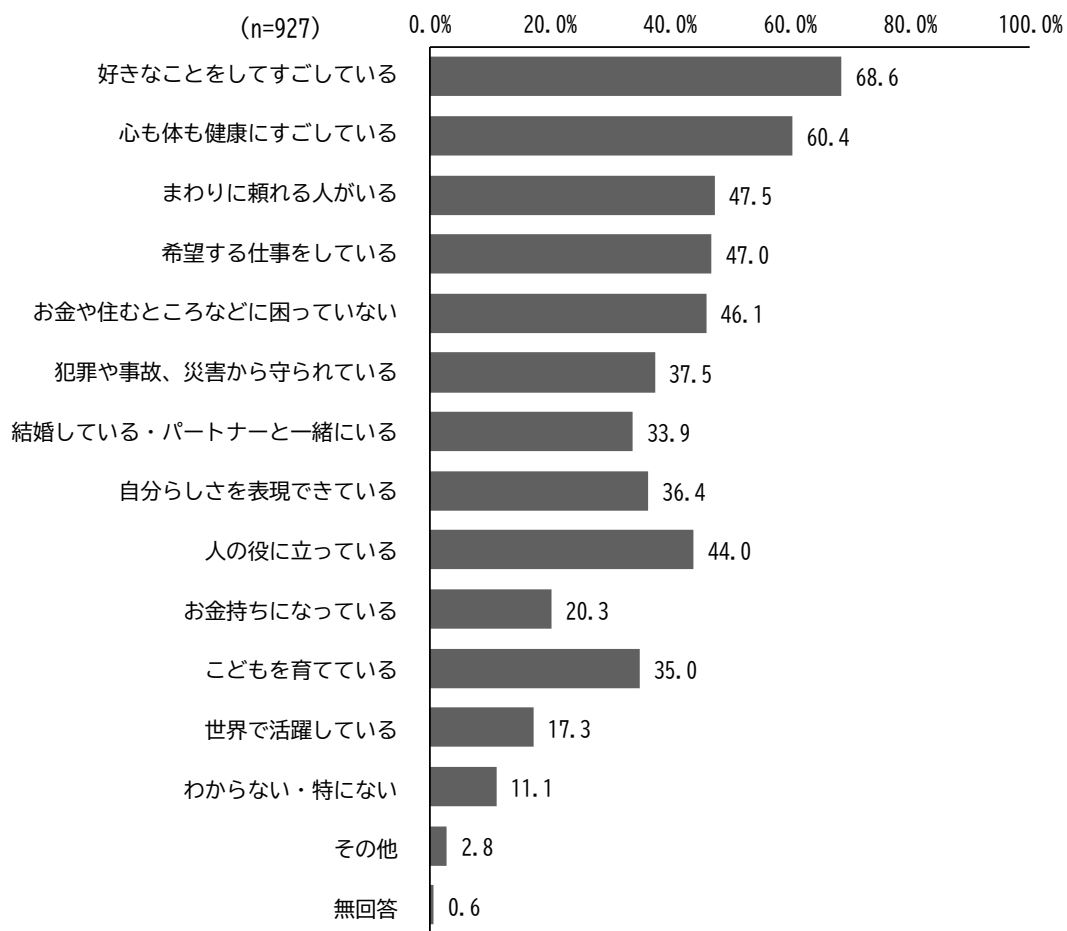


問 27 あなたは将来どんなことをして過ごしていると思いますか。
(あてはまるものをすべて選択)

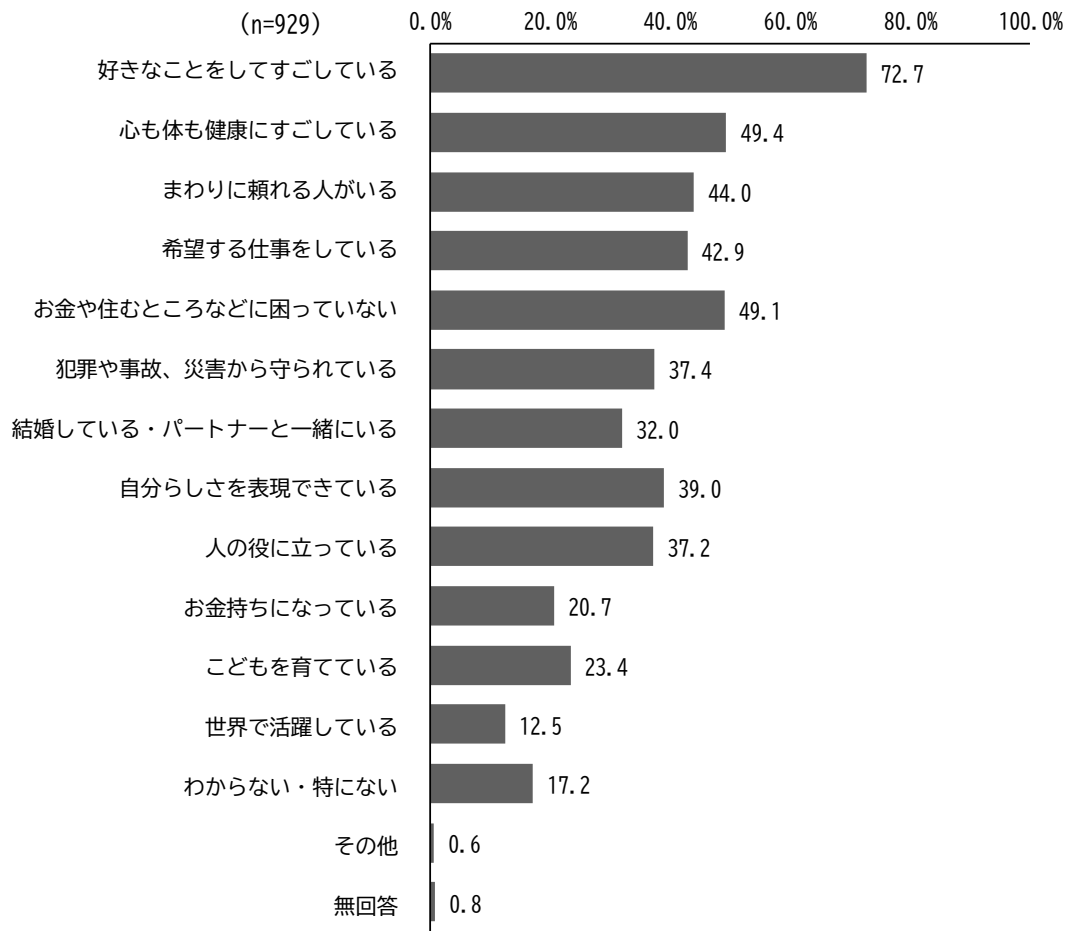
「将来」について、小学5年生では、「好きなことをしてすごしている」が68.6%で最も多く、次いで「心も体も健康にすごしている」が60.4%、「まわりに頼れる人がいる」が47.5%となっています。

中学2年生では、「好きなことをしてすごしている」が72.7%で最も多く、次いで「心も体も健康にすごしている」が49.4%、「お金や住むところなどに困っていない」が49.1%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>

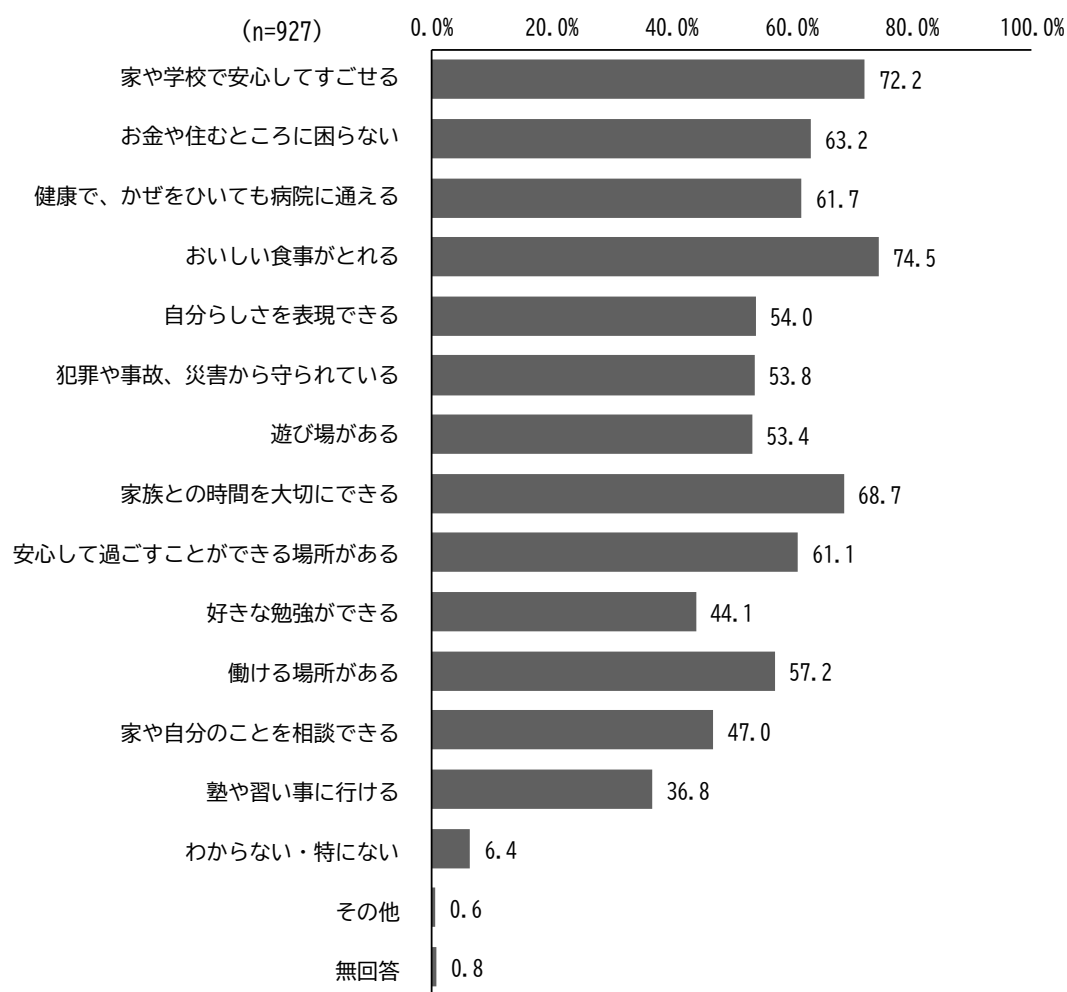


問 28 あなたが将来安心して、自分らしく暮らすために必要なことを教えてください。
(あてはまるものをすべて選択)

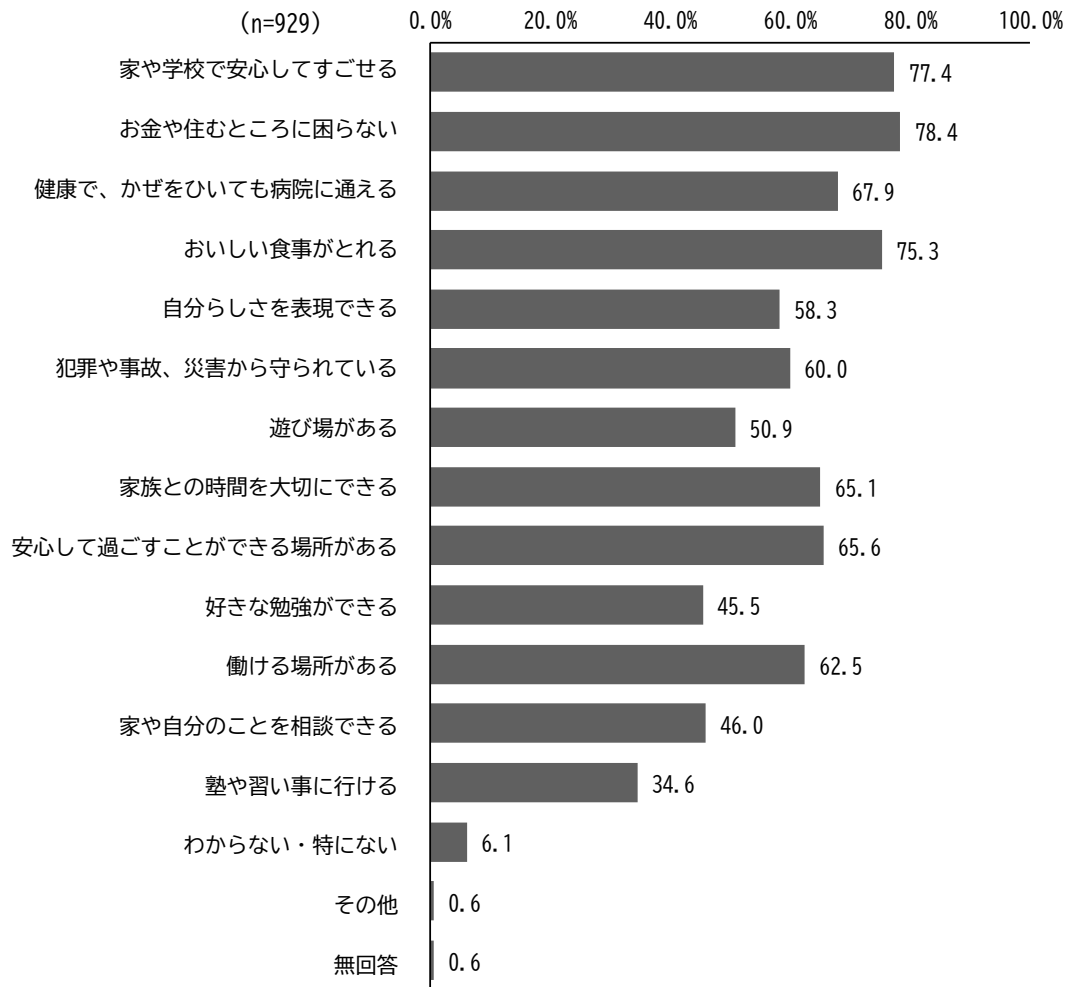
「将来安心して、自分らしく暮らすために必要なこと」について、小学5年生では、「おいしい食事がとれる」が74.5%で最も多く、次いで「家や学校で安心してすごせる」が72.2%、「家族との時間を大切にできる」が68.7%となっています。

中学2年生では、「お金や住むところに困らない」が78.4%で最も多く、次いで「家や学校で安心してすごせる」が77.4%、「おいしい食事がとれる」が75.3%となっています。

<小学5年生>



<中学2年生>



問 29 最後に、あなたが木更津市に、あったらいいな・こんなことをしてほしいなど思うことがあれば自由に書いてください。

<分類別件数>

No.	分類	小学5年生	中学2年生
1	市への要望について	38	39
2	遊び場・居場所について	200	167
3	商業施設等について	149	77
4	行事やイベント、ボランティア活動について	59	17
5	学校生活全般について	24	56
6	衛生について	18	4
7	道路・公共交通機関等について	17	21
8	動物・自然について	17	5
9	経済的支援・経済状況の改善について	28	14
10	交流・相談できる場所について	8	12
11	防犯・防災対策について	18	9
12	公共施設等について	21	26
13	学習の場について	2	10
14	いじめや差別について	9	4
15	その他	127	112

1. 市への要望について

<小学5年生>

- ・木更津市に住んでいるみんなが健康で不自由のない暮らしができるようにしてほしい
- ・みんなが仲良く楽しい木更津市になってほしい
- ・木更津市のうみはきれいなのでその海を活かした観光をたくさん作ってほしい
- ・木更津のいいところのポスター、木更津の有名なところ紹介、きさぽんの紹介、
- ・子どもたちの将来の夢を聞いてそれが実現できるようにしてほしい。

<中学2年生>

- ・千葉市のようになってほしい
- ・もうちょっと都会になってほしい
- ・定期的に木更津市をより良くするための意見のアンケートを取ったらいいと思います。
- ・木更津市の活動をもっとしらせてほしい
- ・もう少し有名な場所を増やしてほしい

2. 遊び場・居場所について

<小学5年生>

- ・公園に遊具を増やしてほしいです。
- ・子供用の遊び場を作ってください。みんなで遊べるおもちゃがあるとうれしいです。
- ・スポーツができる場所をもう少し増やしてほしい。
- ・子どもが遊べる室内の施設できれば無料で利用できる
- ・もっとボール遊びができる場所を増やしてほしいです。

<中学2年生>

- ・公園をもっと増やしてほしい
- ・公園にサッカーゴールを作してほしい
- ・人工芝の公園がほしい
- ・大人に口を出されずに過ごせる場所
- ・安心して過ごせたり心の癒しになるような場所がほしい

3. 商業施設等について

<小学5年生>

- ・スーパーマーケットなど店をふやしてください。
- ・遊園地があるといい
- ・すごい大きなショッピングモール（遊べる・買い物ができるところ）をもう少し増やしてほしい
- ・ゲームセンター等が増えたらいいと思います
- ・駄菓子屋が増えたりするともっと日常生活が楽しくなると思います。

<中学2年生>

- ・文房具屋と玩具店と駄菓子屋みたいなお店を建てて欲しい
- ・大型ショッピングモールを作る
- ・コンビニとショッピングモールを増やしてほしい
- ・大きな電気屋
- ・大型ゲームセンター

4. 行事やイベント、ボランティア活動について

<小学5年生>

- ・ やっさいもっさいを、たくさんやり、地域でもなるべくたくさんの人ができるようにする。
- ・ 子供も参加できる簡単なボランティア活動、公園のゴミ拾いボランティア活動、
- ・ もっと木更津市のイベントを増やしてほしいまつりとか
- ・ 子供向けの楽しいイベント
- ・ みんなが楽しめる行事をもっと増やしてほしい。

<中学2年生>

- ・ ボランティアを増やしてほしい
- ・ お祭りをもっと増やしてほしい(他の地域との交流や木更津市を知ってもらうきっかけとして)
- ・ 地域イベントをもっと増やして、子どもから大人まで楽しめる場を作してほしいです。
- ・ 木更津駅で職業体験をしてみたい。主に車掌や駅員、構内放送など
- ・ 地域の人と触れ合ったり、友達と気軽に行けるイベント

5. 学校生活全般について

<小学5年生>

- ・ 給食のメニューの数を増やしてほしい
- ・ 給食費無償化してほしい
- ・ 学校の体育館が滑るのできれいにしてほしい。
- ・ 学校の授業を短くしてほしい
- ・ 学校にエレベーター

<中学2年生>

- ・ エアコンがついてないところ(何かの教室)にエアコンを付けてほしい
- ・ 学校のバリアフリー化をもっと進めてほしいです。
- ・ 部活動の時間がもっとほしい
- ・ 給食費無料
- ・ みんなが気持ちよく過ごせる学校にして欲しい、あだ名の悪用をなくして欲しい

6. 衛生について

<小学5年生>

- ・ゴミが多いと思うので、ゴミ箱や、ゴミ拾いのイベントなどをやってほしいです。
- ・きれいな木更津市にできるように、リサイクルやゴミすて禁止などのよびかけをする。
- ・ポイ捨てを少なくしたい。

<中学2年生>

- ・赤字にはなるかもしれませんがゴミ拾いをしたらペイペイ？とかでお金がもらえるシステムがあったら面白いと思いました
- ・木更津市全体を綺麗にしてほしい、ポイ捨てを辞めるようにたくさん声掛けしてほしい、
- ・夏祭りや、花火大会などでのゴミ箱がパンパンだったり道路に普通にゴミが落ちてたりしていてちょっと気になってたから、ゴミ箱を大きくしたり、ゴミ箱を多くおいたりしてほしい。

7. 道路・公共交通機関等について

<小学5年生>

- ・歩道を広げてほしい。ガードレールをがんじょうにしてほしい。車道をキレイにしてほしい。
- ・歩道を整備してほしい
- ・バス等の移動手段の充実
- ・交通整備をしてほしい
- ・たまにバイクでうるさい音を出している人がいるのでそれを禁止にする取り組みをやってほしいです。

<中学2年生>

- ・駅前の道路を早くきれいにしてほしい
- ・道が凸凹過ぎるから直してほしい
- ・信号機増やしてほしい
- ・路線バスの本数を増やしてほしい
- ・電車が来る回数を多くしてほしい

8. 動物・自然について

<小学5年生>

- ・自然がたくさんあったらいいと思った
- ・海の生きものの大切さを、知って欲しいです。
- ・自然・緑を増やしてください
- ・木更津市の中にお花畑を作って自然をふやしてほしい。
- ・動物保護施設

<中学2年生>

- ・海をもっと綺麗にする、自然を増やす
- ・東京湾をキレイにしたい
- ・自然を感じられる施設
- ・動物のふれあい会

9. 経済的支援・経済状況の改善について

<小学5年生>

- ・物価を下げてください。
- ・米を安くしてほしいです。
- ・お金がない、住むところがないという人たちに、住む場所や、おかねのぼきんなどがあるといいとおもう。
- ・物価高で非課税世帯ばかりがいつも支援されていて、お給料が減った家庭は支援されず大変な想いをしている。支援が必要
- ・税金をへらす

<中学2年生>

- ・給付金をもっと増やしてほしい
- ・医療費無料
- ・母子、父子家庭などの支援
- ・少し物価安くならないかな
- ・ゴミ袋無料

10. 交流・相談できる場所について

<小学5年生>

- ・もっといろんな人と交流したい
- ・たくさんの人とふれ合える施設
- ・みんなが意見を出し合えるような場所を作ってほしい

<中学2年生>

- ・他の学校の人たちと交流できる取り組みがあったら楽しそう（他の学校で過ごしたり授業を受けたりするなど）
- ・色々な人がフラットに交流できる場所がほしい
- ・月に一度同世代の人たちで交流会を開くこと
- ・年代の違う方と交流し、そのような方と友だちになる機会を設けてほしい。
- ・気軽に相談できたり話せる場所

11. 防犯・防災対策について

<小学5年生>

- ・これからも地震・災害から守ってくれるようお願いします。
- ・どこの道も夜明るくしてほしい（街灯など）
- ・犯罪が起きないようにしたい
- ・犯罪や悪いことをする人がいなくなるようにしてほしいです。
- ・もっと街に街灯を増やしてください！私が住んでいるところはとっても暗いので危ないんです！
よろしくお願いします！

<中学2年生>

- ・駅前の治安を良くしてほしい
- ・犯罪が少ないように夜中地域を見回ってくれる
- ・街灯をもっとちゃんとおいてほしい。置くだけじゃなくて明るさをしっかり持ってほしい。
ちゃんと街灯としての役割を持つものをおいてほしい。
- ・暴走族とかの取り締まりをもうちょいしてほしい
- ・事故や事件が少ないところになったらいいなと思います。

12. 公共施設等について

<小学5年生>

- ・図書館を増やして欲しいです。
- ・今の図書館よりもより大きく色々な種類の本が置いてある図書館がいいです！
- ・公共施設を増やしてほしい
- ・公園のトイレを増やしてほしいです
- ・大きな病院を作って欲しい！

<中学2年生>

- ・公衆トイレを最新型にしてきれいにしてほしい
- ・精神科を増やしてほしい
- ・頼れる救急車、病院を増やしてほしい
- ・学校周辺に勉強もできる図書館がほしい
- ・駅の近くにもっと大きくてきれいな図書館が欲しい

13. 学習の場について

<小学5年生>

- ・落ち着いて宿題、勉強ができる場所がほしい
- ・公園の近くにご自由に利用できるベンキョウしせつ

<中学2年生>

- ・塾とかじゃなくて一人や友達と勉強できる場所
- ・自習室を増やしてほしいです。
- ・地域に友人と気兼ねなく勉強会が出来る自由なスペースをもっと増やして欲しい。
- ・塾を増やしてほしい

14. いじめや差別について

<小学5年生>

- ・いじめで悲しむ人がいなくなるようにしてほしい
- ・よくいじめられて悲しい思いをしたから他の人にはそうゆう思いになってほしくないからいじめは絶対にだめだよって教えるイベントみたいなのところを作ってほしい（はぶくのとかも）
- ・いじめることやいろんな暴力的なことしない
- ・差別がなくみんなが安心して暮らせる街にしてほしい

<中学2年生>

- ・学校でのいじめをなくして欲しい
- ・差別なくみんなに幸せになれるような木更津にしてほしい

15. その他について

<小学5年生>

- ・こんにちは、いつも私達のために、考えてくださって、誠にありがとうございます。体調に気を付けてがんばってください！
- ・特にありません。私自身は、今の木更津市で大丈夫です。
- ・木更津は足りないものなんかありません！木更津市には優しい人はもちろん親切にしてくれる人挨拶を返してくれる人がたくさんいますなので笑顔あふれている木更津には何もいらなと思います
- ・sdzs に関する取り組み

<中学2年生>

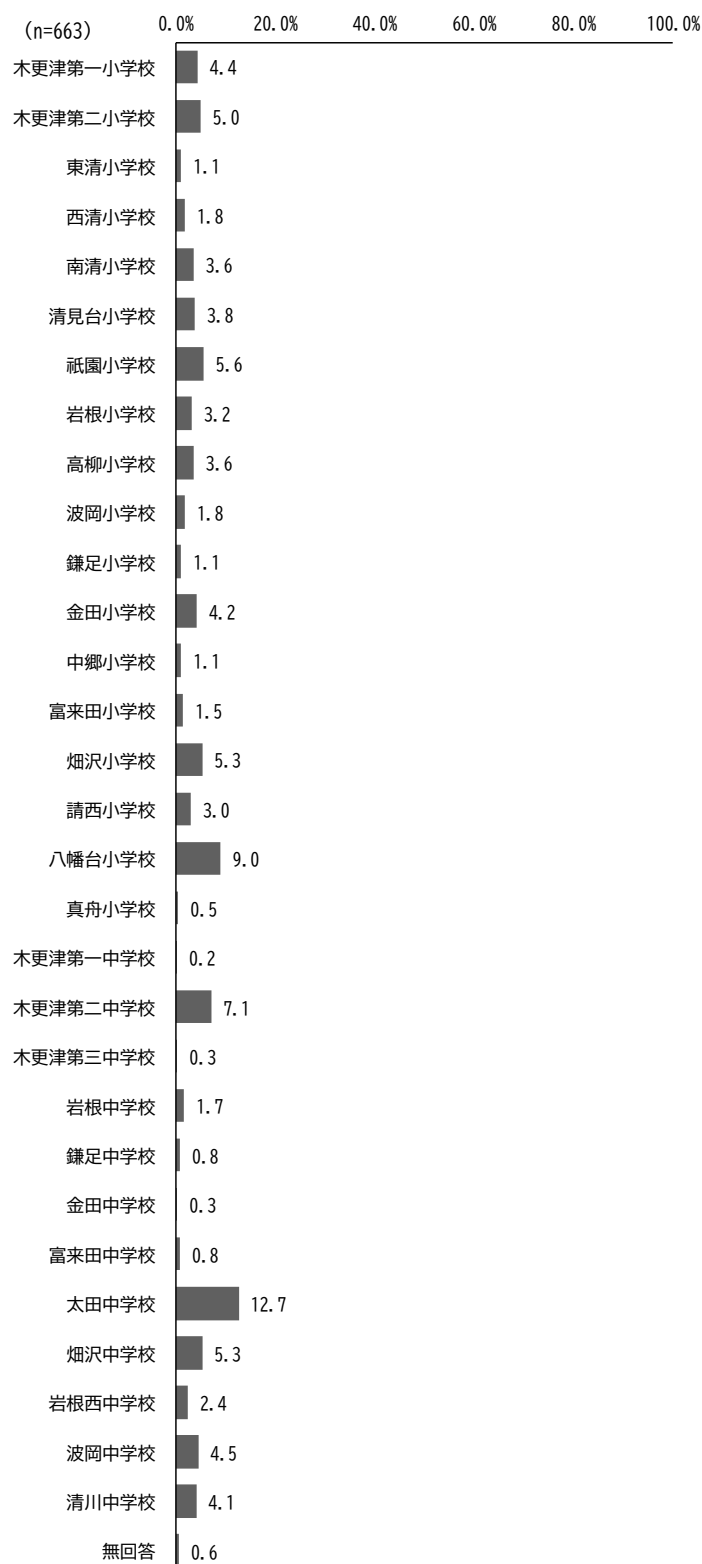
- ・いつも市の運営ありがとうございます
- ・木更津市はとていい地域だと思うので特にはないです！！
- ・特になし今の木更津に不満はない
- ・最低限必要なものが揃っている

(2) 小学5年生・中学2年生の保護者調査結果

1 お子さんと調査に回答いただく方のことについておたずねします

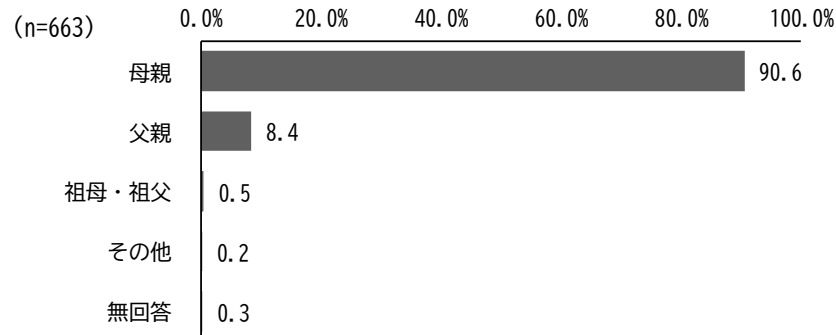
問1 お子さんが現在通っている学校を選んでください。(あてはまる番号を1つ選択)

「現在通っている学校」について、「太田中学校」が%12.7で最も多く、次いで「八幡台小学校」が9.0%、「木更津第二中学校」が7.1%となっています。



問2 この調査に回答いただいている方（あなた）の、お子さんからみた続柄についてお教えてください。（あてはまる番号を1つ選択）

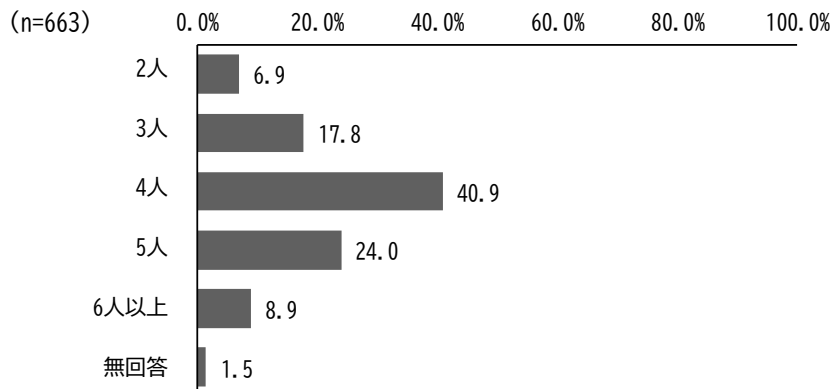
「お子さんからみた続柄」について、「母親」が90.6%で最も多く、次いで「父親」が8.4%、「祖母・祖父」が0.5%となっています。



2 世帯の状況についておたずねします

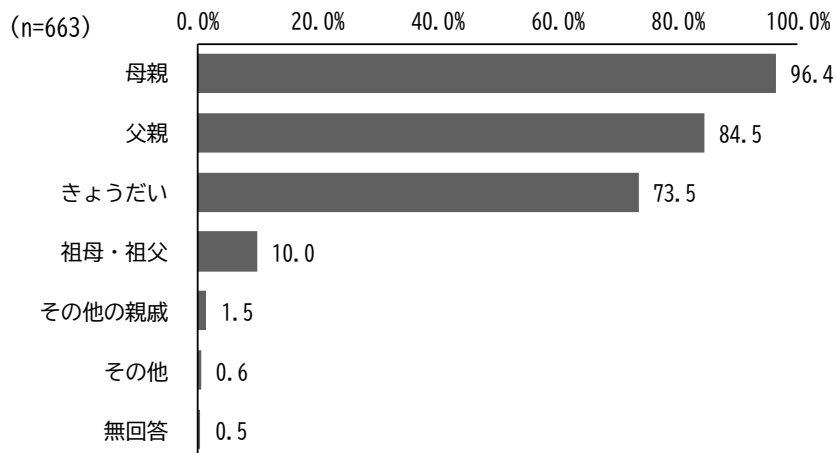
問3 お子さんは何人家族ですか。（お子さんを含めた人数をお答えください。）

「家族の人数」について、「4人」が40.9%で最も多く、次いで「5人」が24.0%、「3人」が17.8%となっています。



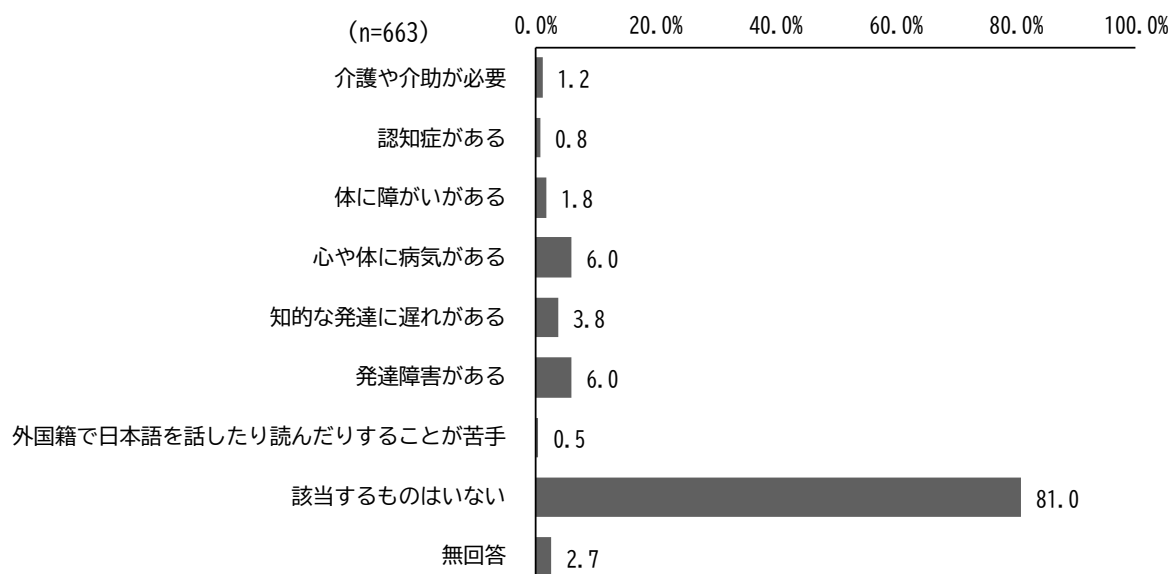
問4 あなたの世帯のご家族全員の、お子さんからみた続柄についてお答えください。
(あてはまる番号をすべて選択)

「家族構成」について、「母親」が96.4%で最も多く、次いで「父親」が84.5%、「きょうだい」が73.5%となっています。



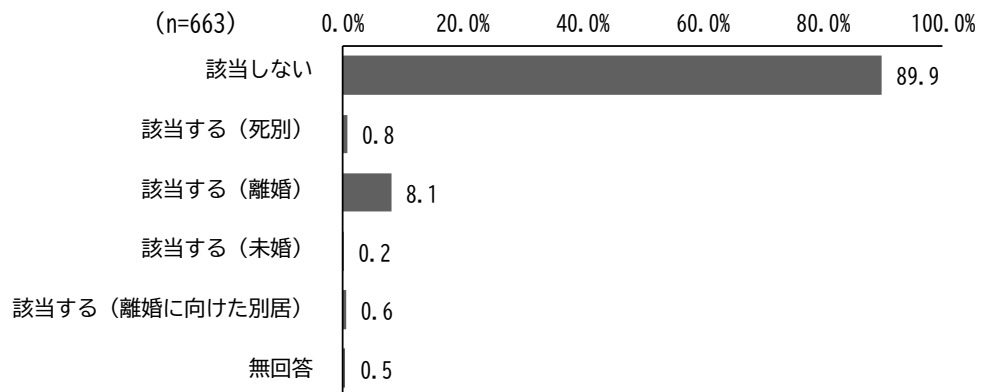
問5 あなたの世帯のご家族の中に、次に該当する方（疑いがある場合を含む）はいいますか。(あてはまる番号をすべて選択)

「家族の状況」について、「該当するものはいない」が81.0%で最も多く、次いで「心や体に病気がある」「発達障害がある」が各6.0%、「知的な発達に遅れがある」が3.8%となっています。



問6 あなたの世帯は、「ひとり親世帯」に該当しますか。(あてはまる番号を1つ選択)

「ひとり親世帯」について、「該当しない」が89.9%で最も多く、次いで「該当する（離婚）」が8.1%、「該当する（死別）」が0.8%となっています。



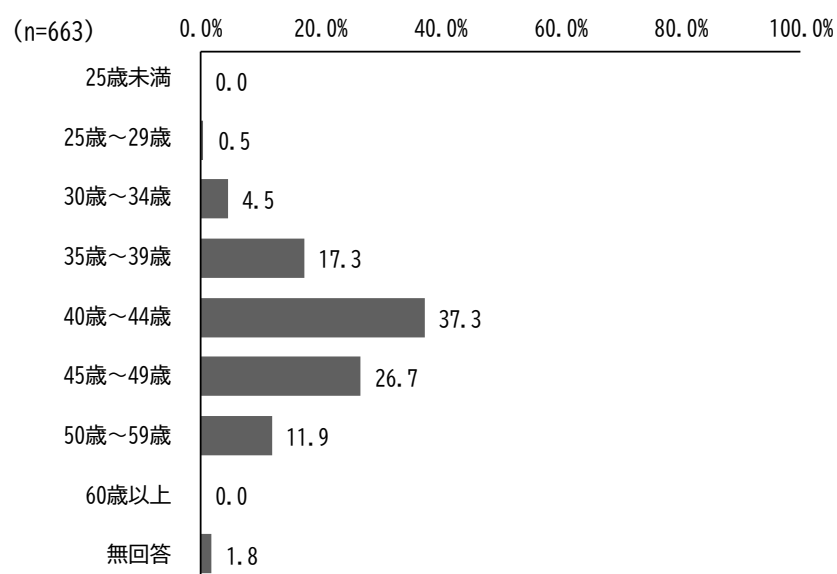
3 お子さんの母親と父親についておたずねします

問7 お子さんの母親と父親の年齢についてお答えください。
(A～Bそれぞれについて、あてはまる番号を1つ選択)

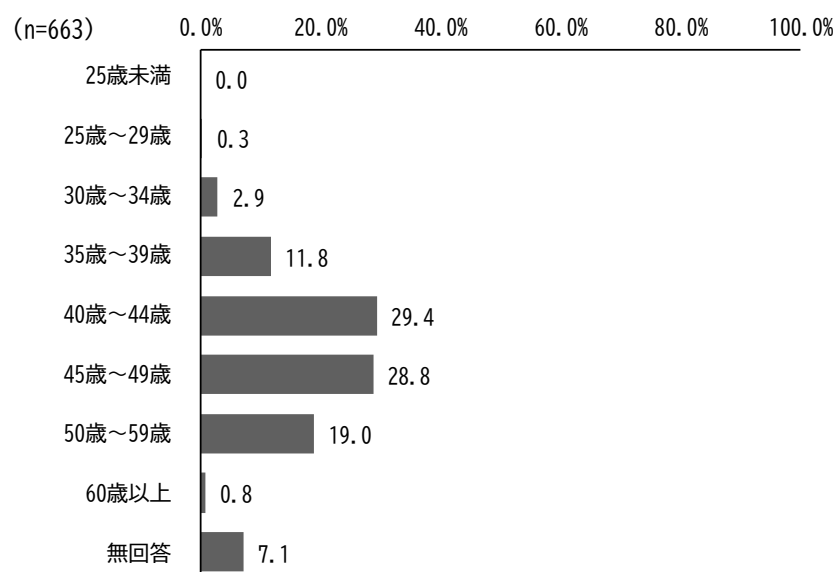
「年齢」について、母親では、「40歳～44歳」が37.3%で最も多く、次いで「45歳～49歳」が26.7%、「35歳～39歳」が17.3%となっています。

父親では、「40歳～44歳」が29.4%で最も多く、次いで「45歳～49歳」が28.8%、「50歳～59歳」が19.0%となっています。

【A. 母親】



【B. 父親】

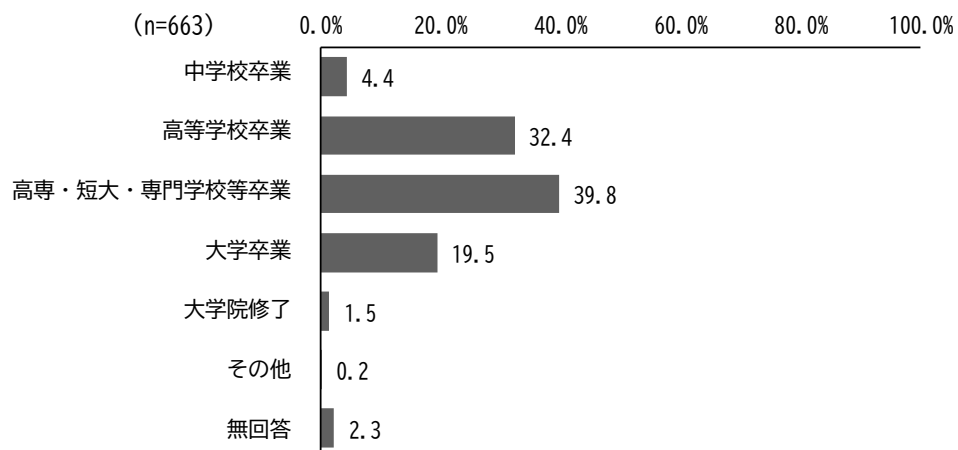


問8 お子さんの母親と父親の最終学歴（卒業した学校）を教えてください。
（A～Bそれぞれについて、あてはまる番号を1つ選択）

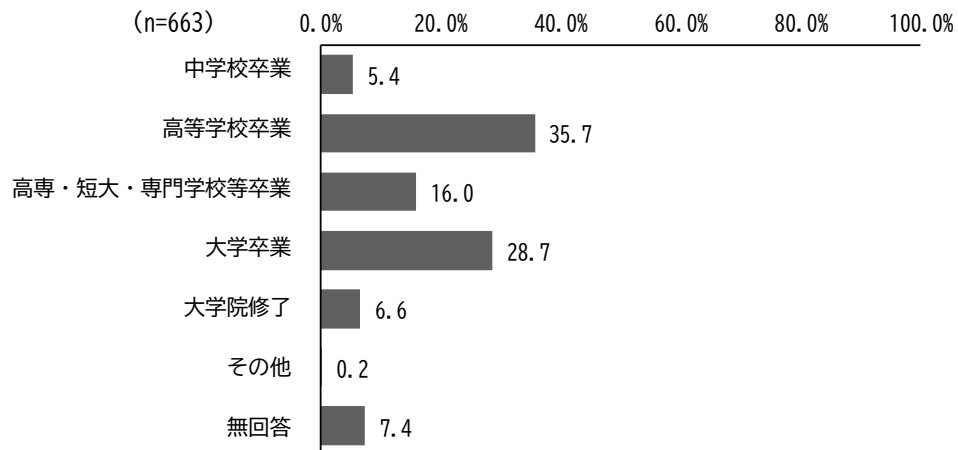
「最終学歴」について、母親では、「高専・短大・専門学校等卒業」が39.8%で最も多く、次いで「高等学校卒業」が32.4%、「大学卒業」が19.5%となっています。

父親では、「高等学校卒業」が35.7%で最も多く、次いで「大学卒業」が28.7%、「高専・短大・専門学校等卒業」が16.0%となっています。

【A. 母親】



【B. 父親】



4 あなたの世帯の暮らしの状況についておたずねします

問9 お子さんの母親と父親は、現在収入をとまなう仕事をしていますか。
(A～Bそれぞれについて、あてはまる番号を1つ選択)

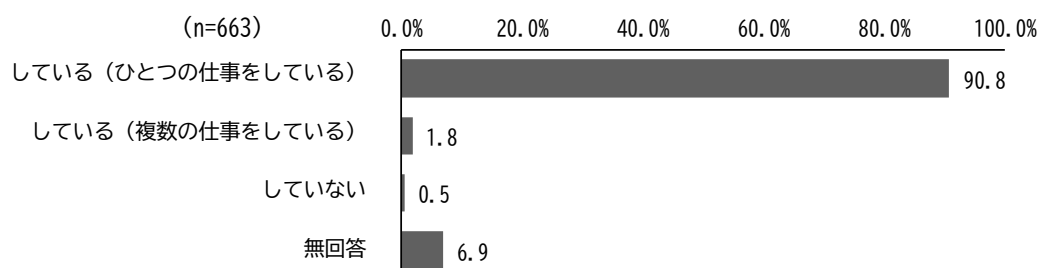
「就労」について、母親では、「している（ひとつの仕事をしている）」が71.6%で最も多く、次いで「していない」が19.5%、「している（複数の仕事をしている）」が7.1%となっています。

父親では、「している（ひとつの仕事をしている）」が90.8%で最も多く、次いで「している（複数の仕事をしている）」が1.8%、「していない」が0.5%となっています。

【A. 母親】



【B. 父親】



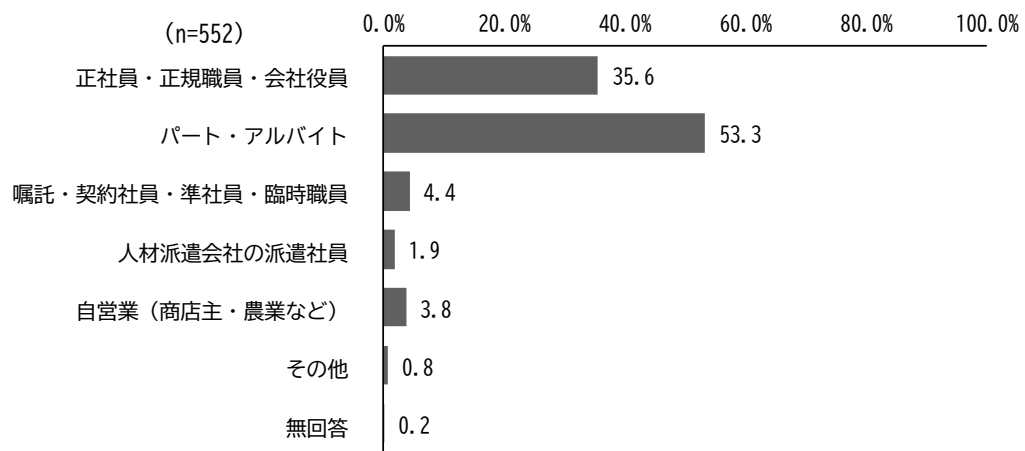
【問9で「している」を選んだ方におたずねします。】

問10 / 問11 お子さんの母親と父親の就業形態は、次のうちどれにあてはまりますか。
複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事についてお答えください。
(A～Bそれぞれについて、あてはまる番号を1つ選択)

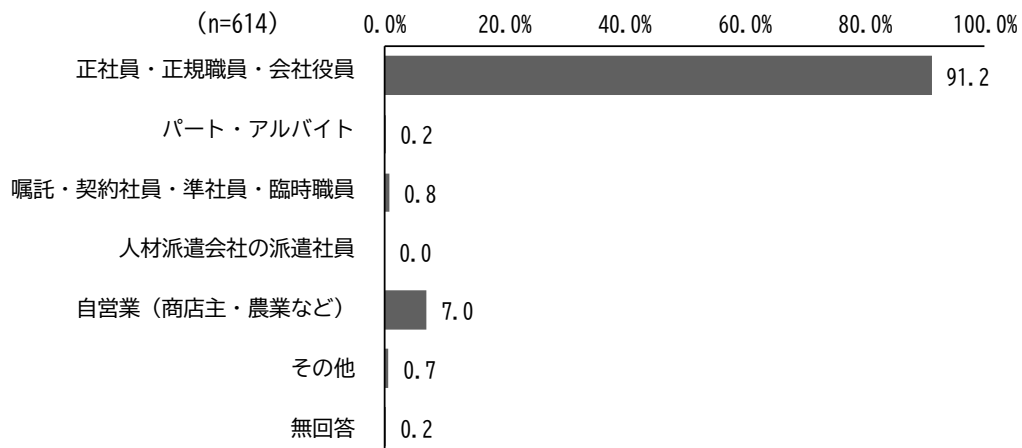
「就業形態」について、母親では、「パート・アルバイト」が53.3%で最も多く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が35.6%、「嘱託・契約社員・準社員・臨時職員」が4.4%となっています。

父親では、「正社員・正規職員・会社役員」が91.2%で最も多く、次いで「自営業（商店主・農業など）」が7.0%、「嘱託・契約社員・準社員・臨時職員」が0.8%となっています。

【A. 母親】



【B. 父親】



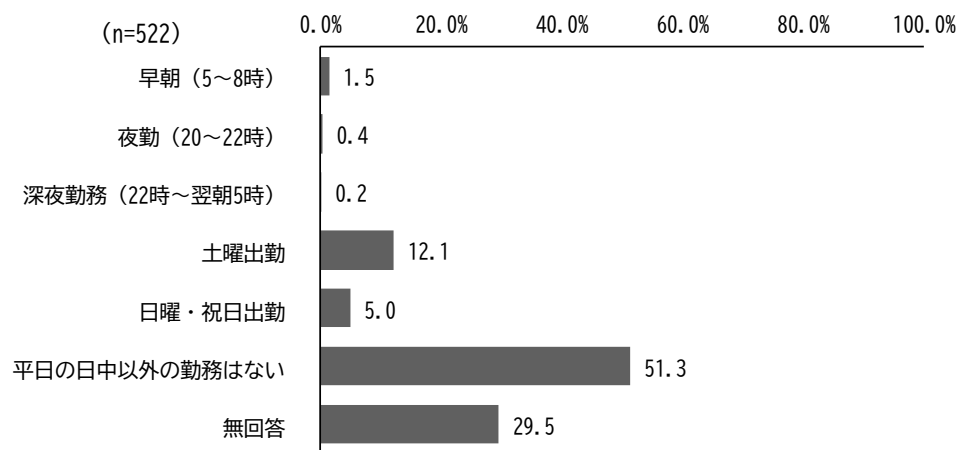
【問9で「している」を選んだ方におたずねします。】

問12 / 問13 お子さんの母親と父親は、平日の日中以外の勤務がありますか。
(A～Bそれぞれについて、あてはまる番号を1つ選択)

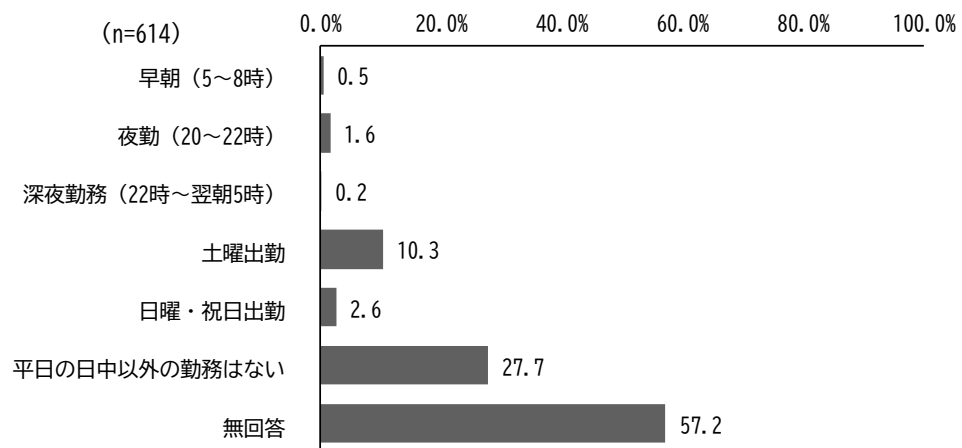
「平日の日中以外の勤務」について、母親では、「平日の日中以外の勤務はない」が51.3%で最も多く、次いで「土曜出勤」が12.1%、「日曜・祝日出勤」が5.0%となっています。

父親では、「平日の日中以外の勤務はない」が27.7%で最も多く、次いで「土曜出勤」が10.3%、「日曜・祝日出勤」が2.6%となっています。

【A. 母親】



【B. 父親】



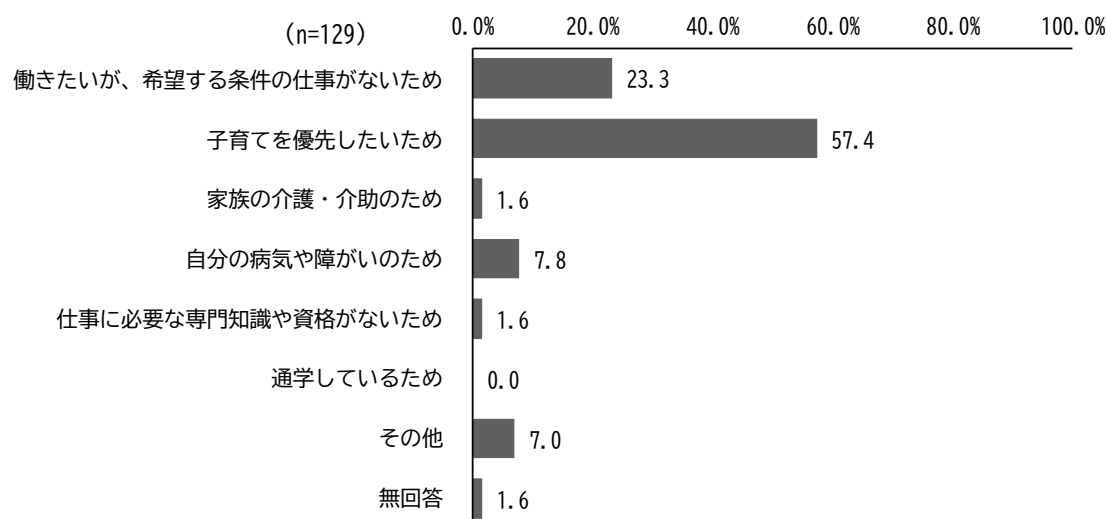
【問9で「していない」を選んだ方におたずねします。】

問14 / 問15 現在収入をとまなう仕事をしていない理由は何ですか。
 (A～Bそれぞれについて、あてはまる番号を1つ選択)

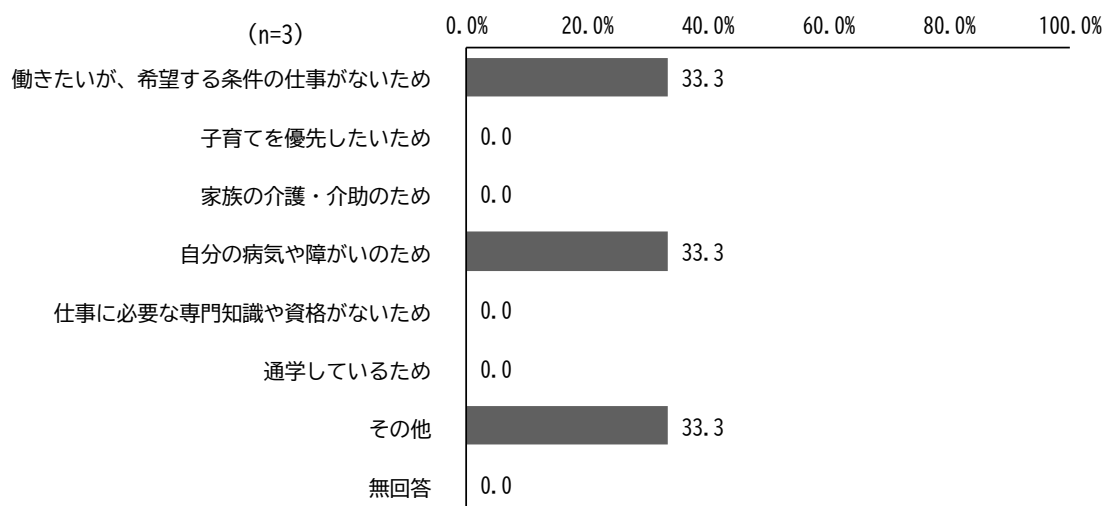
「仕事をしていない理由」について、母親では、「子育てを優先したいため」が57.4%で最も多く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が23.3%、「自分の病気や障がいのため」が7.8%となっています。

父親では、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」「自分の病気や障がいのため」「その他」が各33.3%となっています。

【A. 母親】

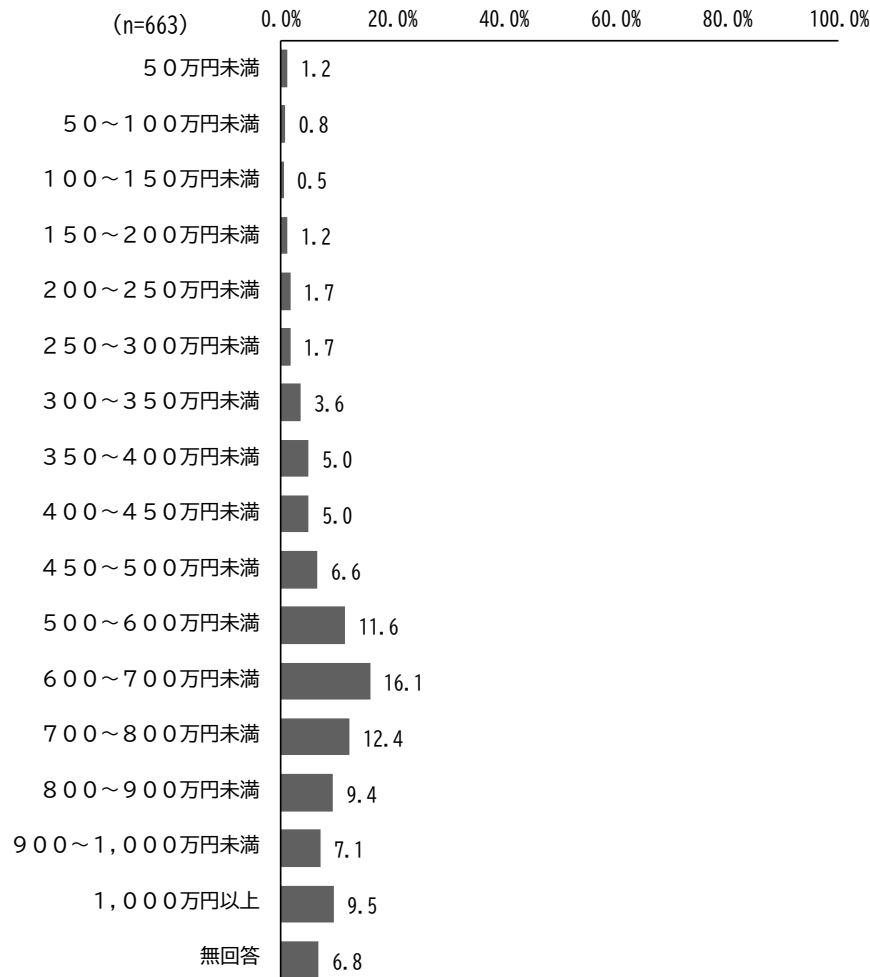


【B. 父親】



問 16 あなたの世帯の、昨年1年間（2024年1月1日～12月31日の期間）の可処分所得（いわゆる手取り収入）は、およそいくらですか。（あてはまる番号を1つ選択）

「昨年1年間の可処分所得」について、「600～700万円未満」が16.1%で最も多く、次いで「700～800万円未満」が12.4%、「500～600万円未満」が11.6%となっています。



【クロス集計：世帯構成別】

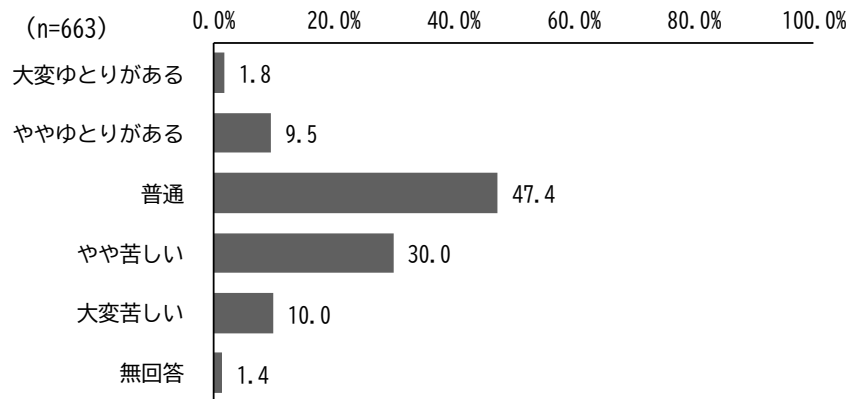
「昨年1年間の可処分所得」について、世帯構成別でみると、ふたり親世帯では「600～700万円未満」の回答割合が高い傾向にあります。

一方、ひとり親世帯では「200～250万円未満」の回答割合が高い傾向にあります。

		上段：件数 下段：構成比（％）																	
		全体	50万円未満	50～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200～250万円未満	250～300万円未満	300～350万円未満	350～400万円未満	400～450万円未満	450～500万円未満	500～600万円未満	600～700万円未満	700～800万円未満	800～900万円未満	900～1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
全体		663 100.0	8 1.2	5 0.8	3 0.5	8 1.2	11 1.7	11 1.7	24 3.6	33 5.0	33 5.0	44 6.6	77 11.6	107 16.1	82 12.4	62 9.4	47 7.1	63 9.5	45 6.8
世帯構成	ふたり親世帯	596 100.0	5 0.8	2 0.3	-	-	1 0.2	6 1.0	15 2.5	30 5.0	29 4.9	42 7.0	73 12.2	105 17.6	81 13.6	60 10.1	45 7.6	62 10.4	40 6.7
	ひとり親世帯	64 100.0	3 4.7	3 4.7	3 4.7	8 12.5	10 15.6	5 7.8	9 14.1	3 4.7	4 6.3	2 3.1	4 6.3	2 3.1	-	2 3.1	1 1.6	1 1.6	4 6.3

問 17 現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。
(あてはまる番号を1つ選択)

「暮らしの状況」について、「普通」が47.4%で最も多く、次いで「やや苦しい」が30.0%、「大変苦しい」が10.0%となっています。



【クロス集計：困窮世帯分類別】

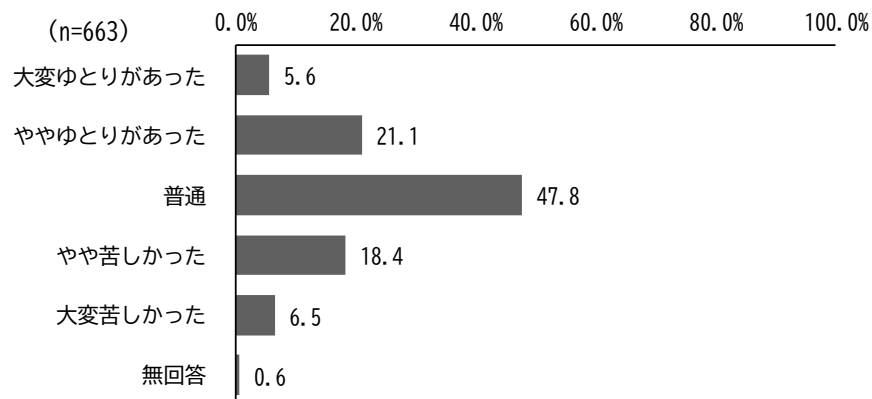
「暮らしの状況」について、困窮世帯分類別でみると、生活困窮世帯では「やや苦しい」と「大変苦しい」の回答割合の合計が8割台半ばと他世帯に比べ高い傾向にあります。

一方、一般層では「普通」の回答割合が高い傾向にあります。

		上段：件数　下段：構成比（％）						
		全体	大変ゆとりがある	ややゆとりがある	普通	やや苦しい	大変苦しい	無回答
全体		663 100.0	12 1.8	63 9.5	314 47.4	199 30.0	66 10.0	9 1.4
困窮世帯分類	生活困窮世帯	25 100.0	－ －	－ －	4 16.0	10 40.0	11 44.0	－ －
	周辺世帯	113 100.0	－ －	3 2.7	45 39.8	44 38.9	21 18.6	－ －
	一般層	474 100.0	12 2.5	55 11.6	242 51.1	135 28.5	29 6.1	1 0.2

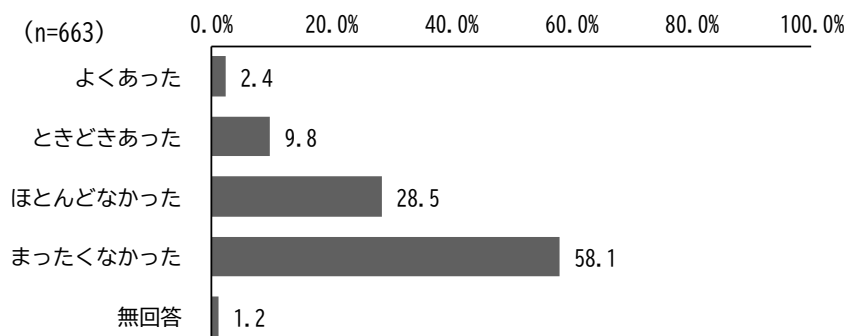
問 18 あなたが子どもの頃のご家庭の暮らしについて、最も近いものを教えてください。
(あてはまる番号を1つ選択)

「子どもの頃の暮らしの状況」について、「普通」が47.8%で最も多く、次いで「ややゆとりがあった」が21.1%、「やや苦しかった」が18.4%となっています。



問 19 あなたの世帯では、過去1年間に、お金が足りなくて、必要とする食料や衣料が買えないことがありましたか。※ただし、嗜好品や高価な衣服、貴金属、宝飾品は含みません。(あてはまる番号を1つ選択)

「必要とする食料や衣料が買えなかった経験」について、「まったくなかった」が58.1%で最も多く、次いで「ほとんどなかった」が28.5%、「ときどきあった」が9.8%となっています。



【クロス集計：困窮世帯分類別】

「必要とする食料や衣料が買えなかった経験」について、困窮世帯分類別でみると、一般層と周辺世帯では「まったくなかった」の回答割合が高い傾向にあります。

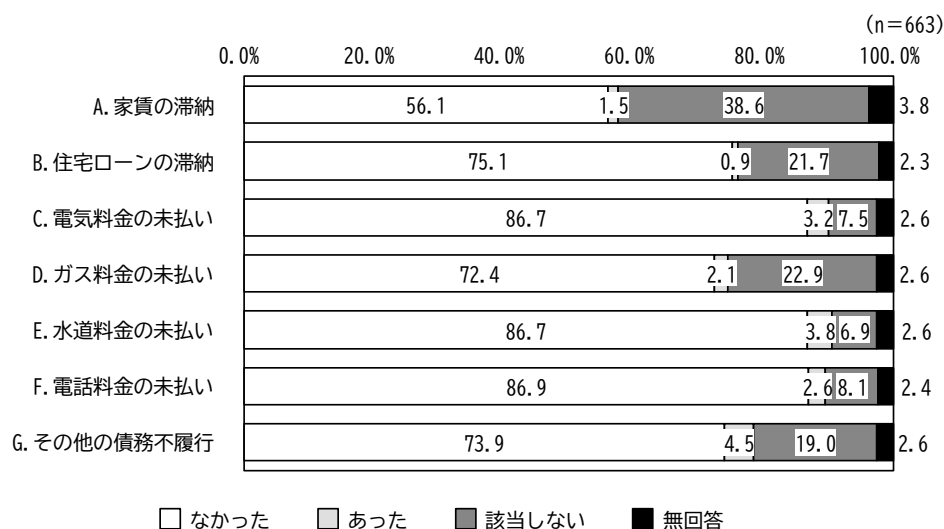
一方、生活困窮世帯では「ときどきあった」の回答割合が高い傾向にあります。

		上段：件数　下段：構成比（％）					
		全体	よくあつた	ときどきあつた	ほとんどなかつた	まつたくなかつた	無回答
全体		663 100.0	16 2.4	65 9.8	189 28.5	385 58.1	8 1.2
困窮世帯分類	生活困窮世帯	25 100.0	5 20.0	8 32.0	6 24.0	5 20.0	1 4.0
	周辺世帯	113 100.0	5 4.4	21 18.6	38 33.6	49 43.4	－ －
	一般層	474 100.0	4 0.8	33 7.0	132 27.8	304 64.1	1 0.2

問 20 あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で家賃・住宅ローンの滞納、各種料金の未払い、債務の返済ができないことがありましたか。(A～Gそれぞれについて、あてはまる番号を1つ選択)

「経済的な理由で家賃・住宅ローンの滞納、各種料金の未払い、債務の返済ができないこと」について、「なかった」では、「F. 電話料金の未払い」が86.9%で最も多く、次いで「C. 電気料金の未払い」「E. 水道料金の未払い」が86.7%、「B. 住宅ローンの滞納」が75.1%となっています。

「あった」では、「G. その他の債務不履行」が4.5%で最も多く、次いで「E. 水道料金の未払い」が3.8%、「C. 電気料金の未払い」が3.2%となっています。



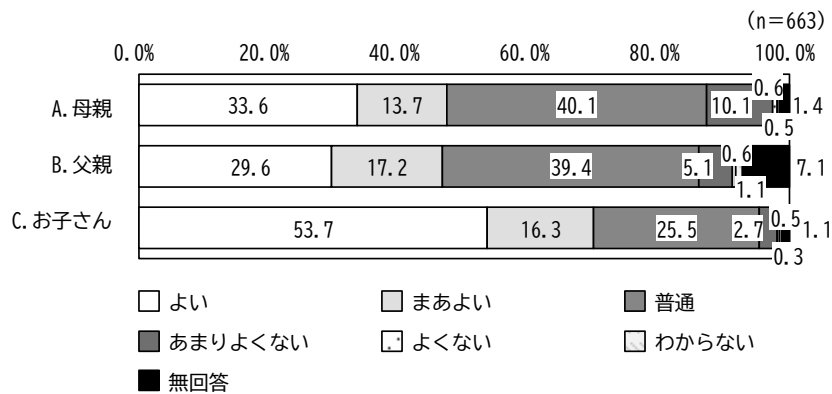
5 お子さんとあなたの健康状態についておたずねします

問 21 お子さんのご家族の現在の健康状態はいかがですか。

(A～Cそれぞれについて、あてはまる番号を1つ選択)

「家族の健康状態」について、「よい」では、「C. お子さん」が53.7%で最も多く、次いで「A. 母親」が33.6%、「B. 父親」が29.6%となっています。

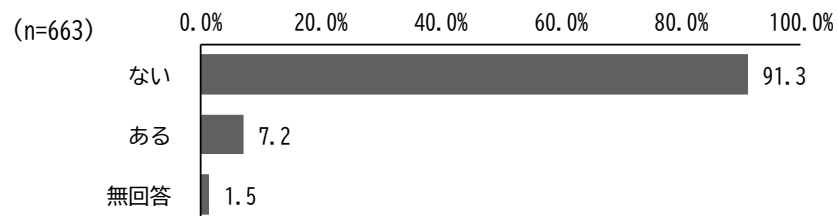
「まあよい」では、「B. 父親」が17.2%で最も多く、次いで「C. お子さん」が16.3%、「A. 母親」が13.7%となっています。



6 お子さんのことについておたずねします

問 22 あなたの世帯では、過去1年間に、お子さんについて病気や怪我の治療のために病院や診療所を受診したほうがよいと思ったのに、実際には受診しなかったことがありますか。(あてはまる番号を1つ選択)

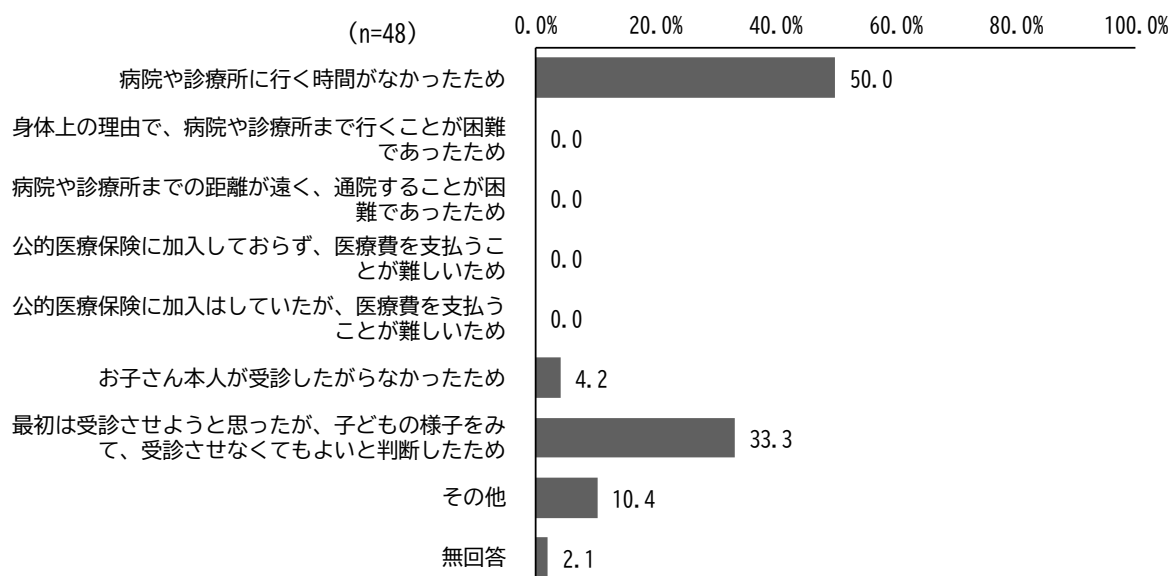
「病院や診療所を受診したほうがよいと思ったのに、実際には受診しなかったこと」について、「ない」が91.3%、「ある」が7.2%となっています。



【問 22 で「2. ある」を選んだ方におたずねします。】

問 22-2 受診しなかった理由を教えてください。（あてはまる番号を1つ選択）

「病院や診療所を受診しなかった理由」について、「病院や診療所に行く時間がなかったため」が50.0%で最も多く、次いで「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」が33.3%、「その他」10.4%となっています。

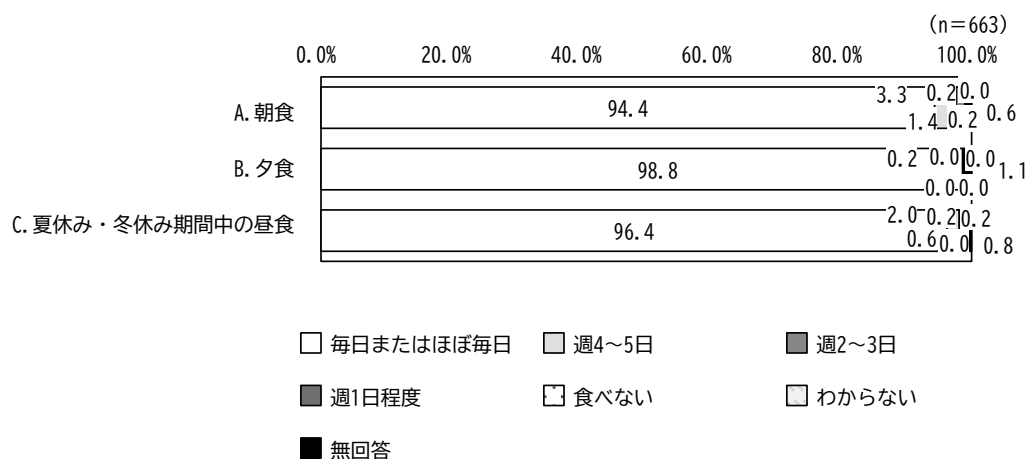


問 23 お子さんは週にどのくらい、食事をしていますか。

（A～Cそれぞれについて、あてはまる番号を1つ選択）

「お子さんの食事」について、「毎日またはほぼ毎日」では、「B. 夕食」が98.8%で最も多く、次いで「C. 夏休み・冬休み期間中の昼食」が96.4%、「A. 朝食」が94.4%となっています。

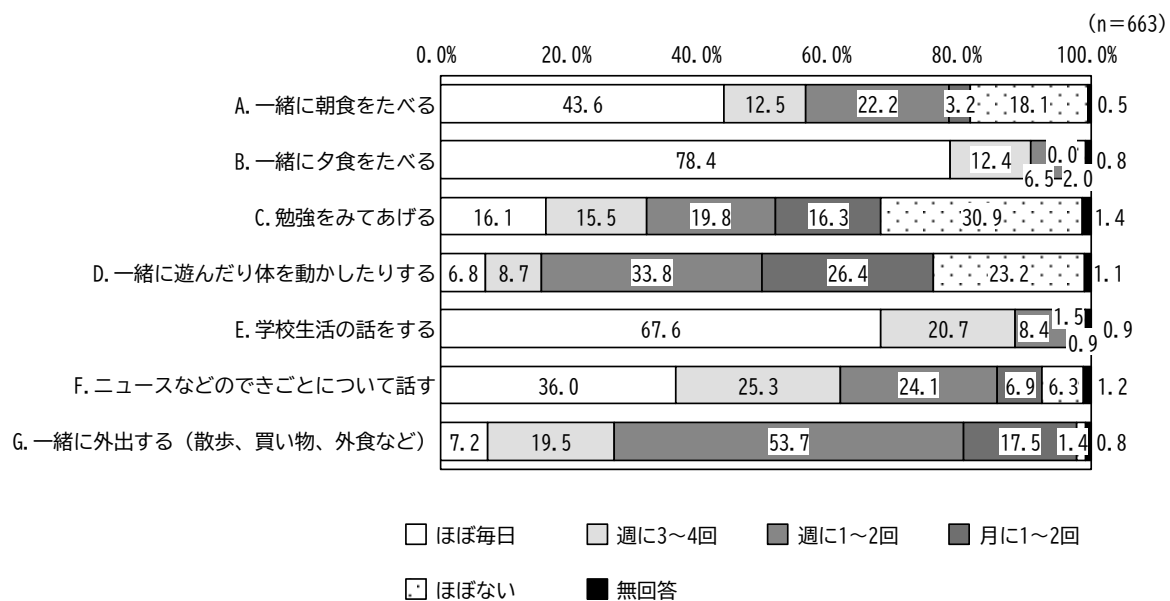
「週4～5日」では、「A. 朝食」が3.3%で最も多く、次いで「C. 夏休み・冬休み期間中の昼食」が2.0%、「B. 夕食」が0.2%となっています。



問 24 お子さんとあなたの生活・学習習慣について教えてください。
(A～Gそれぞれについて、あてはまる番号を1つ選択)

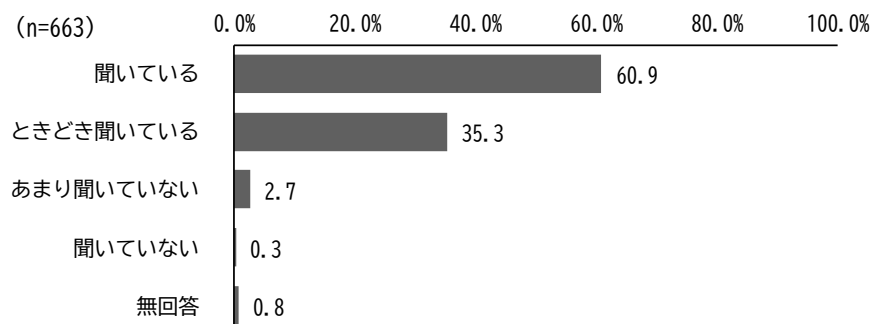
「生活・学習習慣」について、「ほぼ毎日」では、「B. 一緒に夕食をたべる」が78.4%で最も多く、次いで「E. 学校生活の話をする」が67.6%、「A. 一緒に朝食をたべる」が43.6%となっています。

「週に3～4回」では、「F. ニュースなどのできごとについて話す」が25.3%で最も多く、次いで「E. 学校生活の話をする」が20.7%、「G. 一緒に外出する（散歩、買い物、外食など）」が19.5%となっています。



問 25 あなたは、家で何かを決めるとき、お子さんの意見を聞いていますか。
(あてはまる番号を1つ選択)

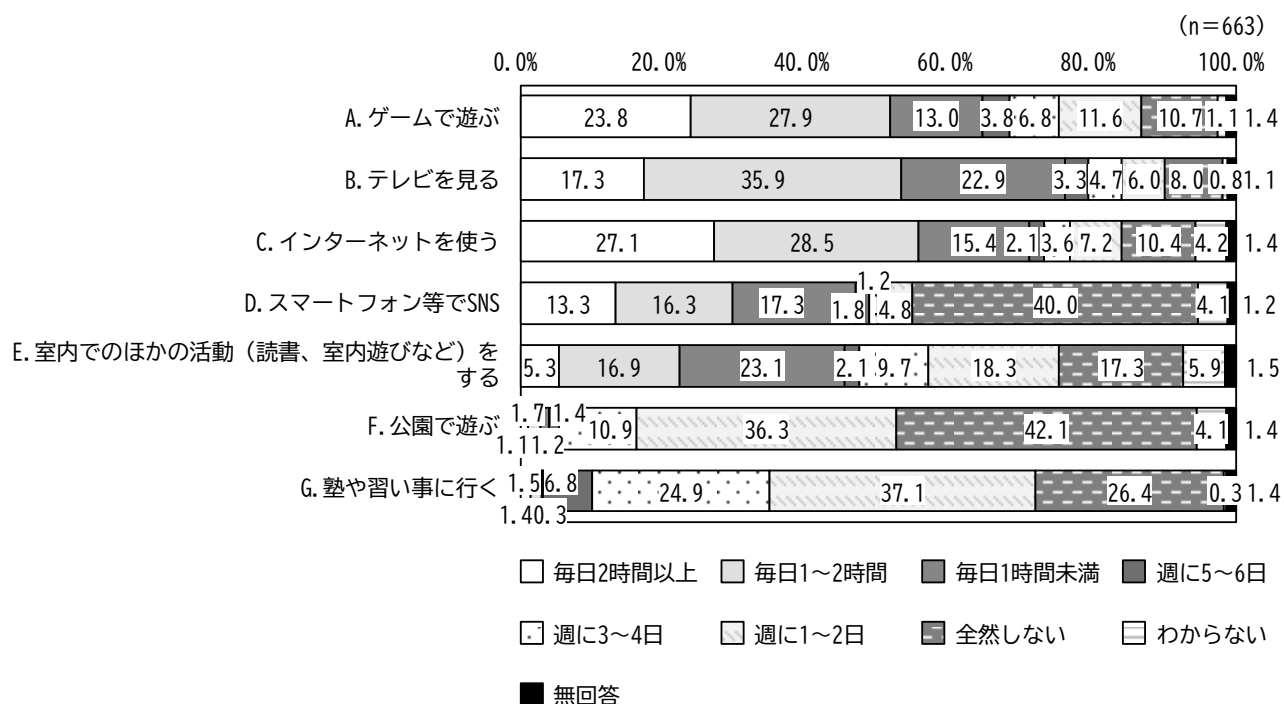
「家で何かを決めるとき、お子さんの意見を聞いているか」について、「聞いている」が60.9%で最も多く、次いで「ときどき聞いている」が35.3%、「あまり聞いていない」が2.7%となっています。



問 26 お子さんは以下のことを普段どれくらいしますか。
(A～Gそれぞれについて、あてはまる番号を1つ選択)

「お子さんが普段していること」について、「毎日2時間以上」では、「C. インターネットを使う」が27.1%で最も多く、次いで「A. ゲームで遊ぶ」が23.8%、「B. テレビを見る」が17.3%となっています。

「毎日1～2時間」では、「B. テレビを見る」が35.9%で最も多く、次いで「C. インターネットを使う」が28.5%、「A. ゲームで遊ぶ」が27.9%となっています。

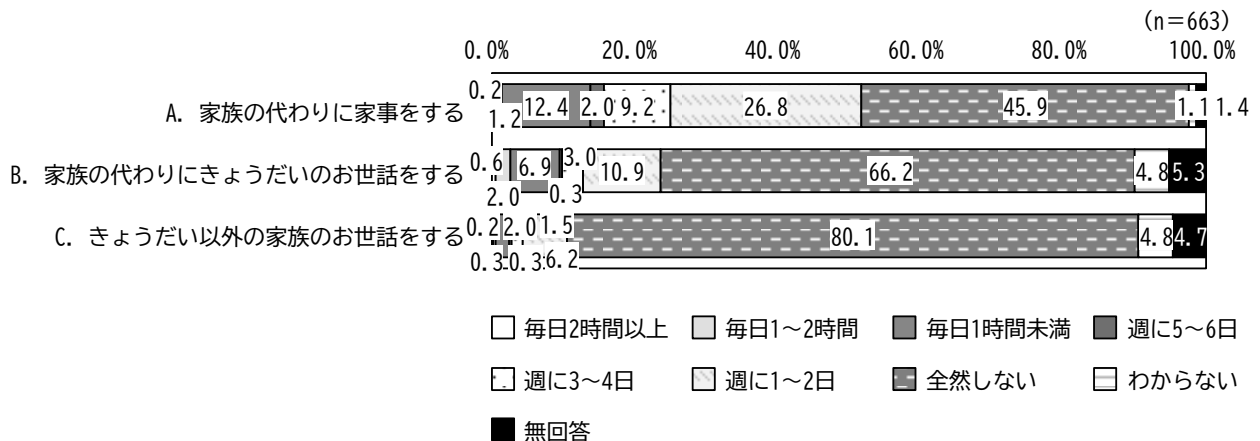


問 27 お子さんは以下のことを普段どれくらいしますか。

(A～Cそれぞれについて、あてはまる番号を1つ選択)

「お子さんが家庭内でしていること」について、「毎日2時間以上」では、「B. 家族の代わりにきょうだいのお世話をする」が0.6%で最も多く、次いで「A. 家族の代わりに家事をする」「C. きょうだい以外の家族のお世話をする」が各0.2%となっています。

「毎日1～2時間」では、「B. 家族の代わりにきょうだいのお世話をする」が2.0%で最も多く、次いで「A. 家族の代わりに家事をする」が1.2%、「C. きょうだい以外の家族のお世話をする」が0.3%となっています。



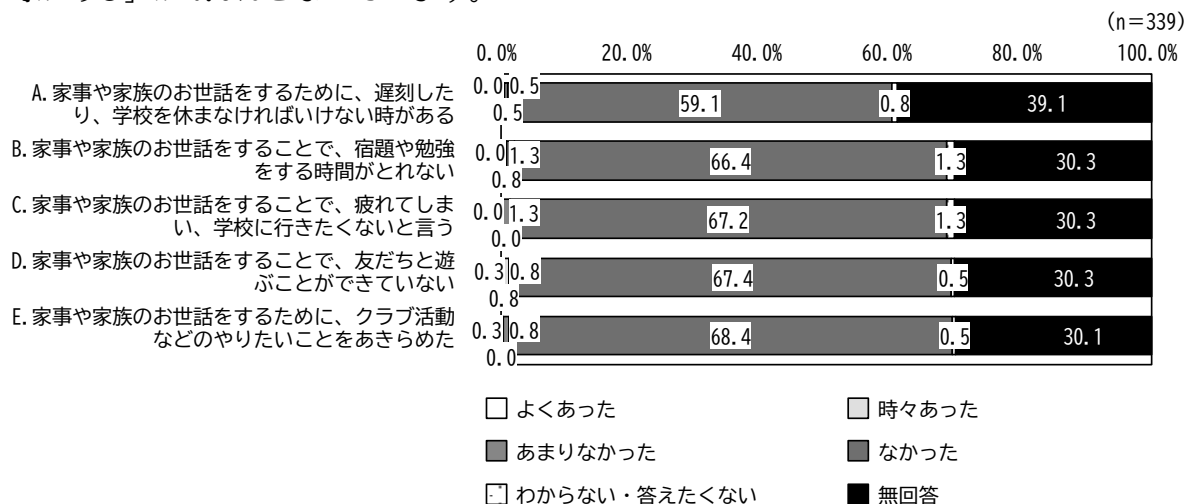
【問 27 の A～C のいずれかで「7. 全然しない」以外を選んだ方におたずねします。】

問 27-2 お子さんは、家事や家族のお世話をすることで次のことがありましたか。

(A～Eそれぞれについて、あてはまる番号を1つ選択)

「家事や家族のお世話をすること」について、「よくあった」では、「D. 家事や家族のお世話をすることで、友だちと遊ぶことができていない」「E. 家事や家族のお世話をするために、クラブ活動などのやりたいことをあきらめた」が各0.3%となっています。

「時々あった」では、「B. 家事や家族のお世話をすることで、宿題や勉強をする時間がとれない」「D. 家事や家族のお世話をすることで、友だちと遊ぶことができていない」が各0.8%で最も多く、次いで「A. 家事や家族のお世話をするために、遅刻したり、学校を休まなければいけない時がある」が0.5%となっています。

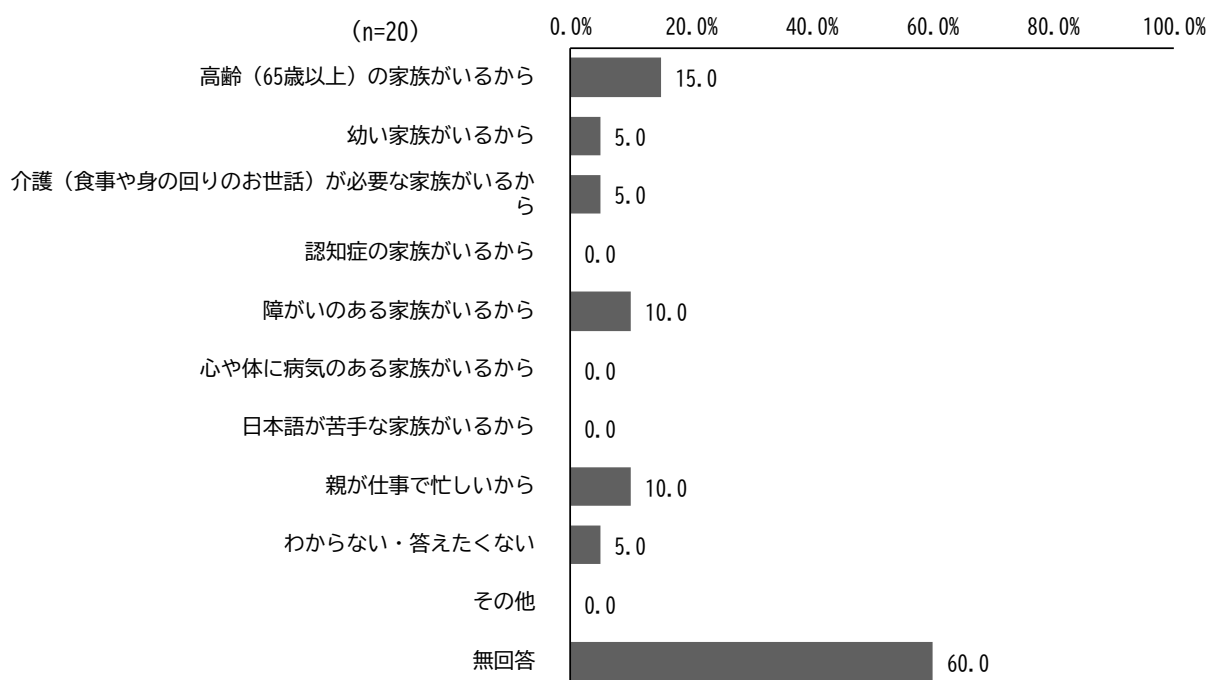


【問 27-2 の A～E のいずれかで 1～3 を選んだ方におたずねします。】

問 27-3 お子さんが家事やお世話をしている理由を教えてください。

(あてはまる番号をすべて選択)

「お子さんが家事やお世話をしている理由」について、「高齢（65 歳以上）の家族がいるから」が 15.0%で最も多く、次いで「障がいのある家族がいるから」「親が仕事で忙しいから」が各 10.0%、「若い家族がいるから」「介護（食事や身の回りのお世話）が必要な家族がいるから」「わからない・答えたくない」が各 5.0%となっています。

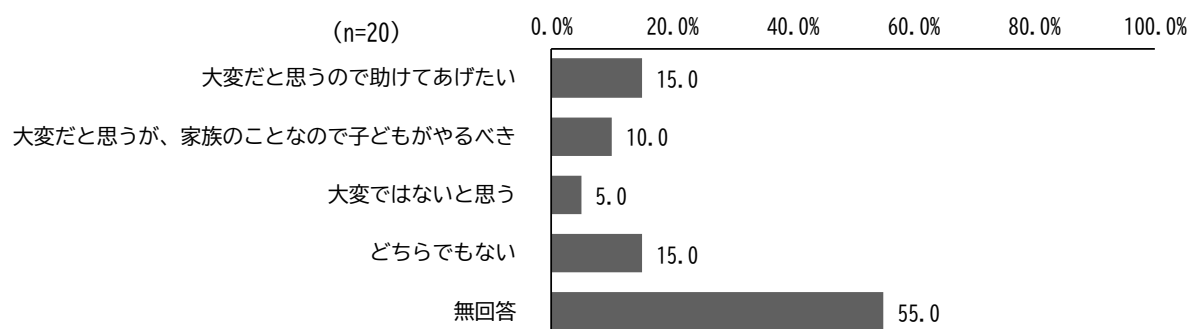


【問 27-2 の A～E のいずれかで 1～3 を選んだ方におたずねします。】

問 27-4 あなたは、お子さんがお世話することをどう思っていますか。

(あてはまる番号を 1 つ選択)

「お子さんがお世話すること」について、「大変だと思うので助けてあげたい」「どちらでもない」が各 15.0%で最も多く、次いで「大変だと思うが、家族のことなので子どもがやるべき」が 10.0%、「大変ではないと思う」が 5.0%となっています。

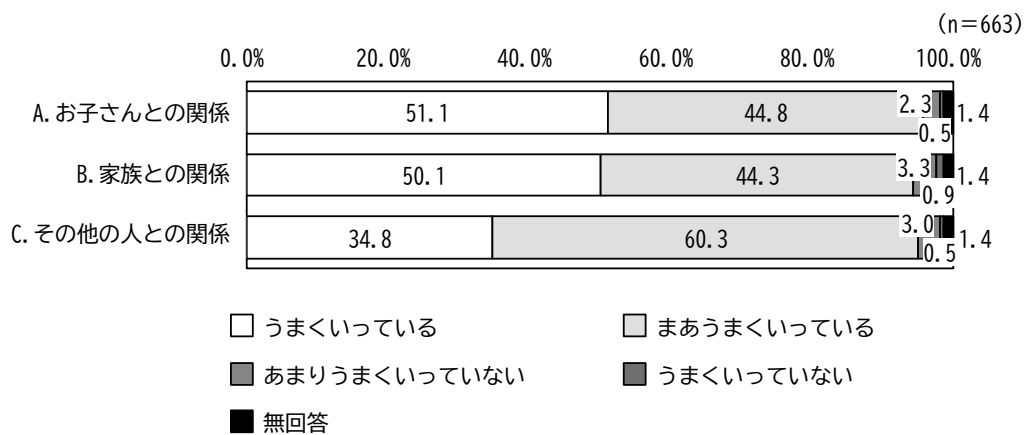


7 あなたが普段考えていることについておたずねします

問 28 あなた、まわりの人との関係について、教えてください。
(A～Cそれぞれについて、あてはまる番号を1つ選択)

「まわりの人との関係」について、「うまくいっている」では、「A. お子さんとの関係」が51.1%で最も多く、次いで「B. 家族との関係」が50.1%、「C. その他の人との関係」が34.8%となっています。

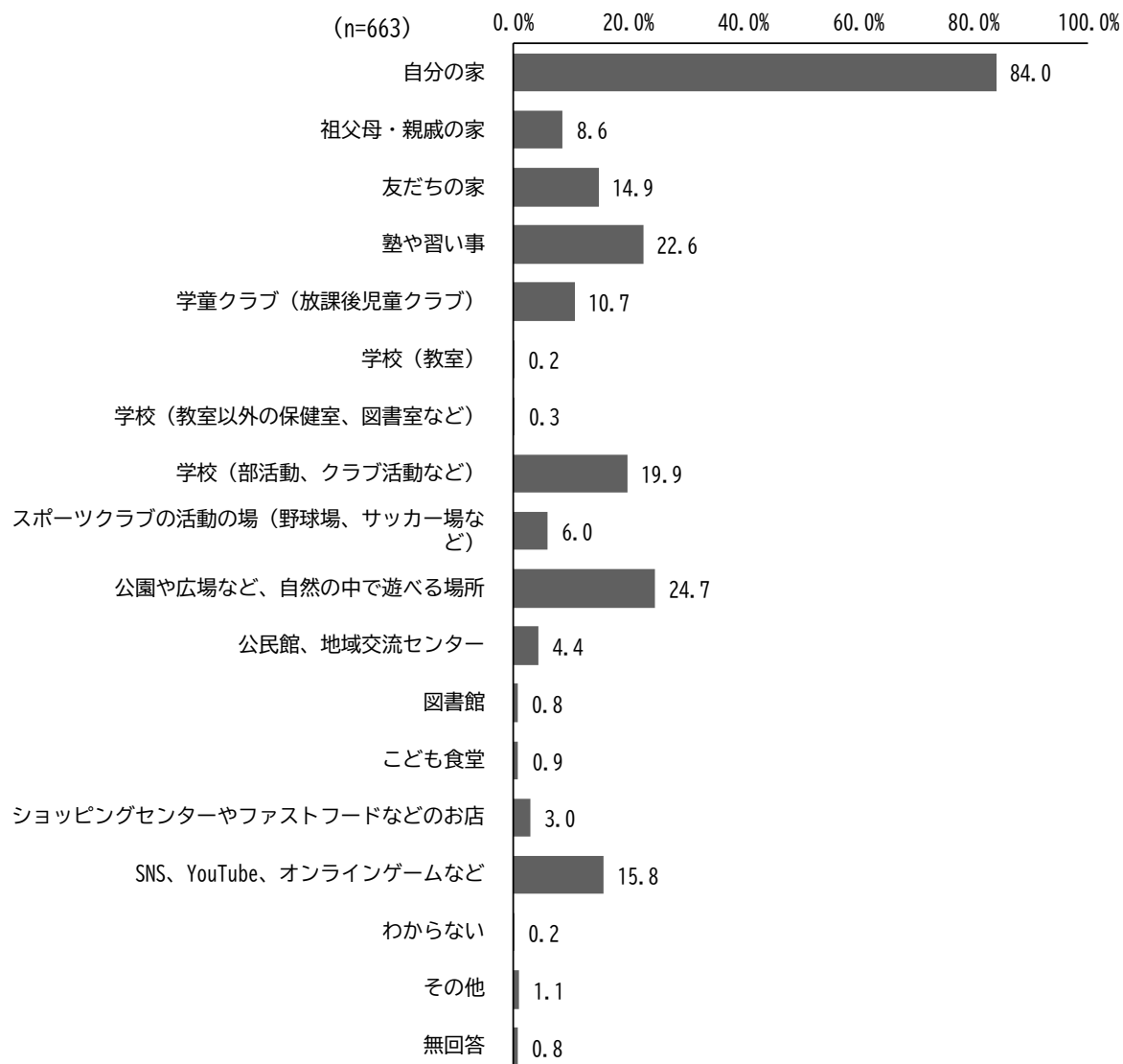
「まあうまくいっている」では、「C. その他の人との関係」が60.3%で最も多く、次いで「A. お子さんとの関係」が44.8%、「B. 家族との関係」が44.3%となっています。



8 お子さんが普段過ごす場所についておたずねします

問 29 お子さんが、学校のある日の放課後（夕方6時くらいまで）、過ごしている場所はどこですか。（あてはまる番号をすべて選択）

「普段過ごしている場所や、過ごしたいと思う場所」について、「自分の家」が84.0%で最も多く、次いで「公園や広場など、自然の中で遊べる場所」が24.7%、「塾や習い事」が22.6%となっています。



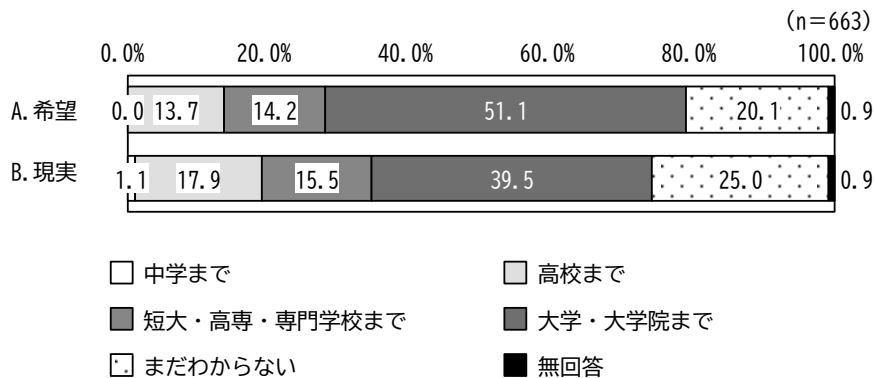
9 学校のことや勉強のことについておたずねします

問 30 お子さんについて、どの段階まで進学すると思いますか。あなたの希望と、現実的にみた場合、それぞれについてお教えてください。

(A～Bそれぞれについて、あてはまる番号を1つ選択)

「お子さんの進学段階」について、「高校まで」では、「A. 希望」が13.7%、「B. 現実」が17.9%となっています。

「大学・大学院まで」では、「A. 希望」が51.1%、「B. 現実」が39.5%となっています。



【小学5年生・中学2年の保護者調査結果】

【クロス集計：困窮世帯分類別】

「お子さんの進学段階」について、困窮世帯分類別でみると、一般層と周辺世帯の『希望』では「大学・大学院まで」の回答割合が高い傾向にある一方で、生活困窮世帯では「高校まで」の回答割合が高い傾向にあります。

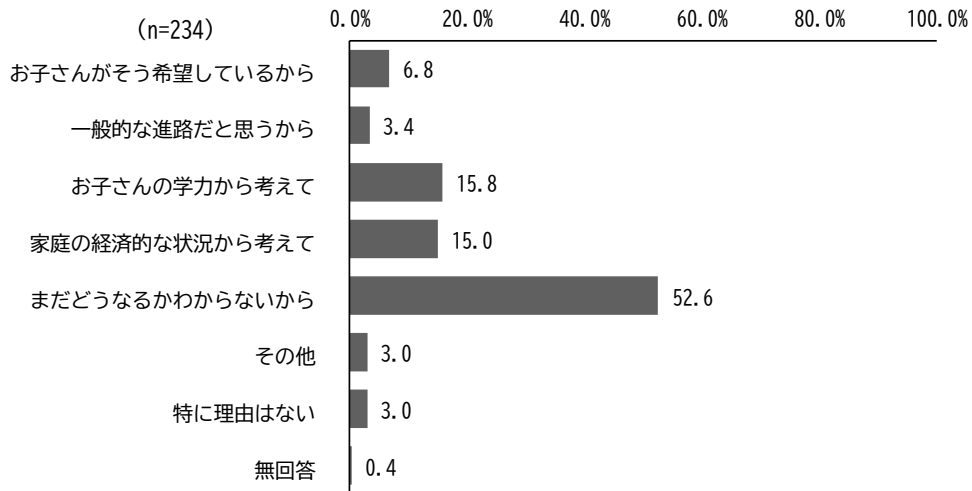
また、生活困窮世帯と周辺世帯の『現実』では「高校まで」の回答割合が高い傾向にあります。

上段：件数 下段：構成比（％）								
		全体	中学まで	高校まで	短大・高専・専門学校まで	大学・大学院まで	まだわからない	無回答
A. 希望								
全体		663 100.0	- -	91 13.7	94 14.2	339 51.1	133 20.1	6 0.9
困窮世帯分類	生活困窮世帯	25 100.0	- -	11 44.0	2 8.0	6 24.0	5 20.0	1 4.0
	周辺世帯	113 100.0	- -	26 23.0	24 21.2	41 36.3	22 19.5	- -
	一般層	474 100.0	- -	48 10.1	64 13.5	266 56.1	95 20.0	1 0.2
B. 現実								
全体		663 100.0	7 1.1	119 17.9	103 15.5	262 39.5	166 25.0	6 0.9
困窮世帯分類	生活困窮世帯	25 100.0	2 8.0	11 44.0	4 16.0	4 16.0	3 12.0	1 4.0
	周辺世帯	113 100.0	1 0.9	32 28.3	23 20.4	27 23.9	30 26.5	- -
	一般層	474 100.0	4 0.8	71 15.0	70 14.8	212 44.7	116 24.5	1 0.2

【問 30 で「希望」と「現実」が異なる回答をした方におたずねします。】

問 31 「希望」と「現実」が異なると考えるのはなぜですか。
(あてはまる番号を1つ選択)

「進学段階の「希望」と「現実」が異なる理由」について、「まだどうなるかわからないから」が52.6%で最も多く、次いで「お子さんの学力から考えて」が15.8%、「家庭の経済的な状況から考えて」が15.0%となっています。



【クロス集計：困窮世帯分類別】

「進学段階の「希望」と「現実」が異なる理由」について、困窮世帯分類別でみると、生活困窮世帯では「家庭の経済的な状況から考えて」の回答割合が高い傾向にあります。

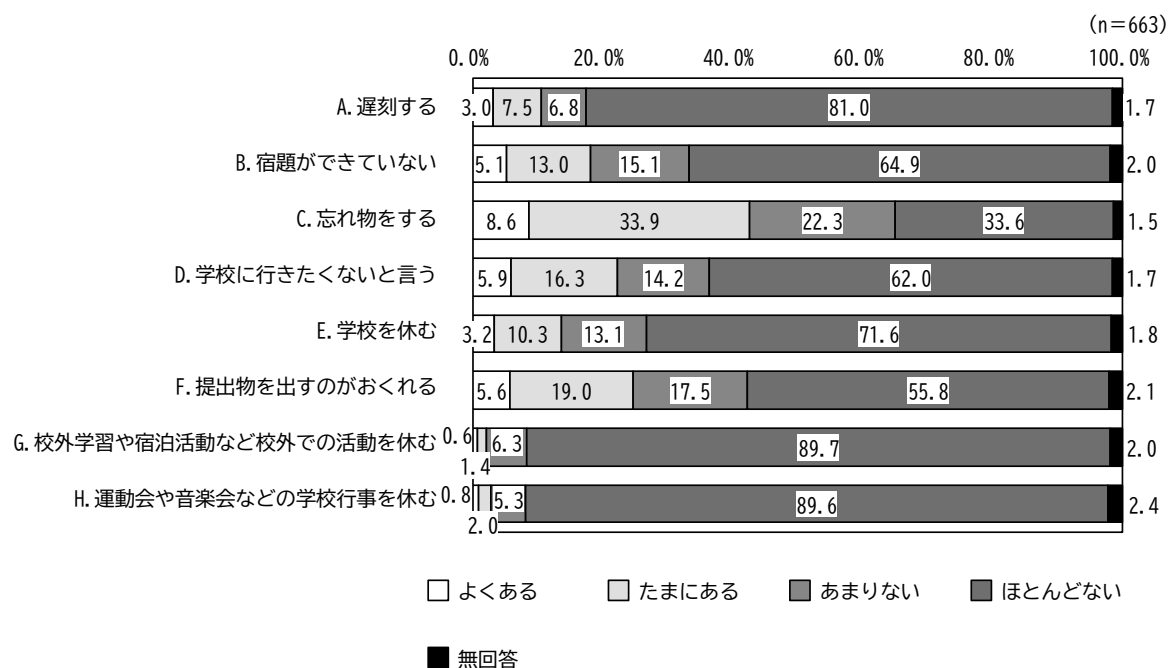
一方、一般層と周辺世帯では「まだどうなるかわからないから」の回答割合が高い傾向にあります。

		上段：件数 下段：構成比 (%)							
	全体	から お子 さんが そう 希望 してい る	一 般 的 な 進 路 だ と 思 う か ら	お 子 さ ん の 学 力 か ら 考 え て	て 家 庭 の 経 済 的 な 状 況 か ら 考 え	ら ま だ ど う な る か わ か ら な い か	そ の 他	特 に 理 由 は な い	無 回 答
全体	234 100.0	16 6.8	8 3.4	37 15.8	35 15.0	123 52.6	7 3.0	7 3.0	1 0.4
困窮世帯分類	生活困窮世帯	11 100.0	1 9.1	1 9.1	2 18.2	5 45.5	1 9.1	1 9.1	- -
	周辺世帯	50 100.0	5 10.0	1 2.0	4 8.0	15 30.0	24 48.0	- -	1 2.0
	一般層	160 100.0	10 6.3	6 3.8	28 17.5	14 8.8	90 56.3	6 3.8	- -

問 32 お子さんは、学校での生活や行事などで次のようなことがありますか。
(A～Hそれぞれについて、あてはまる番号を1つ選択)

「学校での生活や行事」について、「よくある」では、「C. 忘れ物をする」が8.6%で最も多く、次いで「D. 学校に行きたくないと言う」が5.9%、「F. 提出物を出すのがおくれる」が5.6%となっています。

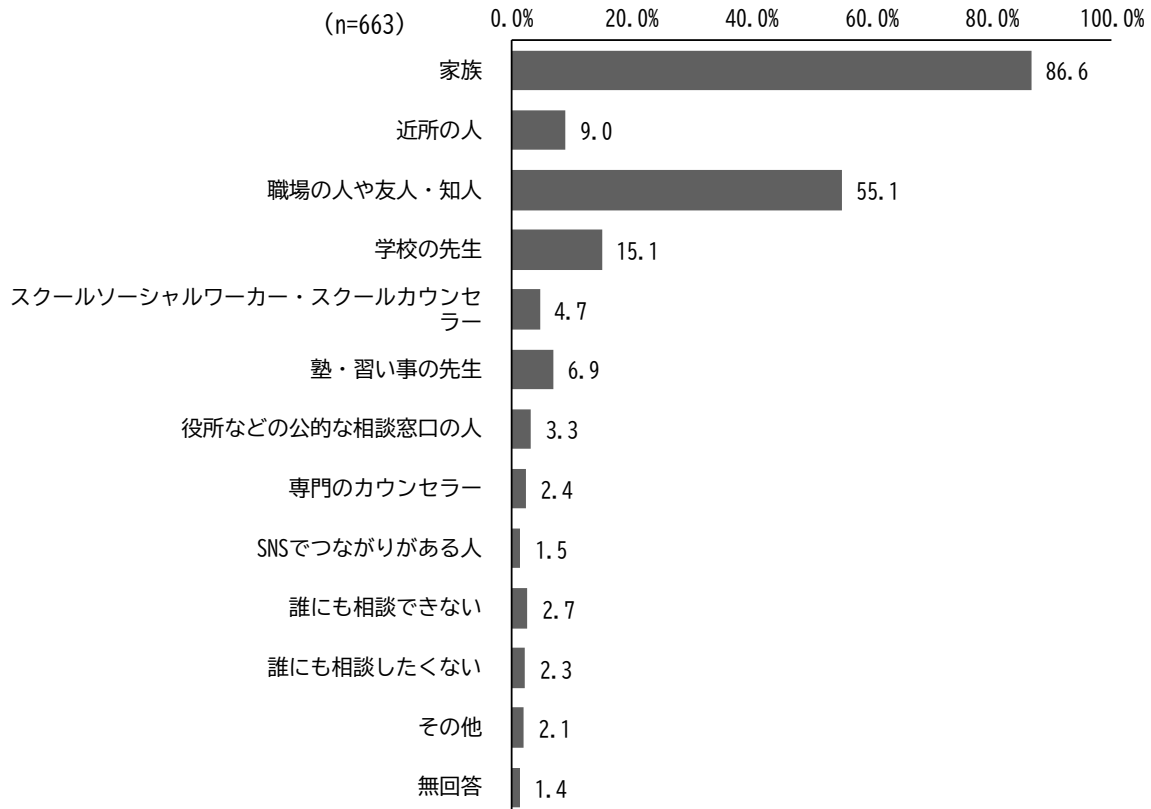
「たまにある」では、「C. 忘れ物をする」が33.9%で最も多く、次いで「F. 提出物を出すのがおくれる」が19.0%、「D. 学校に行きたくないと言う」が16.3%となっています。



10 あなたが困っているときの相談先についておたずねします

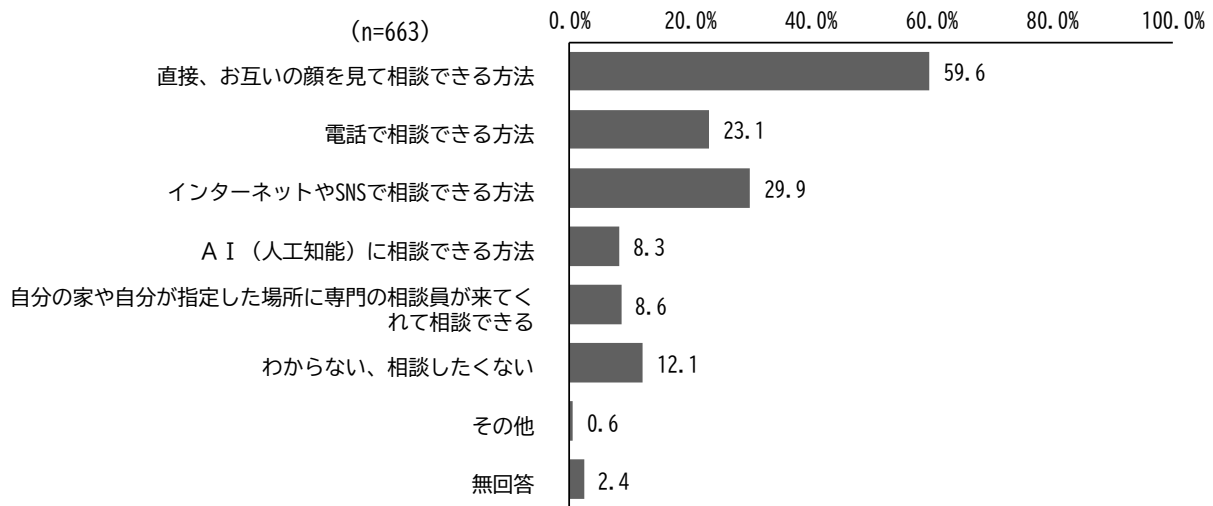
問 33 あなたは、子育てに関する不安や悩みをどなたに相談していますか。不安や悩みが特にならない場合は、不安や悩みがあった場合を想定してお答えください。
(あてはまる番号をすべて選択)

「子育てに関する不安や悩みの相談先」について、「家族」が86.6%で最も多く、次いで「職場の人や友人・知人」が55.1%、「学校の先生」が15.1%となっています。



問 34 あなた自身に困っていることや悩みごとがあるとき、どんな方法であれば相談しやすいですか。（あてはまる番号をすべて選択）

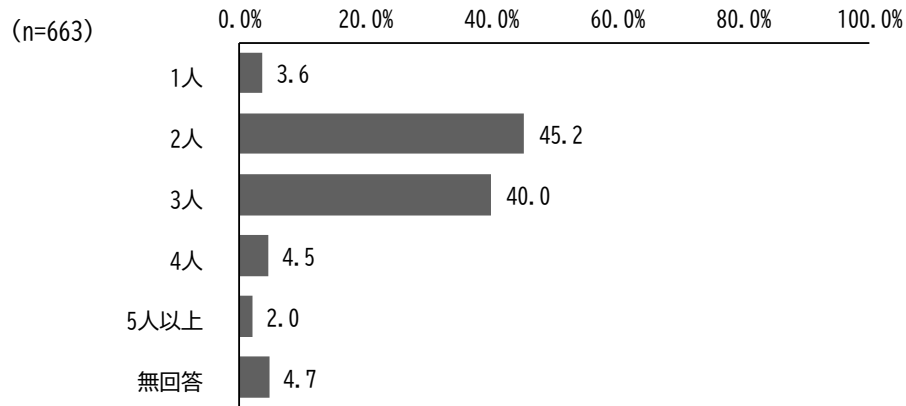
「相談しやすい方法」について、「直接、お互いの顔を見て相談できる方法」が 59.6%で最も多く、次いで「インターネットやSNSで相談できる方法」が 29.9%、「電話で相談できる方法」が 23.1%となっています。



1 1 若い世代が安心して結婚・妊娠・出産・子育ての希望を実現できるような環境を整備するためにおたずねします

問 35 あなたが理想とする子どもの人数を教えてください。(数字を記入)

「理想とする子どもの人数」について、「2人」が45.2%で最も多く、次いで「3人」が40.0%、「4人」が4.5%となっています。



【クロス集計：困窮世帯分類別】

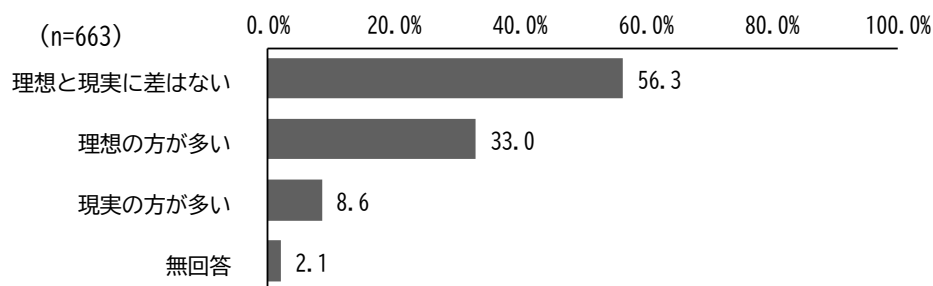
「理想とする子どもの人数」について、困窮世帯分類別でみると、生活困窮世帯と周辺世帯では「3人」の回答割合が高い傾向にあります。

一方、一般層では「2人」の回答割合が高い傾向にあります。

		上段：件数　下段：構成比（％）						
		全体	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全体		663 100.0	24 3.6	300 45.2	265 40.0	30 4.5	13 2.0	31 4.7
困窮世帯分類	生活困窮世帯	25 100.0	2 8.0	4 16.0	11 44.0	2 8.0	2 8.0	4 16.0
	周辺世帯	113 100.0	5 4.4	43 38.1	51 45.1	6 5.3	4 3.5	4 3.5
	一般層	474 100.0	13 2.7	236 49.8	186 39.2	21 4.4	7 1.5	11 2.3

問 36 子どもの人数について、理想と現実には差がありますか？
(あてはまる番号を1つ選択)

「理想と現実の子どもの人数」について、「理想と現実には差はない」が56.3%で最も多く、次いで「理想の方が多い」が33.0%、「現実の方が多い」が8.6%となっています。



【クロス集計：困窮世帯分類別】

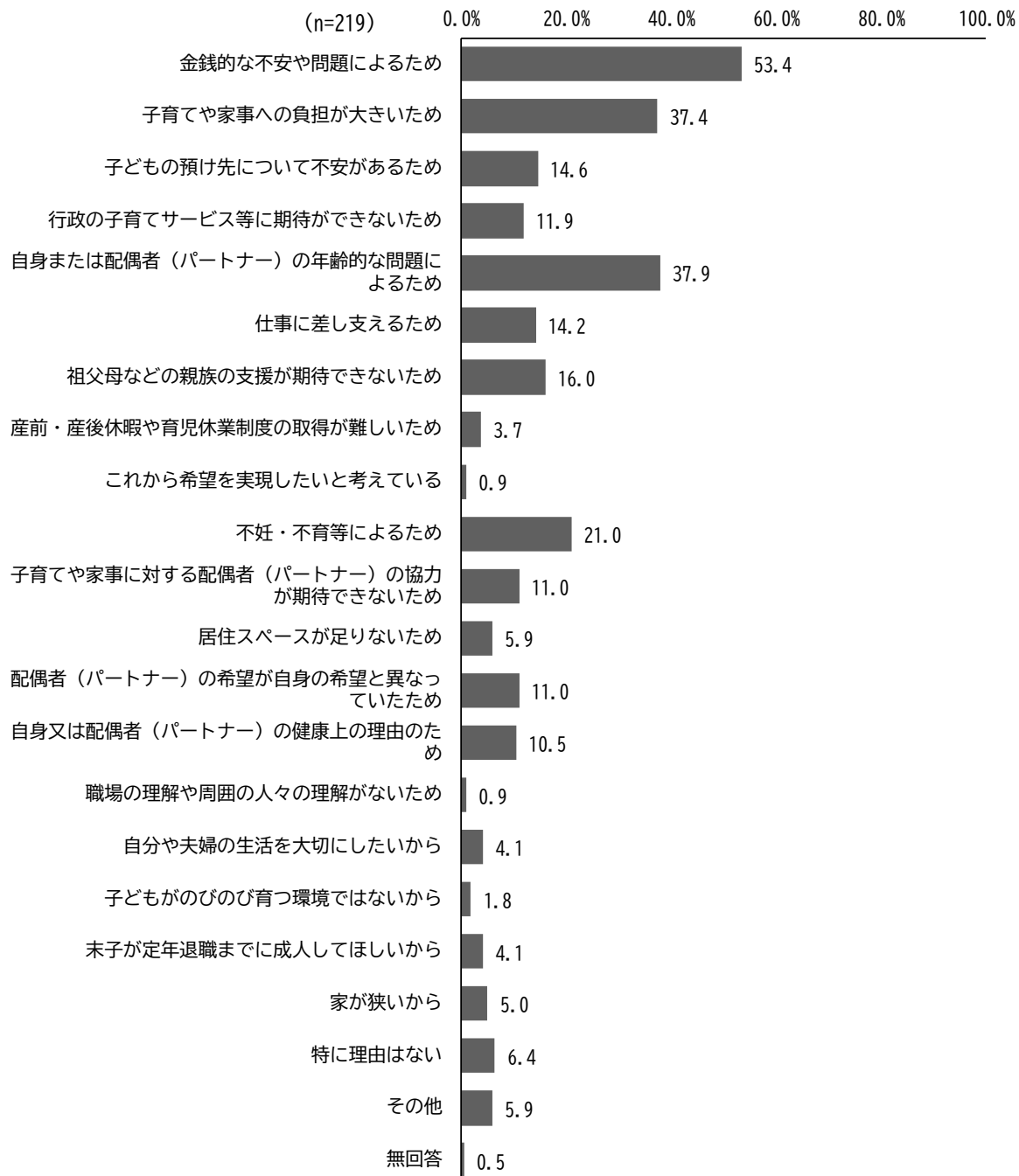
「理想と現実の子どもの人数」について、困窮世帯分類別でみると、すべての世帯で「理想と現実には差はない」の回答割合が高い傾向にあります。

		上段：件数 下段：構成比（％）				
		全体	理想と現実には差はない	理想の方が多い	現実の方が多い	無回答
全体		663 100.0	373 56.3	219 33.0	57 8.6	14 2.1
困窮世帯分類	生活困窮世帯	25 100.0	11 44.0	6 24.0	6 24.0	2 8.0
	周辺世帯	113 100.0	62 54.9	41 36.3	10 8.8	－ －
	一般層	474 100.0	273 57.6	157 33.1	40 8.4	4 0.8

【問 36 で 2 を選んだ方におたずねします。】

問 36－2 子どもの人数について、理想のほうが多いと回答した理由は何ですか？
(あてはまる番号をすべて選択)

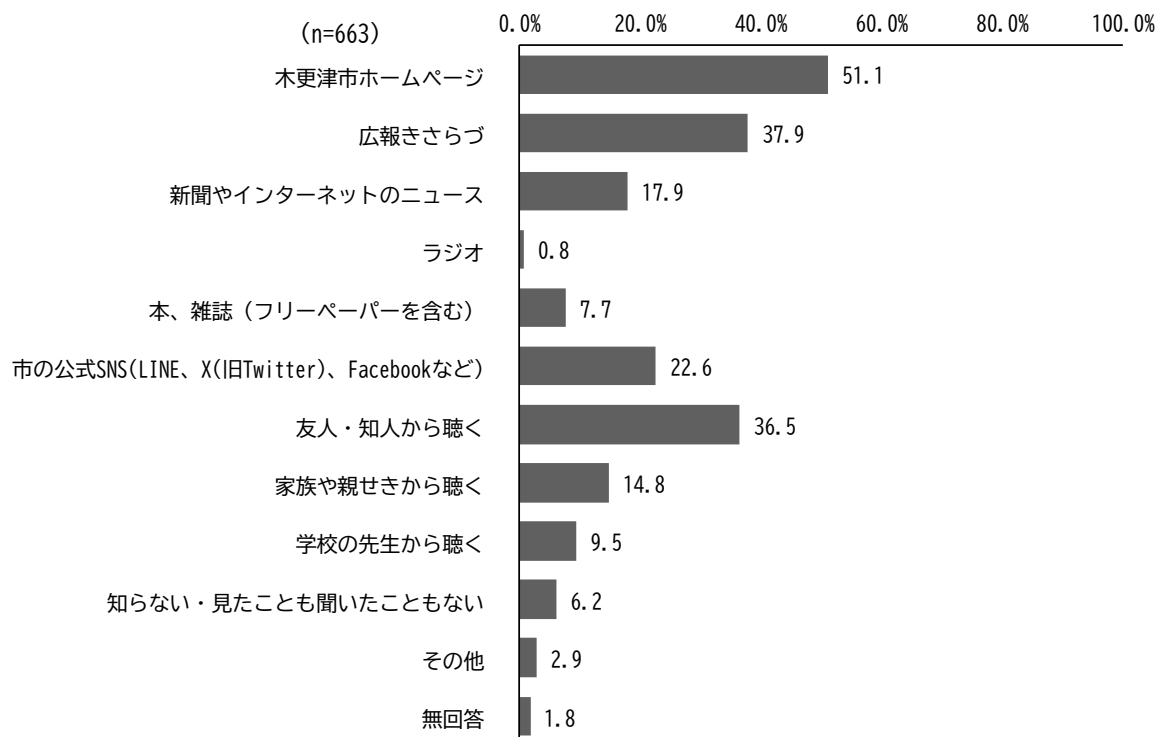
「理想のほうが多いと回答した理由」について、「金銭的な不安や問題によるため」が 53.4%で最も多く、次いで「自身または配偶者（パートナー）の年齢的な問題によるため」が 37.9%、「子育てや家事への負担が大きいため」が 37.4%となっています。



12 木更津市についてのあなたの意見をおたずねします

問 37 あなたは、子育てなどに関する公的な支援制度の情報をどのようにして入手していますか。（あてはまる番号をすべて選択）

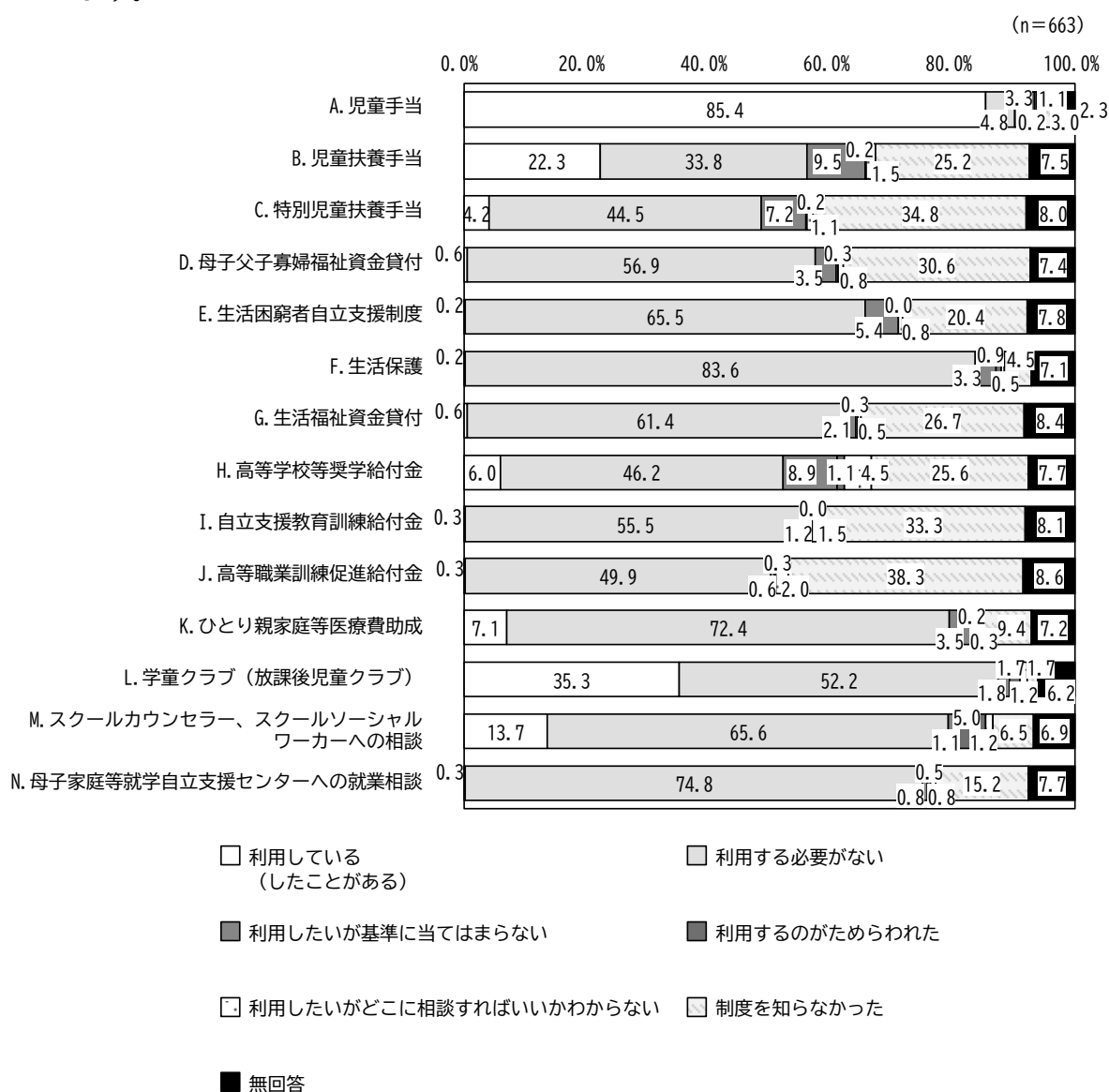
「子育てなどに関する公的な支援制度の情報の入手先」について、「木更津市ホームページ」が51.1%で最も多く、次いで「広報きさらづ」が37.9%、「友人・知人から聴く」が36.5%となっています。



問 38 以下の公的な支援制度について、利用したことがありますか。また、利用したことがない場合はその理由を教えてください。
(A～Nそれぞれについて、あてはまる番号を1つ選択)

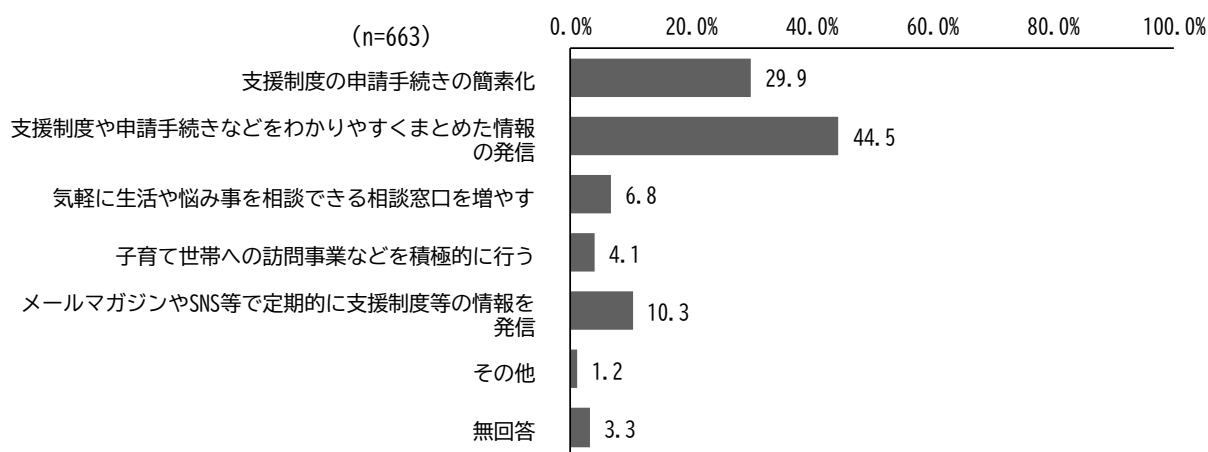
「公的な支援制度の利用」について、「利用している（したことがある）」では、「A. 児童手当」が85.4%で最も多く、次いで「L. 学童クラブ（放課後児童クラブ）」が35.3%、「B. 児童扶養手当」が22.3%となっています。

「利用する必要がある」では、「F. 生活保護」が83.6%で最も多く、次いで「N. 母子家庭等就学自立支援センターへの就業相談」が74.8%、「K. ひとり親家庭等医療費助成」が72.4%となっています。



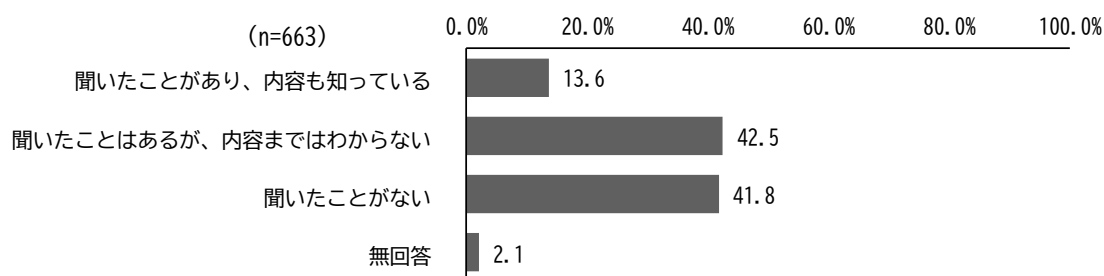
問 39 公的な支援制度など、必要な支援をもれなく受けられるようにするには何が重要だと思いますか。（あてはまる番号を1つ選択）

「必要な支援をもれなく受けられるようにするために必要なこと」について、「支援制度や申請手続きなどをわかりやすくまとめた情報の発信」が44.5%で最も多く、次いで「支援制度の申請手続きの簡素化」が29.9%、「メールマガジンやSNS等で定期的に支援制度等の情報を発信」が10.3%となっています。



問 40 あなたは「子どもの権利条約の4つの原則」について聞いたことがありますか。（あてはまる番号を1つ選択）

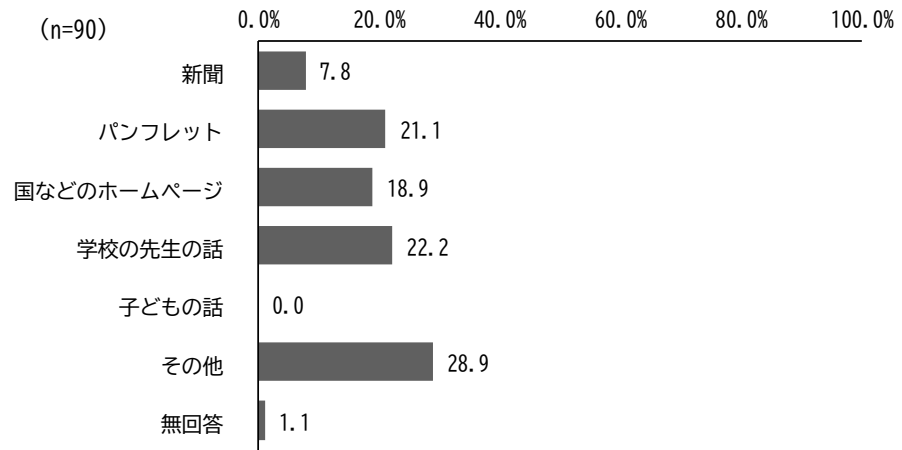
「「子どもの権利条約の4つの原則」の認知度」について、「聞いたことはあるが、内容まではわからない」が42.5%で最も多く、次いで「聞いたことがない」が41.8%、「聞いたことがあり、内容も知っている」が13.6%となっています。



【問 40 で 1 を選んだ方におたずねします。】

問 40－2 どのようにして知りましたか。（あてはまる番号を 1 つ選択）

「子どもの権利条約の 4 つの原則」を知ったきっかけについて、「その他」が 28.9%で最も多く、次いで「学校の先生の話」が 22.2%、「パンフレット」が 21.1%となっています。



問 41 最後に、あなたが木更津市に、あったらいい・こんなことをしてほしいなど思うことがあれば自由に書いてください。

<分類別件数>

No.	分類	件数
1	市への要望について	34
2	子育て支援等について	48
3	就労・就業関連について	7
4	市の広報活動等について	11
5	遊び場・居場所について	102
6	商業施設等について	11
7	行事やイベントについて	20
8	学校・学習の場について	82
9	道路・公共交通機関等について	46
10	経済的支援・経済状況の改善について	147
11	交流・相談できる場所について	5
12	防犯・防災対策について	19
13	公共施設等について	31
14	駅周辺の整備・再開発について	10
15	その他	39

1. 市への要望について

- ・観光地の整備だけではなく、市民を向いた整備に力を入れて欲しい。
- ・他の市と比べた時にゴミ袋の値段が高く地味に生活を圧迫します。それにゴミ袋が裂けやすい為、非常に不便なので改善していただきたいです。
- ・以前自転車のヘルメット代の補助がありましたがとにかく申請が面倒くさい。ほとんどの家庭が共働きの中、市役所に行かないといけないのは無理があります。ネットで申請できれば利用したかったです。
- ・自治会離れが進むなか、今ある活動の支援体制を充実させて欲しい。費用の援助、活動報酬等。
- ・他の市町村で暮らす人が木更津市の福利厚生などが、木更津市民でないことが悔やまれるくらい充実させてほしい。

2. 子育て支援等について

- ・木更津市ならではの子育て支援の施策等があると、木更津で子育てをして良かったとおもえる。具体的には現物給付や公的サービス等の拡充。
- ・グレーゾーンの子供達への様々な支援をもっと手厚くお願いしたいです。
- ・児童手当等で子どもが3人いても年が離れていると第3子扱いにならないこと。
- ・生活困窮者だけでなく多子世帯に向けても考えてほしい。年収があれど、多子世帯はやはり苦しい。幼稚園の園外保育を利用したくても64時間が超えられない。なぜなら子育て世帯以外が長く働ける環境なので子どものいる世帯は仕事自体負担のない時間帯にされる。園外保育だけでパートの給料が飛び時もある。もう少し保証を見直してほしい
- ・子供の長期休みに預かってくれる所や、遊べる施設など、時給で働いてる方でも払えるような料金設定の(その都度払いなど)施設があれば、働くママさんも助かると思います。実際、長期休みの事を考えると、社員になってフル勤務することができないです。

3. 就労・就業関連について

- ・木更津市だけではないが、経営者や就労者の週休3日制の導入で家族との時間を増やせると良い。
- ・企業誘致に力を入れて雇用を拡大し、世帯年収を上げるようにしてほしい。
- ・共働きしやすい支援（保育園はもとより小学生も安心して預けられる学童がないと働き続けられない）
- ・お母さんも働きやすい環境、制度があるとうれしい

4. 市の広報活動等について

- ・支援してもらえることに関しては、対象の家庭に市から手紙で教えてほしい。こちらから聞かないといけないう支援がまだまだ多いと思う。
- ・支援や制度など、知らないことが多いが、見てもよく分からないと諦めてしまうことが多いと思うので、学校行事などで直接、説明や質疑応答をしていただけると知る機会も増えるかと思います。
- ・市の制度やイベント、施設など、市に関することで困っていることや知りたいことを入力すると情報を提供してくれるアプリのようなもの。(チャットのように困っていることや知りたいことを入力すれば、さらに質問が返ってきて、それに答えていくことで必要な情報に辿り着けるようなもの。制度名や申請方法なども併せて出てくると便利だと思います)
- ・市からの情報発信が少ないと思う。知らなかった事も多々あるので、元々地元ではない人など誰でも市からの情報を知る事ができるようにしてほしい。
- ・役所に出向いて情報を貰うのではなく、わかりやすい情報をもっと発信してほしい。

5. 遊び場・居場所について

- ・近所には公園が少ないです。あっても小さすぎて子どもが多くて遊べる状態ではなかったり遊具もほとんどないです。帰ってきて自転車で行ける距離に遊具もあり、整備されている公園を作ってほしいです。
- ・子供が気軽に放課後に遊べる公園を増やしてほしい。学区内だと少ない。ボールが禁止など制限もあるため、あまり十分に遊べていない
- ・もっと子供達が安心安全に遊べる場所が、増えるといい。
- ・公園の整備／遊具の充実化（木更津市だけでは無いが、世の中の流れとして、事故があると当該遊具を撤去する方針になっているように感じる。対策して安全に遊べる環境を作ってほしい（いずれ、遊具ゼロになる）
- ・親子で身体を動かせる場所

6. 商業施設等について

- ・駅前に駅ナカのような施設、雑貨屋さんやヘアメイク専門店、服屋さんみたいなお店をもっと増やして今の高校生が遊べる施設を増やしてあげたい。私はそごう があるときの本更津の高校生ですが、西友やそごうなどあって楽しかった。
- ・駅前のビルの活性化。ラウンドワンなどの遊びの施設を入れて欲しい。
- ・駅付近にスーパーやドラッグストアがあると便利。気軽に入れて、少しデスクワークできるようなカフェも増やしてほしい。
- ・住んでいる地区には、ラーメン屋と寿司屋とスタバが複数ある偏り過ぎ、ファミレスがほしい。
- ・娯楽施設、ボーリング場

7. 行事やイベントについて

- ・子供祭りや、ポンポコラリー等子供の活動を増やしてほしい。子供が楽しんで取り組める活動を。
- ・市が主催するイベントよく行ってます。無料や格安で楽しめるので本当にありがたいです。企画運営大変だと思うのですが、月1くらいで子供に関するイベント（スポーツイベント、学習イベントなどなど）してくれると嬉しいです。個人的には逃走中みたいなイベントしてほしい。
- ・木更津の企業の職場体験や学校見学等も市を通して企画してもらえると嬉しいです。子供たちが健全に過ごせる環境づくりを切に願います！！
- ・お仕事体験など”働く”ことへの興味関心、選択肢を増やせることがもっとあったら良いと思う。
- ・イベントごとを増やす(宣伝をもっとして)

8. 学校・学習の場について

- ・学校生活を充実させてあげてほしいです。特に給食はおいしく、満足な量を用意し、楽しみにさせるようにしてほしいです。牛乳がおいしくない、肉がおいしくない、豆が毎回出てくる、にんじんが毎回出てくる、好きなメニューを聞いてもないと言う、など家で給食の話をしてあまりポジティブな話が出てきません。木更津市はまだ恵まれている方かもしれませんが、ぜひ他の自治体にも自慢できるような給食をお願いしたいと思います。
- ・学校がかなり老朽化しているので、改善してほしい。
- ・小学校内の授業で習熟度別の授業を設定してほしい。塾に通わなくても、できる子にはよりレベルの高いものを、出来ない子も引っ張り上げられるよう細かい指導があったらと思うので。
- ・学校での水泳授業の充実、夏休み中の水泳授業など親世代が子供の頃に受けられたものを復活してほしい。
- ・子供たちが自宅で勉強できにくい環境もあると思われるため、自習室を多くしてほしい。

9. 道路・公共交通機関等について

- ・もっとバスが利用しやすいように本数(時間)を増やして欲しい
- ・バスの便が少なすぎる。以前試験的に導入した市内循環バスを再度やって欲しい。高齢で免許返納したあとの生活に不安を感じないようにして欲しい。
- ・道路の凸凹や白線、横断歩道が消えかかっているところの補修整備、狭い道路脇の木の伐採。狭くて危険な通学路の整備、歩道を広くする。
- ・道路に自転車が走れる十分なスペースがほしい。狭過ぎて自転車だと危ない場所が多い。
- ・久留里線を残してほしい

10. 経済的支援・経済状況の改善について

- ・学びたい子が資金面で諦めることのないよう、非課税世帯だけでなく、課税世帯にも教育の支援をしてほしいです。本当は、大学の入学費、授業料はあまりにも高いので、もっと安くして欲しいです。奨学金を借りないと進学、生活できないのはおかしいと思います。奨学金の借金を抱えた若者同士が結婚して、将来の事を考えた時、産めないとなっても仕方のない事ではないでしょうか。
- ・ゴミ袋の無償化
- ・子供の医療費を無料にしてほしい
- ・子供が市外の高校に通っています。どこかの市区町村で定期代を補助してくれるところがあると聞いたことがあります。少しでも支援してくれるとありがたいです。
- ・給食費無料とは言わないが、段階的に安くしてほしい。例えば保育園みたいに第二子半額みたいな。

11. 交流・相談できる場所について

- ・生活費使い方の相談(無料はありますか) 生活費を切り詰める方法 相談できる AI だったりシュミレーターとか
- ・さまざまな声を聞いてくれる、問い合わせが出来る所が分かりやすくあると良いなと思います。
- ・離婚を考えた時に気軽に相談できる窓口があると助かる。子供がいることで経済的不安から離婚をとどまることは誰しも経験があると思う。すでにあるようであればどんどん情報発信してほしい。
- ・おじいちゃんおばあちゃんと遊べる場(将棋やトランプ、宿題みてもらう等)
- ・地域の子供や高齢者の交流の場が増えるといいなと思います。

12. 防犯・防災対策について

- ・防犯対策の強化
- ・学校の避難訓練で、起震車や煙ハウスなどの体験。
- ・防災対策の強化
- ・登下校の安全見守り 交番配置の充実 防犯パトロールの充実
- ・子供の安全を守ってほしい。

13. 公共施設等について

- ・図書館など公共の利用施設を利用しやすく充実させてほしい。
- ・保育園などの中ではなく、独立した子育て支援センターの建物。その中で乳児から小学生や中学生までが遊んだり学習したりできる施設。
- ・博物館、美術館などがあると良い。
- ・コミュニティセンターの拡充や新設
- ・子どもたちがいつでも自由に出入りして、遊んだり、勉強したり、話したりできる屋内施設。都内の児童館のようなもの。(雨の日や、夏の暑い日は特に。公園では過ごせないため)

14. 駅周辺の整備・再開発について

- ・木更津市は立地がいいのに駅でがっかりされてしまうと思います。昔の古い感じの色が濃すぎるので、廃墟感のある駅をどうにかして欲しいです。
- ・駅の東口のロータリーが狭いのに、高速バスや路線バス、タクシーや学校の通学バスが入り組んで混雑しているのでどうにかならないのかと思っています。
- ・西口の過疎化をどうにかしてほしい。
- ・駅周辺で送迎するときの車の待機スペースが無い。道路に数台止められるパーキングはあるが、バスやタクシーに追い立てられない送迎の数分間だけの自家用車専用の停車スペースが欲しい。
- ・木更津駅前を整備してほしい 迎えにいくことが多く、待機場所があまりなく、高速バスや一般の車を分けて待機できるようにしてほしい

15. その他

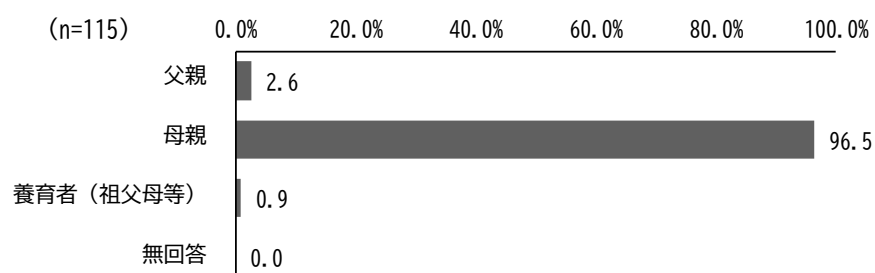
- ・木更津市はよくやってくれていると思います。これからもよろしくお願いします。
- ・ふるさと納税の返礼品をもう少し充実させたほうが、魅力的なのだと思います。
- ・数年前に転入しました。住みやすく、人に優しい方が多いです。
- ・子供のことも大事ですが、今後は親世代の介護に時間を取られると思いますそちらの方も力を入れてくれると助かります
- ・高校生まで受給券が使えるようになったこと、とてもありがたく使用させていただいています。

(3) ひとり親家庭調査結果

1 あなたの世帯などについてうかがいます

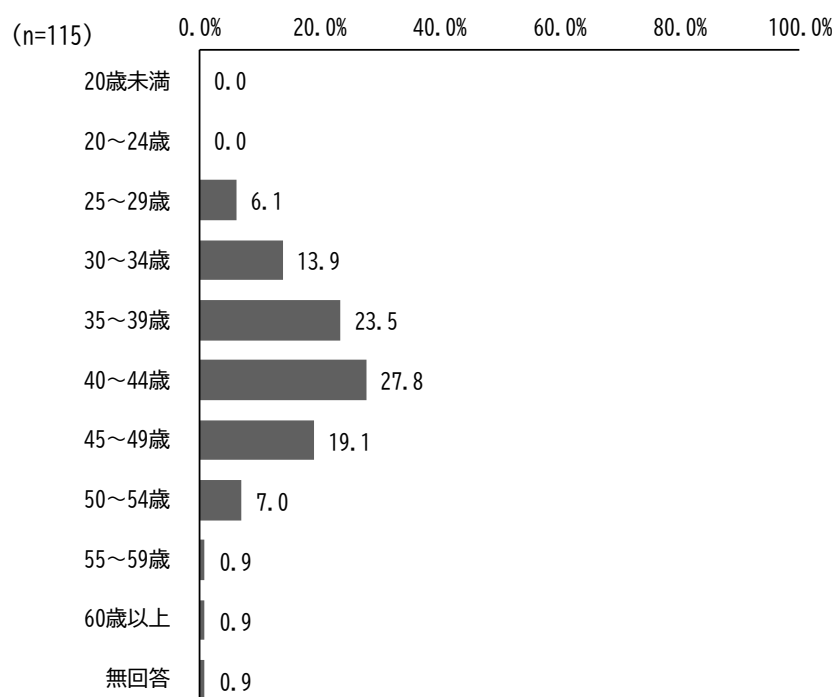
問1 お子さんからみて、あなたはどの関係にあたりますか。
(あてはまるものを1つ選択)

「回答者」について、「母親」が96.5%で最も多く、次いで「父親」が2.6%、「養育者（祖父母等）」が0.9%となっています。



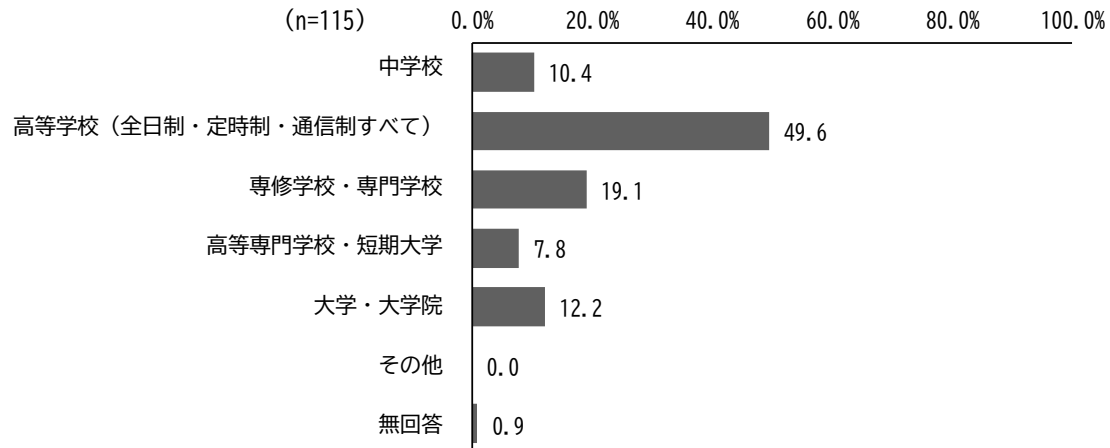
問2 回答時点のあなたの年齢を教えてください。(あてはまるものを1つ選択)

「年齢」について、「40～44 歳」が27.8%で最も多く、次いで「35～39 歳」が23.5%、「45～49 歳」が19.1%となっています。



問3 あなたが最後に卒業した学校はどこですか。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。(あてはまるものを1つ選択)

「最終学歴」について、「高等学校（全日制・定時制・通信制すべて）」が49.6%で最も多く、次いで「専修学校・専門学校」が19.1%、「大学・大学院」が12.2%となっています。



【クロス集計：子どもとの関係別】

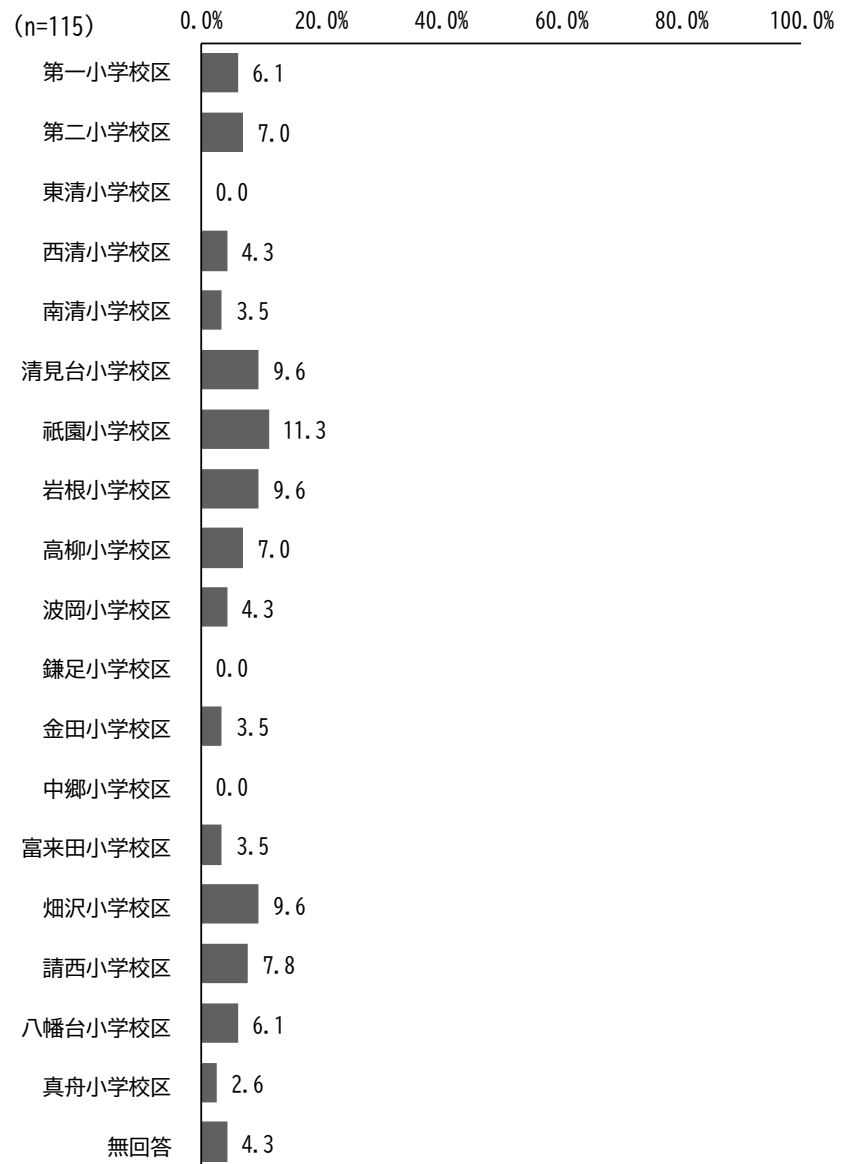
「最終学歴」について、子どもとの関係別でみると、父母ともに「高等学校（全日制・定時制・通信制すべて）」の回答割合が高い傾向にあります。

特に、父親の回答割合は7割近くと母親に比べ高い割合となっています。

		上段：件数 下段：構成比（％）							
		全体	中学校	高等学校（全日制・定時制・通信制すべて）	専修学校・専門学校	高等専門学校・短期大学	大学・大学院	その他	無回答
全体		115 100.0	12 10.4	57 49.6	22 19.1	9 7.8	14 12.2	- -	1 0.9
子どもとの関係性	父親	3 100.0	- -	2 66.7	1 33.3	- -	- -	- -	- -
	母親	111 100.0	12 10.8	54 48.6	21 18.9	9 8.1	14 12.6	- -	1 0.9
	養育者（祖父母等）	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -

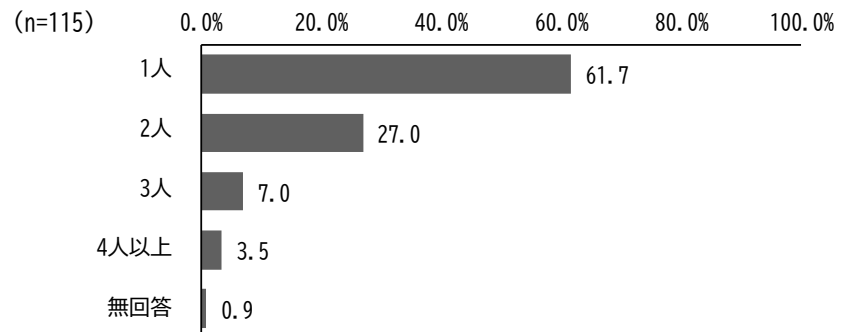
問4 あなたが現在お住まいの地域を教えてください。(あてはまるものを1つ選択)

「お住まいの地域」について、「祇園小学校区」が11.3%で最も多く、次いで「清見台小学校区」「岩根小学校区」「畑沢小学校区」が各9.6%、「請西小学校区」が7.8%となっています。



問5 あなたと同居しているお子さんについて、18歳未満のお子さんの人数を教えてください。（あてはまるものを1つ選択）

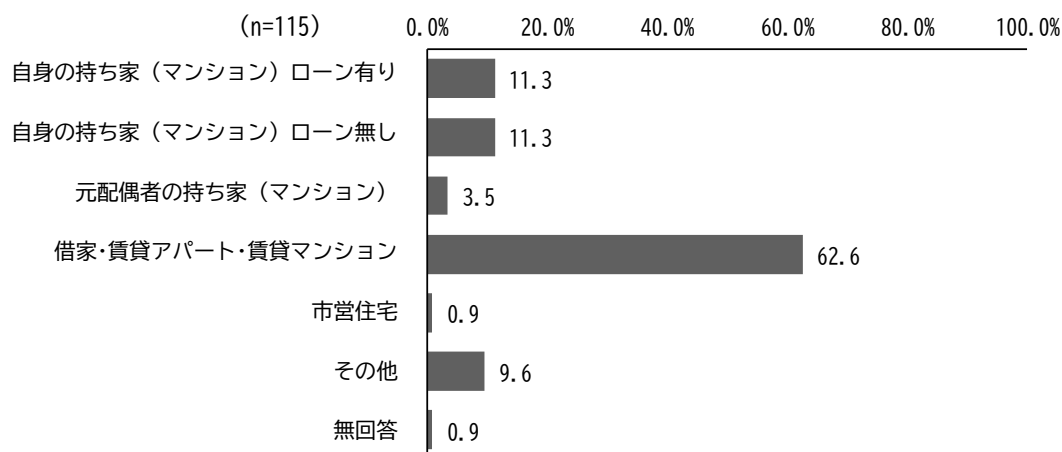
「同居している 18 歳未満のお子さんの人数」について、「1 人」が 61.7%で最も多く、次いで「2 人」が 27.0%、「3 人」が 7.0%となっています。



【ひとり親家庭調査結果】

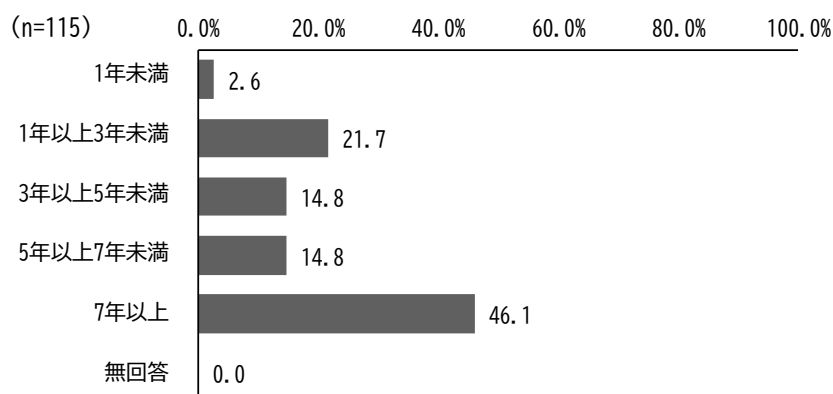
問6 あなたのお住まいの住居の種別を教えてください。(あてはまるものを1つ選択)

「住居の種別」について、「借家・賃貸アパート・賃貸マンション」が62.6%で最も多く、次いで「自身の持ち家(マンション)ローン有り」「自身の持ち家(マンション)ローン無し」が各11.3%、「その他」が9.6%となっています。



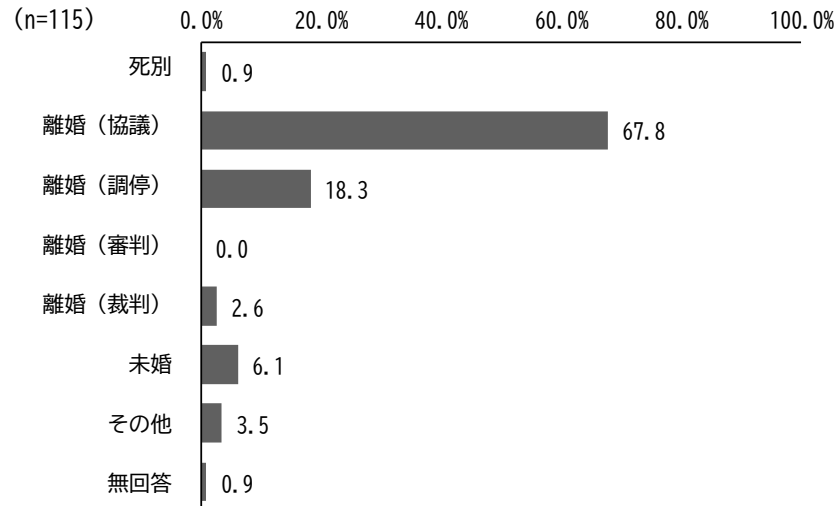
問7 ひとり親になってからの期間について教えてください。 (あてはまるものを1つ選択)

「ひとり親になってからの期間」について、「7年以上」が46.1%で最も多く、次いで「1年以上3年未満」が21.7%、「3年以上5年未満」「5年以上7年未満」が各14.8%となっています。



問8 ひとり親になられたご事情を教えてください。(あてはまるものを1つ選択)

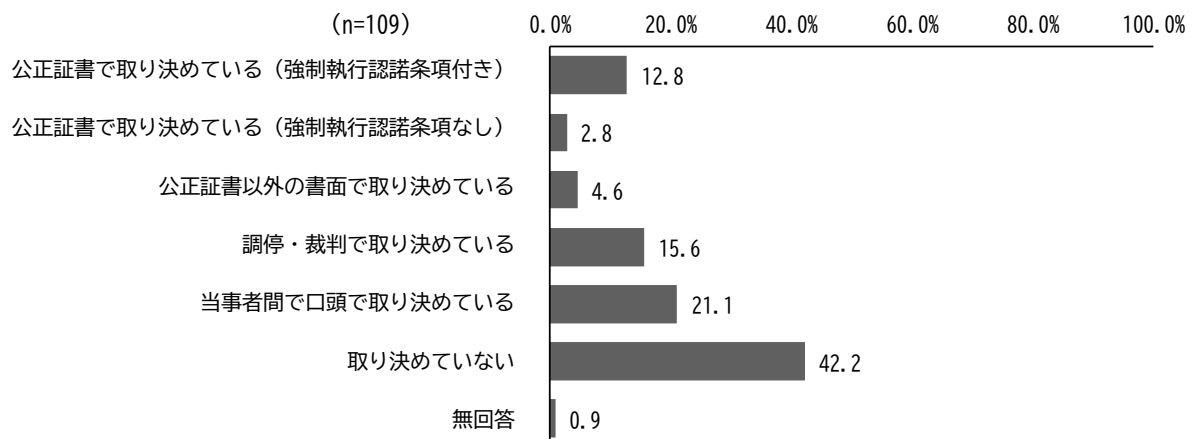
「ひとり親になった事情」について、「離婚（協議）」が67.8%で最も多く、次いで「離婚（調停）」が18.3%、「未婚」が6.1%となっています。



【問8で「2.」～「6.」を選んだ方におたずねします。】

問9 養育費について取り決めをしていますか。(あてはまるものを1つ選択)

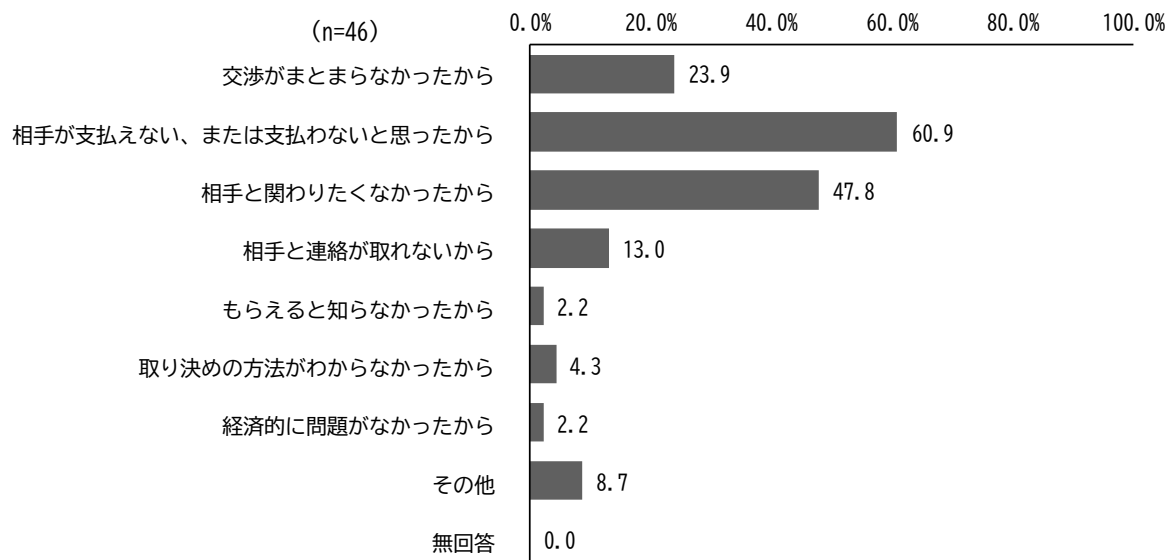
「養育費」について、「取り決めていない」が42.2%で最も多く、次いで「当事者間で口頭で取り決めている」が21.1%、「調停・裁判で取り決めている」が15.6%となっています。



【問9で「6.」を選んだ方におたずねします。】

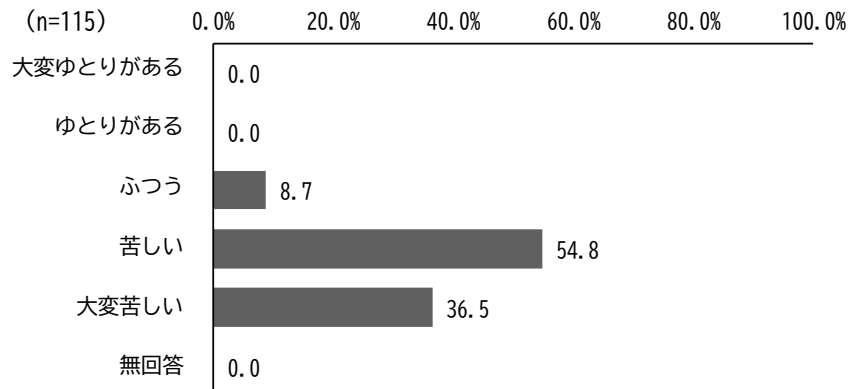
問10 養育費について取り決めをしていない理由は何ですか。
(あてはまるものをすべて選択)

「養育費について取り決めをしていない理由」について、「相手が支払えない、または支払わないと思ったから」が60.9%で最も多く、次いで「相手と関わりたくなかったから」が47.8%、「交渉がまとまらなかったから」が23.9%となっています。



問 11 あなたは現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。
(あてはまるものを1つ選択)

「暮らしの状況」について、「苦しい」が 54.8%で最も多く、次いで「大変苦しい」が 36.5%、「ふつう」が 8.7%となっています。



【クロス集計：子どもとの関係別】

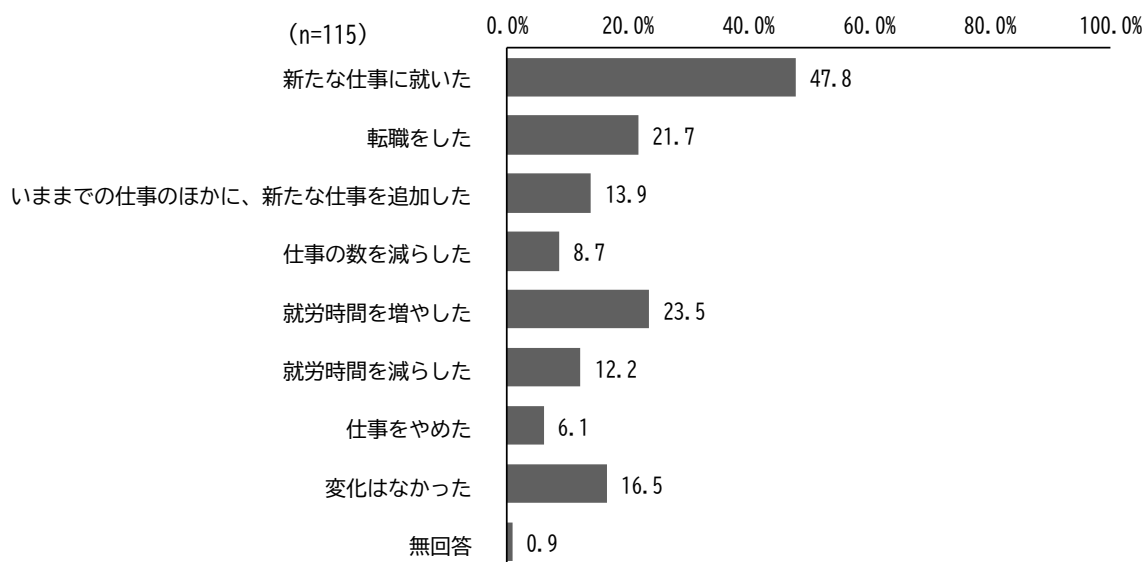
「暮らしの状況」について、子どもとの関係別でみると、母親では、「苦しい」の回答割合が高い傾向にあります。

		上段：件数 下段：構成比 (%)						
		全体	大変ゆとりがある	ゆとりがある	ふつう	苦しい	大変苦しい	無回答
全体		115 100.0	-	-	10 8.7	63 54.8	42 36.5	-
子どもとの関係性	父親	3 100.0	-	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-
	母親	111 100.0	-	-	9 8.1	62 55.9	40 36.0	-
	養育者 (祖父母等)	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-

【ひとり親家庭調査結果】

問 12 ひとり親になる前となった後で、仕事上にどのような変化がありましたか。
(あてはまるものをすべて選択)

「ひとり親になる前後での、仕事上の変化」について、「新たな仕事に就いた」が47.8%で最も多く、次いで「就労時間を増やした」が23.5%、「転職をした」が21.7%となっています。



【クロス集計：子どもとの関係別】

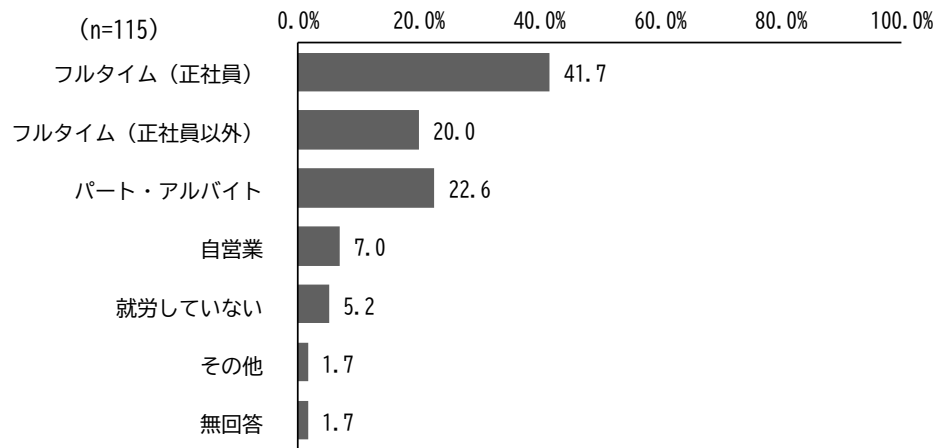
「ひとり親になる前後での、仕事上の変化」について、子どもとの関係別でみると、父親では「変化はなかった」の回答割合が高い傾向にあります。

一方、母親では、「新たな仕事に就いた」の回答割合が高い傾向にあります。

		上段：件数 下段：構成比（％）									
		全体	新たな仕事に就いた	転職をした	いままでの仕事のほかに、新たな仕事を追加した	仕事の数を減らした	就労時間を増やした	就労時間を減らした	仕事をやめた	変化はなかった	無回答
全体		115 100.0	55 47.8	25 21.7	16 13.9	10 8.7	27 23.5	14 12.2	7 6.1	19 16.5	1 0.9
子どもとの関係性	父親	3 100.0	1 33.3	1 33.3	－ －	1 33.3	－ －	1 33.3	－ －	2 66.7	－ －
	母親	111 100.0	54 48.6	24 21.6	16 14.4	9 8.1	27 24.3	13 11.7	6 5.4	17 15.3	1 0.9
	養育者 （祖父母等）	1 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	1 100.0	－ －	－ －

問 13 現在の就労状況についてお答えください。(あてはまるものを1つ選択)

「現在の就労状況」について、「フルタイム（正社員）」が41.7%で最も多く、次いで「パート・アルバイト」が22.6%、「フルタイム（正社員以外）」が20.0%となっています。



【クロス集計：子どもとの関係別】

「現在の就労状況」について、子どもとの関係別でみると、父母ともに「フルタイム（正社員）」の回答割合が高い傾向にあります。

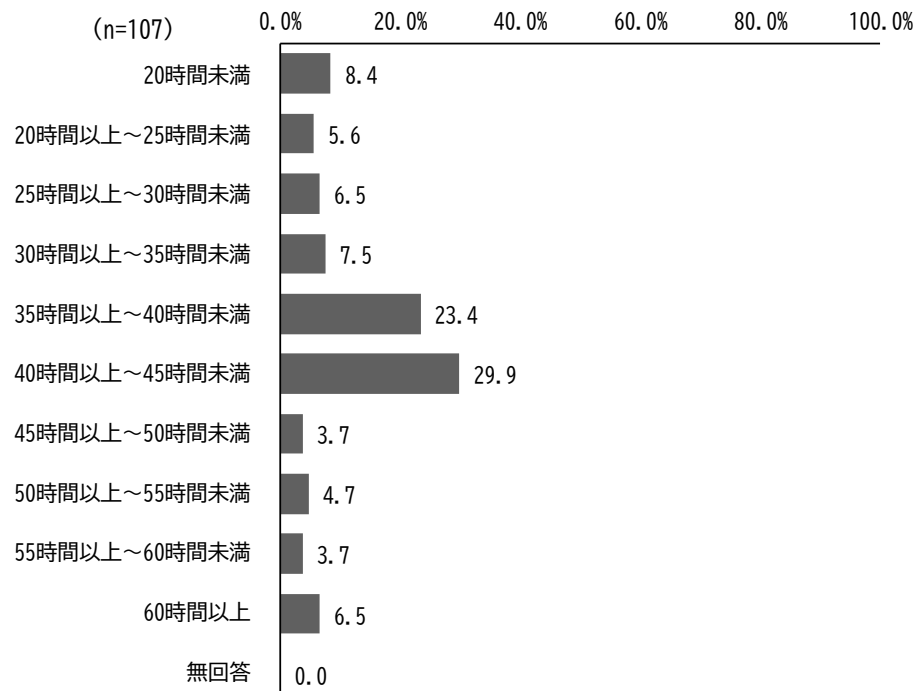
特に、父親の回答割合は6割半ばと、母親に比べ高い割合となっています。

		上段：件数 下段：構成比（％）							
		全体	フルタイム （正社員）	フルタイム （正社員以外）	パート・ アルバイト	自営業	就労して いない	その他	無 回 答
全体		115 100.0	48 41.7	23 20.0	26 22.6	8 7.0	6 5.2	2 1.7	2 1.7
子 ど も と の 関 係 性	父親	3 100.0	2 66.7	－ －	－ －	1 33.3	－ －	－ －	－ －
	母親	111 100.0	46 41.4	23 20.7	26 23.4	7 6.3	5 4.5	2 1.8	2 1.8
	養育者 （祖父母等）	1 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	1 100.0	－ －	－ －

【問 13 で「5.」以外を選んだ方におたずねします。】

問 14 1 週間の労働時間は平均でどのくらいですか。（あてはまるものを1つ選択）

「1 週間の労働時間」について、「40 時間以上～45 時間未満」が 29.9%で最も多く、次いで「35 時間以上～40 時間未満」が 23.4%、「20 時間未満」が 8.4%となっています。

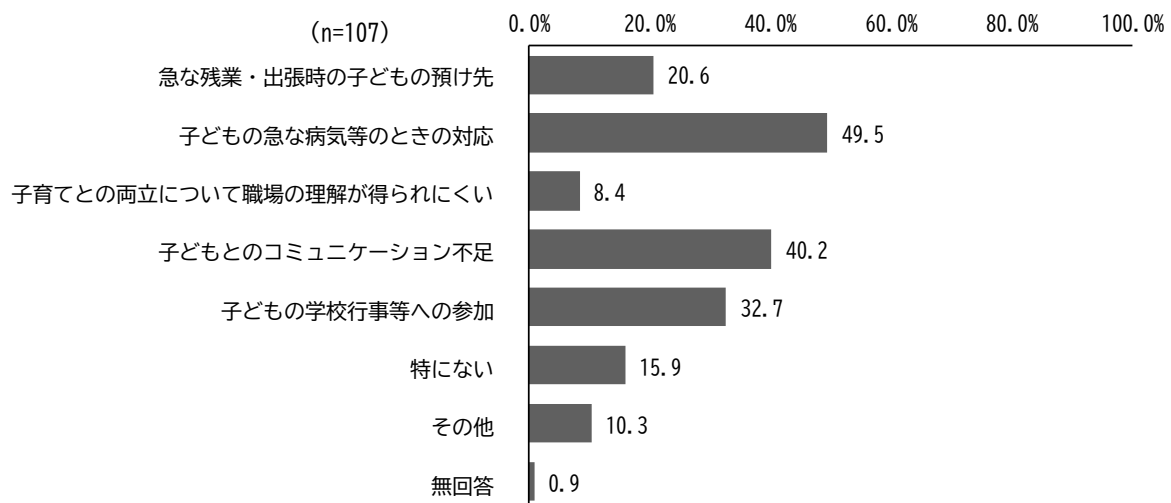


【問 13 で「5.」以外を選んだ方におたずねします。】

問 15 仕事と子育てを両立するうえで、困っていることはありますか。

（あてはまるものをすべて選択）

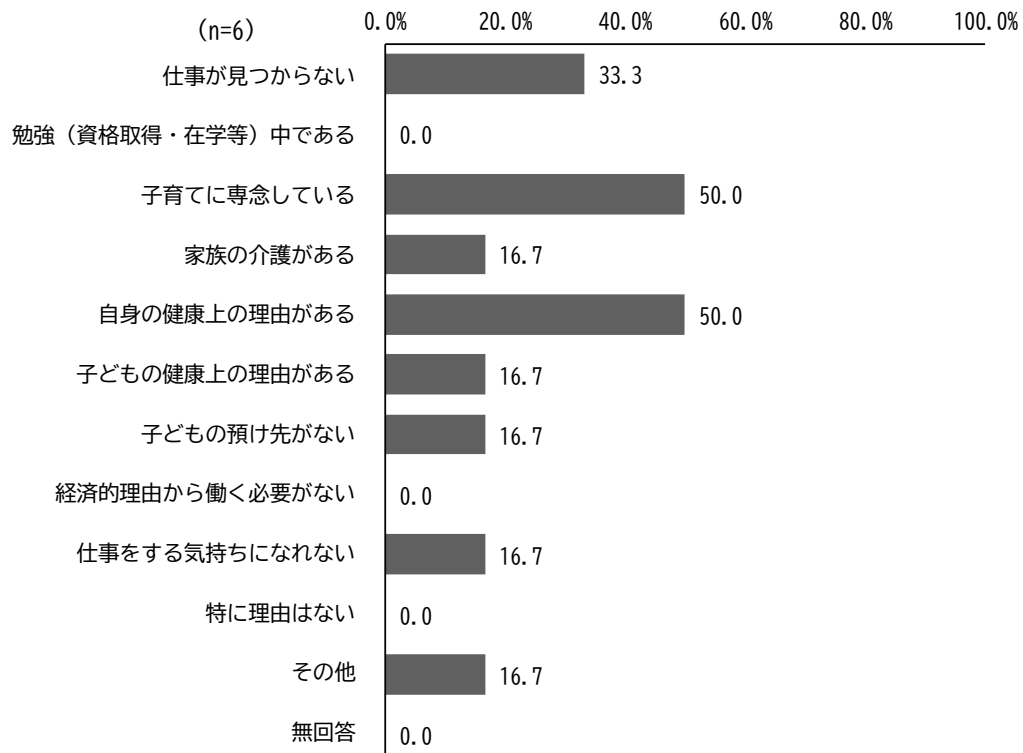
「仕事と子育てを両立するうえで、困っていること」について、「子どもの急な病気等の際の対応」が 49.5%で最も多く、次いで「子どもとのコミュニケーション不足」が 40.2%、「子どもの学校行事等への参加」が 32.7%となっています。



【問 13 で「5.」を選んだ方におたずねします。】

問 16 現在、お仕事をされていない理由を教えてください。
(あてはまるものをすべて選択)

「仕事をしていない理由」について、「子育てに専念している」「自身の健康上の理由がある」が各 50.0%で最も多く、次いで「仕事が見つからない」が 33.3%、「家族の介護がある」「子どもの健康上の理由がある」「子どもの預け先がない」「仕事をする気持ちになれない」「その他」が各 16.7%となっています。

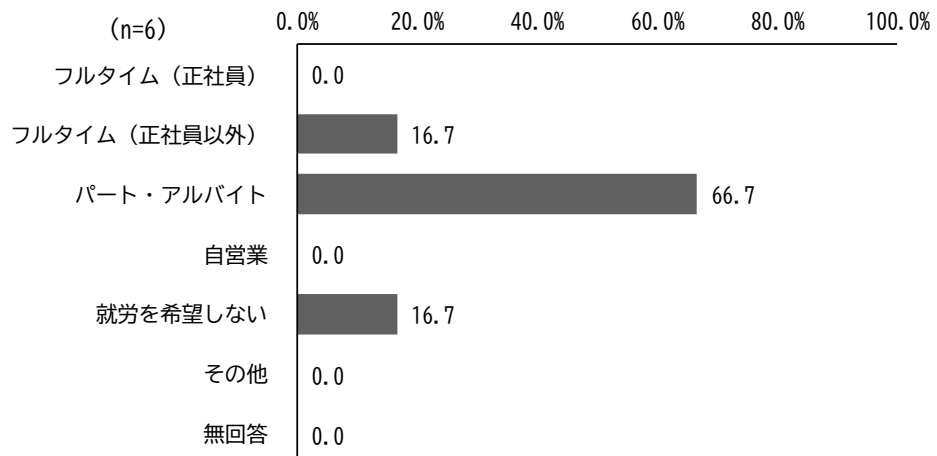


【ひとり親家庭調査結果】

【問 13 で「5.」を選んだ方におたずねします。】

問 17 現在のお気持ちとして、どのような形態で仕事に就きたいと考えていますか。
(あてはまるものを1つ選択)

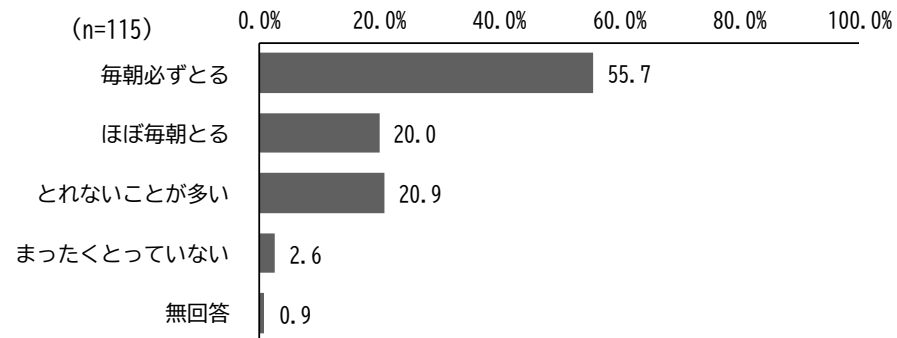
「希望する雇用形態」について、「パート・アルバイト」が 66.7%で最も多く、次いで「フルタイム（正社員以外）」「就労を希望しない」が各 16.7%となっています。



2 お子さんやお子さんとの生活について

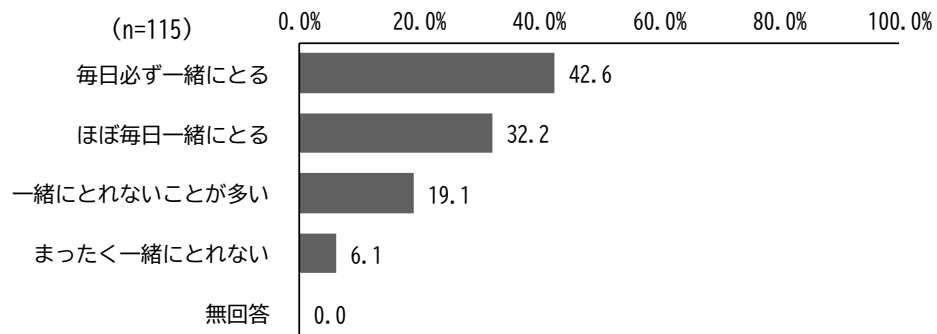
問 18 あなたの家庭では、朝食をとっていますか。(あてはまるものを1つ選択)

「朝食」について、「毎朝必ずとる」が55.7%で最も多く、次いで「とれないことが多い」が20.9%、「ほぼ毎朝とる」が20.0%となっています。



問 19 あなたは、子どもと一緒に夕食をとっていますか。(あてはまるものを1つ選択)

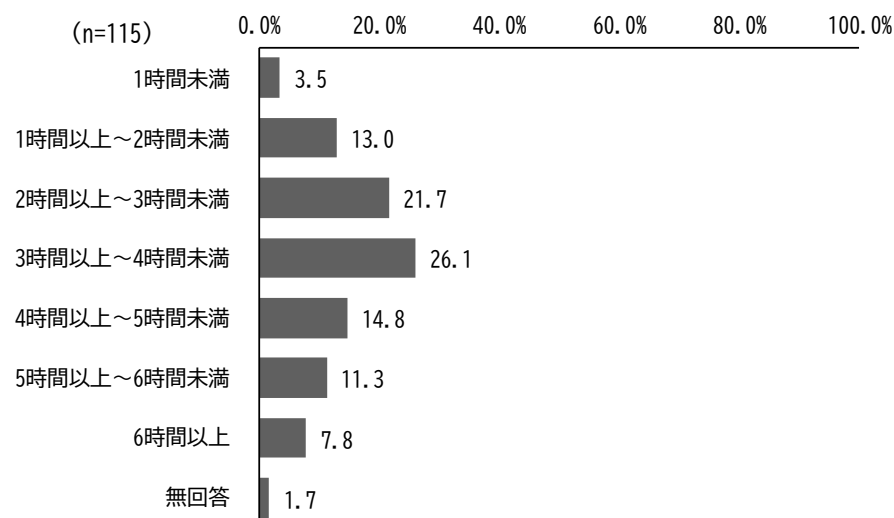
「子どもと一緒に夕食をとっているか」について、「毎日必ず一緒にとる」が42.6%で最も多く、次いで「ほぼ毎日一緒にとる」が32.2%、「一緒にとれないことが多い」が19.1%となっています。



【ひとり親家庭調査結果】

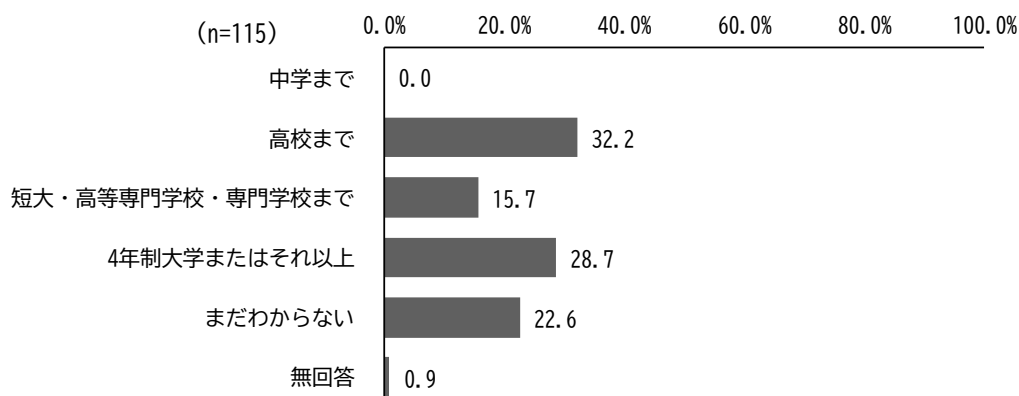
問 20 あなたが仕事などがある日に、子どもと一緒に居られる時間（睡眠時間は除く）は何時間くらいですか。（あてはまるものを1つ選択）

「子どもと一緒に居られる時間」について、「3時間以上～4時間未満」が26.1%で最も多く、次いで「2時間以上～3時間未満」が21.7%、「4時間以上～5時間未満」が14.8%となっています。



問 21 子どもの進学について、おおよそどの段階までを考えていますか。（あてはまるものを1つ選択）

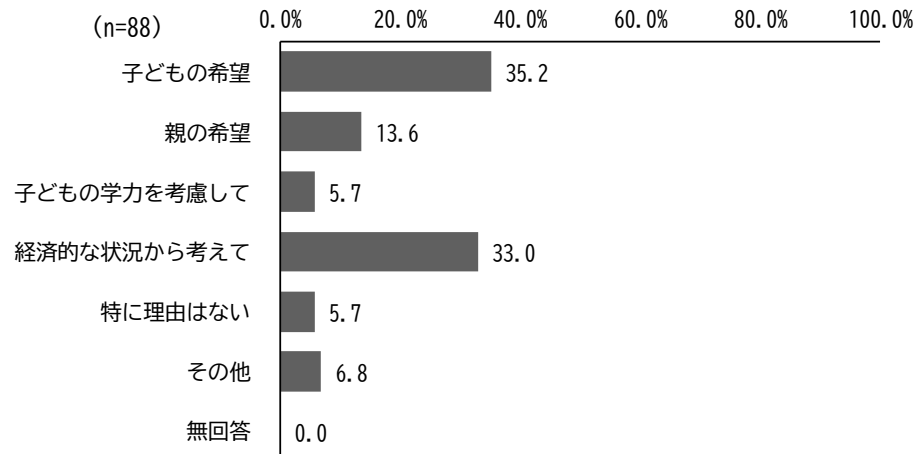
「子どもの進学段階」について、「高校まで」が32.2%で最も多く、次いで「4年制大学またはそれ以上」が28.7%、「まだわからない」が22.6%となっています。



【問 21 で「1.」～「4.」を選んだ方におたずねします。】

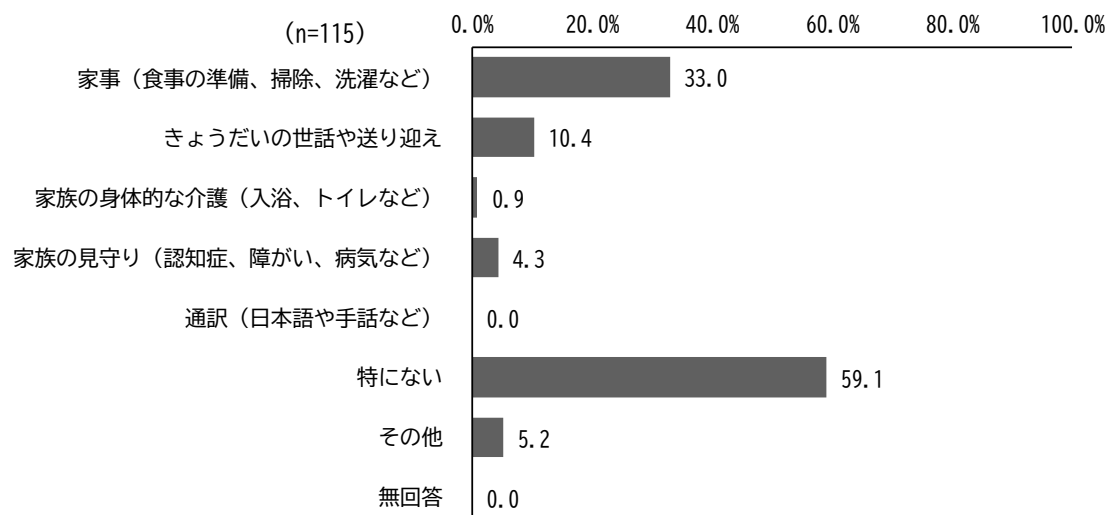
問 22 その理由を教えてください。（あてはまるものを1つ選択）

「進学段階を選んだ理由」について、「子どもの希望」が35.2%で最も多く、次いで「経済的な状況から考えて」が33.0%、「親の希望」が13.6%となっています。



問 23 あなたの家庭で子どもが担当している役割を教えてください。（あてはまるものをすべて選択）

「家庭で子どもが担当している役割」について、「特にない」が59.1%で最も多く、次いで「家事（食事の準備、掃除、洗濯など）」が33.0%、「きょうだいの世話や送り迎え」が10.4%となっています。

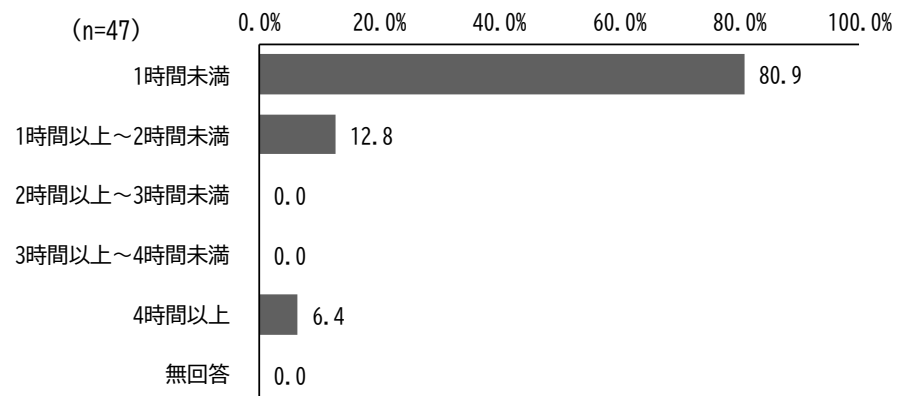


【ひとり親家庭調査結果】

【問 23 で「6.」以外を選んだ方におたずねします。】

問 24 平日1日あたりで、子どもが担当している役割に費やす時間を教えてください。
(あてはまるものを1つ選択)

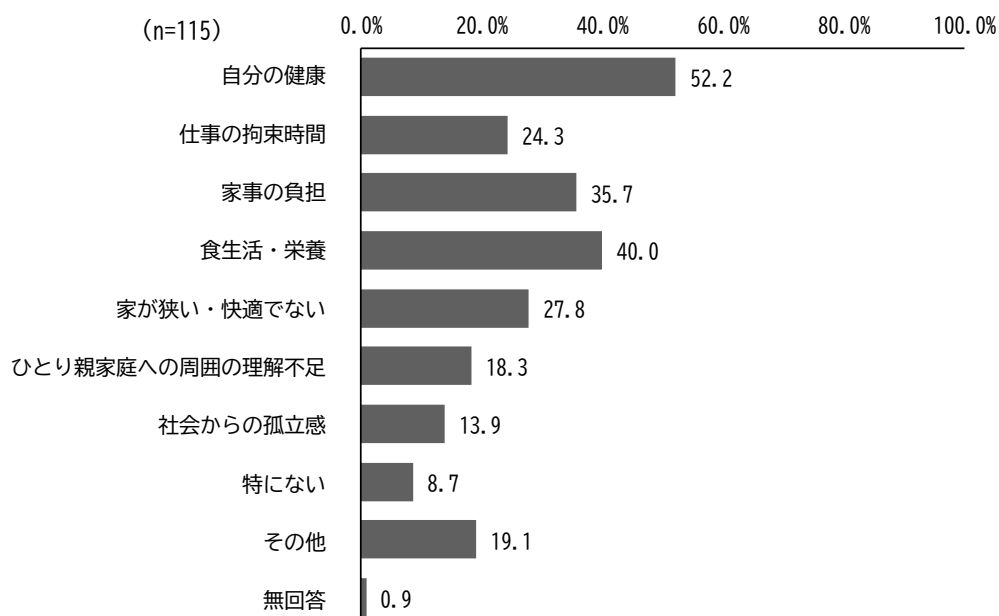
「子どもが担当している役割に費やす時間」について、「1時間未満」が80.9%で最も多く、次いで「1時間以上～2時間未満」が12.8%、「4時間以上」が6.4%となっています。



3 生活の中での悩みや不安について

問 25 現在、生活の中で何か悩みや不安はありますか。(あてはまるものをすべて選択)

「生活の中での悩みや不安」について、「自分の健康」が 52.2%で最も多く、次いで「食生活・栄養」が 40.0%、「家事の負担」が 35.7%となっています。



【クロス集計：年齢別】

「生活の中での悩みや不安」について、年齢別でみると、30代では「食生活・栄養」、40代・50代・60代では「自分の健康」の回答割合が高い傾向にあります。

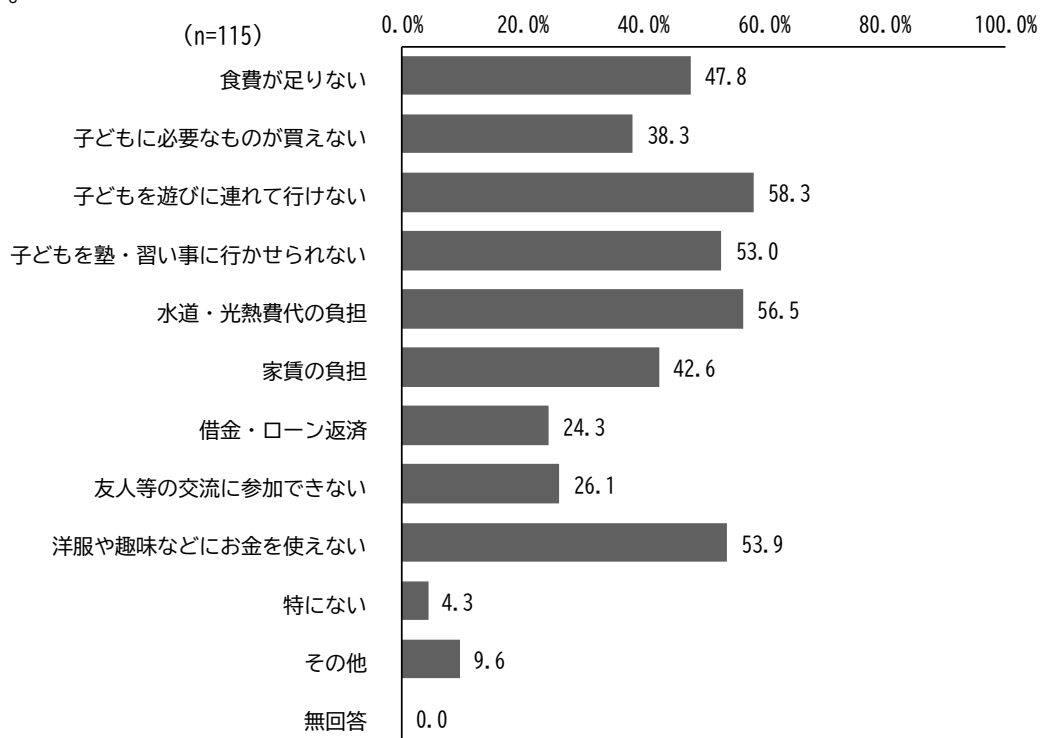
一方、10代・20代では「自分の健康」「仕事の拘束時間」「家事の負担」の回答割合が高い傾向にあります。

		上段：件数 下段：構成比 (%)										
		全体	自分の健康	仕事の拘束時間	家事の負担	食生活・栄養	家が狭い・快適でない	ひとり親家庭への周囲の理解不足	社会からの孤立感	特にない	その他	無回答
全体		115 100.0	60 52.2	28 24.3	41 35.7	46 40.0	32 27.8	21 18.3	16 13.9	10 8.7	22 19.1	1 0.9
年齢 (4区分)	10代・20代	7 100.0	3 42.9	3 42.9	3 42.9	1 14.3	- -	1 14.3	1 14.3	2 28.6	1 14.3	- -
	30代	43 100.0	17 39.5	11 25.6	17 39.5	21 48.8	15 34.9	10 23.3	8 18.6	4 9.3	7 16.3	1 2.3
	40代	54 100.0	29 53.7	11 20.4	15 27.8	19 35.2	13 24.1	8 14.8	6 11.1	4 7.4	12 22.2	- -
	50代・60代	10 100.0	10 100.0	3 30.0	6 60.0	4 40.0	4 40.0	2 20.0	1 10.0	- -	2 20.0	- -

【ひとり親家庭調査結果】

問 26 お金に関して何か悩みや不安はありますか。(あてはまるものをすべて選択)

「お金に関しての悩みや不安」について、「子どもを遊びに連れて行けない」が 58.3%で最も多く、次いで「水道・光熱費代の負担」が 56.5%、「洋服や趣味などにお金を使えない」が 53.9%となっています。



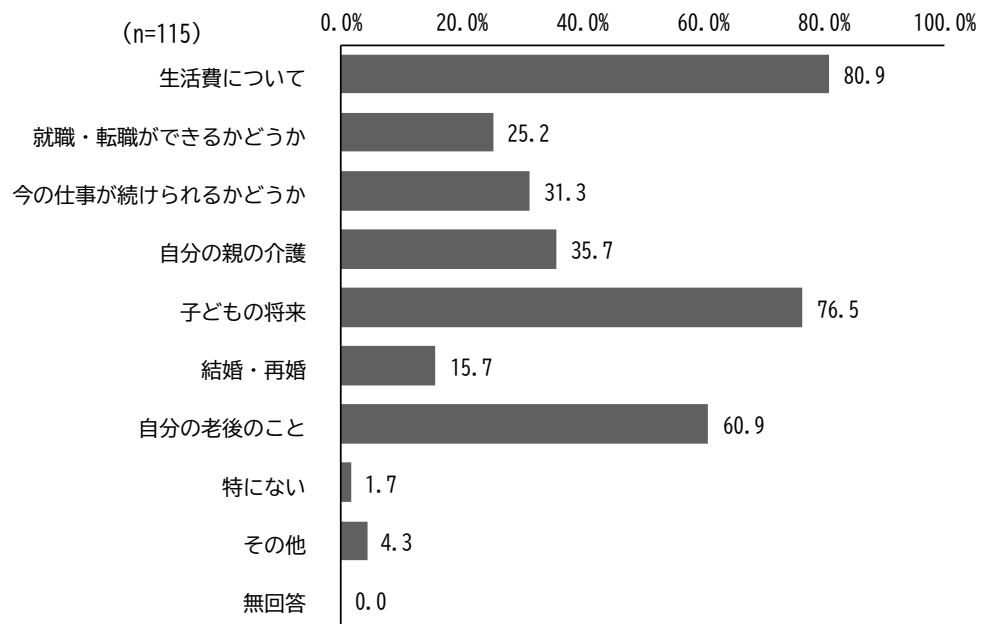
【クロス集計：年齢別】

「お金に関しての悩みや不安」について、年齢別でみると、10代・20代では「洋服や趣味などにお金を使えない」、30代では「子どもを塾・習い事に行かせられない」、40代では「水道・光熱費代の負担」、50代・60代では「子どもを遊びに連れて行けない」の回答割合が高い傾向にあります。

		上段：件数 下段：構成比 (%)											
	全体	食費が足りない	子どもに必要なものが買えない	子どもを遊びに連れて行けない	子どもを塾・習い事に行かせられない	水道・光熱費代の負担	家賃の負担	借金・ローン返済	友人等の交流に参加できない	洋服や趣味などにお金を使えない	特にない	その他	無回答
全体	115 100.0	55 47.8	44 38.3	67 58.3	61 53.0	65 56.5	49 42.6	28 24.3	30 26.1	62 53.9	5 4.3	11 9.6	-
年齢 (4区分)	10代・20代	7 100.0	2 28.6	1 14.3	4 57.1	4 57.1	3 42.9	3 42.9	1 14.3	5 71.4	1 14.3	1 14.3	-
	30代	43 100.0	23 53.5	18 41.9	26 60.5	28 65.1	19 44.2	11 25.6	17 39.5	24 55.8	1 2.3	3 7.0	-
	40代	54 100.0	26 48.1	19 35.2	28 51.9	23 42.6	25 46.3	13 24.1	10 18.5	28 51.9	2 3.7	6 11.1	-
	50代・60代	10 100.0	4 40.0	5 50.0	8 80.0	5 50.0	2 20.0	3 30.0	2 20.0	5 50.0	1 10.0	1 10.0	-

問 27 将来について何か不安や悩みはありますか。(あてはまるものをすべて選択)

「将来の不安や悩み」について、「生活費について」が 80.9%で最も多く、次いで「子どもの将来」が 76.5%、「自分の老後のこと」が 60.9%となっています。



【クロス集計：年齢別】

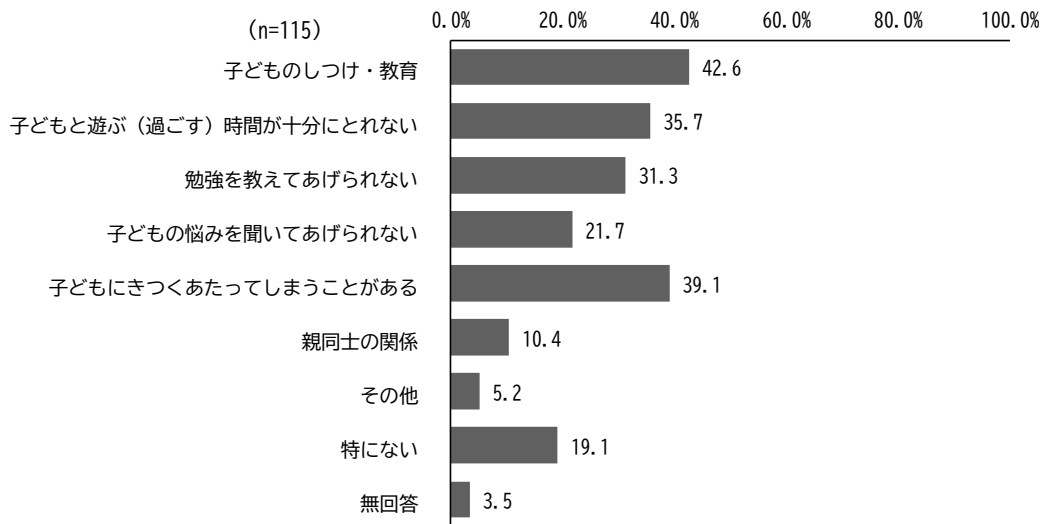
「将来についての不安や悩み」について、年齢別でみると、10代・20代では「生活費について」「子どもの将来」、30代・50代・60代では「子どもの将来」、40代では「生活費について」の回答割合が高い傾向にあります。

		上段：件数 下段：構成比（％）										
		全体	生活費について	就職・転職ができるかどうか	今の仕事が続けられるかどうか	自分の親の介護	子どもの将来	結婚・再婚	自分の老後のこと	特にない	その他	無回答
全体		115 100.0	93 80.9	29 25.2	36 31.3	41 35.7	88 76.5	18 15.7	70 60.9	2 1.7	5 4.3	- -
年齢（4区分）	10代・20代	7 100.0	5 71.4	1 14.3	2 28.6	1 14.3	5 71.4	- -	2 28.6	1 14.3	1 14.3	- -
	30代	43 100.0	36 83.7	13 30.2	12 27.9	12 27.9	37 86.0	11 25.6	23 53.5	- -	3 7.0	- -
	40代	54 100.0	43 79.6	11 20.4	16 29.6	22 40.7	37 68.5	6 11.1	34 63.0	1 1.9	1 1.9	- -
	50代・60代	10 100.0	8 80.0	4 40.0	5 50.0	5 50.0	9 90.0	1 10.0	10 100.0	- -	- -	- -

【ひとり親家庭調査結果】

問 28 子育てをしている中で何か不安や悩みはありますか。
(あてはまるものをすべて選択)

「子育てをしている中での不安や悩み」について、「子どものしつけ・教育」が42.6%で最も多く、次いで「子どもにきつくあたってしまうことがある」が39.1%、「子どもと遊ぶ（過ごす）時間が十分にとれない」が35.7%となっています。



【クロス集計：年齢別】

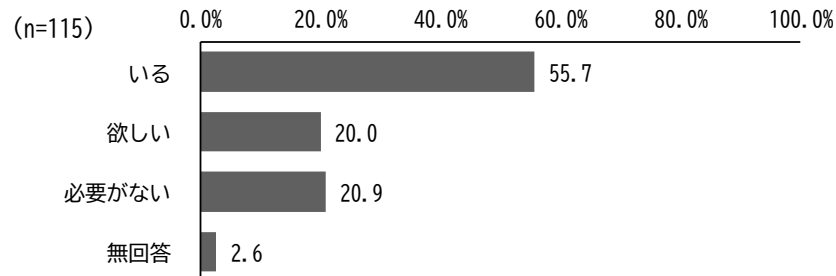
「子育てをしている中での不安や悩み」について、年齢別でみると、30代では「子どものしつけ・教育」、40代では「子どもと遊ぶ（過ごす）時間が十分にとれない」「勉強を教えてあげられない」の回答割合が高い傾向にあります。

一方、10代・20代では「子どもにきつくあたってしまうことがある」の回答割合が高い傾向にあります。

		上段：件数 下段：構成比（％）									
		全体	子どものしつけ・教育	子どもと遊ぶ（過ごす）時間が十分にとれない	勉強を教えてあげられない	子どもの悩みを聞いてあげられない	子どもにきつくあたってしまうことがある	親同士の関係	その他	特にない	無回答
全体		115 100.0	49 42.6	41 35.7	36 31.3	25 21.7	45 39.1	12 10.4	6 5.2	22 19.1	4 3.5
年齢（４区分）	10代・20代	7 100.0	2 28.6	3 42.9	2 28.6	－ －	4 57.1	－ －	1 14.3	1 14.3	－ －
	30代	43 100.0	24 55.8	18 41.9	12 27.9	11 25.6	20 46.5	6 14.0	3 7.0	5 11.6	1 2.3
	40代	54 100.0	17 31.5	19 35.2	19 35.2	13 24.1	18 33.3	6 11.1	1 1.9	14 25.9	2 3.7
	50代・60代	10 100.0	5 50.0	1 10.0	3 30.0	1 10.0	3 30.0	－ －	1 10.0	2 20.0	1 10.0

問 29 悩みを相談できる相手はいますか。(あてはまるものを1つ選択)

「悩みを相談できる相手」について、「いる」が55.7%で最も多く、次いで「必要がない」が20.9%、「欲しい」が20.0%となっています。



【クロス集計：子どもとの関係別】

「悩みを相談できる相手の有無」について、子どもとの関係別でみると、父母ともに「いる」の回答割合が高い傾向にあります。

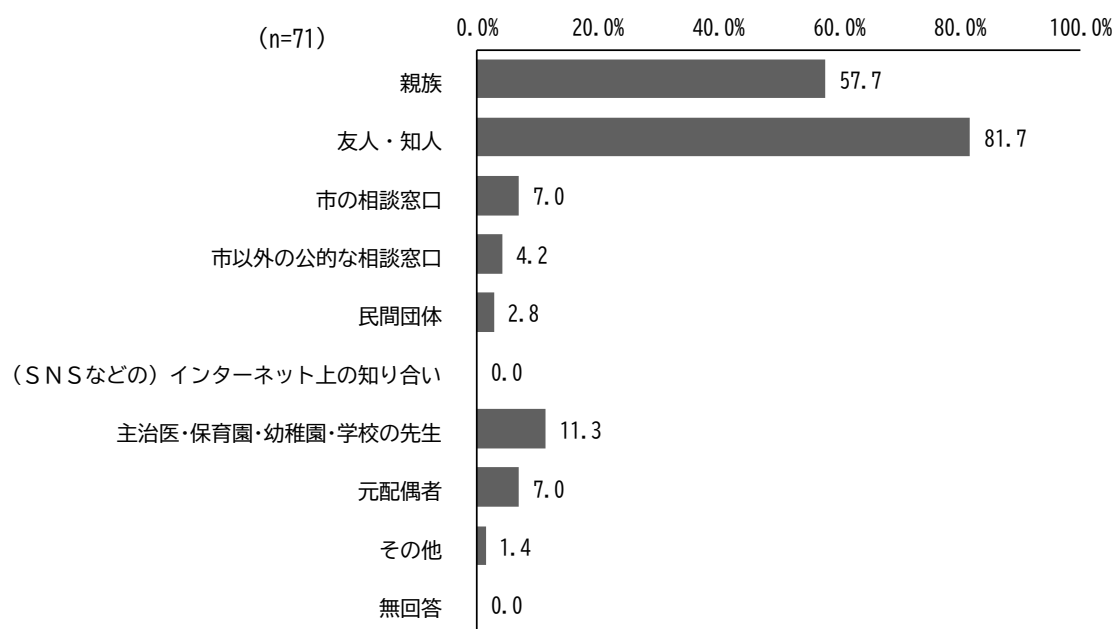
		上段：件数 下段：構成比（％）				
		全 体	い る	欲 し い	必 要 が な い	無 回 答
全 体		115 100.0	71 61.7	33 28.7	9 7.8	2 1.7
子 ど も と の 関 係 性	父 親	3 100.0	2 66.7	1 33.3	－ －	－ －
	母 親	111 100.0	68 61.3	32 28.8	9 8.1	2 1.8
	養育者 （祖父母等）	1 100.0	1 100.0	－ －	－ －	－ －

【ひとり親家庭調査結果】

【問 29 で「1.」を選んだ方におたずねします。】

問 30 相談できる相手はどなたですか。（あてはまるものをすべて選択）

「相談できる相手」について、「友人・知人」が 81.7%で最も多く、次いで「親族」が 57.7%、「主治医・保育園・幼稚園・学校の先生」が 11.3%となっています。



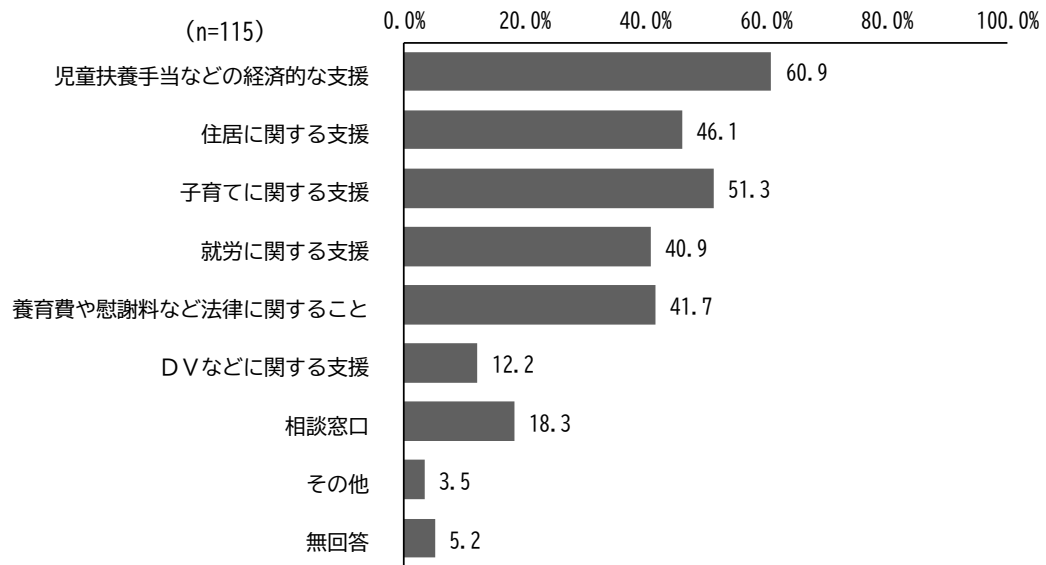
【クロス集計：子どもとの関係別】

「相談できる相手」について、子どもとの関係別でみると、父母ともに「友人・知人」の回答割合が高い傾向にあります。

		上段：件数 下段：構成比 (%)										
		全体	親族	友人・知人	市の相談窓口	市以外の公的な相談窓口	民間団体	ネット上の知り合い (SNSなどの)	主治医・保育園・幼稚園・学校の先生	元配偶者	その他	無回答
全体		71 100.0	41 57.7	58 81.7	5 7.0	3 4.2	2 2.8	-	8 11.3	5 7.0	1 1.4	-
子どもとの関係性	父親	2 100.0	1 50.0	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	母親	68 100.0	40 58.8	56 82.4	5 7.4	2 2.9	2 2.9	-	8 11.8	5 7.4	1 1.5	-
	養育者 (祖父母等)	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-

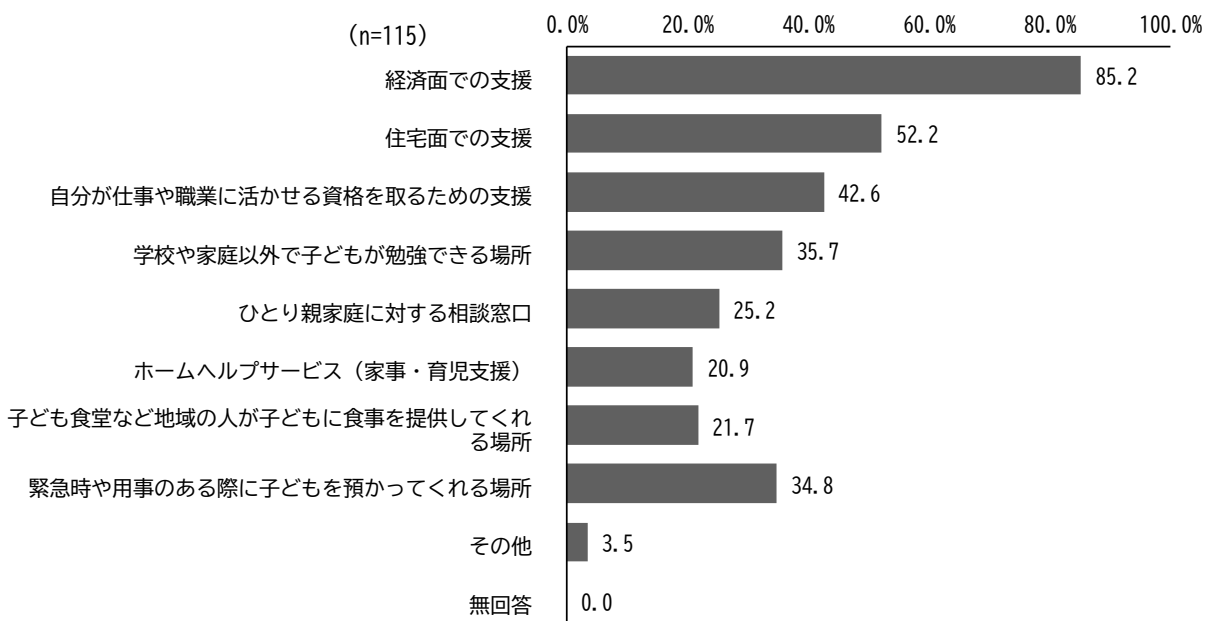
問 31 ひとり親になる時に知りたかったことはなんですか。
(あてはまるものをすべて選択)

「ひとり親になる時に知りたかったこと」について、「児童扶養手当などの経済的な支援」が60.9%で最も多く、次いで「子育てに関する支援」が51.3%、「住居に関する支援」が46.1%となっています。



問 32 次の中からあったら利用したいと思う支援やサービスを選んでください。
(あてはまるものをすべて選択)

「利用したいと思う支援やサービス」について、「経済面での支援」が85.2%で最も多く、次いで「住宅面での支援」が52.2%、「自分が仕事や職業に活かせる資格を取るための支援」が42.6%となっています。



問 33 最後に、あなたが木更津市に、あったらいいな・こんなことをしてほしいなど思うことがあれば自由に書いてください。

<分類別件数>

No.	分類	件数
1	経済的支援・経済状況の改善について	33
2	子育て事業等について	12
3	遊び場・居場所について	4
4	行事やイベント、ボランティア活動について	3
5	学校・学習の場について	3
6	道路・公共交通機関等について	3
7	交流・相談できる場所について	3
8	防犯・防災対策について	2
9	その他	10

1. 経済的支援・経済状況の改善について

- ・とりあえず給食費負担、制服等負担を無くして欲しいです。貧富問わず、子どもたちには当たり前のように給食を食べて欲しいし、制服は一括の支出が大きいため、修学旅行のように定期的な引き落としに含むなどすると良いと思う。
- ・光熱費のうち、水道代に関しては他地域ではひとり親家庭への減額等の支援をしているところが多いが水道局は問い合わせたところ、この辺りの地域で木更津に限ってはその支援を受けられないと言われました。木更津市もその支援を受けられたらとてもとても助かります。
- ・家賃補助など、ひとり親の支援がもっとあればいいとおもう。
- ・学生の間だけは、母子手当があると凄く助かります
- ・18歳以上でも医療費が無料になってもらえるととても助かります。

2. 子育て事業等について

- ・病児保育ができるようになったらいい。
- ・教育支援
- ・ショートステイが出来る場所がもっと増えてくれると助かります。
- ・子供の塾など習い事に対する補助。やりたい事のために私立中学校へ入学したが、何も補助がなくひとり親ではかなり苦しい。だったら公立へ行かせればいいじゃないかと思われるが子供がサッカーを暁星国際でやりたいと言うので。ひとり親の子供も平等に権利を与えて欲しいと思う。
- ・病児保育の場所を作ってほしい

3. 遊び場・居場所について

- ・お金を使わずに遊べる広場がもっと欲しい。例えば、テニスができたり、バトミントン、休憩できるスペース。
- ・子供達のスポーツを安心して利用できるスポーツセンターの様な施設で駅からバスなど利用できるなど、安心面を考慮しているセキュリティーがあるなど
- ・支援センターや、フリースクール以外の不登校、発達の子供達の居場所
- ・公園が少ない。公園が機能していない、近くに公園がなく、近くの小学生は学校の帰りに友達の家で狭いのにサッカーをしていたり道路上や、工事中の敷地？で遊んでいたりと、それか友達の家でゲームなど、、、 みんなが集まりやすい公園があればこどもたちの居場所になったり老人たちも体を動かすきっかけになったり犬の散歩のひとたちや、ちいさい子連れのママ・パパ同士や地域の交流が増えるとおもう。今娘も、自転車の練習をしてるが道路じゃ危なくて親が常に見張りしてる状態、、、 あと公園があっても草がボーボーだったり寂れた錆びた遊具だったりただの空き地でしかない現状、、、 おびつぜき公園みたいな公園をもっと増やしてほしい、でないと地域交流や、体を動かすきっかけが少なくこどもたちもゲームばかりになりそう 袖ヶ浦駅前の公園はとても、気持ち良いです。

4. 行事やイベント、ボランティア活動について

- ・人と人が繋がり合えるイベントや祭事をより沢山の経験を出来る場を現代の子供達に提供してほしい
- ・潮干狩りの地元割引があったらうれしいです…
- ・頻度多く市がやってくださってるイベントは、とてもありがたい。保育園を通してチラシがまわってくるので、保育園のお友達を誘って一緒に楽しませてもらってます。ありがとうございます。

5. 学校・学習の場について

- ・学校のトイレ等、綺麗にして欲しい。改修工事をして欲しい。
- ・岩根小学校のPTAが、毎年全員参加はおかしい。会社は休みについて快諾してくれても、一緒に働いている人からはよくない事を言われているのが現状。
- ・塾に行かせたいが通わせられるところがない。地域によっての差を感じる地域にほしいが難しいなら送迎付き塾がほしい（習字や学習塾、英会話）

6. 道路・公共交通機関等について

- ・道路の補修などして欲しい。
- ・通学路にガードレール等で子供を守ってほしい。
- ・市内巡回バスがあると便利だと高齢の方からよく聞きます
一度試験的に導入されたようですが、皆に周知される前に試用が終わってしまった感もあったようです。

7. 交流・相談できる場所について

- ・相談窓口はあると思いますが、もっと気軽に相談できるようになってほしい。無理なこともあるだろうが、話を聞いてくれる窓口などがあると良いかなと思います。
- ・もっと子供に対する親子関係での相談、子供にとっての宿泊、将来への指導などを他人から聞く事が出来る環境があると助かる。
- ・AI チャットなどで相談窓口を教えてくれるとか、簡単な相談ができるといいなと思います。
(あったらすみません)ちょっとしたことを相談する相手がいないので、いきなり自治体の窓口
に相談するのはハードルが高く感じるので…。
一般相談？は、すぐ予約が埋まるそうなので諦めてます。

8. 防犯・防災対策について

- ・外国人が増えたことで治安にも不安がある。ゴミ出しの日も守ってくれないし怖い。
- ・木更津市大久保内の街頭をもう少し増やして暗闇がない様な住宅街になったら嬉しいです。少し、夕方になりますと暗く子供が歩くには暗く心配です。

9. その他

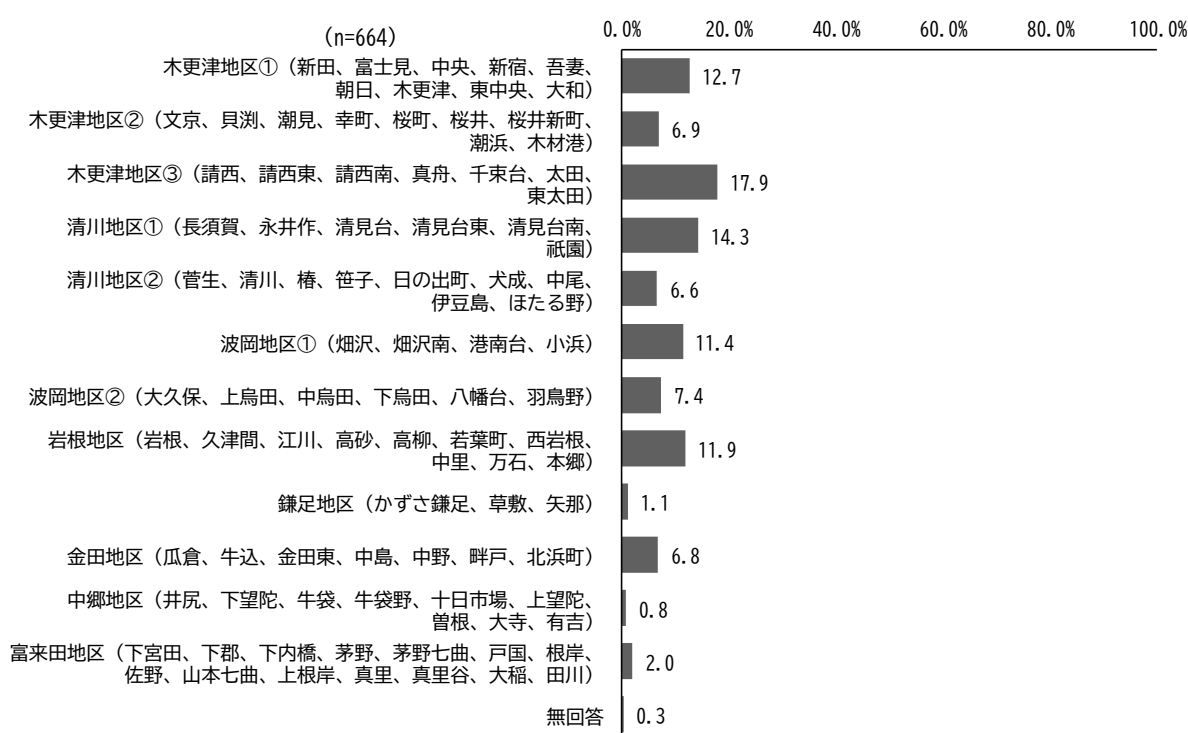
- ・雑草が酷い地域など綺麗にして欲しい。
- ・小さかった子供との貴重な時間を割いても必死に正社員のまま働いてギリギリの生活を老いた両親からの支援でなんとか凌いで来ましたが、同じひとり親でも生活保護やパートなど少しの時間だけ働いていた人の方が手当も多く楽に暮らしている様にさえ見えました。必死に働いた人が損なような気がしていました。頑張った人が報われるような手当や支援を充実させて下さったら公平感も得られるし、ひとり親でもしっかり働いてこの先子供が成人しても国や自治体から多額の援助を受けずに一人で生活出来るようになるのではないかと思います。
- ・ゴミ袋の無料配布とてもありがたかったです、地味に高いので…。いつも色々ありがとうございます。
- ・電車の遅延など駅にいる人は分かるけど、踏切で踏切が開くのを待ってる方は分からないので、開かずの踏切状態になった時に困る。分かれば迂回も出来るのに。とても困る。駅に電話しても繋がらない、いつまで待てばいいかも分からない。分かるような仕組みにならないのか？なんかかならないのかと思う

(4) 若者調査結果

1 あなたのことについてうかがいます

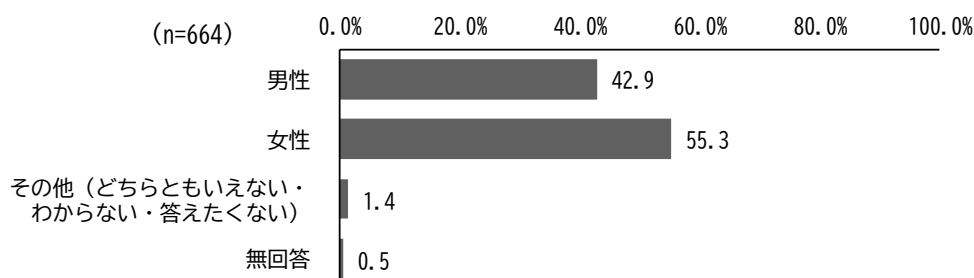
問1 あなたが現在お住まいの地区を教えてください。(あてはまるものを1つ選択)

「お住まいの地区」について、「木更津地区③(請西、請西東、請西南、真舟、千束台、太田、東太田)」が17.9%で最も多く、次いで「清川地区①(長須賀、永井作、清見台、清見台東、清見台南、祇園)」が14.3%、「木更津地区①(新田、富士見、中央、新宿、吾妻、朝日、木更津、東中央、大和)」が12.7%となっています。



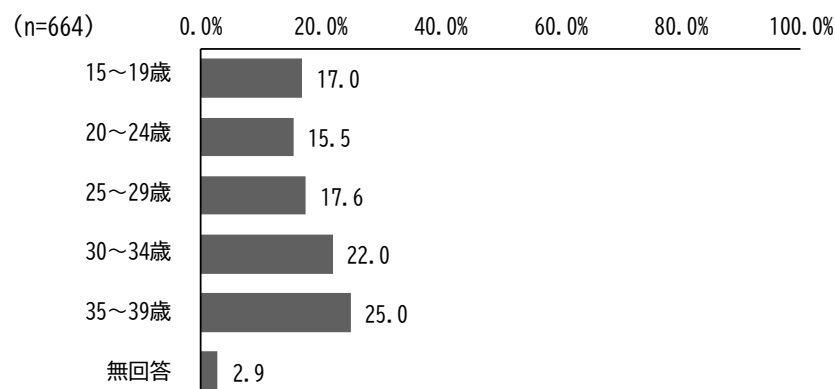
問2 あなたの性別をお答えください。(あてはまるものを1つ選択)

「性別」について、「男性」が42.9%、「女性」が55.3%、「その他(どちらともいえない・わからない・答えたくない)」が1.4%となっています。



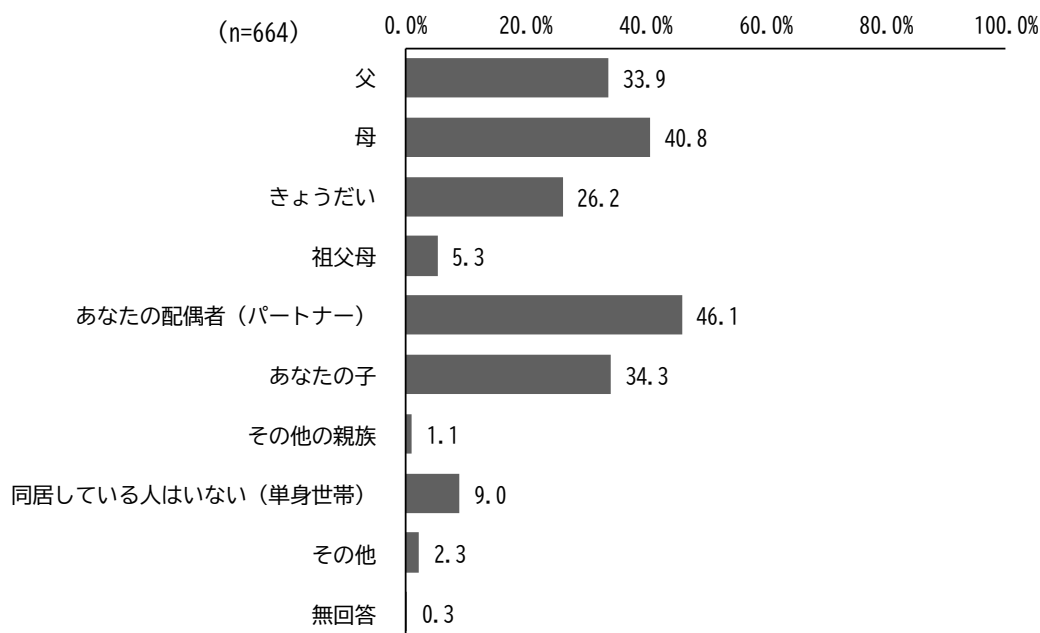
問3 回答時点のあなたの年齢をお答えください。(数字で記入)

「年齢」について、「35～39 歳」が 25.0%で最も多く、次いで「30～34 歳」が 22.0%、「25～29 歳」が 17.6%となっています。



問4 現在、あなたと同居している方を教えてください。なお、「配偶者（パートナー）」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。（あてはまるものをすべて選択）

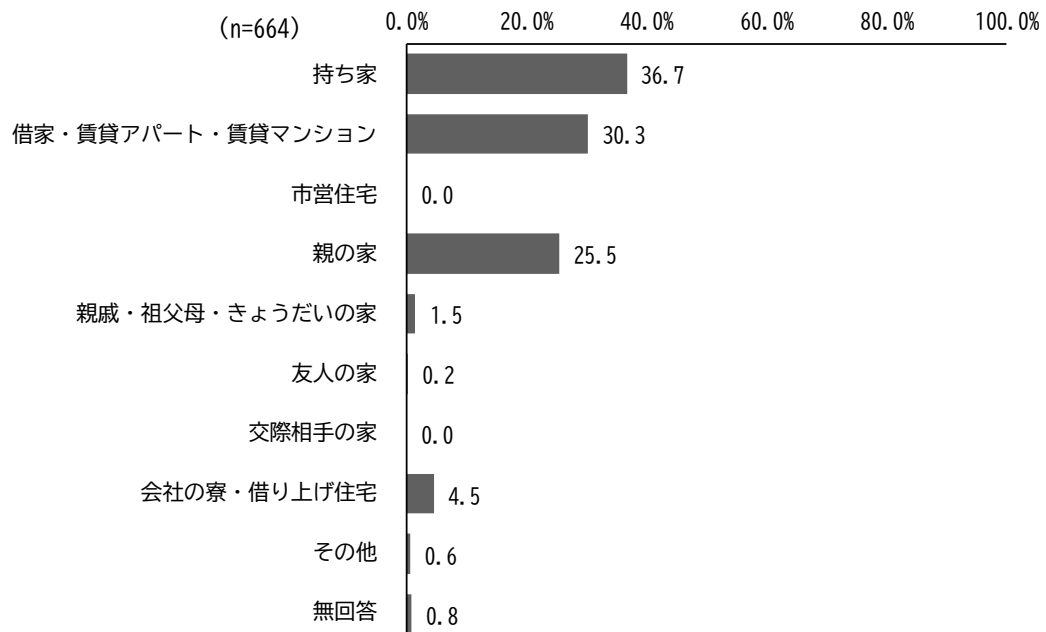
「同居している方」について、「あなたの配偶者（パートナー）」が 46.1%で最も多く、次いで「母」が 40.8%、「あなたの子」が 34.3%となっています。



【若者調査結果】

問5 あなたの現在のお住まいにあてはまるものはどれですか。
(あてはまるものを1つ選択)

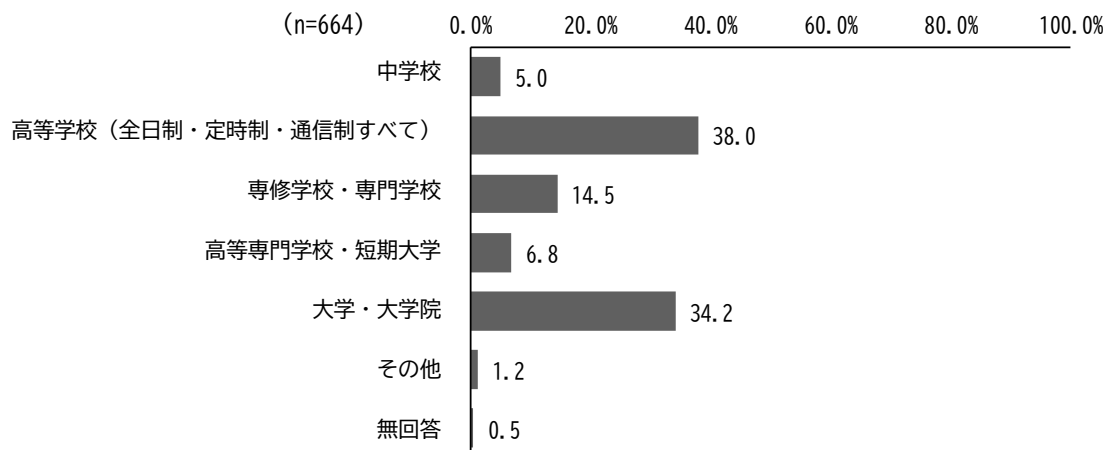
「お住まい」について、「持ち家」が36.7%で最も多く、次いで「借家・賃貸アパート・賃貸マンション」が30.3%、「親の家」が25.5%となっています。



2 あなたの学歴、就業経験についてうかがいます

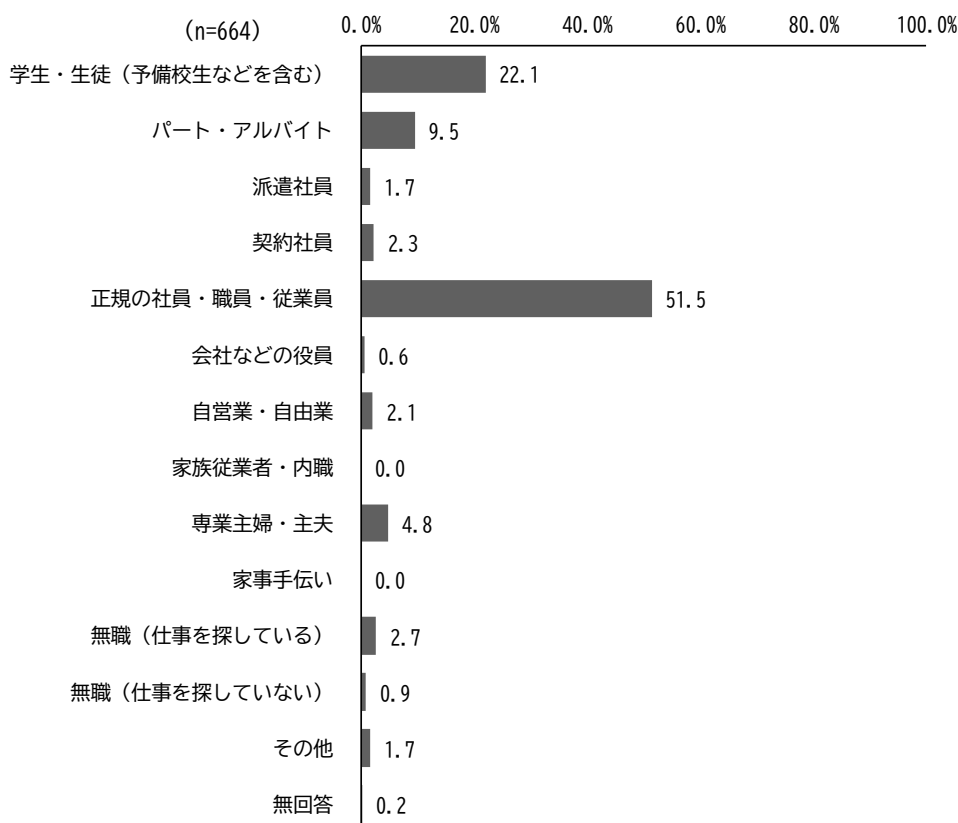
問6 あなたが最後に卒業した学校はどこですか。
 在学中の方は、現在在学している学校を教えてください。
 (あてはまるものを1つ選択)

「最後に卒業した学校」について、「高等学校（全日制・定時制・通信制すべて）」が38.0%で最も多く、次いで「大学・大学院」が34.2%、「専修学校・専門学校」が14.5%となっています。



問7 あなたの現在の職業を教えてください。(あてはまるものを1つ選択)

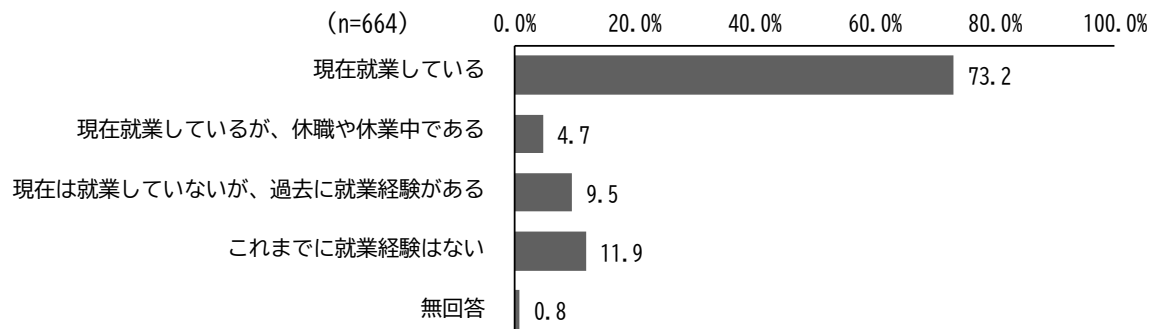
「現在の職業」について、「正規の社員・職員・従業員」が51.5%で最も多く、次いで「学生・生徒（予備校生などを含む）」が22.1%、「パート・アルバイト」が9.5%となっています。



【若者調査結果】

問8 あなたの就業経験について教えてください。(パート・アルバイトを含む)
(あてはまるものを1つ選択)

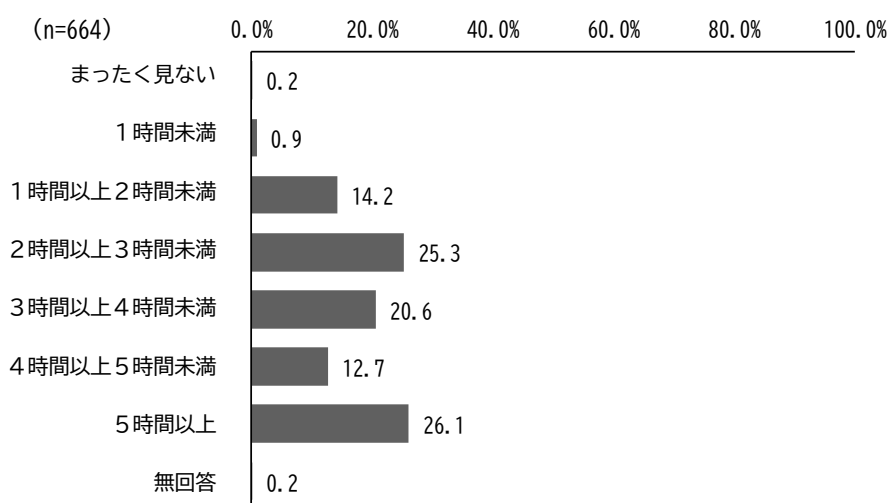
「就業経験」について、「現在就業している」が73.2%で最も多く、次いで「これまでに就業経験はない」が11.9%、「現在は就業していないが、過去に就業経験がある」が9.5%となっています。



3 あなたの普段の生活についてうかがいます

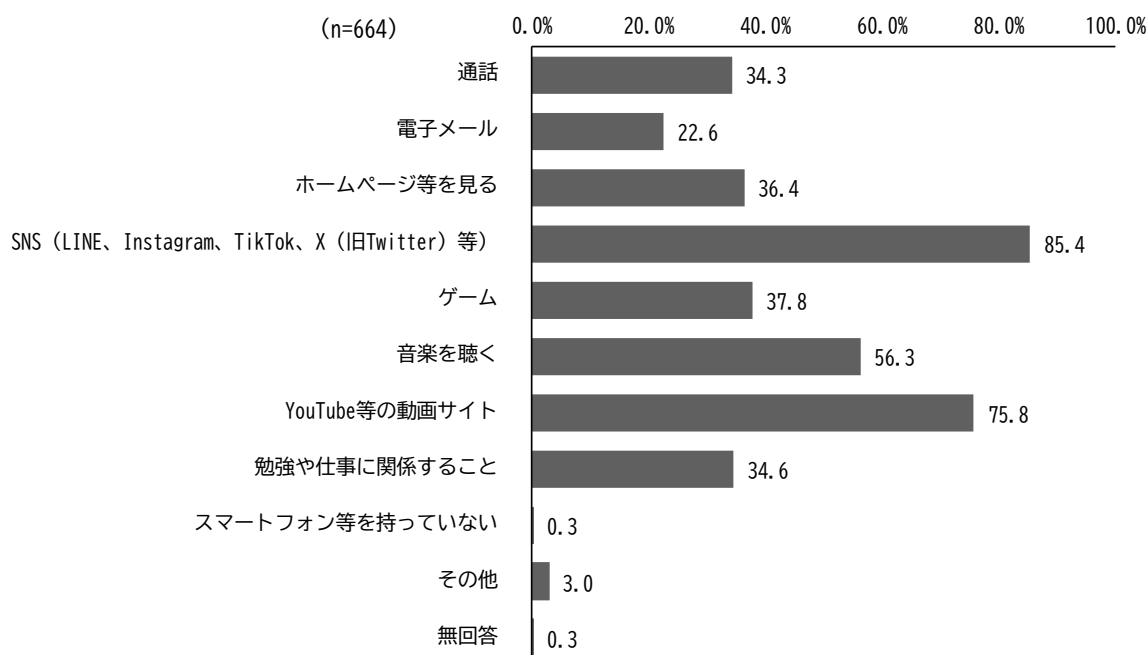
問9 あなたは平日に授業や仕事以外でどのくらいの時間、スマートフォンやパソコン、タブレット端末等（以下「スマートフォン等」という。）を利用しますか。（あてはまるものを1つ選択）

「平日の授業や仕事以外でのスマートフォンやパソコン、タブレット端末の利用時間」について、「5時間以上」が26.1%で最も多く、次いで「2時間以上3時間未満」が25.3%、「3時間以上4時間未満」が20.6%となっています。



問10 スマートフォン等の主な利用目的は何ですか。（あてはまるものをすべて選択）

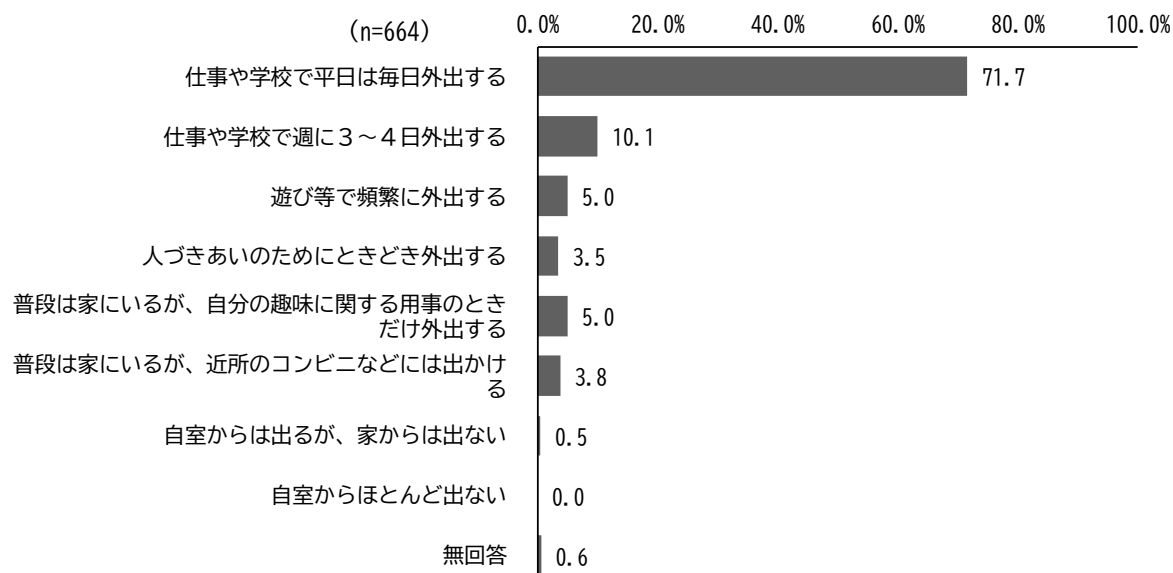
「スマートフォン等の主な利用目的」について、「SNS（LINE、Instagram、TikTok、X（旧Twitter）等）」が85.4%で最も多く、次いで「YouTube等の動画サイト」が75.8%、「音楽を聴く」が56.3%となっています。



【若者調査結果】

問 11 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについて教えてください。
(あてはまるものを1つ選択)

「普段の外出状況」について、「仕事や学校で平日は毎日外出する」が71.7%で最も多く、次いで「仕事や学校で週に3～4日外出する」が10.1%、「遊び等で頻繁に外出する」「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」が各5.0%となっています。



【クロス集計：年齢別】

「普段の外出状況」について、年齢別でみると、すべての年齢で「仕事や学校で平日は毎日外出する」の回答割合が高い傾向にあります。

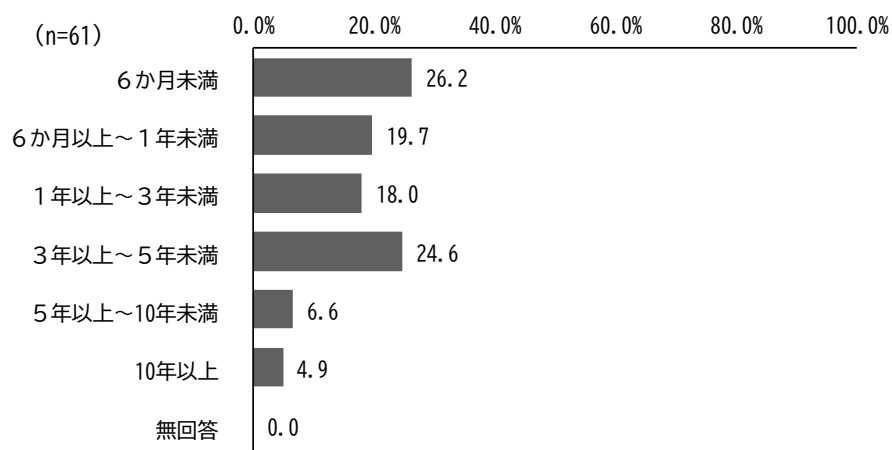
特に、10代の回答割合は8割台半ばと他年齢に比べ高い割合となっています。

		上段：件数 下段：構成比 (%)									
		全体	仕事や学校で平日は毎日外出する	仕事や学校で週に3～4日外出する	遊び等で頻繁に外出する	人づきあいのためにときどき外出する	普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する	普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	自室からは出るが、家からは出ない	自室からほとんど出ない	無回答
全体		664 100.0	476 71.7	67 10.1	33 5.0	23 3.5	33 5.0	25 3.8	3 0.5	- -	4 0.6
年齢（3区分）	10代	113 100.0	94 83.2	6 5.3	5 4.4	4 3.5	4 3.5	- -	- -	- -	- -
	20代	220 100.0	162 73.6	28 12.7	7 3.2	5 2.3	7 3.2	8 3.6	1 0.5	- -	2 0.9
	30代	312 100.0	208 66.7	31 9.9	21 6.7	14 4.5	22 7.1	15 4.8	1 0.3	- -	- -

【問 11 で「5.」～「8.」のいずれかを選択した方におたずねします。】

問 11－1 あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。
(あてはまるものを1つ選択)

「現在の外出状況となってからの期間」について、「6か月未満」が26.2%で最も多く、次いで「3年以上～5年未満」が24.6%、「6か月以上～1年未満」が19.7%となっています。



【クロス集計：年齢別】

「現在の外出状況となってからの期間」について、年齢別でみると、30代では「3年以上～5年未満」の回答割合が高い傾向にあります。

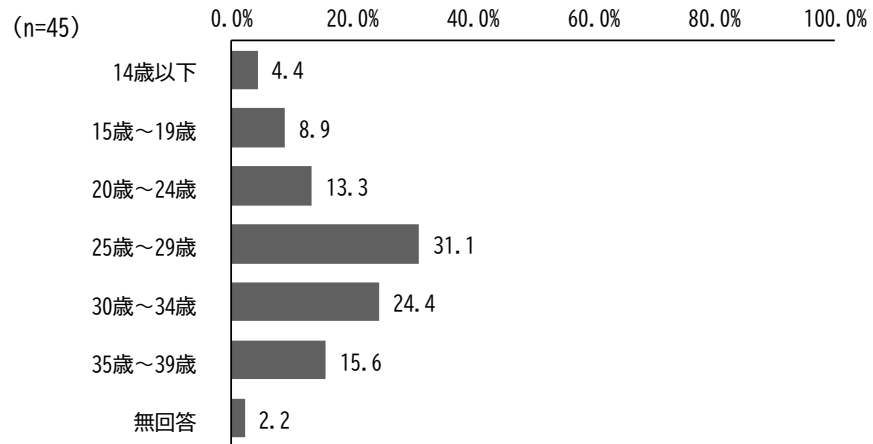
		上段：件数 下段：構成比 (%)						
		全体	6か月未満	6か月以上～1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上
全体		61 100.0	16 26.2	12 19.7	11 18.0	15 24.6	4 6.6	3 4.9
年齢 (3区分)	10代	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	- -	- -	- -
	20代	16 100.0	5 31.3	4 25.0	4 25.0	3 18.8	- -	- -
	30代	38 100.0	9 23.7	7 18.4	5 13.2	11 28.9	3 7.9	3 7.9

【若者調査結果】

【問 11－1 で「2.」～「6.」のいずれかを選択した方におたずねします。】

問 11－2 あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。
(あてはまるものを1つ選択)

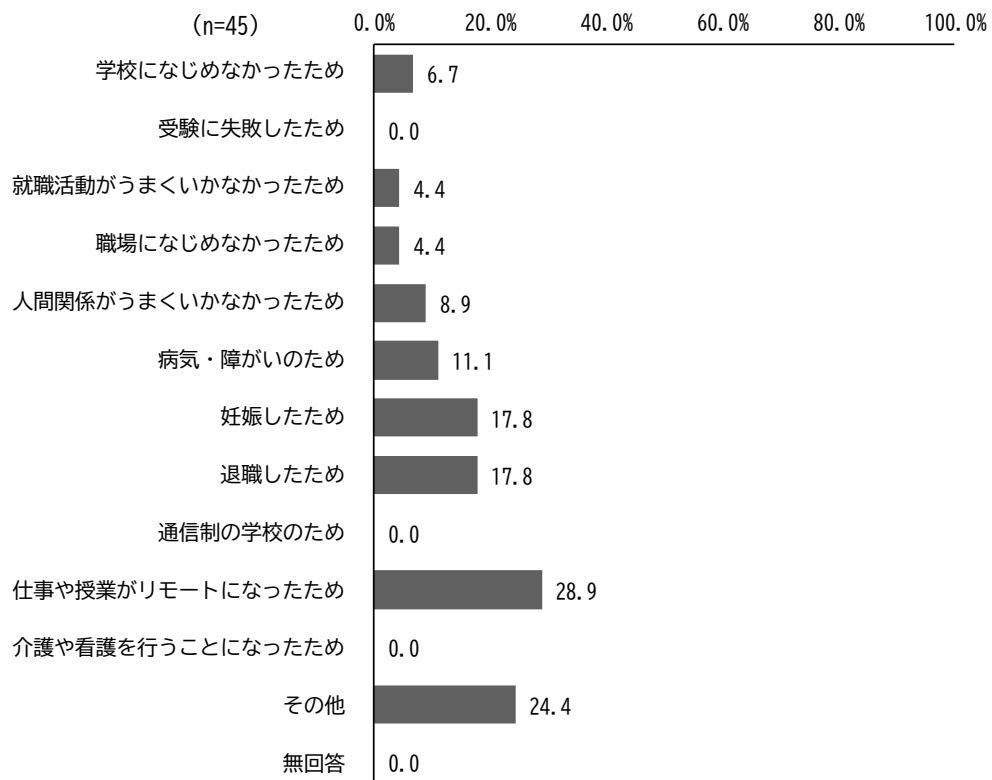
「外出状況が現在の状態になった年齢」について、「25 歳～29 歳」が 31.1%で最も多く、次いで「30 歳～34 歳」が 24.4%、「35 歳～39 歳」が 15.6%となっています。



【問 11－1 で「2.」～「6.」のいずれかを選択した方におたずねします。】

問 11－3 あなたの外出状況が現在の状態になったきっかけは何ですか。
(あてはまるものをすべて選択)

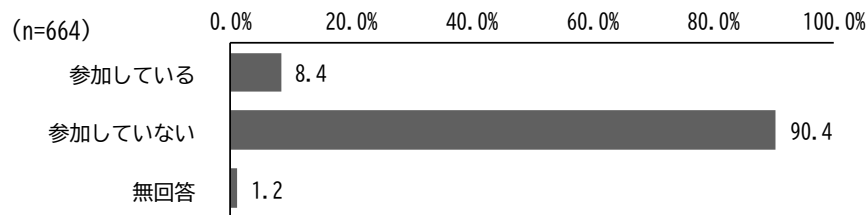
「外出状況が現在の状態になったきっかけ」について、「仕事や授業がリモートになったため」が 28.9%で最も多く、次いで「その他」が 24.4%、「妊娠したため」「退職したため」が各 17.8%となっています。



4 地域との関わりについてうかがいます

問 12 あなたは、現在、地域活動（自分が住んでいる地域のためのボランティア活動に参加していますか。（あてはまるものを1つ選択）

「地域活動への参加状況」について、「参加している」が8.4%、「参加していない」が90.4%となっています。



【クロス集計：年齢別】

「地域活動の参加状況」について、年齢別でみると、すべての年齢で「参加していない」の回答割合が高い傾向にあります。

特に、10代・30代の回答割合は9割を超え、他年齢に比べ高い割合となっています。

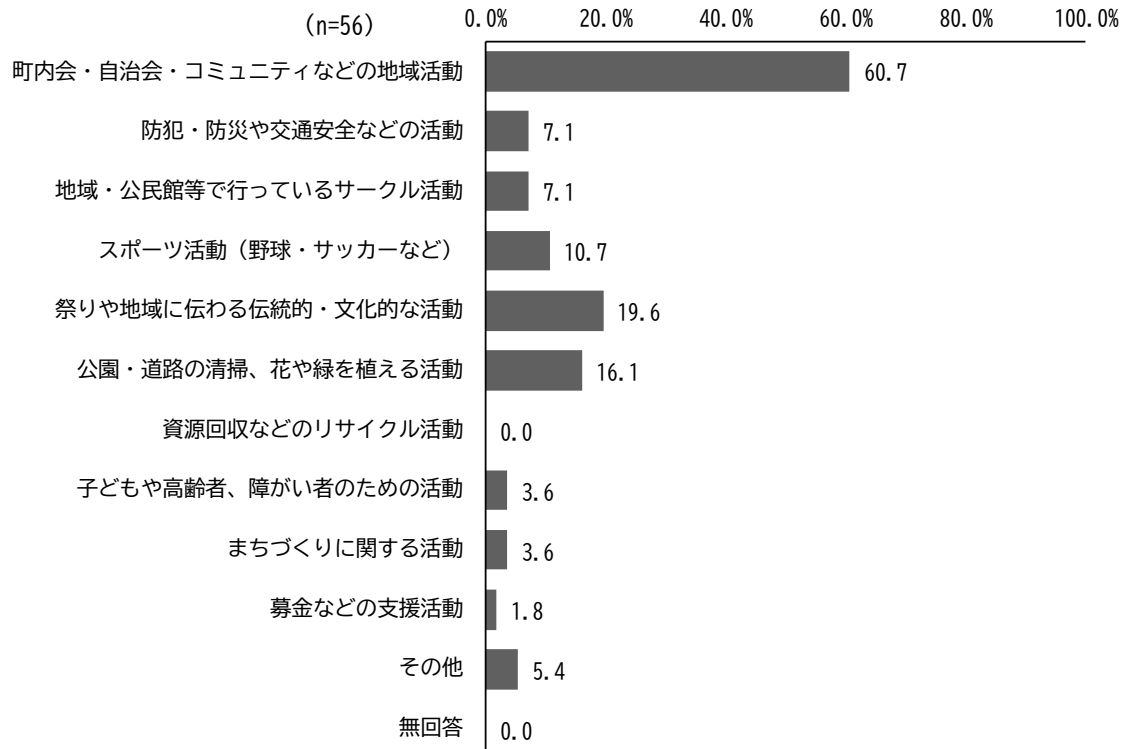
		上段：件数 下段：構成比 (%)			
		全体	参加している	参加していない	無回答
全体		664 100.0	56 8.4	600 90.4	8 1.2
年齢 (3区分)	10代	113 100.0	7 6.2	106 93.8	- -
	20代	220 100.0	19 8.6	197 89.5	4 1.8
	30代	312 100.0	28 9.0	282 90.4	2 0.6

【若者調査結果】

【問 12 で「1 .」を選択した方におたずねします。】

問 12－1 その地域活動は何ですか。（あてはまるものをすべて選択）

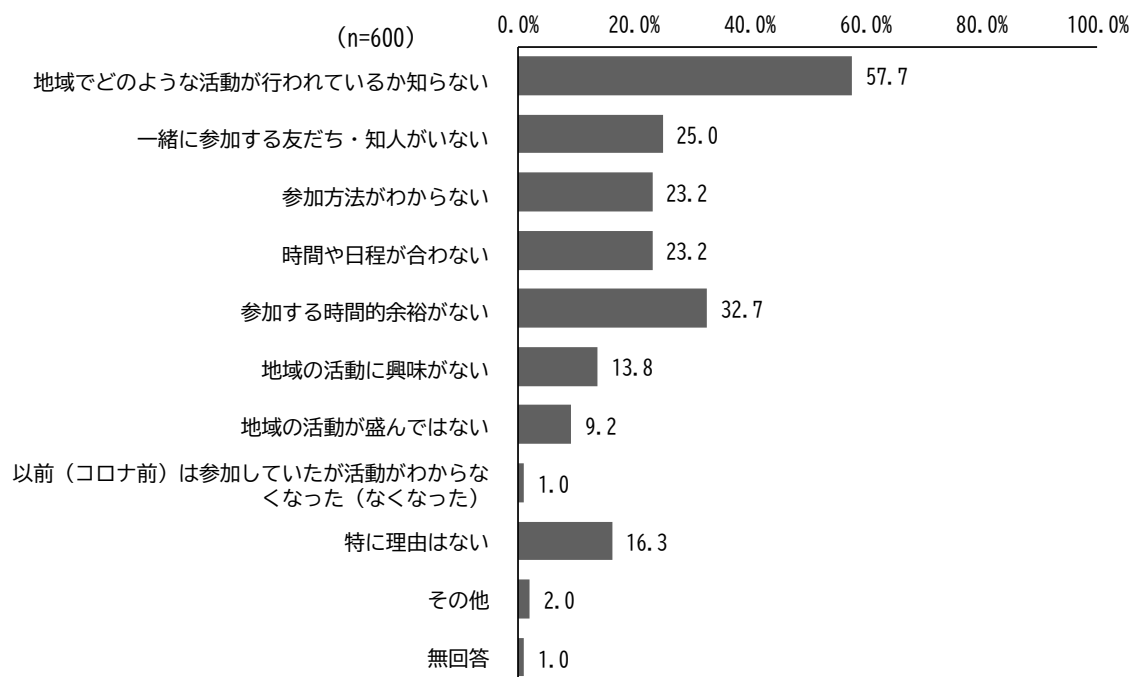
「参加している地域活動」について、「町内会・自治会・コミュニティなどの地域活動」が 60.7%で最も多く、次いで「祭りや地域に伝わる伝統的・文化的な活動」が 19.6%、「公園・道路の清掃、花や緑を植える活動」が 16.1%となっています。



【問 12 で「2.」を選択した方におたずねします。】

問 12－2 地域活動に参加していない理由は何ですか。（あてはまるものをすべて選択）

「地域活動に参加していない理由」について、「地域でどのような活動が行われているか知らない」が57.7%で最も多く、次いで「参加する時間的余裕がない」が32.7%、「一緒に参加する友だち・知人がいない」が25.0%となっています。



【クロス集計：年齢別】

「地域活動に参加していない理由」について、年齢別でみると、すべての年齢で「地域でどのような活動が行われているか知らない」の回答割合が高い傾向にあります。

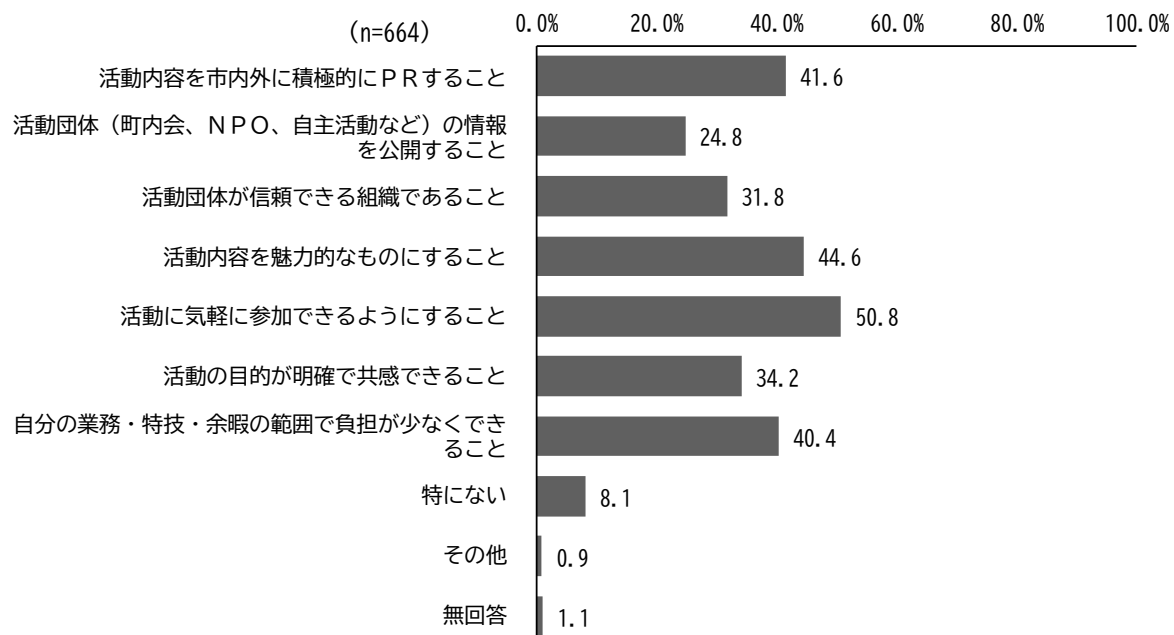
特に、20代の回答割合は6割台半ばと他年齢に比べ高い割合となっています。

		上段：件数 下段：構成比（％）											
		全体	地域でどのような活動が行われているか知らない	一緒に参加する友だち・知人がいない	参加方法がわからない	時間や日程が合わない	参加する時間的余裕がない	地域の活動に興味がない	地域の活動が盛んではない	以前（コロナ前）は参加していたが活動がわからなくなった（なくなった）	特に理由はない	その他	無回答
全体		600 100.0	346 57.7	150 25.0	139 23.2	139 23.2	196 32.7	83 13.8	55 9.2	6 1.0	98 16.3	12 2.0	6 1.0
年齢（3区分）	10代	106 100.0	54 50.9	18 17.0	21 19.8	20 18.9	22 20.8	11 10.4	8 7.5	1 0.9	29 27.4	1 0.9	1 0.9
	20代	197 100.0	129 65.5	52 26.4	46 23.4	42 21.3	55 27.9	31 15.7	17 8.6	3 1.5	35 17.8	1 0.5	3 1.5
	30代	282 100.0	158 56.0	77 27.3	70 24.8	75 26.6	113 40.1	41 14.5	29 10.3	2 0.7	32 11.3	9 3.2	2 0.7

【若者調査結果】

問 13 地域活動に多くの人が参加するために必要なことはどのようなことだと思いますか。(あてはまるものをすべて選択)

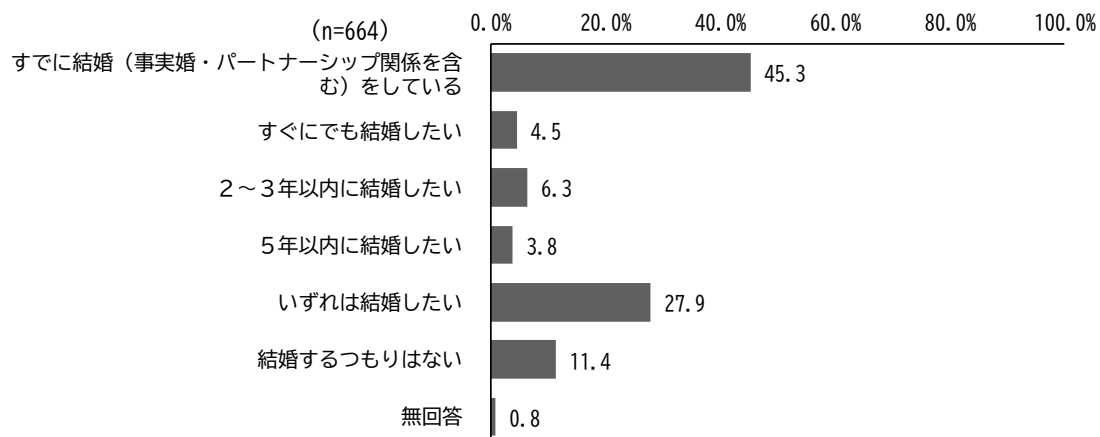
「地域活動に多くの人が参加するために必要なこと」について、「活動に気軽に参加できるようにすること」が50.8%で最も多く、次いで「活動内容を魅力的なものにすること」が44.6%、「活動内容を市内外に積極的にPRすること」が41.6%となっています。



5 結婚への意識と子育てについてうかがいます

問 14 あなたは将来、結婚したいですか。(あてはまるものを1つ選択)

「将来、結婚したいか」について、「すでに結婚（事実婚・パートナーシップ関係を含む）をしている」が 45.3%で最も多く、次いで「いずれは結婚したい」が 27.9%、「結婚するつもりはない」が 11.4%となっています。



【若者調査結果】

【クロス集計：性・年齢別】

「将来、結婚したいか」について、性・年齢別でみると、女性の20代では、「すでに結婚（事実婚・パートナーシップ関係を含む）している」の回答割合が高い傾向にあります。

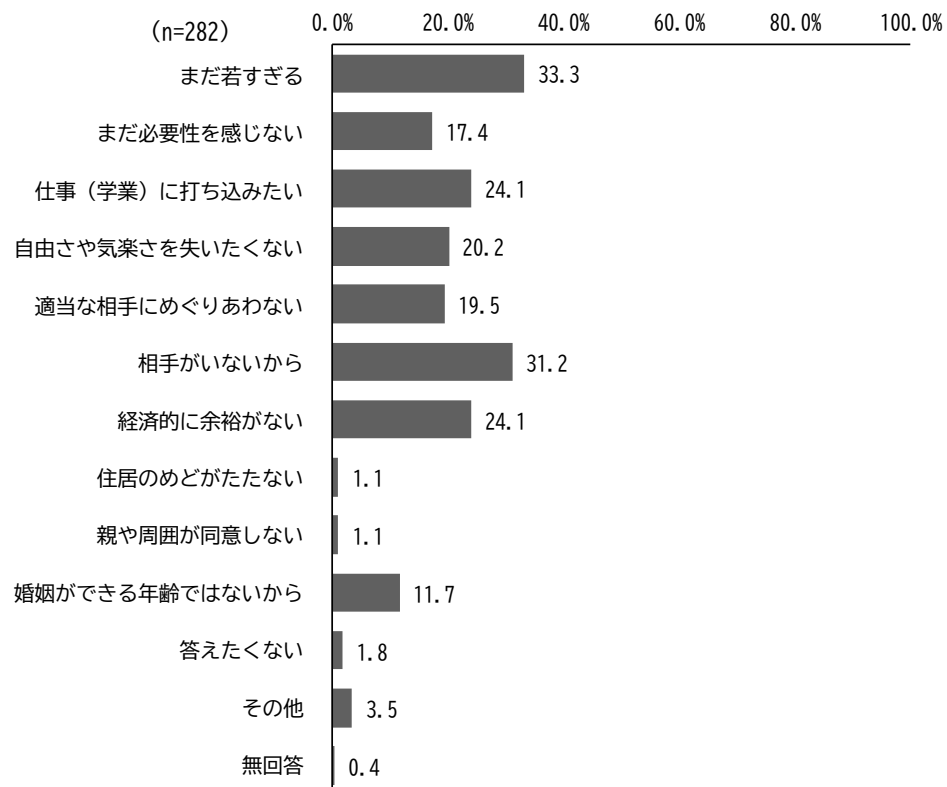
一方、男性の10代・20代と女性の10代では「いずれは結婚したい」の回答割合が高い傾向にあります。

		上段：件数 下段：構成比（％）						
		全体	すでに結婚（事実婚・パートナーシップ関係を含む）をしている	すぐにでも結婚したい	2～3年以内に結婚したい	5年以内に結婚したい	いずれは結婚したい	結婚するつもりはない
全体		664 100.0	301 45.3	30 4.5	42 6.3	25 3.8	185 27.9	76 11.4
男性	10代	56 100.0	- -	- -	- -	1 1.8	46 82.1	8 14.3
	20代	93 100.0	19 20.4	10 10.8	9 9.7	10 10.8	34 36.6	10 10.8
	30代	130 100.0	88 67.7	6 4.6	3 2.3	2 1.5	14 10.8	17 13.1
女性	10代	55 100.0	- -	1 1.8	2 3.6	2 3.6	42 76.4	8 14.5
	20代	126 100.0	47 37.3	7 5.6	23 18.3	9 7.1	28 22.2	12 9.5
	30代	175 100.0	133 76.0	5 2.9	5 2.9	1 0.6	13 7.4	16 9.1
その他	10代	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	2 100.0
	20代	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0
	30代	5 100.0	2 40.0	- -	- -	- -	2 40.0	1 20.0

【問 14 で「2.」～「5.」を選択した方におたずねします。】

問 14－1 あなたが今、結婚していない理由をお答えください。
(あてはまるものを3つまで選択)

「結婚していない理由」について、「まだ若すぎる」が 33.3%で最も多く、次いで「相手がいな
いから」が 31.2%、「仕事（学業）に打ち込みたい」「経済的に余裕がない」が各 24.1%となってい
ます。



【若者調査結果】

【クロス集計：性・年齢別】

「結婚していない理由」について、性・年齢別でみると、男性の20代では、「経済的に余裕がない」の回答割合が高い傾向にあります。

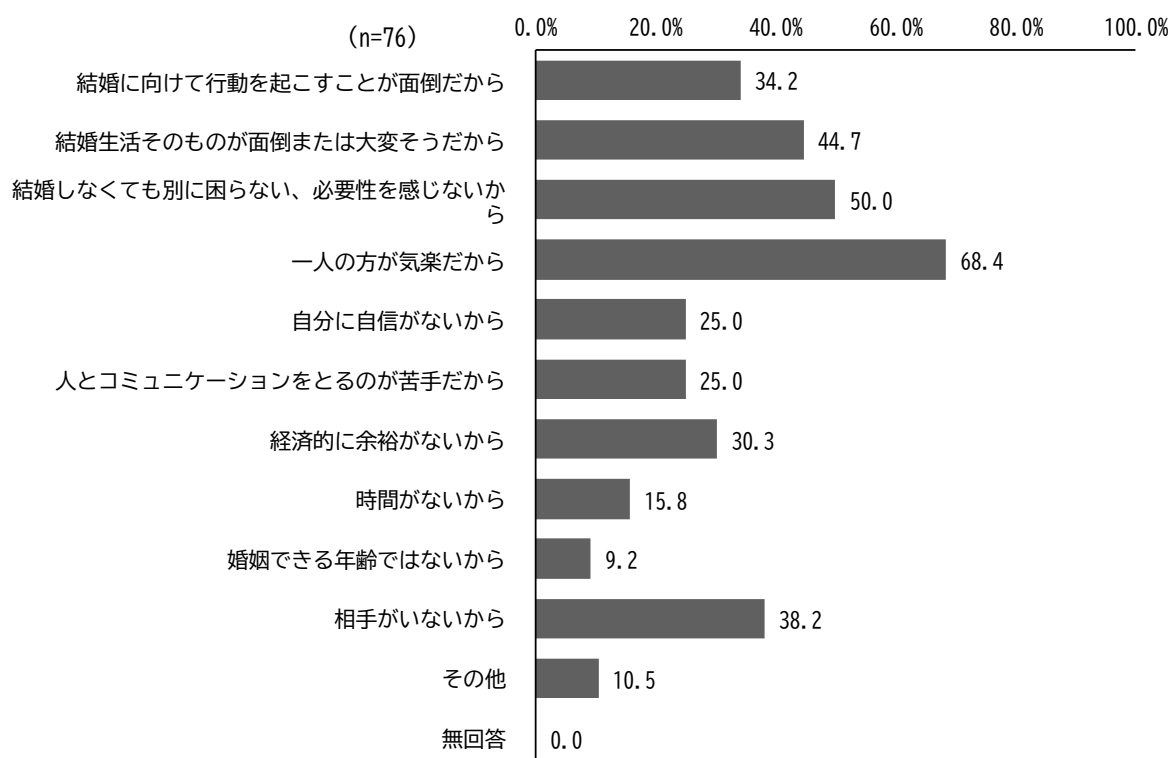
一方、10代では、男女ともに「まだ若すぎる」の回答割合が高い傾向にあります。

		上段：件数 下段：構成比（％）												
		全体	まだ若すぎる	まだ必要性を感じない	仕事（学業）に打ち込みたい	自由さや気楽さを失いたくない	適当な相手にめぐりあわない	相手がいないから	経済的に余裕がない	住居のめどがたたない	親や周囲が同意しない	婚姻ができる年齢ではないから	答えたくない	その他
全体		275 100.0	92 33.5	47 17.1	65 23.6	57 20.7	54 19.6	87 31.6	67 24.4	3 1.1	3 1.1	33 12.0	5 1.8	10 3.6
男性	10代	47 100.0	34 72.3	9 19.1	11 23.4	3 6.4	2 4.3	8 17.0	5 10.6	- -	- -	13 27.7	1 2.1	- -
	20代	63 100.0	15 23.8	10 15.9	18 28.6	13 20.6	10 15.9	21 33.3	23 36.5	2 3.2	2 3.2	1 1.6	- -	3 4.8
	30代	25 100.0	- -	2 8.0	1 4.0	10 40.0	10 40.0	12 48.0	10 40.0	1 4.0	- -	- -	1 4.0	1 4.0
女性	10代	47 100.0	31 66.0	12 25.5	11 23.4	6 12.8	4 8.5	9 19.1	3 6.4	- -	- -	18 38.3	- -	- -
	20代	67 100.0	12 17.9	13 19.4	19 28.4	17 25.4	16 23.9	25 37.3	19 28.4	- -	1 1.5	- -	2 3.0	3 4.5
	30代	24 100.0	- -	1 4.2	5 20.8	7 29.2	11 45.8	12 50.0	6 25.0	- -	- -	- -	1 4.2	3 12.5
その他	10代	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	20代	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	30代	2 100.0	- -	- -	- -	1 50.0	1 50.0	- -	1 50.0	- -	- -	1 50.0	- -	- -

【問 14 で「6.」を選択した方におたずねします。】

問 14－2 結婚するつもりがないのはなぜですか。（あてはまるものをすべて選択）

「結婚するつもりがない理由」について、「一人の方が気楽だから」が 68.4%で最も多く、次いで「結婚しなくても別に困らない、必要性を感じないから」が 50.0%、「結婚生活そのものが面倒または大変そうだから」が 44.7%となっています。



【若者調査結果】

【クロス集計：性・年齢別】

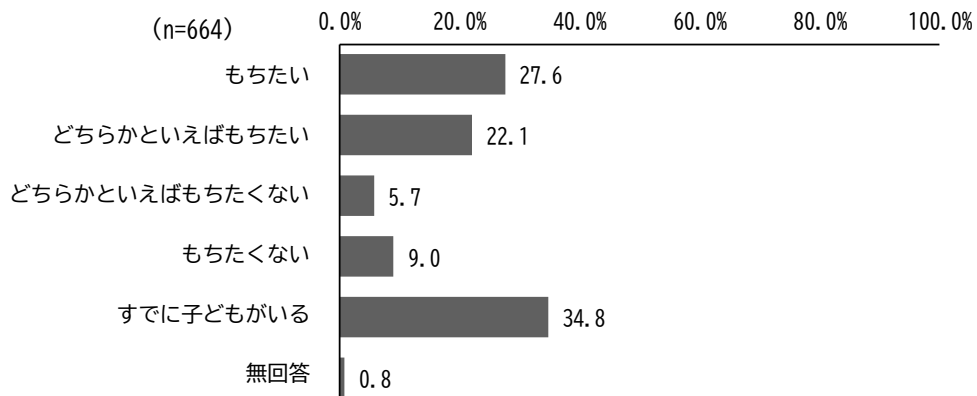
「結婚するつもりがない理由」について、性・年齢別でみると、男性のすべての年齢で「一人の方が気楽だから」の回答割合が高い傾向にあります。

一方、女性の20代では「結婚しなくても別に困らない、必要性を感じないから」、10代・30代の女性では「一人の方が気楽だから」の回答割合が高い傾向にあります。

		上段：件数 下段：構成比（％）											
		全体	結婚に向 けて行動 を起こす ことが面 倒だから	結婚生活 そのもの が面倒ま たは大変 そうだか ら	結婚しな くても別 に困らな い、必要 性を感じ ないから	一人の方 が気楽だ から	自分に自 信がない から	人とコミ ュニケー ションを とるのが 苦手だか ら	経済的に 余裕がな いから	時間がないから	婚姻でき る年齢で はないか ら	相手が いないか ら	その他
全体		75 100.0	25 33.3	33 44.0	37 49.3	51 68.0	18 24.0	18 24.0	22 29.3	11 14.7	6 8.0	28 37.3	8 10.7
男性	10代	8 100.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	4 50.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	－ －	－ －	2 25.0	2 25.0
	20代	10 100.0	4 40.0	4 40.0	5 50.0	7 70.0	5 50.0	6 60.0	4 40.0	2 20.0	1 10.0	5 50.0	－ －
	30代	17 100.0	5 29.4	7 41.2	6 35.3	11 64.7	3 17.6	1 5.9	8 47.1	2 11.8	1 5.9	7 41.2	3 17.6
女性	10代	8 100.0	3 37.5	6 75.0	5 62.5	7 87.5	1 12.5	3 37.5	2 25.0	－ －	4 50.0	1 12.5	－ －
	20代	12 100.0	4 33.3	6 50.0	7 58.3	5 41.7	3 25.0	3 25.0	2 16.7	3 25.0	－ －	4 33.3	－ －
	30代	16 100.0	6 37.5	7 43.8	9 56.3	13 81.3	3 18.8	2 12.5	4 25.0	3 18.8	－ －	7 43.8	3 18.8
その他	10代	2 100.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	2 100.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	－ －	1 50.0	－ －
	20代	1 100.0	－ －	－ －	1 100.0	1 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
	30代	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	1 100.0	－ －

問 15 あなたは将来、お子さんをもちたいと思いますか。(あてはまるものを1つ選択)

「将来、子どもをもちたいか」について、「すでに子どもがいる」が34.8%で最も多く、次いで「もちたい」が27.6%、「どちらかといえばもちたい」が22.1%となっています。



【クロス集計：性・年齢別】

「将来、子どもをもちたいか」について、性・年齢別でみると、20代では男女ともに「もちたい」の回答割合が高い傾向にあります。

一方、男性の10代では「どちらかといえばもちたい」の回答割合が高い傾向にあります。

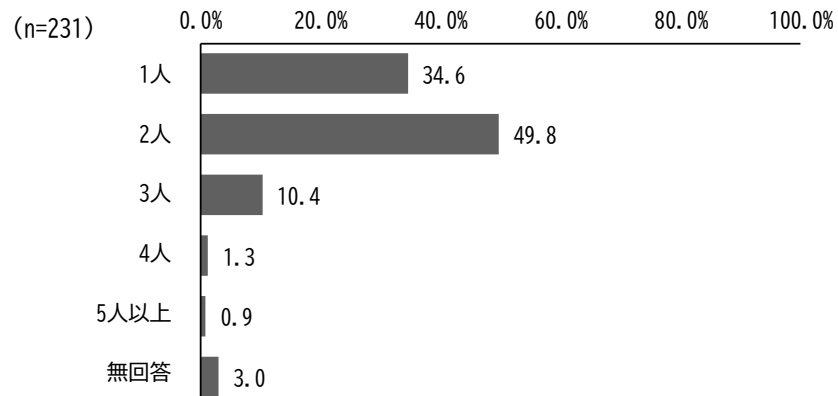
		上段：件数				下段：構成比（％）		
		全体	もちたい	どちらかといえばもちたい	どちらかといえばもちたくない	もちたくない	すでに子どもがいる	無回答
全体		664 100.0	183 27.6	147 22.1	38 5.7	60 9.0	231 34.8	5 0.8
男性	10代	56 100.0	18 32.1	24 42.9	2 3.6	10 17.9	- -	2 3.6
	20代	93 100.0	44 47.3	29 31.2	6 6.5	4 4.3	9 9.7	1 1.1
	30代	130 100.0	19 14.6	26 20.0	5 3.8	14 10.8	66 50.8	- -
女性	10代	55 100.0	26 47.3	16 29.1	6 10.9	6 10.9	1 1.8	- -
	20代	126 100.0	52 41.3	27 21.4	7 5.6	11 8.7	29 23.0	- -
	30代	175 100.0	21 12.0	20 11.4	12 6.9	10 5.7	112 64.0	- -
その他	10代	2 100.0	- -	- -	- -	2 100.0	- -	- -
	20代	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -
	30代	5 100.0	- -	1 20.0	- -	2 40.0	2 40.0	- -

【若者調査結果】

【問 15 で「5.」を選択した方におたずねします。】

問 15 お子さんの人数を教えてください。（数字を記入）

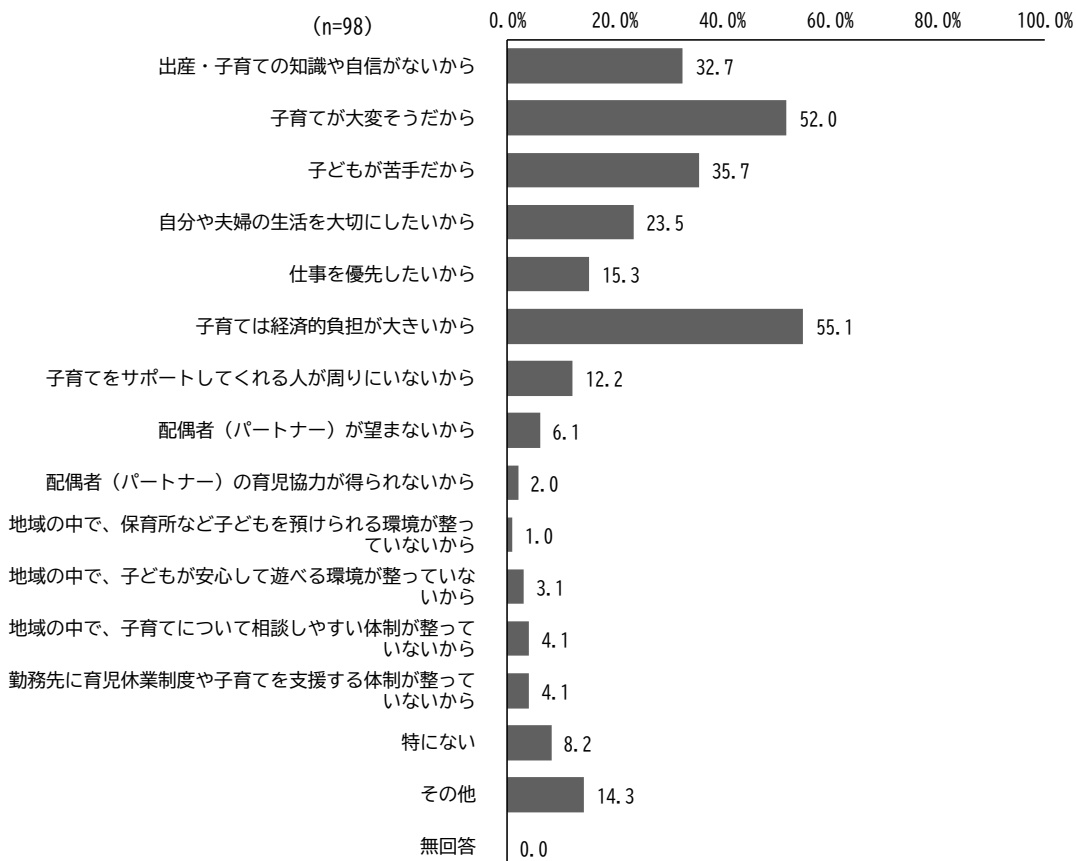
「子どもの人数」について、「2人」が49.8%で最も多く、次いで「1人」が34.6%、「3人」が10.4%となっています。



【問 15 で「3.」「4.」を選択した方におたずねします。】

問 15-1 将来お子さんを持ちたいと思わない理由をお答えください。
（あてはまるものをすべて選択）

「子どもを持ちたいと思わない理由」について、「子育ては経済的負担が大きいから」が55.1%で最も多く、次いで「子育てが大変そうだから」が52.0%、「子どもが苦手だから」が35.7%となっています。



【クロス集計：性・年齢別】

「子どもをもちたいと思わない理由」について、性・年齢別でみると、男性の10代・20代では「子育てが大変そうだから」の回答割合が高い傾向にあります。

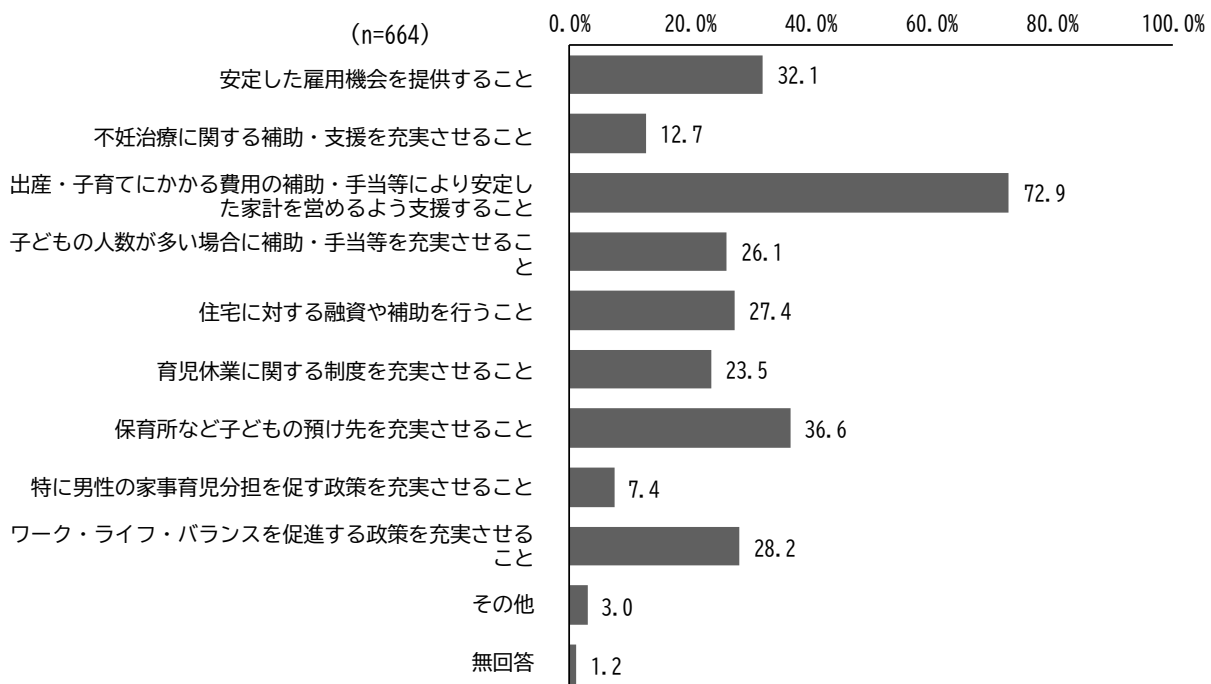
一方、女性の10代・20代では「子育ては経済的負担が大きいから」の回答割合が高い傾向にあります。

		上段：件数 下段：構成比（％）																
		全体	出産・子育ての知識や自信がないから	子育てが大変そうだから	子どもが苦手だから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	仕事を優先したいから	子育ては経済的負担が大きいから	子育てをサポートしてくれる人が周りにいないから	配偶者（パートナー）が望まないから	配偶者（パートナー）の育児協力が得られないから	地域の中で、保育園など子どもを預けられる環境が整っていないから	地域の中で、子どもが安心して遊べる環境が整っていないから	地域の中で、子育てについて相談しやすい体制が整っていないから	勤務先に育児休業制度や子育て支援する体制が整っていないから	特にない	その他	
全体		97 100.0	31 32.0	50 51.5	34 35.1	22 22.7	14 14.4	53 54.6	12 12.4	6 6.2	2 2.1	1 1.0	3 3.1	4 4.1	4 4.1	8 8.2	14 14.4	
男性	10代	12 100.0	3 25.0	7 58.3	4 33.3	1 8.3	1 8.3	6 50.0	- -	- -	- -	- -	1 8.3	- -	- -	3 25.0	2 16.7	
	20代	10 100.0	5 50.0	7 70.0	3 30.0	2 20.0	2 20.0	4 40.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	3 30.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	
	30代	19 100.0	9 47.4	8 42.1	3 15.8	6 31.6	3 15.8	9 47.4	4 21.1	3 15.8	1 5.3	- -	- -	- -	- -	2 10.5	2 10.5	
女性	10代	12 100.0	4 33.3	6 50.0	5 41.7	3 25.0	1 8.3	7 58.3	- -	- -	- -	- -	1 8.3	- -	- -	1 8.3	- -	
	20代	18 100.0	5 27.8	9 50.0	7 38.9	6 33.3	2 11.1	13 72.2	2 11.1	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 5.6	2 11.1	
	30代	22 100.0	3 13.6	11 50.0	9 40.9	3 13.6	5 22.7	11 50.0	3 13.6	2 9.1	- -	- -	- -	- -	1 4.5	- -	7 31.8	
その他	10代	2 100.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	- -	- -	1 50.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 50.0	- -	- -	- -	
	20代	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
	30代	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	- -	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	

【若者調査結果】

問 16 子どもを安心して産み育てることができるための施策として、どのようなことが重要だと思いますか。（あてはまるものを3つまで選択）

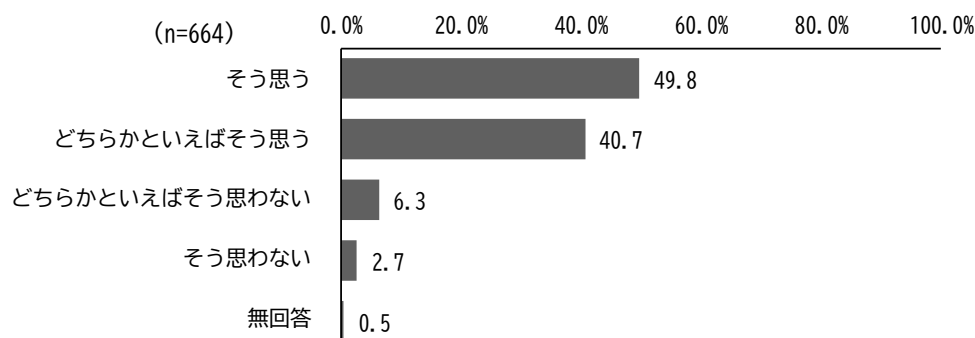
「子どもを安心して産み育てることができるための施策」について、「出産・子育てにかかる費用の補助・手当等により安定した家計を営めるよう支援すること」が72.9%で最も多く、次いで「保育所など子どもの預け先を充実させること」が36.6%、「安定した雇用機会を提供すること」が32.1%となっています。



6 あなた自身の考えについてうかがいます

問 17 あなたは、今幸せですか。あなたの実感をお答えください。
(あてはまるものを1つ選択)

「幸せだと感じているか」について、「そう思う」が49.8%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が40.7%、「どちらかといえばそう思わない」が6.3%となっています。



【クロス集計：年齢別】

「幸せだと感じているか」について、年齢別でみると、すべての年齢で「そう思う」の回答割合が高い傾向にあります。

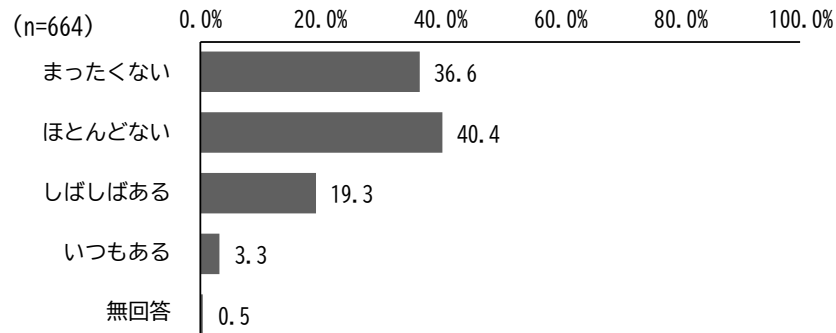
特に、10代の回答割合は6割近くと他年齢に比べ高い割合となっています。

		上段：件数 下段：構成比（％）					
		全体	そう 思う	どちら かとい え ば そう 思う	い ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答
全体		664 100.0	331 49.8	270 40.7	42 6.3	18 2.7	3 0.5
年 齢 （ 3 区 分 ）	10代	113 100.0	65 57.5	36 31.9	7 6.2	5 4.4	－ －
	20代	220 100.0	105 47.7	93 42.3	17 7.7	4 1.8	1 0.5
	30代	312 100.0	159 51.0	128 41.0	16 5.1	8 2.6	1 0.3

【若者調査結果】

問 18 あなたは孤独であると感じることがありますか。(あてはまるものを1つ選択)

「孤独だと感じるか」について、「ほとんどない」が40.4%で最も多く、次いで「まったくない」が36.6%、「しばしばある」が19.3%となっています。



【クロス集計：年齢別】

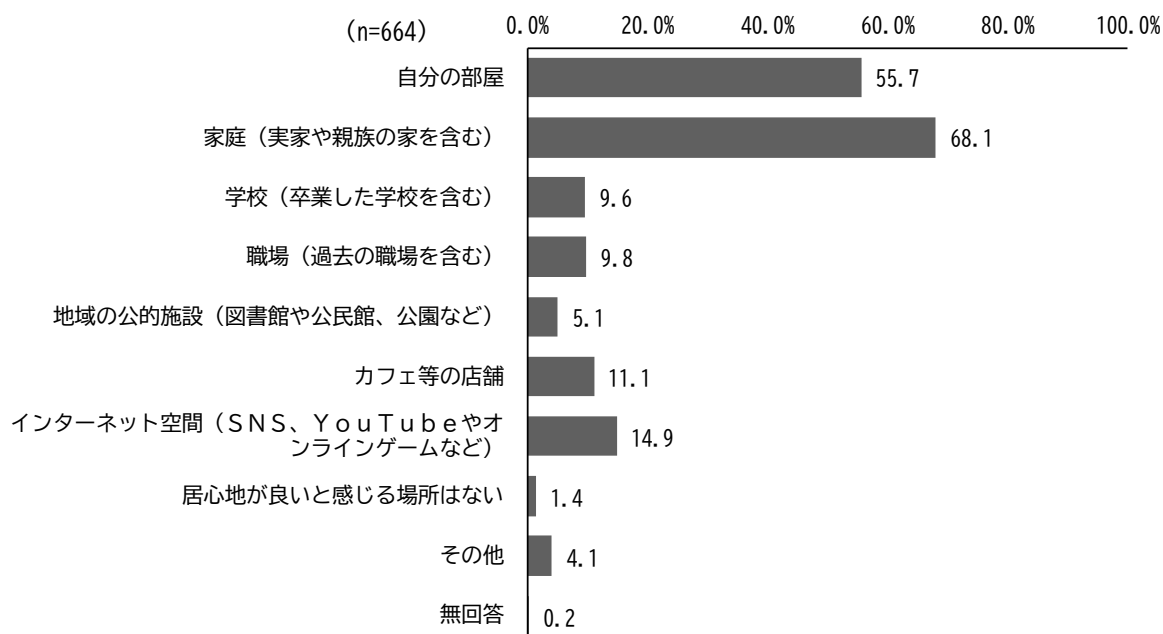
「孤独だと感じるか」について、年齢別でみると、すべての年齢で「ほとんどない」の回答割合が高い傾向にあります。

特に、30代の回答割合は4割を超え、他年齢に比べ高い割合となっています。

		上段：件数 下段：構成比（％）					
		全体	まったく ない	ほとん どない	しばしば ある	いつも ある	無回 答
全体		664 100.0	243 36.6	268 40.4	128 19.3	22 3.3	3 0.5
年 齢 （3 区 分）	10代	113 100.0	40 35.4	43 38.1	26 23.0	4 3.5	－ －
	20代	220 100.0	80 36.4	85 38.6	49 22.3	6 2.7	－ －
	30代	312 100.0	121 38.8	130 41.7	50 16.0	11 3.5	－ －

問 19 あなたが普段、居心地が良いと感じる場所（ほっとできる場所）はどこですか。
（あてはまるものをすべて選択）

「居心地が良いと感じる場所」について、「家庭（実家や親族の家を含む）」が 68.1%で最も多く、次いで「自分の部屋」が 55.7%、「インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）」が 14.9%となっています。



【クロス集計：年齢別】

「居心地が良いと感じる場所」について、年齢別でみると、10代・20代では「自分の部屋」の回答割合が高い傾向にあります。

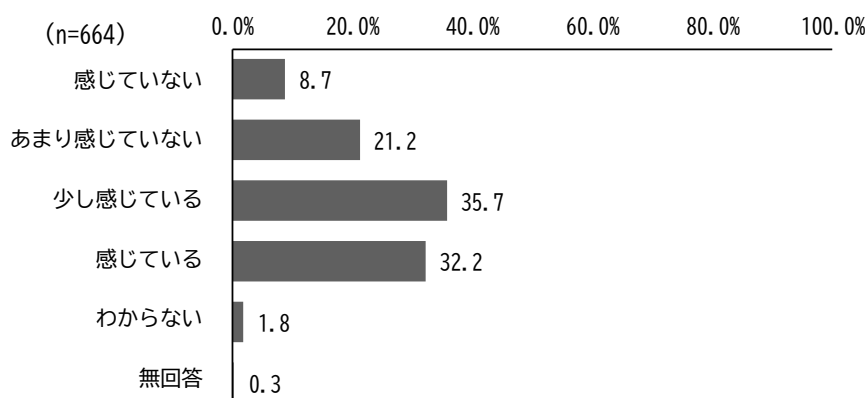
一方、30代では「家庭（実家や親族の家を含む）」の回答割合が高い傾向にあります。

上段：件数 下段：構成比（％）												
		全体	自分の部屋	家庭（実家や親族の家を含む）	学校（卒業した学校を含む）	職場（過去の職場を含む）	地域の公的施設（図書館や公民館、公園など）	カフェ等の店舗	インターネット空間（SNS、YouTubeやオンラインゲームなど）	居心地が良いと感じる場所はない	その他	無回答
全体		664 100.0	370 55.7	452 68.1	64 9.6	65 9.8	34 5.1	74 11.1	99 14.9	9 1.4	27 4.1	1 0.2
年齢（3区分）	10代	113 100.0	73 64.6	68 60.2	38 33.6	6 5.3	3 2.7	7 6.2	28 24.8	3 2.7	2 1.8	- -
	20代	220 100.0	153 69.5	140 63.6	23 10.5	22 10.0	8 3.6	22 10.0	38 17.3	1 0.5	7 3.2	- -
	30代	312 100.0	139 44.6	231 74.0	2 0.6	36 11.5	22 7.1	44 14.1	31 9.9	5 1.6	17 5.4	- -

【若者調査結果】

問 20 あなたは自分の将来に不安を感じることはありますか。
(あてはまるものを1つ選択)

「将来への不安」について、「少し感じている」が35.7%で最も多く、次いで「感じている」が32.2%、「あまり感じていない」が21.2%となっています。



【クロス集計：年齢別】

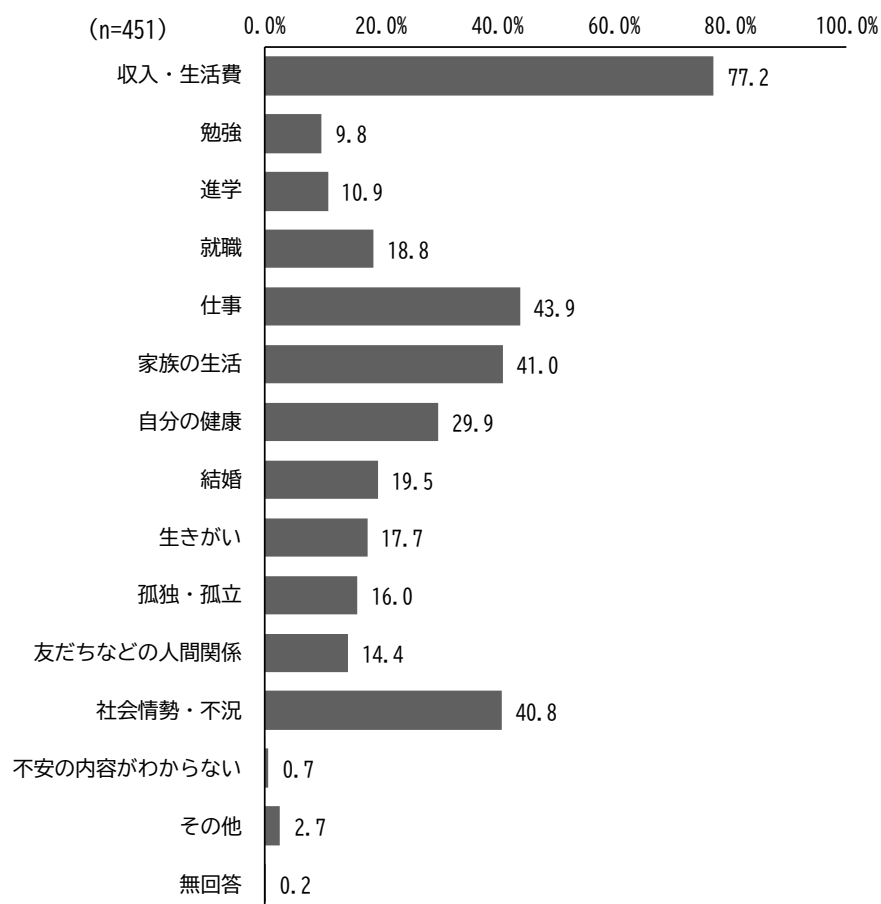
「将来への不安」について、年齢別でみると、すべての年齢で「少し感じている」の回答割合が高い傾向にあります。

		上段：件数 下段：構成比（％）						
		全体	感じていない	あまり感じていない	少し感じている	感じている	わからない	無回答
全体		664 100.0	58 8.7	141 21.2	237 35.7	214 32.2	12 1.8	2 0.3
年齢 （3区分）	10代	113	12	26	36	36	3	－
		100.0	10.6	23.0	31.9	31.9	2.7	－
	20代	220	17	48	85	68	2	－
		100.0	7.7	21.8	38.6	30.9	0.9	－
	30代	312	29	62	110	104	6	1
		100.0	9.3	19.9	35.3	33.3	1.9	0.3

【問 20 で「3.」「4.」のいずれかを選択した方におたずねします。】

問 20－1 将来への不安は何ですか。（あてはまるものをすべて選択）

「将来への不安を感じる要因」について、「収入・生活費」が77.2%で最も多く、次いで「仕事」が43.9%、「家族の生活」が41.0%となっています。



【クロス集計：年齢別】

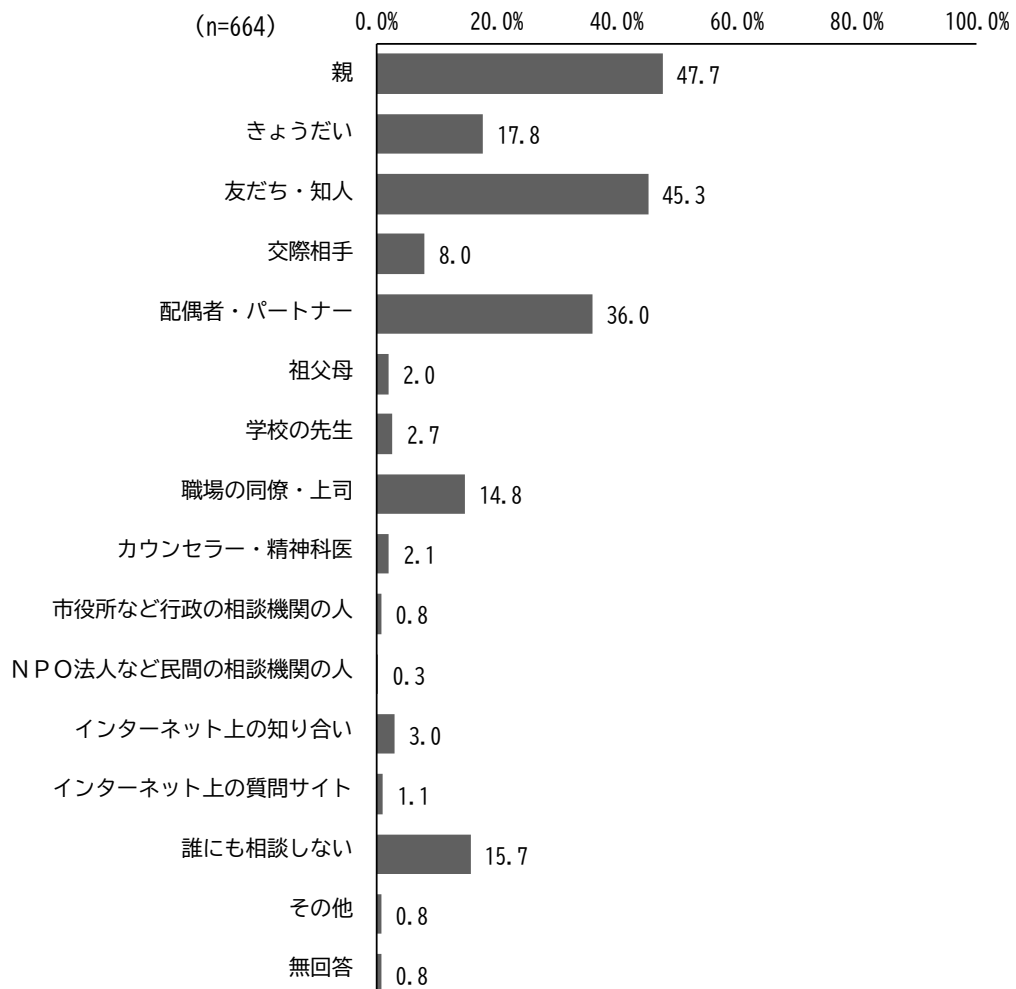
「将来への不安を感じる要因」について、年齢別でみると、10代では「就職」の回答割合が高い傾向にあります。

一方、20代・30代では「収入・生活費」の回答割合が高い傾向にあります。

		上段：件数 下段：構成比（％）															
		全体	収入・生活費	勉強	進学	就職	仕事	家族の生活	自分の健康	結婚	生きがい	孤独・孤立	友だちなどの人間関係	社会情勢・不況	不安の内容がわからない	その他	無回答
全体		451 100.0	348 77.2	44 9.8	49 10.9	85 18.8	198 43.9	185 41.0	135 29.9	88 19.5	80 17.7	72 16.0	65 14.4	184 40.8	3 0.7	12 2.7	1 0.2
年齢 （3区分）	10代	72 100.0	37 51.4	29 40.3	39 54.2	50 69.4	30 41.7	13 18.1	8 11.1	18 25.0	14 19.4	13 18.1	20 27.8	18 25.0	1 1.4	1 1.4	-
	20代	153 100.0	115 75.2	9 5.9	5 3.3	23 15.0	74 48.4	52 34.0	31 20.3	44 28.8	26 17.0	22 14.4	21 13.7	66 43.1	-	2 1.3	-
	30代	214 100.0	188 87.9	2 0.9	2 0.9	9 4.2	90 42.1	113 52.8	92 43.0	25 11.7	39 18.2	36 16.8	23 10.7	96 44.9	2 0.9	7 3.3	1 0.5

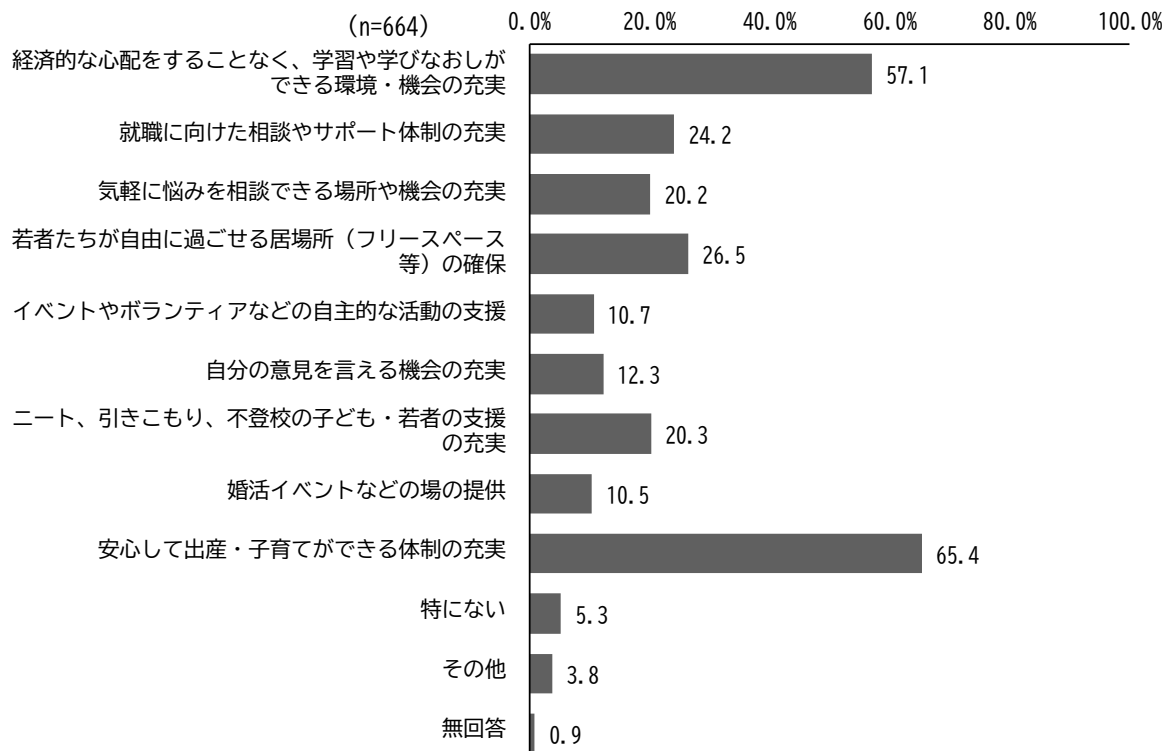
問 21 普段、悩み事や不安を誰に相談していますか。(あてはまるものをすべて選択)

「悩み事や不安の相談先」について、「親」が47.7%で最も多く、次いで「友だち・知人」が45.3%、「配偶者・パートナー」が36.0%となっています。



問 22 子どもや若者のために、木更津市が特に取り組むべきことは何だと思いますか。
(あてはまるものをすべて選択)

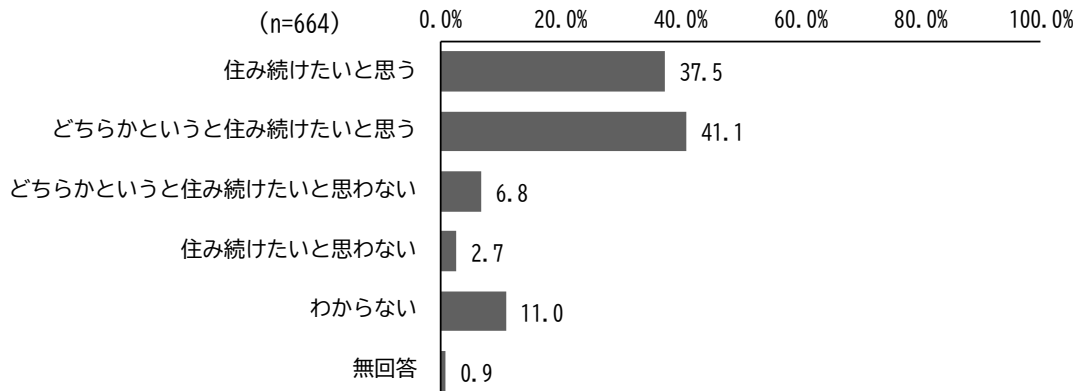
「子どもや若者のために、木更津市が取り組むべきこと」について、「安心して出産・子育てができる体制の充実」が65.4%で最も多く、次いで「経済的な心配をすることなく、学習や学びなおしができる環境・機会の充実」が57.1%、「若者たちが自由に過ごせる居場所（フリースペース等）の確保」が26.5%となっています。



【若者調査結果】

問 23 あなたはこれからも木更津市に住み続けたいと思いますか。
(あてはまるものを1つ選択)

「今後も木更津市に住み続けたいと思うか」について、「どちらかというに住み続けたいと思う」が41.1%で最も多く、次いで「住み続けたいと思う」が37.5%、「わからない」が11.0%となっています。



【クロス集計：年齢別】

「今後も木更津市に住み続けたいと思うか」について、年齢別でみると、10代では「住み続けたいと思う」の回答割合が高い傾向にあります。

一方、20代・30代では「どちらかというに住み続けたいと思う」の回答割合が高い傾向にあります。

		上段：件数 下段：構成比（％）						
		全体	住み続けたいと思う	どちらかというに住み続けた と思う	どちらかというに住み続けた と思わない	住み続けたいと思わない	わからない	無回答
全体		664 100.0	249 37.5	273 41.1	45 6.8	18 2.7	73 11.0	6 0.9
年齢 （3区分）	10代	113 100.0	47 41.6	41 36.3	5 4.4	3 2.7	16 14.2	1 0.9
	20代	220 100.0	77 35.0	95 43.2	15 6.8	6 2.7	26 11.8	1 0.5
	30代	312 100.0	120 38.5	132 42.3	23 7.4	9 2.9	27 8.7	1 0.3

問 24 最後に、あなたが木更津市に、あったらいいな・こんなことをしてほしいなと思うことがあれば自由に書いてください。

<分類別件数>

No.	分類	件数
1	道路・公共交通機関等について	80
2	経済的支援・経済状況の改善について	67
3	商業施設等について	46
4	遊び場・居場所について	53
5	交流・相談できる場所について	5
6	市の財政・広報活動等について	12
7	行事やイベント、ボランティア活動等について	22
8	学校・学習の場について	24
9	子育て支援等について	36
10	医療機関等について	5
11	就労・就業関連について	4
12	公共施設等について	45
13	防犯・防災対策について	13
14	市への要望について	33
15	駅周辺の整備・再開発について	46
16	その他	29

1. 道路・公共交通機関等について

- ・もっとバスなどの公共交通機関が充実していて、駅から離れていても車を使わずに行けるところが多くなればもっといいと感じています
- ・電車やバスの本数を増やすなど公共交通機関がより充実されると嬉しいです。
- ・歩道がガタガタすぎて、ベビーカーで通れない。自転車もタイヤ壊れそうなくらいガタガタ。
- ・横断歩道などの白線が消えているので、濃くして欲しい。
- ・渋滞の解消に力を入れてほしい。

2. 経済的支援・経済状況の改善について

- ・子供の医療費が無料になればいいなと思います。
- ・第一子から保育料を無料にしてほしい。
- ・子供子育て支援や結婚助成金等の補助金や給付金の拡充や対象者の拡大をしてほしいです。
- ・給食費の無償化
- ・公平公正な補助を受けられるような制度を設けて欲しいです。

3. 商業施設等について

- ・ アウトレット以外の商業施設やスーパーを充実させて欲しい
- ・ 様々な施設(飲食店やショップ)の充実や過疎地の有効的な活用(レジャー施設など)、
- ・ 休日に出かける場所も木更津市内だと限られてるからもっと若い子が興味をもつ商業施設を作ればいいと思う。
- ・ 若者が喜ぶような娯楽施設があればと感じます(ラウンドワンなどの複合娯楽施設)
- ・ もっと魅力的な街にする為に、ファミリー層が楽しめる複合施設誘致 転勤族で他さまざまな市町村での居住経験からお答えしますが、アウトレット、コストコ以外の市としての魅力が少なく感じます。ただでさえ、東京まで 50 分で移住者共に人が来るエリアなので、もっとその利点を活かせると思います。

4. 遊び場・居場所について

- ・ 小さな公園の遊具が壊れているので遊具の新設や子供たちが気兼ねなく外で遊べる場所の施設が欲しい。
- ・ 子供たちが行きやすい近所の公園などの遊具の充実をして欲しい。遊具が古かったりその公園によって充実度が違うのが気になります。あとボールを使えるスペースが少なく、広さが足りない、道路にボールが出てきて犬の散歩中に出てきて何回も当たりそうになったことがあるため、場所を作るか、仕切るか、フェンスをもう少し高くするかなどもう少し工夫してくださると全員が安心して利用しやすい場所になる気がします。
- ・ ボール禁止の公園が増えすぎてのもっと自由に遊べる公園がほしいです
- ・ 小学生たちが行ける無料の室内遊び場
- ・ 駐車場のある大きな公園が欲しいです。袖ヶ浦市、君津市の公園に行きますが、木更津市に無料で遊べる魅力的な場所が思い当たりません。

5. 交流・相談できる場所について

- ・ 学区を超えて子供達が集まって行動する機会。(ボランティア等)をもっと企画した方がいいと思います。
- ・ 図書館以外にも、みんなが集えるコミュニティスペースなどがもっと充実すると英会話サークル、読書サークルなどと言ったように人と出会え、特に若者同士が出会える場所がほしいです。同級生はほぼ東京などに引っ越し、20代30代で木更津で友達を増やすということは難しく、とても孤独な街だなと感じています。
- ・ ママ友が欲しいが外出する体力がないので、ズームとかで交流できる場所があればいいとおもう。
- ・ 新潟市にできたような子供がまだ小さい時に夜泣きなどで孤独を感じる時に行ける夜中にやっける乳児とママさんの為のカフェ

6. 市の財政・広報活動等について

- ・木更津市の色々な情報などがわかったり求人情報や観光情報が見れるアプリがあると便利かなと思いました
- ・償還払いの手続きのために役所に行った際、窓口に、麻疹風疹ワクチンの助成の案内の紙があった。私は抗体が少なく、産後にワクチンを受けたが、助成がある事は知らず、償還払い手続きで役所に行ったから知ることができた。なので、こちらが調べたり問い合わせたりではなく、役所側から発信してほしい。
- ・市内の大小問わずイベント情報共有
- ・行政のかたいシステムの改善で業務の負担軽減や、本当に必要なことに財政や時間を費やすこと。
- ・ホームページやサービスをもっと利用しやすいように見直した方が良いと感じる。

7. 行事やイベント、ボランティア活動等について

- ・キャリアコンサルタントの資格を持っています。キャリアや将来に悩む方へ何か力になれないかなと思っています。知らないだけで実施されているかもですが、市民が相談できる場の提供があれば、スタッフとして参加したいです。
- ・〇〇フェスを増やす。例えば、ビールフェスやラーメンフェス、韓国フェス、台湾フェスなど
- ・地域のお祭りなどのイベント
- ・イベントの頻度増やしてほしい(ふと目につくようなポスターで知らせてほしい)
- ・小さな子どもが楽しめるようなイベントを開催してほしい。

8. 学校・学習の場について

- ・学校職員の増員をしてほしい。
- ・小・中学校の給食のメニューの充実化をしてほしい。
- ・自習室を増やして欲しい
- ・ワークスペースを増やしてほしい。大学生や社会人向けのやつ。
- ・自習スペースを拡大してほしい。高校生がテスト期間になると満席で使用できないことが多いため。

9. 子育て支援等について

- ・待機児童の解消。木更津市は待機児童が多すぎるため、職場復帰のタイミングが難しい。子育て世代には辛い。市原市のように保育園やこども園併設ではなく、独立した子育て支援センターの設置及び市内在住者に限り、無料で2時間程度（子育て世代の親が買い物や健康診断に子供を連れてではなく、行けることができるように）子どもを預けられる制度を希望。就学前の子どもを育てる親の支援の充実を希望。
- ・木更津で子育てをしたいと思えるような独自の支援があったら嬉しいです
- ・病児保育、急な時に子供を預かってくれる施設（今はほとんど事前予約制のため）
- ・授乳スペースがもう少し増えて欲しい。育児をしてみても想像していたよりも子供との外出のハードルが高いことを感じた。
- ・保育園の空きがなかったためこども園に通っていますがやっぱり幼稚園型なので送り迎えなどフルで仕事している親としては保育園に通わせたかった。預かりとなると子供も嫌がり大変です。保育園の空き状況を増やして欲しいです。

10. 医療機関等について

- ・皮膚科が足りないです
- ・病院が予約制のところが多いので、そうでなくコロナ前のように待つ体制のところが増えて欲しい（予約制だと突発的にいくとすると受け入れしてもらえず、他市の病院へいくこととなり不便なのといい地域とはいえないのでは
- ・夜間病院の対応が悪い。
- ・小児科医専門のクリニックを増やして欲しい。児童精神科など専門院もあったらいい。
- ・子供病院、総合病院の誘致

11. 就労・就業関連について

- ・企業誘致。就業先支援。
- ・女性の在宅ワーク支援事業（資格取得）などを進めていただけるとワークライフバランスがとりやすいかと思います。
- ・無職や引きこもりの人間でも気軽に行けるような、就職支援の政策を希望します。すでにそのような政策があるなら、それを広く周知するPRをお願いします。自分も税金を納めて、市や国に貢献できるようになりたいです。

12. 公共施設等について

- ・図書館の拡充(本を読む・借りるだけではなく、君津のような広々としたスペースでゆっくりと勉強等ができる環境(スパークルシティ 6 階は空間が開けすぎていたパーソナル感がなく、ゆっくり・集中が難しい))
- ・ハローワークと市役所を同じ建物内に設置をお願いします
- ・バリアフリー福祉スポーツセンタージムやプール
- ・木更津駅西口のシャッター街をなくしてもっとたのしい公共施設を作るなど駅を明るく盛り上げてほしい。
- ・運転免許センターがあれば便利だと思う。

13. 防犯・防災対策について

- ・治安が悪くならない為に安定した治安対策をお願いしたい
- ・電灯をもっと増やして欲しいです。夜暗くてとても怖いです。灯りが全くなく真っ暗な道が多々あります。
- ・子供に対する性被害対策 学校の先生や塾講師、学童の先生、保育園や幼稚園の先生など。監視カメラの導入
- ・外国人が増えているのは不安を覚えます。埼玉のクルド人問題のように、治安が悪くなる可能性もあります。規制する等、何か対策を講じてほしいです。
- ・防災無線は Twitter をもっと有効に活用すべき。メールが来る様にすれば良いわけではなくて、登録しなくても気軽に注意事項や案内は見れる様にすべきでは？なぜ見れる人を絞るような事をするのかわからない。また、不審者情報とかも防災無線より Twitter とかで連絡すべきでは？

14. 市への要望について

- ・将来の人口減を考えると高齢者へのサービスを減じてでも、もっと若者に舵をきった思い切った政策が必要と思う。またデジタル化をもっと推進できると思う。オンライン病院の誘致、テレワークスペース拡充など。もっと若い人に選ばれる自治体が良いと思う。
- ・中心市街地の活性化に力を入れて欲しい。現在の活性化基本計画がうまくいけば、市内は確実に活性化して、より住みやすく魅力あるまちになると思う。その先に子育てに関する施策を行うことで、より住みたいと思えるまちになるのではないだろうか。郊外に人口が増えている今だからこそ中心市街地を再び活性化させて市内全体を盛り上げて欲しい。子育てに関する政策を将来的に行い、子育てのまちにするためにもまずは現在市が策定してる計画をぜひやり遂げて頂きたい。
- ・市のゴミ袋を無くして欲しいです。ゴミ袋値段の割に使い勝手が悪すぎる。ゴミ袋くらい自由にさせてください。
- ・このようなアンケートで市民のニーズを常に把握、対応し、満足度を高めてほしい
- ・若い世代の移住促進

15. 駅周辺の整備・再開発について

- ・駅前をもっと充実させてほしい。
- ・駅周辺が栄えるように、魅力を感じさせられるような開発をして欲しい。地方からもっと若者が来るように
- ・駅前の活性化です。木更津市は近年人口も増え、私の地域でもどんどん家がたち、かつ小学生くらいの子供を持った家族が増えたように感じています。また、アウトレットやコストコが出来ており、県外や海外からの旅行客も沢山入っています。
私は高校生なのでよく木更津駅前を利用しますが、特に西口のデッドスペースが多いと感じます。スパークルシティにもっと商業施設を入れたり、自習スペースの拡大などしていただけると、より住みやすく、過ごしやすい木更津市へと繋がると 생각합니다。
木更津市民として、これからの木更津のさらなる発展を願っています、がんばってください！！！！
- ・木更津駅周辺もっと活気があるような駅にしてほしい。昔は学生さんが遊べる場所がたくさんありましたが今はなにもないのが残念
- ・木更津駅周辺の再開発。駅前庁舎だけでなく、木更津駅の駅舎の建て替え。

16. その他について

- ・木更津は生まれ育った街なので愛着はあるしこれからも住みたいと思えるような街であり続けること、ここで子供を産んでまだ木更津を盛り上げていけることを実現したい。市外に仕事などで出ていった仲間たちと将来も集まれる場でこれからもあってほしい。
- ・人口が少しずつではあるが、増えている木更津でこのような取り組みをすることは非常にいいと思う。住みやすく素敵な街なので、私は好きです。市役所の皆さんの頑張りを応援しています。
- ・居心地の良い緑の空間が増えるといいなと思います。海がきれいになり、海沿いに人の集まる魅力的な場所がもっとできるいいなと思います。
- ・きさぽんが見たい、祭りのときにきさぽんに会いたい
- ・特に求めるものはない。

木更津市 こども計画策定に関するアンケート調査報告書

発行 令和7年9月

編集 木更津市 こども未来部 こども政策課

〒292-8501 千葉県木更津市朝日三丁目10番19号

木更津市役所朝日庁舎

電話 0438-42-1426(未来サポート係)